

平成 29 年 度
全国メディカルコントロール
協議会 連絡会
(第 2 回)

全国メディカルコントロール協議会連絡会プログラム

全国メディカルコントロール協議会名簿

1 日 時

平成 29 年 11 月 22 日（水）14 時から 17 時まで

2 場 所

幕張メッセ国際会議場 2 階コンベンションホール A
(千葉県美浜区中瀬 2－1)

3 主催団体等

主催：消防庁、厚生労働省

共催：公益社団法人日本医師会

後援：一般財団法人救急振興財団、全国消防長会、

一般社団法人日本救急医学会、一般財団法人日本救急医療財団

公益社団法人日本麻酔科学会、一般社団法人日本臨床救急医学会

全国衛生部長会、全国保健所長会

目 次

平成 29 年度全国メディカルコントロール協議会

連絡会（第 2 回）プログラム・・・P. 2

全国メディカルコントロール協議会関連資料・・・・・・・・・・ P. 73

平成 29 年度全国メディカルコントロール協議会連絡会（第 2 回）プログラム

I 開催概要

- 1 日 時 平成 29 年 11 月 22 日（水） 14 時 00 分から 17 時 00 分（3 時間）
- 2 場 所 幕張メッセ国際会議場 2 階 コンベンションホール A
（第 26 回全国救急隊員シンポジウム 第 1 会場）
千葉県美浜区中瀬 2 - 1

II プログラム

- 1 開 会 (14 時 00 分～14 時 05 分)
全国メディカルコントロール協議会連絡会世話人会 会長 行岡 哲男
- 2 第 1 部 我らの地域のメディカルコントロール取組事例発表
“ ベストプラクティス 2017 ” (14 時 05 分～15 時 25 分)

— 休憩 —

- 3 第 2 部 講演 (15 時 40 分～16 時 20 分)

- 講演 1 わが国の消防本部心肺蘇生統計活用による国際コンセンサスと
ガイドラインへのインパクト
地方独立行政法人 静岡県立病院機構
静岡県立総合病院 安全衛生監・集中治療センター長 野々木 宏先生
- 講演 2 メディカルコントロールと社会医学との関わり
京都大学大学院 医学研究科医療経済学分野教授 今中 雄一先生

- 4 第 3 部 情報提供 (16 時 20 分～16 時 40 分)

- 厚生労働省からの情報提供
厚生労働省医政局 地域医療計画課
救急・周産期医療等対策室 病院前医療対策専門官 飯塚 悠祐
- 消防庁からの情報提供
消防庁 救急企画室 救急専門官 森川 博司

- 5 表彰式 (16 時 40 分～16 時 55 分)
我らの地域のメディカルコントロール取組事例発表 “ベストプラクティス 2017”

- 6 事務連絡 (16 時 55 分～17 時 00 分)
 - 平成 30 年度全国メディカルコントロール協議会連絡会（第 1 回）の開催予定について

III 主催団体等

主催：消防庁、厚生労働省 共催：公益社団法人日本医師会

後援：一般財団法人救急振興財団、全国消防長会、一般社団法人日本救急医学会、
一般財団法人日本救急医療財団、公益社団法人日本麻酔科学会、一般社団法人日本臨床救急医学会
全国衛生部長会、全国保健所長会

第 1 部 発表資料

我らの地域のメディカルコントロール取組事例発表

“ベストプラクティス 2017”

【発表演題】

- 発表演題 1 現場滞在時間短縮に向けた取り組みについて
(埼玉県・上尾市消防本部)・・・P. 5
- 発表演題 2 MC協議会と消防局が連動した現場救急救命士に対するリフレッシュコースの開催：
「救急救命士夏季スキルアップ研修」がもたらす効果
(横浜市メディカルコントロール協議会)・・・P. 9
- 発表演題 3 「M I E L S 三重県救急救命統合コース」の開発と運営における
指導救命士の役割 ～指導救命士の自立をめざして～
(三重県救急搬送・医療連携協議会)・・・P. 13
- 発表演題 4 地域の医療体制をも検証する事後検証体制
(大阪府泉州地域メディカルコントロール協議会)・・・P. 17
- 発表演題 5 救急ワークステーション機能を活かした救急救命士の教育体制
(大阪府堺地域メディカルコントロール協議会・堺市消防局)・・・P. 21
- 発表演題 6 MC検証医師の個人携帯電話でのオンラインメディカルコントロールその実態と効果
(広島県尾三圏域メディカルコントロール協議会)・・・P. 25
- 発表演題 7 通信指令業務における覚知から3分間の通信内容検証法及び口頭
指導技術発表会による評価法の確立
(北九州地域救急業務メディカルコントロール協議会)・・・P. 29

【応募演題】

- 資料掲載・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P. 33

私たちの地域のメディカルコントロール取組事例発表 “ベストプラクティス2017”

(発表演題)

No.	応募団体	演題名	備考
1	上尾市消防本部	現場滞在時間短縮に向けた取り組みについて	
2	横浜市メディカルコントロール協議会	MC協議会と消防局が連動した現場救急救命士に対するリフレッシュコースの開催 :「救急救命士夏季スキルアップ研修」がもたらす効果	
3	三重県救急搬送・医療連携協議会	「MIELS 三重県救急救命統合コース」の開発と運営における指導救命士の役割 ～指導救命士の自立をめざして～	
4	大阪府泉州地域メディカルコントロール協議会	地域の医療体制をも検証する事後検証体制	
5	大阪府堺地域メディカルコントロール協議会	救急ワークステーション機能を活かした救急救命士の教育体制 ～さらなる救命技術の向上を目指して～	
6	広島県尾三圏域メディカルコントロール協議会	MC検証医師の個人携帯電話でのオンラインメディカルコントロールその実態と効果	
7	北九州地域メディカルコントロール協議会	通信指令業務における覚知から3分間の通信内容検証法及び口頭指導技術発表会による評価法の確立	

(応募演題)

No.	応募団体	演題名	備考
1	北見地区消防組合消防本部	MC関係講習見直しにおける取り組みについて	
2	秋田県メディカルコントロール協議会 秋田周辺地域協議会	救急高度化促進を地域で目指して	
3	秋田県メディカルコントロール協議会	秋田県MC協議会認定指導救命士が行う活動について	
4	能代山本広域市町村圏組合消防本部	質の高い救急活動を目指した救急救命士再教育病院実習の試み ～病態を考える救急救命士を目指して～	
5	山形県救急業務高度化推進協議会	通信指令員に対する山形県版教育研修システム	
6	小山・芳賀地域分科会	ドクターカーの運用について	
7		救急救命士がメインとなり医師と行うメディカルコントロール - 団塊の世代の大量退職が当分科会に与える影響 -	
8	群馬県消防長会 救急部会	群馬県消防長会『救急部会』の取り組みについて	
9	埼玉県救急業務高度化推進協議会	指導救命士部会の設置と役割について	
10	埼玉県西部第一地域メディカルコントロール協議会	指導救命士によるプロトコール研修会	
11	埼玉県東部地域メディカルコントロール協議会	埼玉県東部地域における救急コーディネーター研修制度について	
12	東葛飾南部地域救急業務MC協議会	東葛飾南部地域救急業務メディカルコントロール協議会におけるプレホスピタルケアの充実に向けた取り組みについて	
13	高山市消防本部	飛騨地域における意識障害傷病者対応の標準化に向けた地域MC協議会等との連携について	
14		公的診療所医師との救急連絡・指示体制について	
15		飛騨メディカルコントロール協議会 PCEC、感染防止部会立ち上げ	
16	東三河地区メディカルコントロール協議会	東三河地区メディカルコントロール協議会における救急救命士の運用開始前の教育について	
17	尾張北部地区メディカルコントロール協議会	地区メディカルコントロール協議会として実施した 静脈路確保におけるリスクマネジメント対策について	
18	大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター	救急救命士の再教育等の管理集計システムの開発	
19	東播磨・北播磨・淡路地域メディカルコントロール協議会	指導救命士研修90日 ～できる救命士は指導救命士が育てろ～	
20	奈良県広域消防組合消防本部	救急ワークステーションにおける通信指令員に対するスキルアップ研修	
21	奈良県メディカルコントロール協議会	指導救命士のMCにおける行政的活用のある方について	
22	出雲地区救急業務連絡協議会	病院前救護プロトコル作成及び運用	
23	尾道市消防局	軽症外傷傷病者の搬送に関する取組について	
24	広島西圏域メディカルコントロール協議会	低侵襲の処置につながる輸液の温度管理	
25	仙台市消防局	～伊達な取り組み、ずんだ風～ 「仙台市消防局における救急ステーション実習」	資料掲載なし
26	岩沼地区メディカルコントロール協議会	適正なバイスタンダーCPRをサポートする我々の取り組み	資料掲載なし
27	魚沼地域メディカルコントロール協議会	医療再編から、新地域協議会の設立と事業運営(観察から、適切な処置、医療機関選定をめざして)	資料記載なし
28	南信州広域連合飯田広域消防飯田消防署	指導救命士が行う救急隊員の生涯教育「心肺機能停止前トレーニング」	資料掲載なし
29	但馬地域メディカルコントロール協議会	指導救命士が地域MCにもたらす影響 ～所属の垣根を越え他本部の救急救命士の指導を行った経験から～	資料掲載なし
30	筑後地域救急業務MC協議会	NPO法人筑後地域救急医療研究会を活用した筑後地域救急業務MC協議会における事後検証及び救急救命士教育について	資料掲載なし
31	上五島地域メディカルコントロール協議会	日本最小の二次医療圏における充実したメディカルコントロール体制の構築について	資料掲載なし

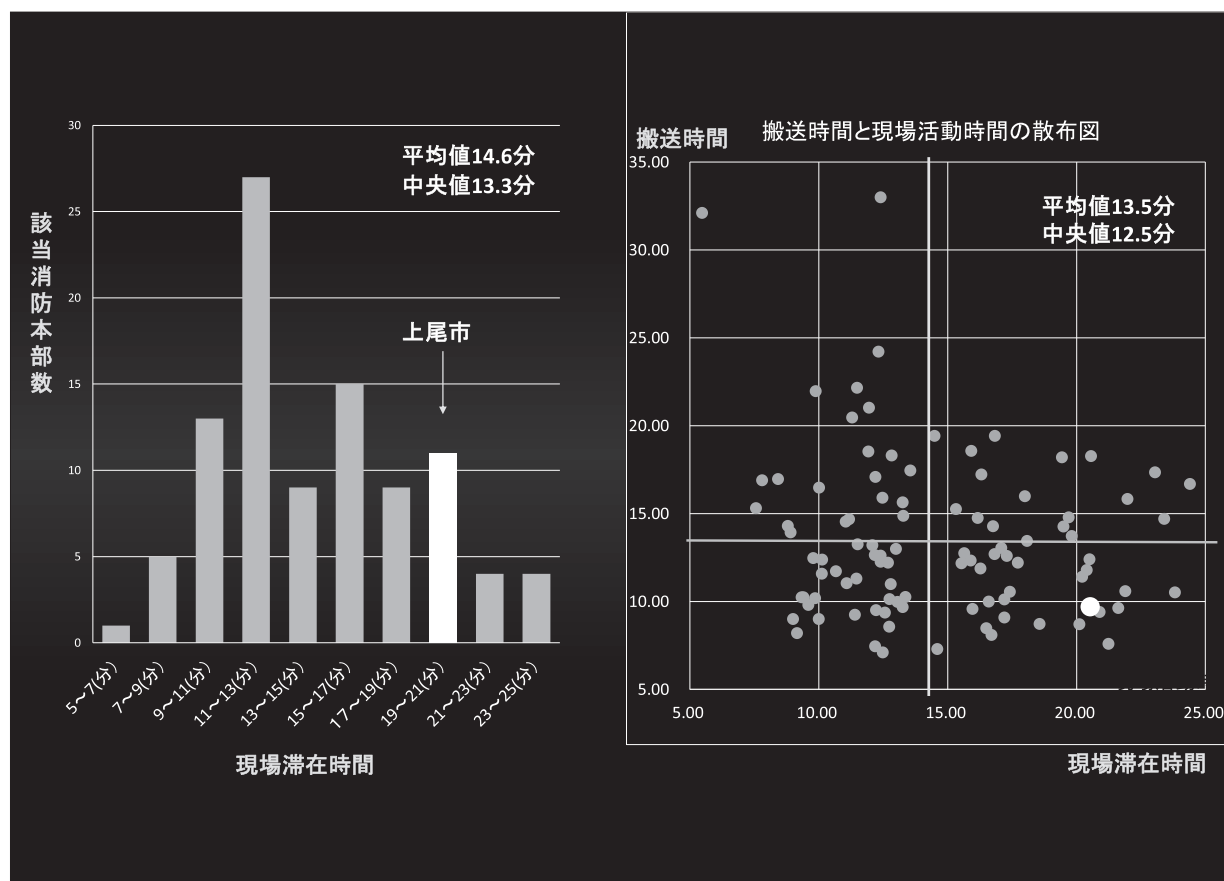
※ 発表・応募演題ともに都道府県番号順に掲載しています。

現場滞在時間短縮に向けた 取り組みについて

上尾市消防本部 天羽 哲郎

- 指導救命士研修(九州研修所)
- 講義:「自地域をさぐる」
- 全国から集まった研修生の地域と比較
- 現場滞在時間が長い！

発表演題 1



発表演題 1

時間短縮に向けた取り組みの対象と方法

- ・毎年の救急件数(転院、不搬送除く)
- ・現場滞在時間、救急現場滞在時間、覚知～病院収容時間、病院収容～引き揚げ時間、接触～要請開始時間、病院連絡所要時間の平均値、中央値、病院連絡複数回要請率(消防OAからExcel抽出)
- ・上尾市全体、所属別、個人別 救急シンポのデータのみ
- ・各救急隊にデータ(H26, 27, 28)をメールで送り、隊内で話し合いフィードバック・指導を依頼

発表演題 1

2 0 1 5												
	回数(除く転院・不搬送)	現場滞在時間(中央値)	救急現場滞在時間(中央値)	覚知～病院収容(中央値)	病院収容～引き揚げ(中央値)	接触～要請開始時間	病院連絡時間	複数回要請率				
上尾市全体	8455	19.69	18	18.9	17	38.4	35	35.07	32	12.11	5.37	12.5
H消防署	1759	19.83	18	19.03	17	38.26	35	35.21	34	12.58	5.82	12.5
Ha分署	1281	21.05	18	20.22	17	42.47	40	40.42	37	13.09	5.4	16.8
K分署	1194	19.67	18	18.9	17	38.43	35	31.45	28	11.43	5.53	12.9
N消防署	1587	15.97	15	15.29	14	32.11	30	29.49	27	9.09	5.04	9.1
O分署	1639	20.36	18	19.53	17	37.4	34	36.05	32	12.07	5.26	11.2
Hi分署	995	22.35	20	21.5	19	40.4	38	38.23	35	15.08	5.08	14.3
A1	342	17.8	16	17.14	15	36.58	34	30.46	27	9.53	5.31	12.9
A2	107	19.74	17	19.02	16	37.2	35	33.4	30	12.4	4.65	15
A3	330	22.61	19.5	21.78	19	44.06	41	42.29	39	14.3	5.92	16.4
A4	266	14.32	13	13.91	12	32.23	30	24.42	22	7.27	5.59	10.9
A5	336	21.5	18.5	20.77	18	40.03	36	37.4	35	13.54	5.51	14.9
A6	162	22.35	19	21.46	18	44.32	40	44.01	37	14.04	5.64	12.3
A7	171	19.97	18	19.3	17	37.17	34	37.08	34	13.4	5.4	12.9
A8	280	23.23	21	22.39	21	41.5	39	39.54	37	15.38	5.21	16.1
A9	212	20.64	19	19.77	18	40.07	36	28.59	27	12.2	5.64	13.7
A10	105	22.91	20	22.06	19	42.14	37	37.08	36	15.43	5.35	14.3
A11	260	17.51	16	16.64	16	33.36	32	37.38	34	10.22	5.53	9.6
A12	479	20.07	18	19.19	17	36.47	34	36.04	32	13.14	5.16	11.5
A13	474	18.21	16	17.37	16	36.45	34	27	24	11.54	4.64	10.8
A14	141	20.87	19	20.09	18	40.45	38	31.56	28	11.46	5.92	12.8
A15	118	17.54	15	16.59	14.5	39.49	37	33.47	29	11.37	5.03	18.5
A16	102	17.71	16	17.06	16	33.55	31	27.51	26	9.52	5.36	8.8
A17	490	20.94	18	20.07	18	37.26	35	37.28	34	10.22	5.05	11.8
A18	346	21.47	19	20.7	18	39.57	36	32.43	29	13.3	5.2	12.7
A19	416	11.76	10.5	11.14	10	27.08	25	23.58	19	6.09	4.42	7.5
A20	245	21.19	19	20.32	18	38.43	36	38.34	35	14.21	4.92	13.9
A21	336	20.53	18	19.73	17	42.55	40	43.01	40	13.06	4.85	14.3
A22	262	18.33	17	17.6	16	36.94	33	33.33	30	11.07	4.97	9.5
A23	343	17.62	16	16.9	15	34.45	31	31.51	29	10.08	5.29	10.5
A24	224	20.5	19	19.85	19	37.22	34	37.37	34	12.08	6.07	7.1
A25	108	17.66	13	17.11	12.5	39.03	34	36.51	33	11.13	4.64	18.5
A26	139	25.81	23	24.9	22	47.14	43	43.03	41	16.13	6	15.1
A27	106	21.31	18.5	20.33	18	43.07	39	37.08	32	12.59	5.24	15.1
A28	395	20.04	18	19.22	17	37.48	34	40.06	38	11.53	5.62	10.9
A29	316	19.98	18	19.26	17	39.29	36	38.39	37	14.36	8.29	13.3
A30	151	24.92	23	24.26	22.5	42.43	40	39.43	36	16.57	6.17	11.7

発表演題 1

2 0 1 6												
	回数(除く転院・不搬送)	現場滞在時間(中央値)	救急現場滞在時間(中央値)	覚知～病院収容(中央値)	病院収容～引き揚げ(中央値)	接触～要請開始時間	病院連絡時間	複数回要請率				
上尾市全体	8420	17.53	16	16.74	16	36.45	35	33.57	29	9.35	4.86	14.5
H消防署	1737	16.66	15	15.91	14	34.88	32	32.46	26	8.56	4.77	13
Ha分署	1365	16.78	15	16	14	39.62	37	34.07	30	9.33	4.86	17.6
K分署	1146	16.51	15	15.89	14	35.9	34	32.21	27	8.18	5.05	15.4
N消防署	1519	18.01	16	17.14	15	34.6	32	36.26	31	9.59	4.75	12.4
O分署	1653	18.35	16	17.55	16	36.2	33	33.12	30	10.08	4.94	14.1
Hi分署	1004	19.09	17	18.23	17	38.69	36	35.08	31	10.37	4.82	15.7
A1	413	16.66	15	15.87	14	38.46	36	31.13	28	8.08	5	14.3
A2	292	16.54	15	15.5	14	32.86	30	29.07	26	9.21	4.06	14
A3	298	17.37	15	16.65	14	40.76	37	40.02	32	9.13	4.84	18.13
A4	303	12.78	11	12.32	11	32.79	31	33.14	21	5.3	4.96	15.83
A5	257	18.26	16	17.67	15	36.27	33	38.32	31	9.17	5.34	19.93
A6	186	21.03	19	20.19	18	43.64	41	34	31	11.13	5.52	16.96
A7	148	16.69	15	16.04	14	36.39	34.5	37.08	31	8.06	5.32	12.99
A8	341	21.35	20	20.39	19	38.85	36	48.42	37	12.38	4.89	13.23
A9	214	18.09	16	17.4	15	37.01	34	28.54	26	9.34	5.16	15.41
A10	130	19.93	18	19.18	17	37.56	35	38.55	26	11.51	5.13	11.39
A11	238	18.42	17	17.65	16	37.85	35	36.25	33	10.39	4.42	15.69
A12	265	17.07	15	16.26	14	33.62	31	38.49	31	8.48	4.82	12.83
A13	111	16.96	15	16.31	15	35.11	32	26.15	25	9.14	4.9	18.38
A14	505	18.86	17	18.02	17	36.5	34	32.45	29	11.26	4.78	12.33
A15	486	16.92	15	16.14	14	35.49	32	36.05	25	9.26	4.7	12.43
A16	232	13.25	12	12.56	11	35.66	34	30.22	28	6.07	4.63	18.88
A17	117	15.24	14	14.41	13	31.85	29	29.08	26	7.35	4.42	12.03
A18	378	18.38	17	17.31	16	35.74	34	37.2	31	10.29	4.56	12.9
A19	329	20.27	18	19.59	17	38.94	36	32.07	29	11.28	4.91	16.7
A20	443	10.78	10	10.05	9	27.63	25	20.16	16	4.56	3.9	7.51
A21	263	18.75	17	17.89	17	36.81	35	33.25	29	11.42	3.88	12.04
A22	457	18.35	16	17.59	16	38.81	37	33.35	31	9.38	4.88	16.76
A23	266	17.18	16	16.32	15	34.15	32	33.32	30	9.41	4.45	11.33
A24	246	21.65	19	20.95	18.5	38.37	35	37.18	34	11.26	6.23	17.17
A25	176	17.01	15	16.32	15	36.15	34	32.01	29	8.22	5.27	18.14
A26	133	19.81	17	18.89	16	39.05	36	38.42	38	9.34	5.65	16.35
A27	306	19.31	18	18.44	17	39.83	36	32.26	30	9.29	6.42	16.62
A28	164	19.81	18.5	19.09	18	39.96	37	38.36	35	11.2	4.19	14.13

結 果

- ・ 3年間で平均現場滞在時間の短縮。(20. 6分から17. 5分)
- ・ 所属別の平均現場滞在時間の差の縮小。(6. 4分から2. 6分)
- ・ インシデント、アクシデント件数との関連性はなし。

考 察

- ・ 遅延因子、個々のデータが明らかになり時間管理に対する意識付けが図られ、現場滞在時間の短縮、各隊の時間差の短縮に繋がったと思われる。
- ・ PCのエクセルを使用して消防OAのデータを分析した結果の効用のため、予算化の必要性がなくどの所属でも実現可能と考える。
- ・ データだけでは、評価できない(接遇等)項目は再考が必要。
(指導救命士の同乗等)

タブレット

市町村	受入れ数	受入れ最新	一時受入れ数	一時受入れ最新	11:00	10:00	9:00	8:00	7:00
上尾市	22	10:13	0	4	05:08			急病	急病
北本市	10	11:05	0	4	05:15	転院	受入	急病	急病
北足立郡	3	21:26前	0	2	19:17前				
流山市	3	17:23前	0	3	05:41				
北足立郡	2	03:04	0	0					
蕨川市	2	20:19前	0	5	08:52			術中	
流山市	1	09:06	0	0				急病	
流山市	1	06:02	0	1	19:04前				

スマートホン

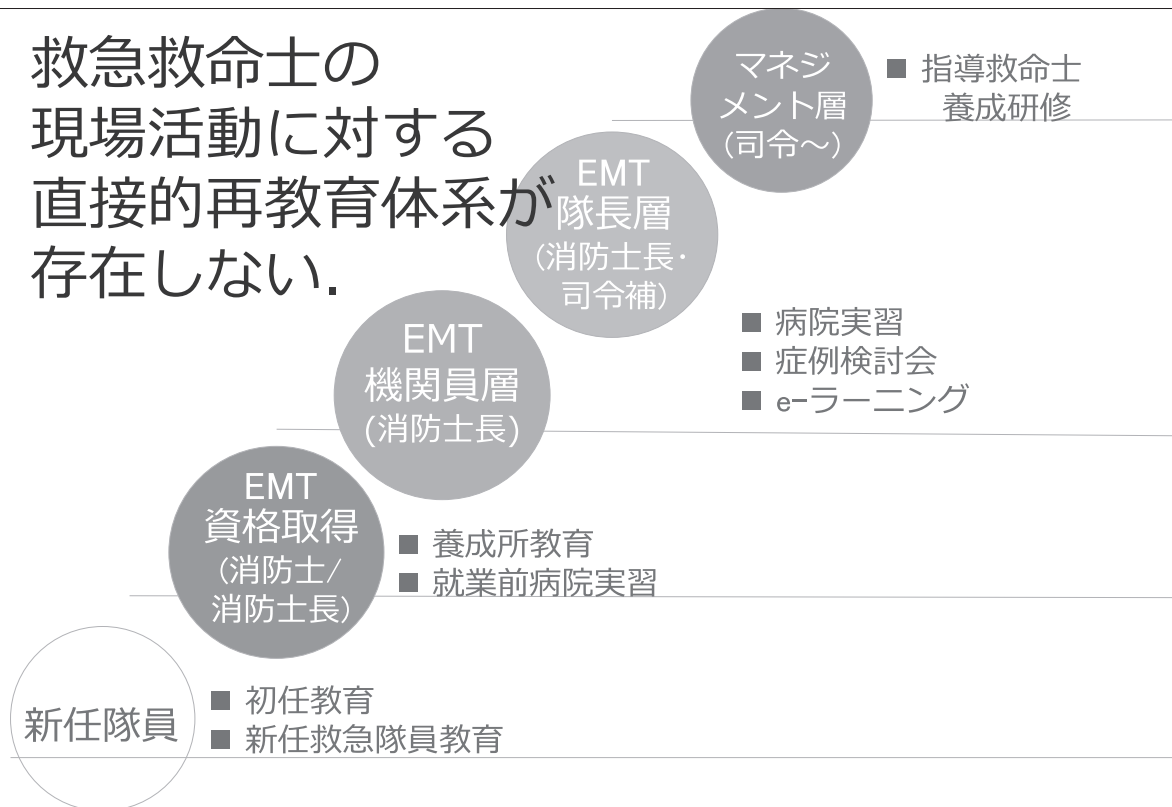
市町村	受入れ数	受入れ最新	一時受入れ数	一時受入れ最新	11:00	10:00	9:00	8:00	7:00
上尾市	22	10:13	0	4	05:08			急病	急病
北本市	10	11:05	0	4	05:15	転院	受入	急病	急病
北足立郡	3	21:26前	0	2	19:17前				
流山市	3	17:23前	0	3	05:41				
北足立郡	2	03:04	0	0					
蕨川市	2	20:19前	0	5	08:52			術中	
流山市	1	09:06	0	0				急病	
流山市	1	06:02	0	1	19:04前				

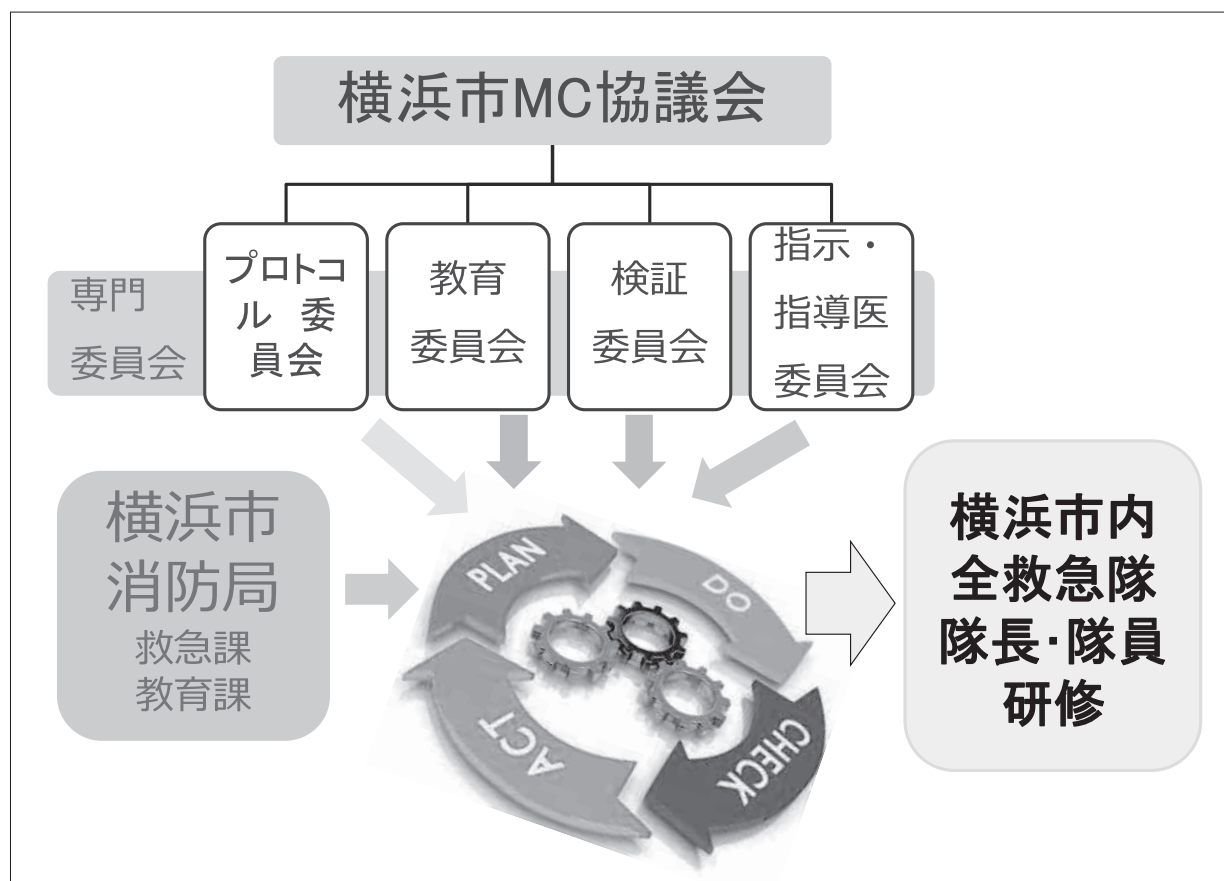
MC協議会と消防局が連動した 現場救急救命士に対する リフレッシュコースの開催:

「救急救命士夏季スキルアップ研修」が
もたらす効果

横浜市メディカルコントロール協議会
古谷良輔, 榎井良裕, 森村尚登

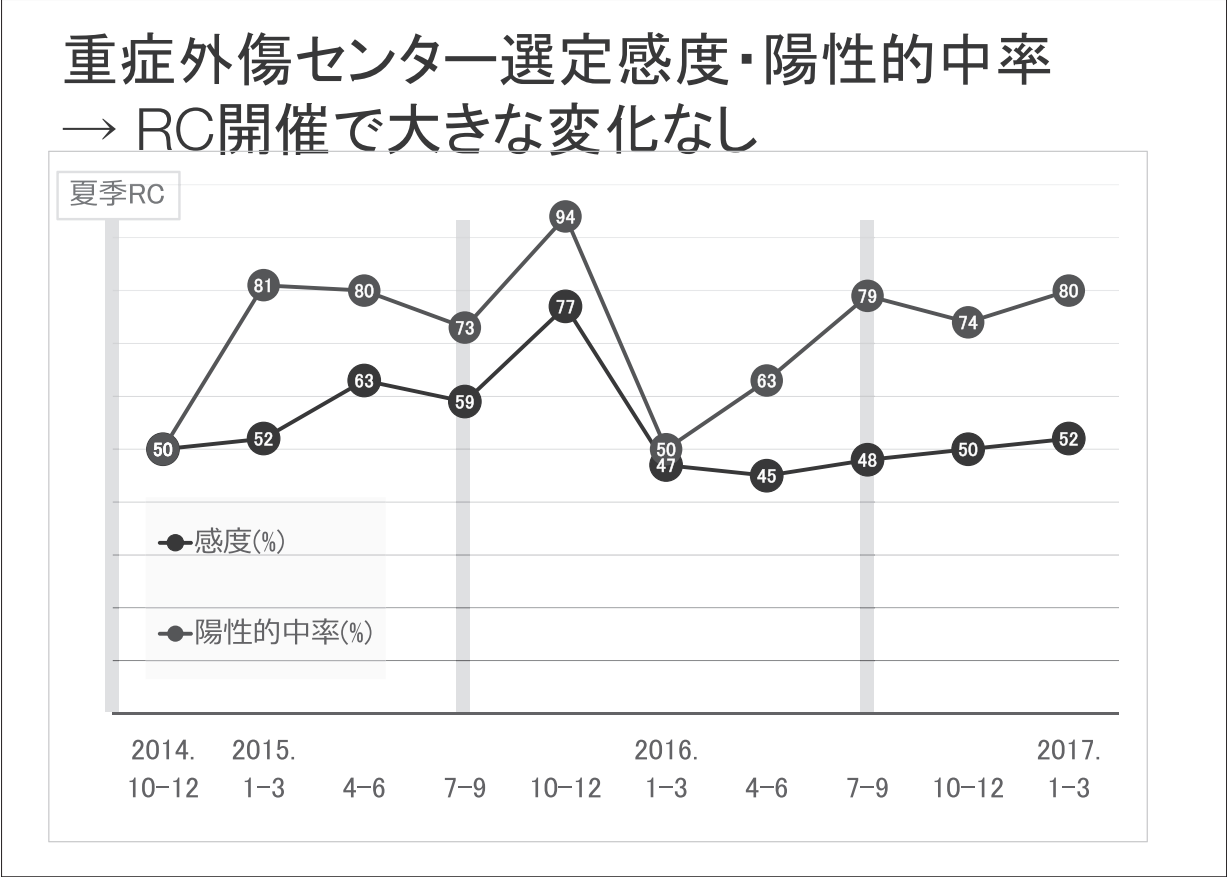
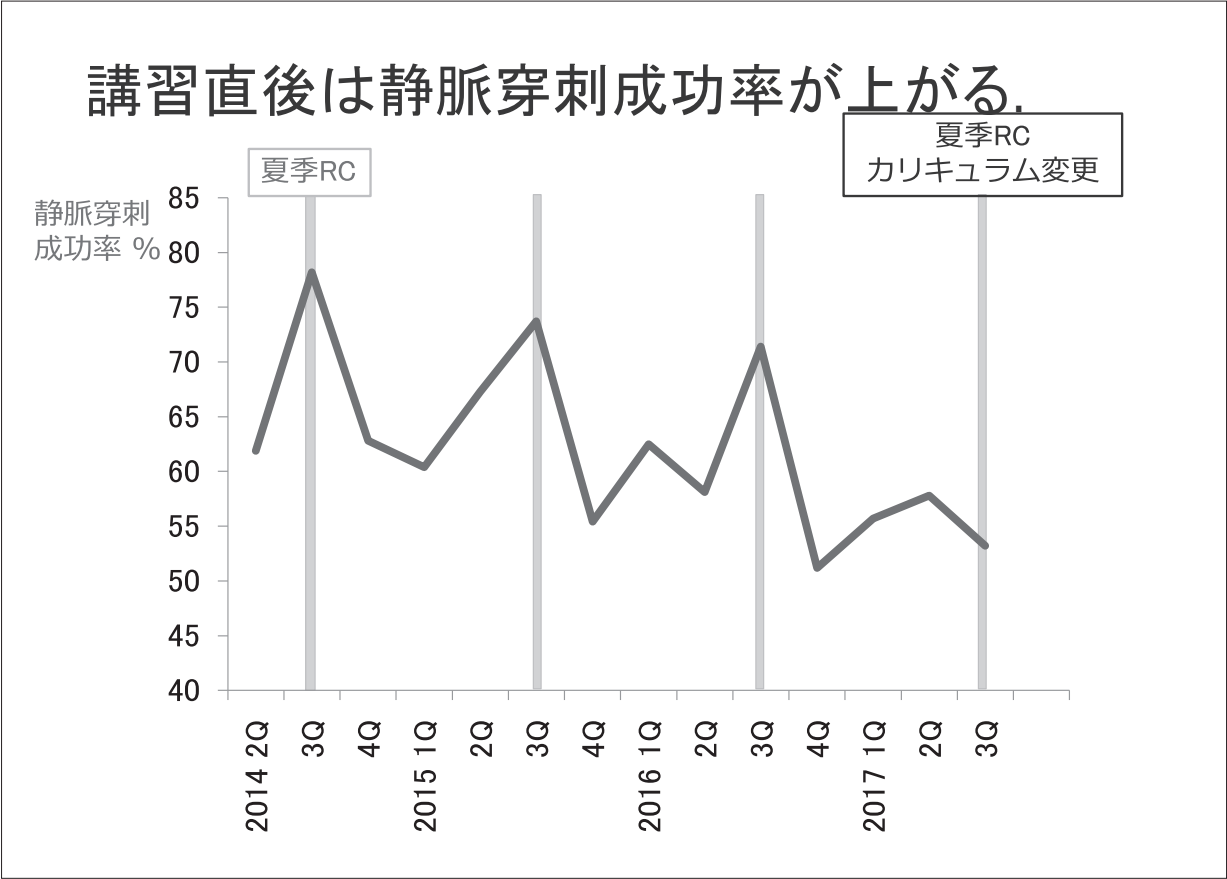
救急救命士の
現場活動に対する
直接的再教育体系が
存在しない。





2014.7～ 救急救命士 夏季リフレッシュコースの開催

実施時期	毎年7月の2週間
対象	横浜市内の救急隊に配属されている 全救急救命士：454人
カリキュラム	1日: 8時間 座学・各種手技確認・ シナリオシミュレーション
参加人数	1回につき16 - 20名 8-9回開催
講師	講師：横浜市MC協議会担当医師 横浜市消防局専任職（救急業務担当）



意見と要望

講師	・ 現場救急救命士の知識と技量を直接確認することができ、救急活動の現状と課題が把握可能. ・ プロトコルや活動要領の解説、MC会議の各種検証結果のフィードバックを含めた方が望ましい.
受講生	・ 他隊救命士と活動し、情報交換や相互評価、意識の共有を行える意義は非常に高い. ・ 定期的なシミュレーションで知識・技量のチェックは必要. 受講頻度は2年に1回程度が希望. ・ 複数部隊で活動する訓練・多数傷病者対応訓練をコースに取り入れてほしい.

結語

- 横浜市では、MC協議会と消防局が連動し市内救急隊配属の全救急救命士に対するリフレッシュコースを2014年から開催している.
- プレテスト・講義・基本手技確認・他隊同僚とのシナリオシミュレーションで構成されたプログラムの満足度は高く、即応的な訓練効果や課題も明らかになった.
- 本コースは ①開催頻度 ②再確認が必要な基本手技 ③外傷・ショック症例のシナリオ ④複数部隊活動・多数傷病者対応訓練の創設 をMC協議会と消防局全体で再検討し、今後も継続予定である.

「MIELS 三重県救急救命統合コース」 の開催と運営における指導救命士の役割 ～指導救命士の自立をめざして～

三重県救急搬送・医療連携協議会

(2017/11/22)

三重県救急搬送・医療連携協議会 メディカルコントロール専門部会委員¹⁾

三重県救急搬送・医療連携協議会 認定指導救命士²⁾

宮崎伊佐夫²⁾ 竹内洋司²⁾ 松田健司²⁾ 富田泰成²⁾ 説田守道¹⁾

三重県における指導救命士の必要性

- ・ 多くのプロトコルに関する伝達講習
- ・ ブラッシュアップ(集合研修による再教育)
- ・ 追加特定行為の認定講習の指導者



MC医師と共に指導側に立つ人材育成が必須

- ・ 平成23年から三重県独自の指導救命士養成を開始

現在60名の指導救命士が在籍

指導救命士の自立への歩み

指導救命士として最低限必要な
指導スキルと知識



生涯学習への取組
(企画、運営、指導)

PDCAサイクルの
構築

若手救命士の
ロールモデル



養成から育成、そして自立へ

MIELS*(三重県救急救命統合コース)の開催

指導救命士自立への第一歩としてMIELSを開催

大目標: 三重県の救命率・社会復帰率の向上



医療機関への実施基準やプロトコルの周知



医師等と救急隊員が同じ課題に取り組む
“楽しい”イベントを開催する



- 三重県救急救命指導者セミナーの一環として予算化
- 三重県内の医療・消防機関への趣旨説明
- 企画・運営のスターティングメンバーに指導救命士を選出

コースコンセプト立案から
指導救命士が中心となる



*Mie Integrated Emergency Life Support

MIELS開催の目的・概要



- 1 医療と消防の連携強化
- 2 標準化された救急医療の知識と技術の向上
- 3 指導救命士の指導者としての自立
- 4 コースから得られた知見を次の教育や救急活動へ反映

重視したコンセプト

- ・ガイドラインやプロトコルの遵守
- ・医療と消防の連携強化
- ・接遇(知識・技術・親切)

日時:平成29年10月15日(日)

場所:三重県消防学校

参加チーム:三重県下の医師、看護師、救急救命士等、6名1組で15チーム

スタッフ:91名(指導救命士35名)及び三重県消防学校救急課程学生81名

内容:内因性・外因性疾患及び多数傷病者への対応をシミュレーション

後援:三重県消防長会

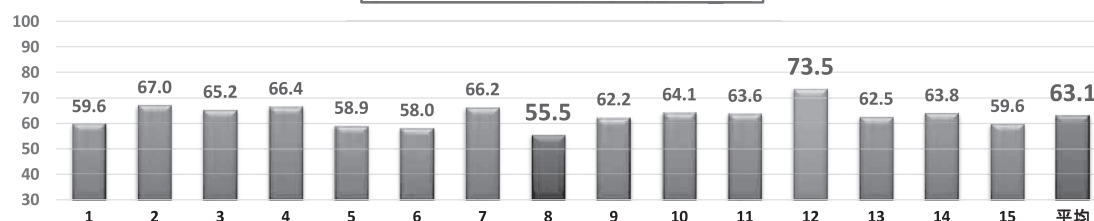
MIELSにおける学習効果を向上させる工夫

1. ブース長に指導救命士
 - 指導救命士が各ブースの企画・運営・管理
 - 指導医師は開催までブーススタッフを指導し、当日は受講者を指導
2. PDCAサイクルの構築が可能なブース運営
 - 本コースが次の教育や救急活動へ反映出来るようなプラン作成をブース長の課題とする
3. 双方向評価を採用
 - 受講者がプロトコルに忠実に活動したかを評価
 - 受講者も各ブースの運営状況进行评估



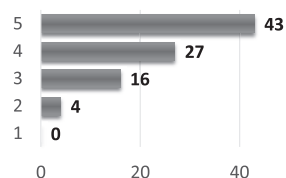
コース開催結果

参加チーム評価結果(得点率%)

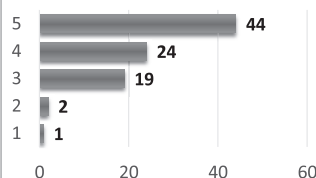


ブース評価結果(5段階評価)

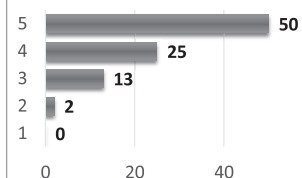
シナリオはプロトコルや搬送実施基準など医学的根拠に基づいた内容であった。



フィードバックや指導は適切で成人教育の概念に沿った内容であった。



シミュレーション実習が、今後の救急や臨床に役に立つ内容であった。



考察と結語

- ・ 指導救命士の自立を目指し、医療機関と消防機関との連携を強化するため、指導救命士が中心となり三重県救急救命統合コース(MIELS)を開発・実施した。
- ・ 現場活動に即した評価項目に対し、受講者の達成率は平均63%であり、これを是正する対策が必要と考えられた。
- ・ 受講者からのコースの評価は良好で、スタッフの達成感も大きかった。
- ・ 三重県救急救命統合コース(MIELS)の開発と実施は、三重県指導救命士の自立のために役立つと考えられる。

地域の医療体制をも検証する 事後検証体制

大阪府泉州地域メディカルコントロール協議会
消防部会事務局

泉州南広域消防本部
警防部警備課 木村 信広

泉州二次医療圏と地域MC

大阪府泉州二次医療圏

- 市町村: 12市町(8市4町)
- 人口: 約90.5万人
- 圏内三次医療機関: 2機関
- 圏内二次医療機関: 31機関
(精神科系7機関含む)

大阪府泉州地域MC協議会

- 会長
りんくう総合医療センター大阪府泉州救命救急センター
副病院長兼救急診療部長 松岡 哲也 先生
- 構成消防本部
泉大津市消防本部 和泉市消防本部
忠岡町消防本部 岸和田市消防本部
貝塚市消防本部 泉州南広域消防本部
(※高石市は堺市消防局管轄)



泉州地域の救急医療体制

面で受ける救急医療体制



特定病院への
搬送一極集中



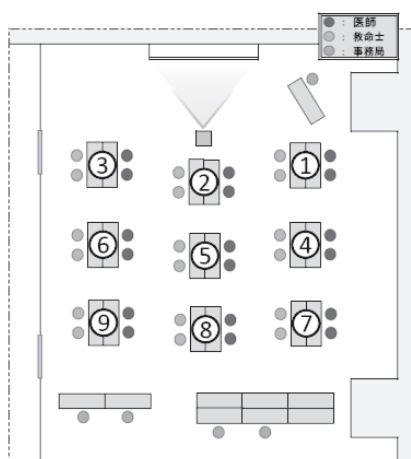
地域全体の
「面」で受ける救急医療

- ✓ 軽症・中等症傷病者の分散搬送
- ✓ 重症傷病者の受け皿の確保

地域全体が連携協力

泉州MCにおける事後検証体制

検証会議



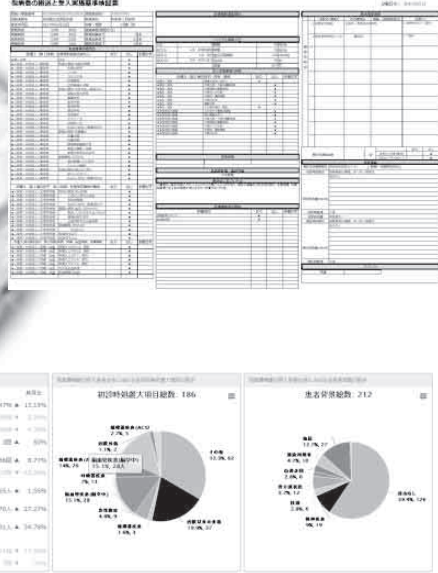
各テーブルで医師と救命士が膝を突き合わせ、Face to Faceで検証作業を進める。

ベストプラクティス2017
平成29年度第2回全国MC協議会連絡会
(平成29年11月22日)

ORION

「傷病者の搬送及び受入れの実施基準」に係る検証

- **個別検証** MC協議会
 - ✓ 「傷病者の搬送と受入実施基準検証票」をORIONから出力
 - ✓ 事後検証で活動検証票と合わせて個別に検証
- **集積データ分析** 救急懇話会
 - ✓ ORIONデータを用いた各種統計分析が可能





ベストプラクティス2017
平成29年度第2回全国MC協議会連絡会
(平成29年11月22日)

事後検証の対象症例

活動検証

- CPA症例(CPR口頭指導含む)
- 外傷症例(DC同時要請指導含む)
- 心肺停止前特定行為症例

実施基準検証

- 搬送困難症例
(医療機関選定10件以上)
- 特定病態症例
(脳卒中・消化管出血・四肢外傷)
- 内因性疾患転送症例

A・B・C評価

隊の活動、観察要領や判断に対する評価

A: 模範的活動
B: 標準的活動
C: 課題有り

D・E評価

「医療機関対応の妥当性」及び「実施基準の妥当性」を検証し、問題を認めた場合はD・E評価を付す。

D: 医療機関の対応に問題有り
E: 実施基準や医療体制に問題有り

救急懇話会からフィードバック

ベストプラクティス2017
平成29年度第2回全国MC協議会連絡会
(平成29年11月22日)

泉州地域の救急医療体制の改善

搬送先選定困難例の推移(第10回泉州救急懇話会資料抜粋)

年度	5病院以上(件数)	10病院以上(件数)	5病院以上(%)	10病院以上(%)
H20年度	702	81	1.89%	0.22%
H21年度	1150	150	3.64%	0.49%
H22年度	1463	195	3.64%	0.49%
H23年度	1500	150	3.64%	0.49%
H24年度	950	100	2.25%	0.22%
H25年度	650	50	1.50%	0.11%
H26年度	500	20	1.11%	0.03%
H27年度	350	10	0.78%	0.03%
H28年度	258	13	0.63%	0.03%

発表は以上です。ご清聴ありがとうございました。

大阪府泉州地域MC協議会消防部会事務局
泉州南広域消防本部警防部警備課 木村信広

救急ワークステーション機能を活かした救急救命士の教育体制

～さらなる救命技術の向上を目指して～

大阪府堺地域メディカルコントロール協議会

- ・消防局：堺市消防局 1消防局1MC体制
- ・人口総数：89万5,829人
- ・救急隊数：21隊（特別救急隊1隊、乗換隊2隊含む）
- ・配置救急救命士数：92名（救急救命士総数128名）

（平成29年4月1日現在）

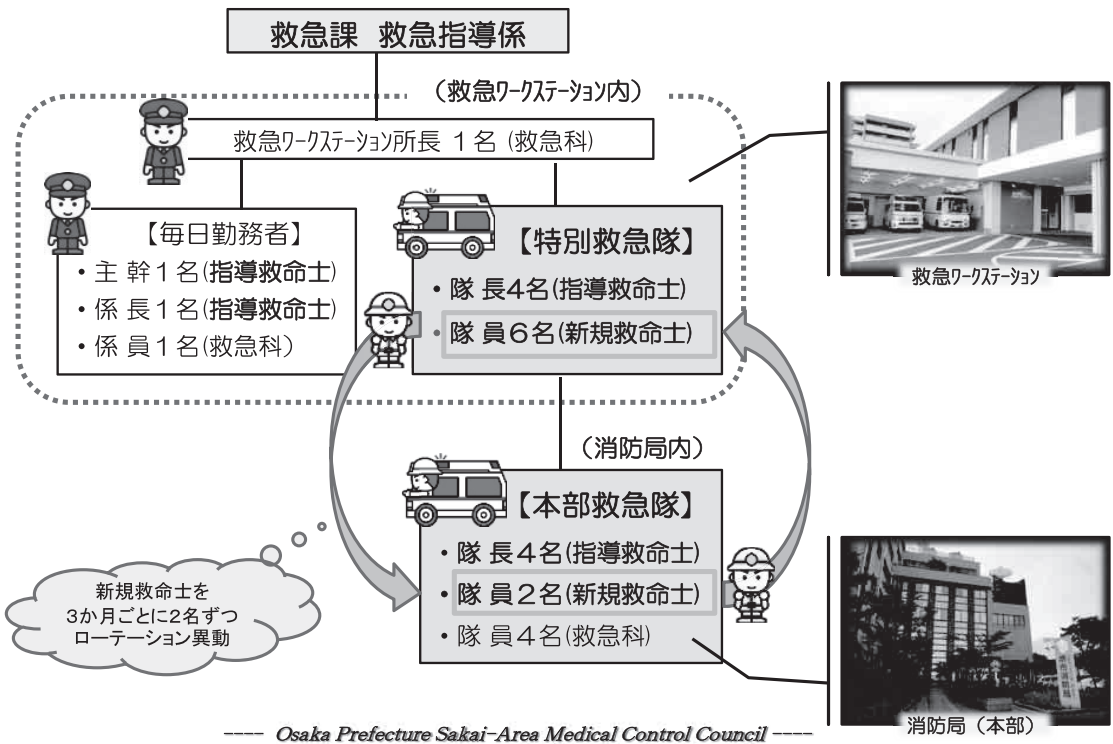


大阪府堺地域メディカルコントロール協議会

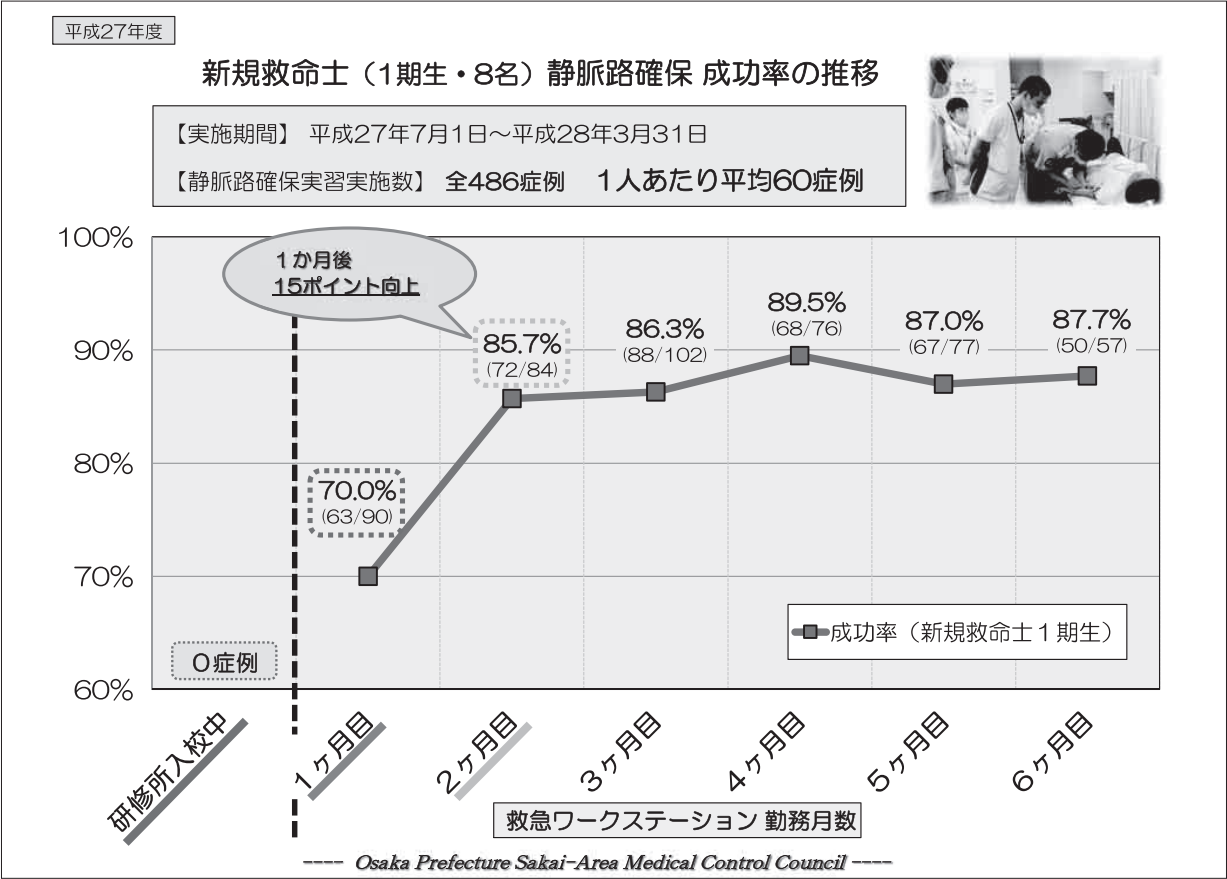
堺市消防局 堀 英 治

Osaka Prefecture Sakai-Area Medical Control Council

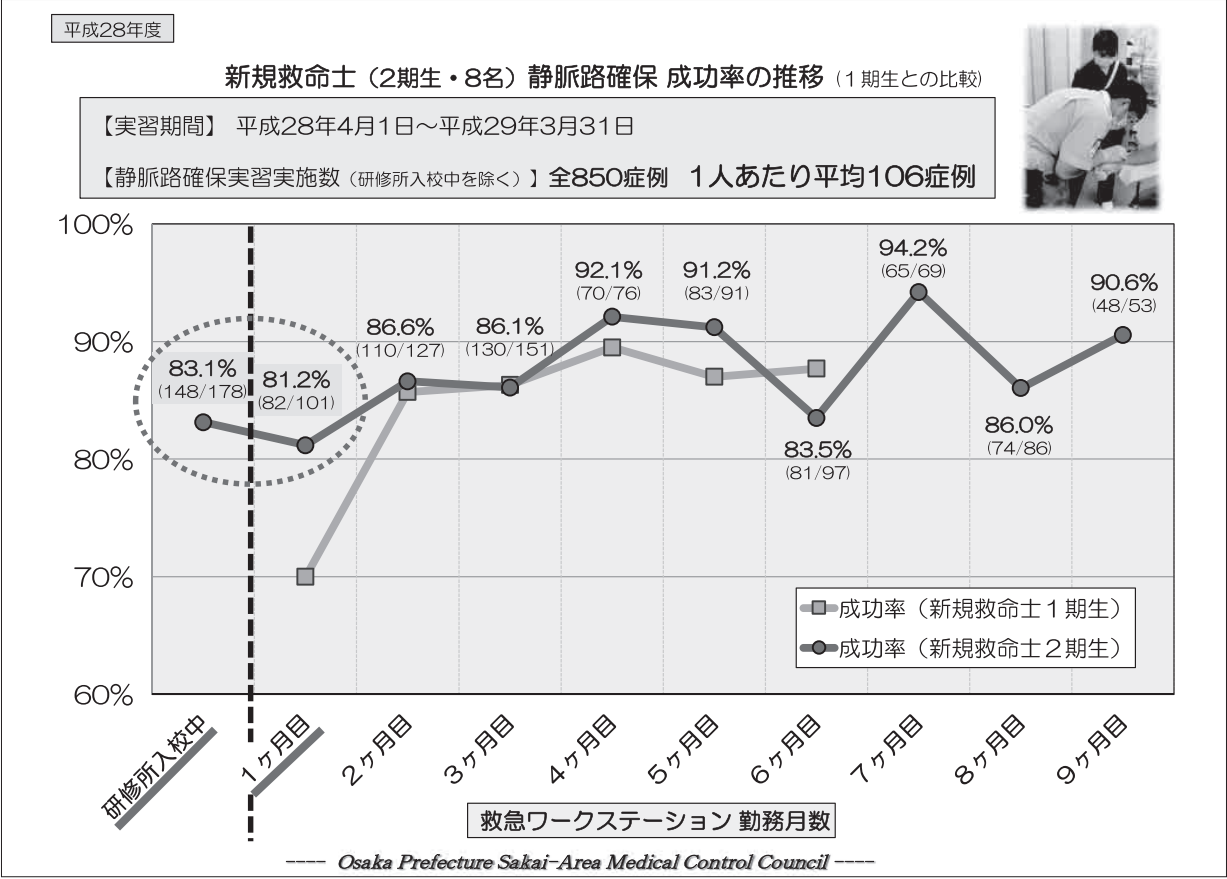
【教育体制の確立Ⅰ】 人事配置戦略（救急ワークステーションに指導救命士と新規救命士を配置）



発表演題 5



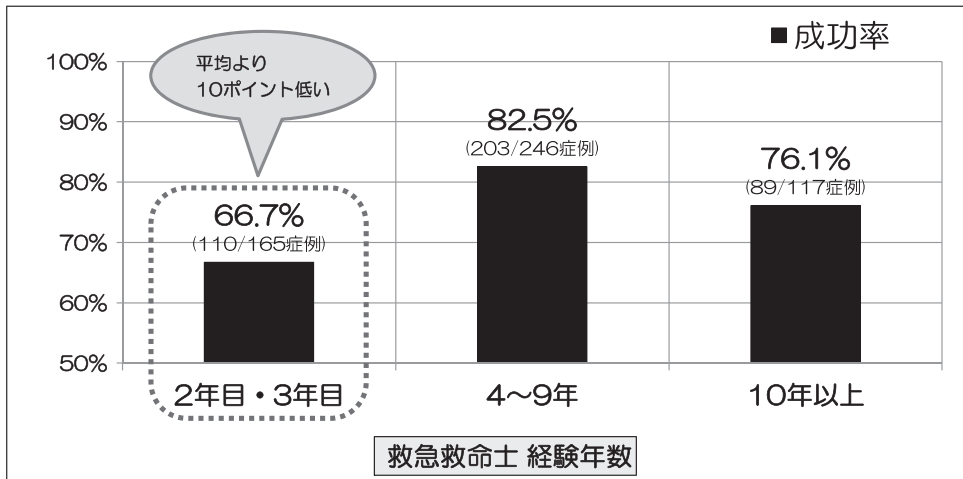
発表演題 5



ベテラン救命士の静脈路確保技術（比較）

就業中(配置)救急救命士 再教育病院実習 静脈路確保 成功率

【実施時期・実習病院】平成27年度（堺市立総合医療センター）
 【実習者数】76名
 【静脈路確保実習実施数】全528症例 1人あたり平均6.9症例
 【成功率】平均76.1%



----- Osaka Prefecture Sakai-Area Medical Control Council -----

【教育体制の確立Ⅱ】

新規救命士以外の救急救命士に対する教育体制（工夫）



1. 救急救命士資格を有して入局してきた職員への教育

【就業前教育】入局から1～2年後・・・

27日間の集中教育（計216時間）⇒ 救急ワークショップ 56時間 + 堺市立総合医療センター 160時間

2. 救急業務に従事していない救急救命士への再教育（総務課、予防課員など）

【再教育病院実習】

本来業務を優先しつつ、再教育病院実習を実施

⇒ 救急ワークショップ + 堺市立総合医療センター = 最大64時間/2年（努力義務）

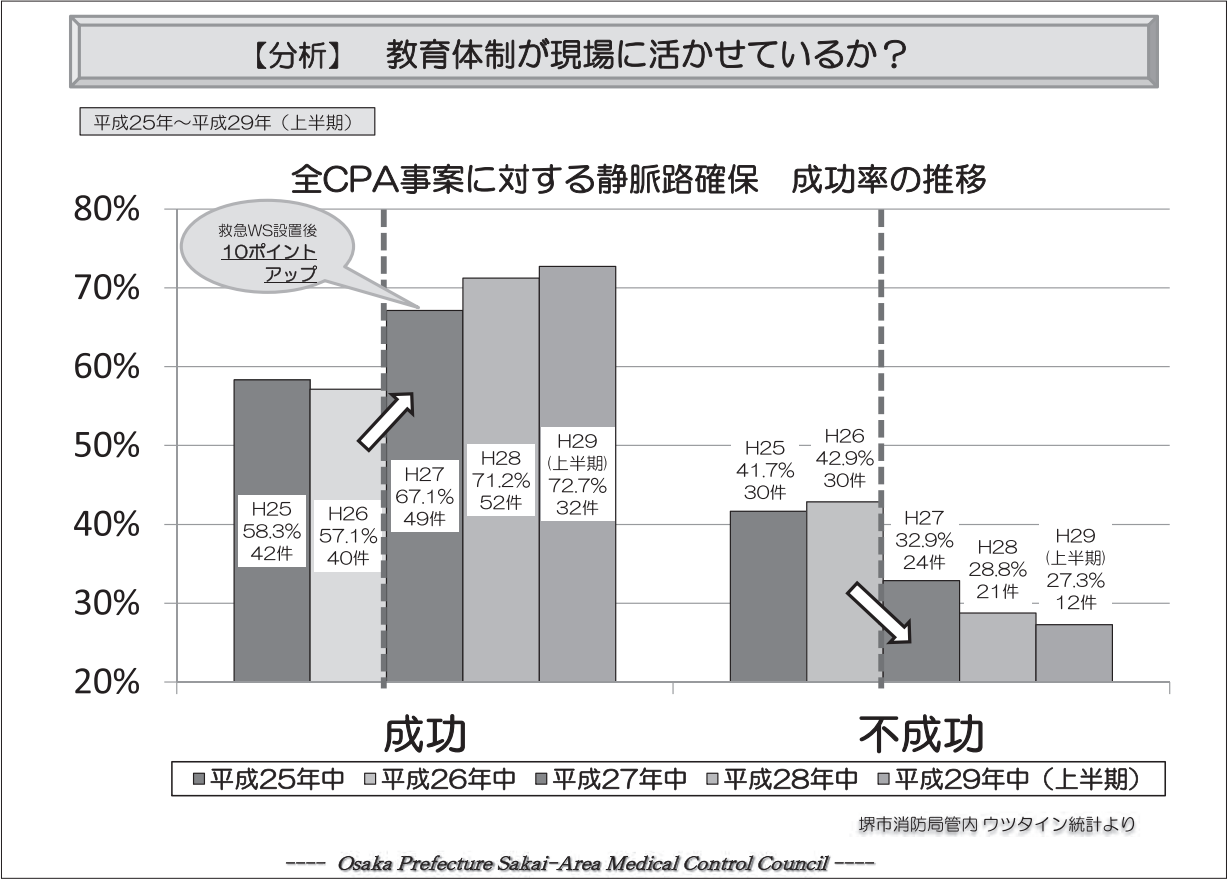


メリット

☞ MC医師・看護師のほか、救急ワークショップの指導救命士により教育

- ・ 個々のレベルに合わせた教育（病院交渉要領、プロトコルの変更点など）
- ・ 実習前に、毎回、指導救命士から特定行為手技などのチェックを行った後に実習開始
- ・ 実習中も、必要に応じて指導救命士が院内へ付き添いサポート

----- Osaka Prefecture Sakai-Area Medical Control Council -----



まとめ

救急ワークステーションを活用して、

1. 新規救命士に一定期間、集中した静脈路確保実習をさせることで、成功率は85%以上に達した。
2. 救急業務を離れた救急救命士に病院実習をさせることで、技能維持が可能となった。
3. その結果、現場活動中の静脈路確保の成功率が年々、高くなった。
4. 医療機関に集中して詰め、実習を受けさせることで、医療人としての体験が豊かになり、顔の見える形でメディカルコントロールを受けることができるようになった。

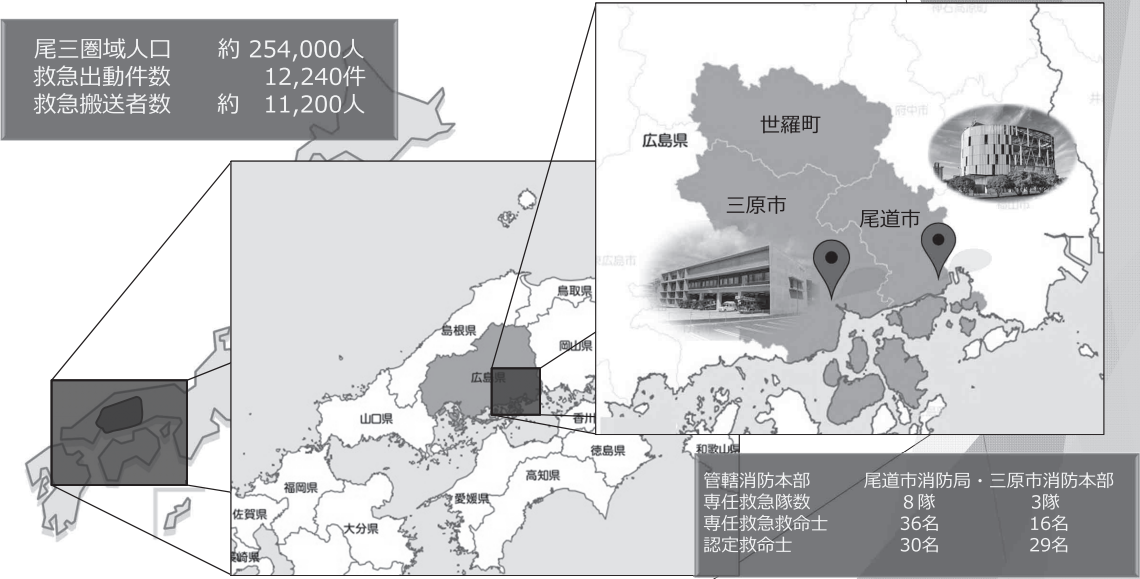
大阪府堺地域メディカルコントロール協議会 【堺市消防局】
----- Osaka Prefecture Sakai-Area Medical Control Council -----

MC検証医師の個人携帯電話での オンラインメディカルコントロール その実態と効果

広島県尾三圏域MC協議会
尾道市消防局 因島消防署
指導救命士 大畠 司



広島県尾三圏域MC協議会 地域の概要



医師個人携帯電話MCのイメージ

当圏域 5 名の検証医師の尽力により
通年、昼夜を問わず救急隊からの
電話に対応する体制がとられている。

広島県尾三圏域
Hiroshimaken Bisan area Medical Control Council / Onomichi Fire Department Tsukasa Ohata 2017.11.22

尾三圏域のオンラインMCの状況（1）

特定行為及び救急現場から判断困難時の相談連絡の状況

特定行為指示要請以外	気管挿管＋静脈路＋薬剤	気管挿管＋静脈路	静脈路＋薬剤	気管挿管のみ	静脈路のみ	ブドウ糖溶液投与	C P A 前輸液
63	47	34	34	23	17	4	3

特定行為指示要請以外の電話連絡
63件／225件（28%）

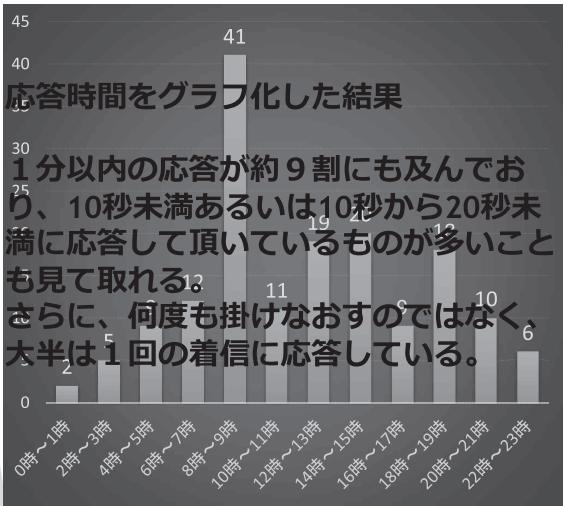
心肺停止症例での
特定行為に関する
医師による具体的指示
155件／225件
(69%)

心肺機能停止前輸液
ブドウ糖溶液投与指示
7件／225件（3%）

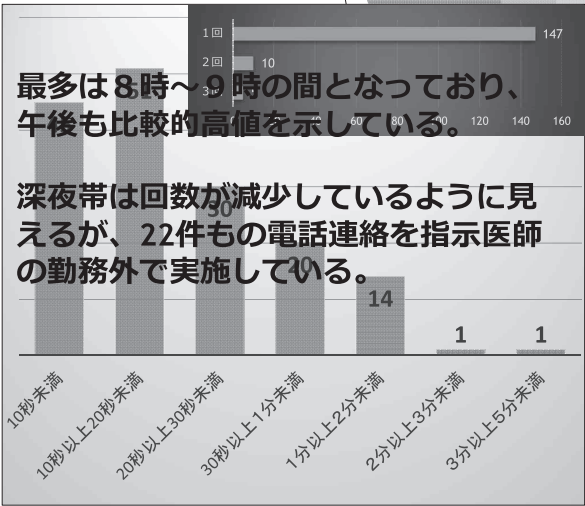
広島県尾三圏域
Hiroshimaken Bisan area Medical Control Council / Onomichi Fire Department Tsukasa Ohata 2017.11.22

尾三圏域のオンラインMCの状況（2）

心肺停止症例指示要請時間帯別一覧



応答時間別一覧



広島県尾三圏域
COORONOMICHI

Hiroshimaken Bisan area Medical Control Council / Onomichi Fire Department Tsukasa Ohata 2017.11.22

オンラインMCの効果

- ✓ 検証医師に直接コンタクトをとるための時間短縮
責任の明確化
- ✓ 救急救命士による特定行為の具体的指示要請
判断困難事案に対する指導・助言
- ✓ 症例検討会での検証に関与する医師と指示医師の同一化

広島県尾三圏域
COORONOMICHI

Hiroshimaken Bisan area Medical Control Council / Onomichi Fire Department Tsukasa Ohata 2017.11.22

オンラインMCの課題

- ① 指示要請、助言のための深夜帯の負担
- ② 検証医師（指示医師）の世代交代による体制継続の可否
- ③ 検証医師と搬送先医療機関の受け入れ医師の立場の明確化

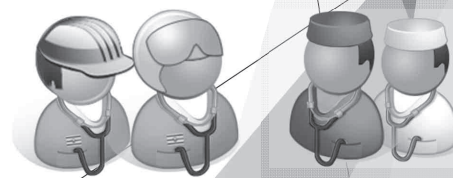


Hiroshimaken Bisan area Medical Control Council / Onomichi Fire Department Tsukasa Ohata 2017.11.22

結語

救命処置に関する特定行為の具体的指示要請だけでなく、救急救命士に限らず救急隊が現場で判断に迷ったケースで常に信頼関係が構築された医師とオンラインで結ばれることで、過誤の防止や判断に関して心強いものであること。

この取り組みが、救急隊の活動をより充実させ、さらに当圏域に暮らす人々に対する地域医療の充実の一翼となれば幸いである。



Hiroshimaken Bisan area Medical Control Council / Onomichi Fire Department Tsukasa Ohata 2017.11.22

平成29年度第2回 全国救急業務メディカルコントロール協議会
連絡会(平成29年10月22日:千葉)

 通信指令業務における覚知から3分間の通信内容検
証法及び口頭指導技術発表会による評価法の確立

北九州地域救急業務メディカルコントロール協議会 会長
北九州市立八幡病院 副院長・救命救急センター長

伊藤 重彦

© SHIGEHICO ITO

Kitakyushu City Yahata Hospital

はじめに

北九州地域MC協議会では、通信指令員の口頭指導技術の標準化と質の向上を目指し、以下の取組を行ってきた。
今回、通信指令課とMC医師による口頭指導の検証・評価方法及び口頭技術発表会の概要を紹介する。

- ①覚知から3分間の口頭指導内容を標準化
- ②指令課職員とMC医師による通信内容の検証・評価
- ③地域消防本部が参加する口頭指導技術発表会の開催

なお、発表内容の一部は、救急振興財団「救急に関する調査研究事業」における平成27年度「通信指令の機能強化―効果的な口頭指導の研究」の成果物である。
※報告書全文:市立八幡病院救命救急センターHP→研究業績よりダウンロード可。

© SHIGEHICO ITO

Kitakyushu City Yahata Hospital

👉 標準化が可能な覚知から3分間の口頭指導手順

☆CPA対応ゾーン

覚知から3分間の時間枠

- ・出勤先住所の確認、救急隊出勤指示
- ・通報者が急病者本人かどうか確認

最初の1分
(P1)

- ・CPA判断(意識と呼吸のみ確認)
- ・PA連携出勤の判断と出勤指示

次の1分
(P2)

- ・CPA → AEDの準備、心肺蘇生指導
- ・非CPA → 症候インタビューの開始

最後の1分
(P3)

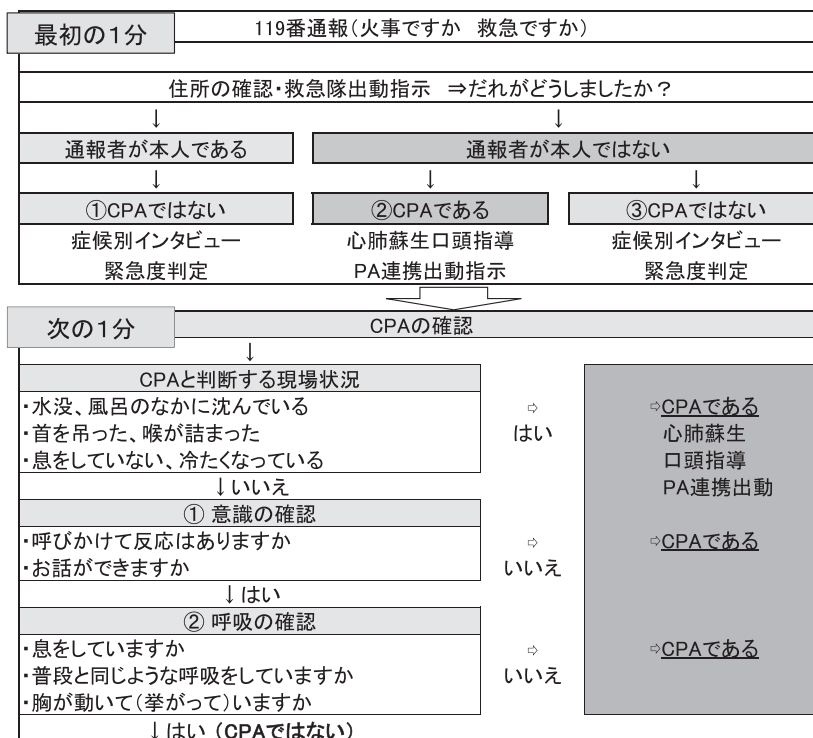
☆症候別対応ゾーン

- ・症候からの緊急度判定と搬送先の選定
- ・救急隊の現場活動に必要な情報伝達

© SHIGEHICO ITO

Kitakyushu City Yahata Hospital

👉 標準化した覚知から3分間の時間枠; CPA対応ゾーン (P1とP2)



最初の1分(P1)

- 通報者が通話可能な本人かどうか判断
- ・CPA早期確認
 - ・PA連携出勤判断

次の1分(P2)

- 意識・呼吸の確認

- ① 意識の確認
↓
② 呼吸の確認

※通報者が観察しやすい意識を最初に確認 → 次に呼吸を確認する

👉 指令課職員とMC医師合同の検証・評価会議 —通信テープを聴取しながらの技術評価(1)



© SHIGEHICO ITO

場所:各消防本部
時間:約90分(勤務時間内)
事案:3事案(消防本部で抽出)

☆準備

- ①通信内容の生テープ
- ②通信内容の文字起こし
- ※通信内容の時間経過が1分毎に
判るような記述にする
- ③病院搬入後の経過と転帰の確認

☆検証・評価

覚知から3分間の標準化項目に準じた
技術チェックと検証・評価

Kitakyushu City Yahata Hospital

👉 指令課職員とMC医師合同の検証・評価会議(2) —検証・評価方法のメリット

◎通信テープの聴取

通報者の慌てる様子・周囲の混乱の様子・指導への従命
状況などをMC医師が確認した上で評価、検証ができる。

◎当事者の参加

通報者から聴取した内容や指導手順において、指導根拠
や問題点・課題を当事者に直接確認し、議論できる。

◎通信テープ内容の文字起こし

文字起こしした通信内容を、1分ごとの時間枠に分けて、
聴取すべき、指導すべき項目が実践できたか確認できる。

© SHIGEHICO ITO

Kitakyushu City Yahata Hospital

👉 北九州市消防局主催の指令課口頭指導技術発表会



模擬通報者と傷病者(A)



通信指令員(B)

© SHIGEHICO ITO

◎ 年1回開催

- ・北九州地域MC協議会6消防本部の指令課発表
- ・発表者の経験年数は、おおむね1～2年目
- ・地域MC医師及び全国の関係者が参加

◎ 発表形式

- ・模擬通報者と傷病者(A)と通信指令員(B)が、携帯、無線等通じて、覚知から通信遮断までのやりとりを同じステージ上で行う
- ・各消防本部でそれぞれのシナリオ作成

◎ 検証・評価

- ・各発表ごとに口頭指導技術の内容評価
- ・3分間の標準化項目に添ったMC医師の評価
- ・外部見学者、関係者からの意見・評価

Kitakyushu City Yahata Hospital

👉 口頭指導の質向上のために必要な具体的技術

- 優先すべき情報を、うまく引き出せるか
※聞き上手で、必要な回答へと誘導できる
- CPA(疑い)を、早期に判断できるか
※CPAを疑う情報を迅速かつ確実に収集できる
- わかりやすい、落ち着いた指導ができるか
※慌てる通報者が落ち着かせ、指示・指導内容が十分伝わるようにできる
- 緊急度にあわせた、適切な指導ができるか
※症候インタビューのなかで、CPA移行の可能性が高い[赤]を察知できる



© SHIGEHICO ITO

Kitakyushu City Yahata Hospital

MC関係講習見直しにおける取り組みについて

北見地区消防組合消防本部 竹口悦史 今野和弘

- ✓ 現状
救急救命士の処置拡大よりMC関係教育が増加し、各消防本部が希望する講習回数の実施が不可能になることを踏まえ、北海道救急業務高度化推進協議会において優先順位を検討
- ✓ 新たな対策
気管挿管再認定講習を「地方開催」の導入
～北海道6地域MC単位毎に開催
- ✓ 対策の効果
 - ・新たな追加講習への対応、指導医師の負担軽減、経費削減
 - ・講師を指導救命士、消防学校教官経験の救急救命士の他に、過去に3回以上の気管挿管再講習を受講した救急救命士を「講師」として、再講習受講扱いとするインセンティブを設け効率化を図るとともに、「救急救命士が救急救命士を指導する」体制を構築する
 - ・圏域内での共通認識の徹底・関係性の構築が強く



『救急高度化促進を地域で目指して』

秋田県MC協議会秋田周辺地域協議会

【はじめに】

- 近年、地域MC協議会救急活動の検証で、各消防本部に対して同様な指摘事項が散見された。
- 各消防本部で救急に携わる職員の教育の必要性は理解しているが、他の訓練や日常の業務に追われ、訓練時間の確保することが困難だとする意見が一部の消防本部から聞かれた。
- 救急に携わる職員の教育に消防本部間で差がある。

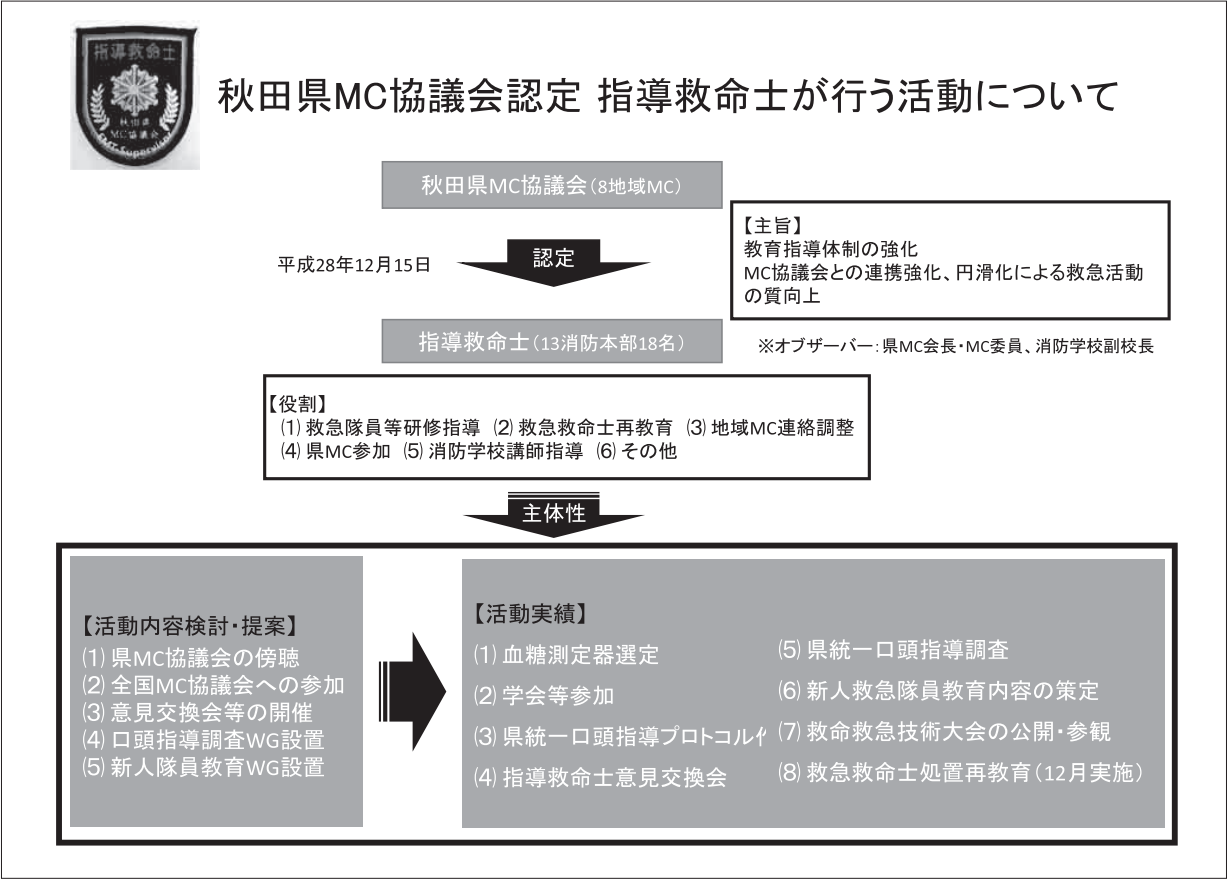
【取り組み】

- 平成26年度から、各消防本部の指導救命士と指導的立場の救命士が中心となり、消防本部の枠を越えた訓練大会(集合教育)の協同開催
 - ・指導救命士と指導的立場の救命士による訓練大会の目標設定を含む企画立案
 - ・新任救急救命士の訓練に対するモチベーションの向上
 - ・訓練技術大会の開催による、各消防本部の訓練環境整備
 - ・訓練大会当日、地域MC指導医師による企画立案、指導技法を含むフィードバック
- 各消防本部で行っている研修会で交流を図り、地域全体で研修の場を増設

【結果】

- 救急救命士が地域研修の企画運営を経験することにより、各消防本部内での訓練の充実が図ることが可能である。
- 人員や資機材の制限により、消防本部単体ではできない訓練を実施でき、地域MCで行うため、プロトコル等の再確認や習熟の場となっている。
- 地域の救急高度化が促進される。

応募演題 3



応募演題 4

質の高い救急活動を目指した救急救命士再教育病院実習の試み ～病態を考える救急救命士を目指して～

能代山本広域市町村圏組合消防本部

これまでの
実習病院の担当者が計画した実習スケジュールで、各救命士各々が目標を定め特定行為手技の確認や手術場の見学、救急外来でのバイタル測定等の対応を行っていた。しかし、実習する救命士によって実習姿勢や実習数などに大きな差が出ることが問題となっていた。

創意工夫
質の高い救急活動を目指すことを目的に、再教育病院実習を実施している病院に救急搬送される全症例について、再教育病院実習中の救命士が活動救急隊の観察状況や病院選択理由などの情報を収集し一覧表を作成。引き続き病院実習の担当医師が診断結果や予後を調査し、救急外来看護師と実習生（救急救命士）を含めて検討する機会を設けた。

検討会の内容

- ・ 医師、看護師への電話での情報伝達内容について
- ・ 救急隊の観察項目・判断内容と院内の検査結果・診断結果について
- ・ 救急隊の判断と院内の診断結果が異なる場合の改善点などについて

検討会の効果

- ・ 医師から直接フィードバックを受けることができる。
- ・ 現場での情報収集の質が向上した。病態鑑別を意識した活動を行う救急隊が増えた。
- ・ 医師看護師とより緊密な関係を構築することが出来た。
- ・ ポイントを抑えて病院連絡できるようになり、病院連絡に要する時間が短くなったと感じる。など

今後の展望

- ・ 平成28年度の再教育病院実習で158例の症例検証を行ったが、継続的に取り組んでいく
- ・ 今後も地域の実情に合わせて、創意工夫しより実のある教育体制の構築を目指す

応募演題 5

通信指令員に対する山形県版教育研修システム

- ◆ 救急業務における通信指令員の重要性
通信指令員は救急業務に直接従事することはないが、救急隊到着よりも早い段階で「救命の連鎖」にかかわることができる唯一の消防職員であり、救急業務において重要な役割を担う
- ◆ 本県における通信指令員の教育体制の現状
通信指令員の教育レベルについては消防本部ごとにばらつきがあり、特に小規模な消防本部では研修体制（救急に係る教育研修、口頭指導のシミュレーション実習や事後検証など）を構築することが困難なところが多い

本県での取り組み

県MCIに通信指令員の教育システム検討ワーキンググループを設置（H25年度～）

- 各地域の医師、通信指令員、救急救命士を委員として年2回開催
- 県版教育テキストの作成、教育研修会のカリキュラム作成、事後検証方法などを検討

通信指令員の救急に係る教育テキスト【山形県版】を作成（H27年度～）

- 消防庁が作成した教育テキストに本県の実情※を加味した山形県版の教育テキストを作成
- 消防本部での教育研修や県MC主催の教育研修会に活用

※ ドクヘリ要請基準、救急告示病院一覧など

通信指令業務に関する教育研修会を開催（H28年度～）
《県内指令業務従事者430名のうち160名を対象》

- 講義編を全県対象に上期と下期に開催（計2回）
- 実習編を県内4地域で上期と下期に各2回開催（計8回）

【講義編の内容】
医学的な基礎知識や緊急度・重症度の識別、聴取内容から病態の判断について医師と指導救命士が講義

【実習編の内容】
コミュニケーションスキル向上トレーニング、実例を基にした口頭指導のシミュレーション訓練を実施し、医師、救急救命士、指導的立場の通信指令員が講評

期待できる効果

- ◎県単位で標準化した教育体制を構築することにより、通信指令員の技術向上と消防本部間の教育格差が解消されるとともに、口頭指導実施率とバイスタンダーCPR実施率の向上が図られ、救命率（生存率、社会復帰率）の向上が期待できる。
- ◎県MCで作成した教育研修カリキュラムをベースに、将来的には消防学校における通信指令員の教育研修が可能

応募演題 6

ドクターカーの運用について

栃木県救急・災害医療運営協議会病院前救護体制検討部会 小山・芳賀地域分科会
芳賀地区広域行政事務組合 消防本部 天川 喬

要請
要請方法
地域住民から直接は出せず、119番通報時あるいは救急隊到着時に消防本部に基づき消防から要請。

要請基準

要請基準	消防本部要請	救急隊要請
自覚のあるCPA	重篤な増悪	
重症外傷	重篤なAMISなどの傷重不全症例	
40歳以上の胸痛、呼吸困難	肺塞栓に疑念あり、血圧低下や呼吸状態が悪化する恐れがある場合	
会話が不可能な呼吸困難（H27年度2月10日付）	多発骨折あり、すべての患部を搬送完了までに時間がかかると見られる場合	
おおよそ10分以上の多発骨折者	搬送中の事故や搬出に時間がかかるもの	搬送後のCPAや心拍再開困難
搬送中の事故や搬出に時間がかかると思われるもの	搬送後のCPAや心拍再開困難	その他、救急救命士が必要と判断した場合

出動方式、出動範囲など

出動方式
①ドッキング方式
②現場へ向かう方式

出動範囲
原則、小山・芳賀地域分科会に属する消防本部となるが、大規模災害等特殊な場合は、近隣地域に限り出動する場合がある。

運用時間
平日日勤帯（8時30分から17時15分まで）のみとし、休日夜間帯でも出動可能時は出動。

ドクターカー出動件数推移

年度	年別出動件数
H22	27
H23	38
H24	40
H25	40
H26	32
H27	34
H28	30

ドクターカー要請別件数

H27年度要請別件数
救急隊要請 (CPA、呼吸、胸痛、外傷、その他)
消防本部要請 (CPA、呼吸、胸痛、外傷、その他)

H28年度要請別件数
救急隊要請 (CPA、呼吸、胸痛、外傷、その他)
消防本部要請 (CPA、呼吸、胸痛、外傷、その他)

ドクターカー必要件数比較

項目	必要件数
ドクターカー運用時間内	86
ドクターカー運用時間外	617

課題点

- ・24時間運用にむけ、マンパワーの確保が急務
- ・栃木県内で運用しているドクターヘリ、ドクターカー、防災ヘリとの連携
- ・救命率向上にむけ、要請基準の見直し

応募演題 7

救急救命士がメインとなり医師と行うメディカルコントロール
- 団塊の世代の大量退職が当分科会に与える影響 -

小山・芳賀地域分科会(栃木県)

平成20年に当地域MCに属する3消防本部の救急救命士が、事務局及び各ワーキンググループ（以下WG）の実行委員、並びに県外1消防本部の救急救命士及び当地域MCを担当する救命救急センター医師がオブザーバーとして構成される分科会が発足し9年が経つ。
当初の立上げメンバーは、経験豊富な現在でいう指導救命士であったため特に問題もなく運営が出来ていたが、団塊の世代の大量退職の影響により、経験の浅い実行委員が増え様々な問題点が出てきている。

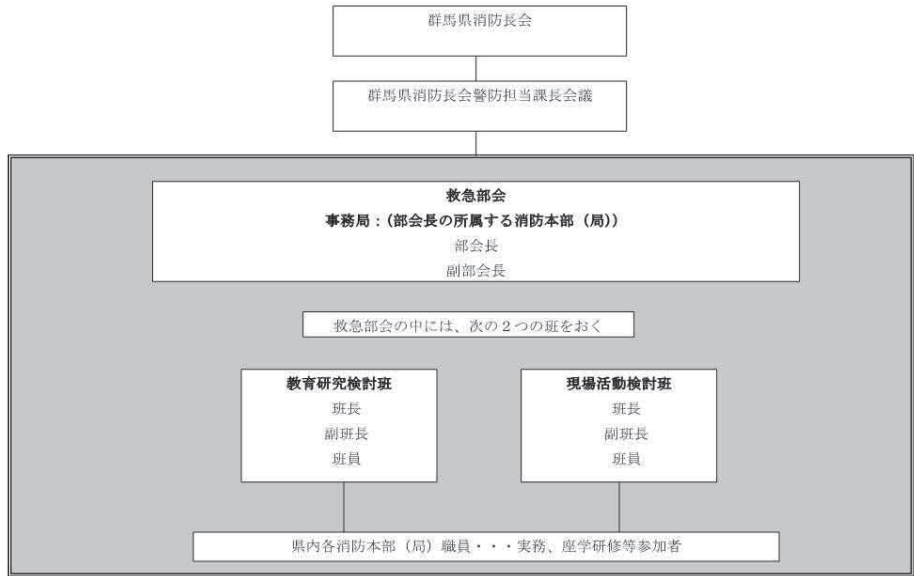
- 1 事務局の問題点：運営には消防の総務業務にもある程度精通している必要があるが、消防歴の浅い救命士には知識不足が見られることがあった。そのため、元事務局の各救命士がスーパーバイザーとして現事務局に助言を行い、運営をバックアップすることにより解決した。
- 2 WGの問題点：救急現場でアドレナリン投与を行える認定資格を与える薬剤投与連携確認WGは、当初、各消防の乗務する救命士の数が違うため、隊連携を主眼として評価していた。しかし、現在は救命士の数も充実し隊連携よりも基本的な観察、判断、手技及び病院連絡の評価が必要になってきた。
そのため、改善が必要なのだが「今まで上手くいっていたから。」、「先輩たちが作り上げたものだから。」という考えにより見直しが出来ていない。
現在の救急隊にどのような問題点があるかを消防側、受入病院側から調査し、定期的な見直しをしていくことで解決できると思われるが、それには各WG委員が考え方を変える必要がある。

今後、さらに経験の浅い事務局及び各WG委員となり問題が出てくると思われるが、過去にとらわれず常にバージョンアップしていかななくてはならない。

応募演題 8

群馬県消防長会救急部会組織図(平成26年4月17日施行)

群馬県消防長会警防担当課長会議救急部会の組織図



県内11の消防本部(局)が、組織間の垣根を越え、救急隊員主導型の教育体制を構築しています



Paramedic section in Fire Chief Committee of Gunma Prefecture

指導救命士部会の設置と役割について



経緯

- ・平成29年4月 指導救命士の認定を開始

今後は、県下で救急隊員等に対し、指導救命士が指導する際の最低限かつ一定水準の担保が保障された統一的な指導指針等の策定が必要であると考えた。

今後の対応

- ・平成29年度第1回埼玉県MC協議会で、救急隊員等に対し指導する際の指導指針等の中身を検討する「指導救命士部会」の設置の承認を得て、平成30年度から統一的な指導指針の下、埼玉県の教育体制を整えていく。

埼玉県救急業務高度化推進協議会

指導救命士によるプロトコール研修会

埼玉県西部第一地域メディカルコントロール協議会

1 創意工夫

救急活動プロトコールを実践するための研修会を、指導救命士が中心となった教育と位置づけ、企画・運営から指導までを行う。

2 有効性

受講者となる各救命士の技量や経験を把握しており、丁寧な指導が可能となる。

3 実現性

研修の企画・計画段階から指導医師との連携を図り、指導や助言を受けることにより、医学的監修を得られる。

4 アピールポイント

平成18年から本研修会は実施しており、全ての救命士が受講している。そのため、医師との綿密な信頼関係の構築ができている事により実施可能となる。

埼玉県東部地域における 救急コーディネーター研修制度について

概 要

医療機関と消防機関の連携強化のために地域MCの拠点病院である救命救急センターに各消防本部から救急救命士を交代で救急コーディネーター研修として職員を派遣している

効 果

- 救急コーディネーター研修の一環として、就業前実習等の研修カリキュラムを作成し、研修をコーディネートすることにより、指導的立場の救急救命士として自らのスキルアップにつながっている
- 医療機関と消防機関のパイプ役となることで相互理解が深まり、「顔の見える関係」の構築に貢献している
- 救命救急センターへの搬送事案や事後検証などのフィードバックを各消防本部に迅速に伝達が可能となり、MCの目的である病院前救護の質向上に貢献している

東葛飾南部地域救急業務メディカルコントロール協議会における プレホスピタルケアの充実に向けた取り組みについて

東葛飾南部地域救急業務メディカルコントロール協議会（以下「地域MC協議会」という。）は千葉県北西部に位置し、船橋市、八千代市、習志野市、鎌ケ谷市の4市で構成された協議会である。

当地域では救命率の向上を目指しプレホスピタルケアの充実を図る目的で、救急隊員の教育とバイスタンダー育成の統一化を図った取り組みを行っているのでこれについて紹介する。

はじめに救急隊員の教育については、教育の柱としてグローバルスタンダードであるアメリカ心臓協会（AHA）のBLSと、外傷傷病者に対するJPTECを、救急救命士を含む救急隊員全員に受講させ、救急隊員が行う応急処置の標準化を図った。その中から数多くのインストラクターを養成し、継続的な教育に当たっている。また薬剤認定救急救命士の認定条件としてAHAのACLSコースの受講を必須としている。

さらに救急救命士は、地域MC協議会で定めた各種特定行為等のプロトコールに沿った迅速・確実な救急活動と法令違反及び事故防止を目的に、医師の監修による統一されたプロトコール確認実技試験と筆記試験を毎年1回実施している。救急救命士を含む救急隊員の教育については平成27年度より地域MC協議会認定の指導救命士が教育のキーパーソンとなり精力的な活動を行っている。

また、バイスタンダーの育成については、市民に対する応急手当普及啓発講習にPWW（practice while watching）形式を取り入れた救命講習用スライドを、地域MC協議会構成市で共同作成し、地域MC協議会の承認を得て救命講習の統一を図りバイスタンダーの育成に取り組んできた。

地域MC協議会の救命効果（目撃のある心源性心臓停止のうち初期心電図波形がVF及び無脈性VT）については、平成27年中の1か月後の生存率が73.0%（全国データ37.3%）、社会復帰率は45.9%（全国データ27.0%）、平成28年中の1か月後の生存率が40.5%、社会復帰率は35.7%と全国平均値を上回るデータであった。

これらの取り組みの功績が評価され、平成27年度救急医療功労者千葉県知事表彰を受賞した。



八千代市消防本部 警防課
若月 雅仁

(岐阜県) 飛騨地域における意識障害傷病者対応の標準化に向けた地域MC協議会等との連携について

・主旨

- ・意識障害傷病者対応の標準化に向けて、地域の有志活動から、地域MC協議会としての組織的活動への展開と展望

・目的

- ・組織設立による効率化と組織的活動による効果向上

・組織

飛騨地域MC協議会 下部組織（PCEC部会）
（高山赤十字病院 医師1名、飛騨地域3消防本部 3名）

・経緯

- ・H24～ 有志によるPCEC講習会（2回／年を継続開催）
- ・H27～ 高山市消防本部救急隊員教育に反映
- ・H28～ 飛騨地域MC協議会PCEC部会設立
※講習会 計12回（受講117名）

・展望

- ・（H30～）地域3消防本部への意識障害教育（3ヵ年計画）
- ・講習会継続開催及び内因性傷病者対応講習への発展
- ・本部活動基準の策定や岐阜県プロトコル化への提言

(岐阜県) 公的診療所医師との救急連絡・指示体制について

➤はじめに

高山市消防本部は、全国の単独消防で最も広い面積を管轄し、管内の荘川町、白川村からの高山市救急病院への搬送には平均40分程度要することから、地元診療所との連携を行っている。

➤連携内容1（連絡体制）

全救急事案について診療所医師へ連絡し、既往、処置の注意点等を救急隊に指示する。必要があれば医師の往診や、救急車へ同乗してもらい搬送を行うこともある。

➤連携内容2（指示体制）

荘川、白川両診療所医師を飛騨地域MC協議会が認めた医師として登録し、特定行為等の指示体制を構築している。

➤まとめ

これらの体制により、メディカルコントロール設立目的の骨幹を成す救命・応急処置の質の向上、指示体制について貢献している。

(岐阜県) 飛騨メディカルコントロール協議会 PCEC部会、感染防止部会立ち上げ

・主旨

- (岐阜県) 飛騨地域MC協議会では、これまで事後検証部会のみを立ち上げ活動していたが、平成28年度よりPCEC部会、感染防止部会を立ち上げ活動を行っている。これらの部会について設立経緯について紹介する。

・経緯

1) PCEC部会

- 設置目的：意識障害など内因性の傷病者に対し適切な活動ができることを目的とし、内因性傷病者の観察と処置の標準的な手法の教育とその普及を図るため、PCEC部会を設立。
- 活動実績：平成28年10月に設立後、基本コース、応用コースを各1回ずつ開催、地域消防本部の救急隊員教育を立案・計画中。

2) 感染防止部会

- 設置目的：病院前救護活動や感染症患者の移送に係わる感染防止の向上。
- 活動実績：感染防止マニュアルの作成、ワクチンによる隊員感染予防の奨励基準作成、病院内での連携マニュアルを作成中。

・結果

- 医療機関、消防本部ごとでの対応ではなく、地域ぐるみで活動を行うことにより、地域医療の質の向上が見込まれる。

東三河地区メディカルコントロール協議会における 救急救命士の運用開始前の教育について

愛知県では薬剤・挿管救命士の認定登録をする際には、それぞれのプロトコルに則した知識や技術の確認をするための「運用試験」に合格することが必須とされており、その実施主体を地区MCが担っている。

地域の5市消防本部で構成する東三河地区MCでは、常設の部会として教育研修部会を設置し、「運用試験」を中心に救急救命士に対する教育事業を企画・運営している。

教育事業の一つとして、各運用試験受験者が試験に合格し認定されたあと、即戦力としての活動が円滑に行えるよう「事前教育」を2回程度実施している。そこでは、経験豊富な指導者が遭遇した症例を訓練シナリオに加え、陥りやすいピットホールを共有し、課題を相互に認識するなど、貴重な教育指導の場としての設えが整備されている。

なお、指導者については、県救急業務高度化推進協議会が開催する薬剤投与指導者講習の修了者を充てることで一定の基準を設けつつ、指導の標準化や資質の向上を図るため、毎年定期的に指導者会議を行うとともに、必要に応じ講習会を開催するなど、不断の努力により指導体制の強化・構築に努めているところである。

地区メディカルコントロール協議会として実施した 静脈路確保におけるリスクマネジメント対策について

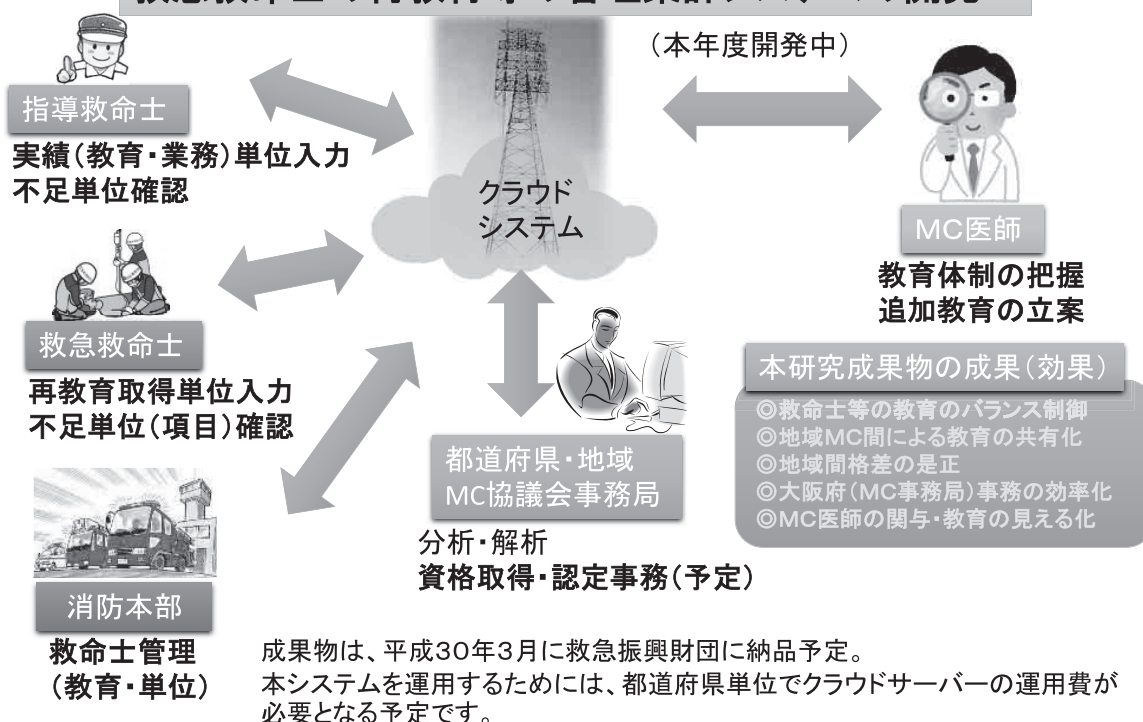
愛知県 尾張北部地区メディカルコントロール協議会

1. 静脈路確保にはさまざまなリスクがあり、それに対する対策が必要である。そこで地区MC協議会では救急に関わる消防職員を対象とした以下の内容についての研修を企画した。

- 講義…
- ① 医療安全総論
 - ② 静脈路確保による神経損傷について
 - ③ 針刺し事故について
- 実技…
- ④ 清潔操作を中心とした静脈路確保の基本手技

2. 9消防本部、5カ所の救命救急センター及び12カ所の処置拡大対応医療機関の現状と意見を取りまとめ、「針刺し事故及び血液・体液による隊員汚染時の対応フロー」を作成し、救急現場での針刺し事故発生時の基本的な対応を統一した。

救急救命士の再教育等の管理集計システムの開発



応募団体
大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター

本研究は、救急振興財団の平成29年度「救急救命の高度化の推進に関する調査研究事業」として行っています。

指導救命士研修90日

～できる救命士は指導救命士が育てる～

1、当地域の紹介

当MC協議会は兵庫県下に5つある地域MC協議会のひとつであり、7消防本部が参画している。指導救命士同士の横の繋がりを強固にして研修会を企画実施することで地域全体をブラッシュアップさせている。

2、指導救命士研修について

養成研修修了後に、救命救急センター等で3ヶ月にわたる長期日勤実務研修を実施している。これにより、救急初療や集中治療により傷病者がどのような経過を辿るかを学ぶことができる。これが「架け橋」のもとになる。短期研修生に対しては、「病院内医療の概要をインプットし、救急隊としての言葉・救急隊目線でアウトプットする」ことにより、理解も深まっていくものと考えている。

3、指導救命士の役割について

所属消防本部以外の救急事案を検証する作業(クロス検証)、事後検証委員会、MC協議会内の様々な部会への参画、救急救命士等の教育内容を検討する会議、教育の実践を行っています。各消防本部は、勤務条件が様々であるが、定期的に指導救命士が集まることで同じベクトルで積極的に教育に関与していきたい。

4、今後の展望

当地域では、ある程度、指導救命士の役割、方向性は見いだせました。今後は、我々の最終目的である「最高の病院前救護」にどれだけ指導救命士の教育が寄与できたか、また、どれだけ出来るのかを問いながら指導救命士の役割、価値を模索しながら前に進んでいきたい。



兵庫県 東播磨・北播磨・淡路地域MC協議会

救急ワークステーションにおける通信指令員に対するスキルアップ研修

指令員と救急隊員が直接関わる研修 → 相互理解・情報共有意識の向上



ストレスフリーな集合研修

救急車同乗研修

現場状況を体感

ディベート論戦
ものあてゲーム

ブラインドコミュニケーション能力

☆現場救急隊への情報提供の向上

☆現場救急隊との情報共有の向上

奈良県広域消防組合消防本部

指導救命士のMCにおける行政的活用のあり方について

- ・ H27年度にMC協議会に医師、指導救命士のみが属する委員会を設立。

目的

- ・ MC内の教育指導体制を構築し効果的に運用するために、指導に関する知識技術のみではなく、行政システムを理解する指導救命士が必要。

役割

- ・ 検証・指示体制・教育研修の各委員会の連携と、各種通知に基づく検討課題を整理する役割。

効果

- ・ MCにおける検討課題の整理。
- ・ 各専門委員会の連携強化。
- ・ 行政システム理解。
- ・ 医師・指導救命士の連携強化。
- ・ 教育研修体制の充実化。

MC内における懸案事項等を整理し、更なるMC発展のための一助となるよう活動を継続していく。

奈良県MC協議会 調整委員会

各専門委員会委員長(医師)計4名と、県下三本部各2名(計6名)の指導救命士が参加する委員会。各専門委員会への参画や調整、MC内における調整業務を主とし、病院前救護のプロとして行政システムを理解したうえで、施策を講じるための議論を行う場である。

【病院前救護プロトコル作成及び運用】

内容作成
救命士

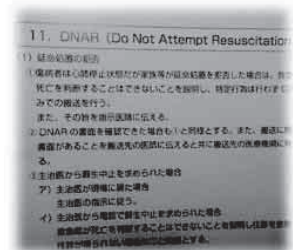
医学監修
医師



H19～
運用開始

出雲MC

活動原則
のみを
記載!!



耐久性・改正時

厚紙!!

加除式!!

A5 サイズ!!

他書籍
と識別



軽症外傷傷病者の搬送に関する取組について

広島県尾道市消防局 小万純生

○取組みに至った経緯

1年間の救急搬送件数は平均約12,630人であり、うち外傷傷病者が27,534件となっている。救急搬送が救急病院に集中するも、処置中や手術中などの受け入れ困難が発生し、救急隊の病院選定に苦慮していた。

しかし、外傷搬送には軽症の患者も多く、救急指定病院以外の病院へ搬送する取組みを行った。

○取組み方法

中核医療機関、圏域の医師会、保険所、消防で協議し、協力可能な整形外科等に救急隊が軽症と判断した整形対応の傷病者を搬送するもの。

搬送時、重症と判断された場合は、適切な病院へ転送搬送で対応する。

地元市民に対して広報を行うと共に平成21年5月から施行しており、現在も継続中である。

○効果

開始から平成28年12月までに1,296人の傷病者が搬送されており、重症と判断されて転送搬送となった傷病者は64人5%と低く、救急隊の観察判断の向上と病院選定時間の短縮など、一定の効果をあげている。

低侵襲の処置につながる輸液の温度管理

目 的：傷病者に低侵襲な輸液処置

推奨前：出場隊員の自助努力の範囲による温度管理

協 議：広島西圏域MC協議会(指導医の指示・助言の下に承認)

推 奨：輸液の適切な温度管理(圏域消防本部に組織的な対応を促す)

推奨後：輸液の温度管理により配慮した活動
輸液定温庫の導入(室温保存上限値の30℃)

有効性：体温と隔たりの少ない温度を維持した輸液処置
重度傷病者への輸液処置に伴う体温低下の抑制
低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与時も低侵襲

検 証：温度管理による傷病者に及ぼす影響の差異



広島西圏域メディカルコントロール協議会

指導医(検証医)：J A広島総合病院 中尾 正和・吉田 研一 事務局：廿日市市消防本部 西 康宏・坂本 俊紀・橋下敦幸・山形 恵子

第2部 講演資料

○講演1 わが国の消防本部心肺蘇生統計活用による国際コンセンサスと ガイドラインへのインパクト

発 表 者 地方独立行政法人 静岡県立病院機構

静岡県立総合病院 安全衛生監・集中治療センター長 野々木 宏・・・P. 47

○講演2 メディカルコントロールと社会医学との関わり

発 表 者 京都大学大学院

医学研究科医療経済学分野教授 今中 雄一・・・・・・・P. 49

わが国の消防本部心肺蘇生統計活用による 国際コンセンサスとガイドラインへのインパクト

地方独立行政法人静岡県立病院機構
静岡県立総合病院 安全衛生監・集中治療センター長
一般社団法人日本蘇生協議会代表理事

野々木 宏

わが国の心肺蘇生統計活用であるウツタイン様式による院外心停止の登録事業は世界に誇るものであり、国際発信や国際ガイドライン改訂の契機となったものである。その特徴は国際標準の方法を用いたことと全国登録による悉皆性と継続性にある。そのデータの国際的なインパクトについて紹介し、今後の更なる発展を期待したい。

● 心肺蘇生統計とウツタイン様式

国際的な様式は 1990 年に開催された最初の会議の開催地の名前にちなんでウツタイン様式と呼ばれている。ウツタイン様式による心停止は、心原性と推測できるものと非心原性に分けられ、原因が不明な場合には除外診断に基づき心原性と扱われている。この様式に従えば、国際的な比較や地域比較が可能となり、救急体制の対策も検討可能となる。この様式を用いて全例登録を 1998 年に最初に開始したのが大阪府であり、その後東京都や各地域で開始された。大阪府では年間約 5000 例の院外心停止登録が毎年継続され、10 年後に世界最大規模のデータベースとして国際発信が開始された。

● 国際的なインパクト

豚の心停止モデルで胸骨圧迫による冠灌流の重要性を実証したアリゾナ大学循環器内科 Ewy 教授のグループとの交流を行い、消防本部心肺蘇生統計の活用により胸骨圧迫のみの CPR の臨床的な有効性を日本から発信し得た。Ewy 教授からの強い勧告があり米国心臓協会 (AHA) は Hands-only CPR と名付けて新たな勧告を行い、また胸骨圧迫の重要性を認識し、ILCOR(国際蘇生連絡委員会) はこれまでの CPR の手順を ABC から CAB として 2010 年国際コンセンサスを 50 年ぶりに大きな変更をした。まさに日本の消防本部のデータ活用による発信が国際連携により国際ガイドライン変更に至った例といえる。

● 消防本部における救急活動の実証

ウツタインデータ(大阪)によれば、1998 年から 9 年間で目撃のある心室細動例の 1 ヶ月生存、社会復帰率が劇的に増大している。この間に第一発見者による CPR が 19%から約 2 倍に、また心停止から救命士による電氣的除細動までの時間が 19 分から半減している。これは包括指示により救急救命士の判断で電氣的除細動の実施が可能となったことによる。このように消防本部の活動が実証され、国際的に大きなインパクトを与えたといえる。

- 全国への展開とビックデータ

2005年には各地域の成果を活かし、総務省消防庁により全国消防本部での登録に拡大され、年間13万件で継続され100万件を超えるビックデータとなりその発信は世界の注目を浴びている。このデータベースは公開されており、国内の研究者により様々な角度から解析がなされ国際発信が行われ、2015年のガイドライン改定にも大きな影響を与えた。また2004年から公共スペースに設置されたAEDを市民が活用によるAED実施による効果が検証された。その活用例と効果は年々増加し、1ヶ月生存は非適用例の11%程度に比べ、50%と高率である。公共スペースに配置されたAEDの効用を示した国際的に初の論文である。ただ実際に使用された件数は2014年の目撃のある心原性心停止のうちの4%にすぎないことも明らかにされ、設置場所やその適用方法、トレーニングの必要性についての対策にもつながっている。

- 国際連携の基盤

日本を中心としたアジア蘇生協議会(RCA)の設立により2006年ILCOR加盟がなされ、2010年から国際コンセンサスCoSTRの評価や集約を行う各領域のTask-ForceにJRCから参画し、2010年、2015年と国際連携による世界標準のJRC蘇生ガイドラインを作成し得た。今後、アジアでの共通ガイドライン作成が予定され、これまでの消防本部心肺蘇生統計を基盤に日本の役割が期待されている。

本講演では、消防本部心肺蘇生統計の国際コンセンサスやJRCガイドラインにおける活用例の紹介、またJRCガイドラインに基づいた救急蘇生法の指針における消防本部心肺蘇生統計の紹介事例を紹介し、そのインパクトと今後のビックデータ活用時の留意点や更なる活用方法について述べたい。

メディカルコントロールと社会医学との関わり

今中雄一

京都大学大学院医学研究科医療経済学分野

社会医学は、人々の疾病を予防し、健康を維持・増進するために大きな役割を果たしている。健康・医療に関する科学的なエビデンスを創出し、社会に適用し国や地域・職域の集団とシステムに働きかけてきている。健康な生活・行動様式の推進、安全な環境の保持、医療提供制度等に貢献し、人々の健康増進、疾病の予防や回復、健康寿命の延伸、安心と安全の保持の達成に大きな役割を果たしてきている。社会医学の活動は、日本国憲法 25 条に規定される国の責務たる「すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努める」実践にも位置付けられ、医師法第一条においても、「医師は、医療及び保健指導を掌ることによって公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もつて国民の健康な生活を確保するものとする」となっている。社会制度上の根本のところ、医師は、公衆衛生の向上及び増進に寄与するものとして位置づけられている。

2 年の準備期間・開発期間を経て、平成 29 年度より、社会医学の関連学会・団体(8 学会 6 団体)が共同・協働する「**社会医学系専門医制度**」が始動した。これは、使命感、倫理性、誇りと公共への責任をもって医療・公衆衛生の向上に貢献し、国民に信頼される専門医の制度、専門医の質を保証し向上させる制度を、着実に確立することを目指すものである。これを契機に社会医学、公衆衛生に関する全職種において、当該領域の専門家制度の一層の充実が目指されることになるであろう。この共同・協働は、社会医学系におけるキャリアパスを明確にし、専門的活動の内容と意義を関係者および国民に見えやすくし、その研修プログラムを体系化して一層の発展を推進していくことになるであろう。また、この制度では、専攻医の専門研修の体制づくりの中で、医療や介護の臨床現場との切れ目のない連携・協働・往来を図って人材育成の場を強化し、救急救命、災害対応、健康危機管理などの生命・健康の社会的重要領域への対応を含めて、行政、職域、研究教育機関、医療の現場の間でのネットワーク強化を目指している。ここには、人材育成とそれを通じての人的ネットワーク強化を基盤に、社会医学・公衆衛生の活動・事業・社会システムづくりを相互作用的に高めていこうというねらいがある。

「**メディカルコントロール**」においては、医学的根拠に基づき地域の特性に応じて各種プロトコルやマニュアルを作成し(Plan)、救急現場で救急救命士が医師から迅速に指示、指導・助言を得て救急活動を実施し(Do)、その救急活動について医学的・客観的な事後検証が行われ(Check)、その結果がフィードバックされて各種プロトコルやマニュアルを策定・改訂し再教育等が行われる(Act)。このように PDCA サイクルが回り、より有効なしくみとなっていく。全国の各地域でこのようなしくみが構築されている。各都道府県単位及び各地域単位では、消防機関と医療機関等との協議の場としてメディカルコントロール協議会があり、プレホスピタル・ケアにおける、地域の救命救急体制の充実を図る重要な機能を担う。今後は、情報通信技術のさらなる活用や、各地域の救命救急体制をデータで把握する取り組み、それらを礎に、地域の医療資源配備や連携を考え実現していく取り組みも、益々進んでいくであろう。

人々の命と健康を守る、極めて重要な社会システムであるメディカルコントロール体制は、社会医学の視点からも極めて社会医学的なしくみとなっており、多くの人材・能力や科学技術を取り込んで、今後、一層発展することが期待される。

MEMO

[illegible]

第3部 情報提供

○厚生労働省からの情報提供

厚生労働省医政局 地域医療計画課 救急・周産期医療等対策室
病院前医療対策専門官 飯塚 悠祐…………… P.53

○消防庁からの情報提供

消防庁救急企画室
救急専門官 森川 博司…………… P.61

厚生労働省からの情報提供

1. 第7次医療計画について
2. 救急救命処置検討委員会(仮称)について
3. 在宅医療・救急医療連携セミナーについて
4. その他



厚生労働省 医政局 地域医療計画課
救急・周産期医療等対策室 病院前医療対策専門官
飯塚 悠祐



厚生労働省からの情報提供

1. 第7次医療計画について

救急医療の提供体制における見直しの概要

【概要】

- 円滑な受入体制の整備やいわゆる出口問題へ対応するため、救急医療機関とかかりつけ医や介護施設等の関係機関との連携・協議する体制を構築する。また、日頃からかかりつけ医を持つこと、救急車の適正利用等についての理解を深めるための取組を進める。
- 救命救急センターの充実段階評価を見直し、地域連携の観点を取り入れる。併せて、救急医療機関について、数年間、受入れ実績が無い場合には、都道府県による指定の見直しを検討する。
- 初期救急医療機関の整備とともに休日夜間対応できる薬局、精神科救急と一般救急との連携等をさらに進める。

救急医療機関と関係機関との連携・協議体制の構築

円滑な救急搬送や受入体制を確保するため、医療機関と介護施設等の連携を推進する。

八王子市の例

- 高齢者及び高齢者施設等の利用者への安全な救急搬送体制を確保するため、八王子消防署と八王子市救急業務連絡協議会で調整、「八王子市高齢者救急医療体制広域連絡会」を設置。

八王子市高齢者救急医療体制広域連絡会

・八王子市救急業務連絡協議会
・救命救急センター・救急センター
・介護療養型病院
・医療療養型病院
・八王子施設長会
・八王子社会福祉法人代表者会
・八王子特定施設連絡会
・精神科病院
・八王子介護支援専門員連絡協議会
・八王子介護保険サービス事業者連絡協議会
・高齢者あんしん相談センター
・八王子医師会

・八王子市
・町会自治会連合会
・八王子消防署
・八王子薬剤師会
・八王子老人保健施設協議会
・八王子市赤十字奉仕団
・八王子市民生委員児童委員協議会
・八王子市社会福祉協議会

全20団体



自宅、高齢者施設、救急隊、急性期医療機関、慢性期医療機関、市のそれぞれについて推奨事項や努力事項が示された。

このうち、「自宅/高齢者施設」の推奨事項として、「救急医療情報」の作成を行うこととなった。

※行政だけでなく、様々な機関が参加していることが特徴。

八王子消防署資料より一部改変

救命救急センターの充実段階評価の見直し

平成27年度は、ほとんどの救命救急センターの充実段階評価がA評価となっている。さらなる機能の充実を図るため、地域連携の評価を含め、救命救急センター充実段階評価を見直す。

平成27年度
救命救急センターの充実段階評価

A評価：269カ所

B評価：1カ所

C評価：1カ所

(平成26年度実績)

評価基準

C評価：

是正を要する項目が3年以上継続して22点以上の場合

B評価：

是正を要する項目が2年間継続して22点以上の場合

A評価：

B、C評価以外

3

医療計画で求められるMC協議会の協議事項

(「疾病・事業及び在宅医療に係る医療体制について」
平成29年3月31日医政地発0331第3号厚生労働省地域医療計画課長通知)

- 救急救命士等の行う処置や、疾患に応じた活動プロトコルを策定し、事後検証等によって随時改訂すること
- 実施基準を踏まえ、搬送手段を選定し、適切な医療機関に搬送するためのプロトコルを策定し、事後検証等によって随時改訂すること
- 医師から救急救命士に対する直接指示・助言体制が確立されていること
- 救急救命士等への再教育を実施すること
- ドクターカーやドクターヘリ等の活用の適否について、地域において定期的に検討すること
- ドクターヘリや消防防災ヘリコプター等の活用に際しては、関係者の連携について協議する場を設け、効率的な運用を図ること
- 地域包括ケアシステムの構築に向け、第二次救急医療機関等の救急医療機関、かかりつけ医や介護施設等の関係機関が連携・協議する体制を、メディカルコントロール協議会等を活用して構築し、より地域で連携したきめ細やかな取組を進めること
- 必要に応じて年間複数回以上協議会を開催すること

4

救急医療体制強化事業

平成29年度予算額 380,899千円

① メディカルコントロール体制強化事業 平成29年度予算額 109,788千円

【事業目的】

メディカルコントロール協議会に地域の救急医療の実情に精通した医師を配置し、救急搬送困難事例の解消等を図り、円滑な救急搬送受入体制を構築するなど、メディカルコントロール体制強化を図るため、医師を配置するために必要な経費等について財政支援を行うもの。

【事業概要】

- 補助先 都道府県
- 対象経費 報酬、給料、職員手当等、法定福利費、賃金、諸謝金、報償費、需用費、役務費、通信運搬費、備品購入費、使用料及び賃料、旅費、広報経費、研修費、委託料
- 基準額 43,915千円 ○補助率 1／2（国1／2、都道府県1／2）

② 搬送困難事例受入医療機関支援事業 平成29年度予算額 271,111千円

【事業目的】

長時間搬送先が決まらない救急患者を一時的であっても受け入れる医療機関を確保し、搬送困難事例解消、地域における円滑な救急医療体制の構築を図るため、救急患者を確実に受け入れるために必要な体制（空床等）を確保する医療機関に対し、必要な経費等について財政支援を行うもの。

【事業概要】

- 補助先 都道府県（間接補助先：医療機関）
- 対象経費 報酬、給料、職員手当等、法定福利費、賃金、諸謝金、報償費、需用費、役務費、通信運搬費、医療機器等備品購入費、使用料及び賃料、旅費、自動車維持費、空床確保経費※1
- 基準額 1 医療機関あたり 76,285千円（※1）、12,621千円（※2）
- 補助率 ※1 必ず救急患者を受け入れる医療機関が対象 ※2 一時的であっても救急患者を受け入れる医療機関が対象
1／3（国1／3、都道府県1／3、医療機関1／3）



厚生労働省からの情報提供

2. 救急救命処置検討委員会(仮称)について

救急救命士の処置範囲の拡大の経緯

平成3年

救急救命士法施行

1. 医師の具体的な指示で行うもの (特定行為)

- 心肺機能停止状態の患者に対してのみ行う
- ・半自動式除細動器による除細動（→平成15年まで）
 - ・乳酸リンゲル液を用いた静脈路確保のための輸液
 - ・ラリングアルマスク等の器具による気道確保

2. 医師の包括的な指示で行うもの

- 重度傷病者（心肺機能停止状態の患者も含む。）に対して行う
- ・精神科領域の処置
 - ・小児科領域の処置
 - ・産婦人科領域の処置
 - ・聴診器の使用による心音・呼吸音の聴取
 - ・血圧計の使用による血圧の測定
 - ・心電計の使用による心拍動の観察及び心電図電送
 - ・鉗子・吸引器による咽頭・声門上部の異物の除去
 - ・経鼻エアウェイによる気道確保
 - ・パルスオキシメーターによる血中酸素飽和度の測定
 - ・ショックパンツの使用による血圧の保持及び下肢の固定
 - ・自動式心マッサージ器の使用による胸骨圧迫心マッサージの施行
 - ・特定在宅療法継続中の傷病者の処置の維持
 - ・口腔内の吸引
 - ・経口エアウェイによる気道確保
 - ・バッグマスクによる人工呼吸
 - ・酸素吸入器による酸素投与

平成15年

「自動体外式除細動器（AED）による除細動」を2. に追加

平成16年

「気管内チューブによる気道確保」（気管挿管）を1. に追加

平成18年

「エピネフリンの投与」を1. に追加

平成21年

「自己注射が可能なエピネフリン製剤によるエピネフリンの投与」を2. に追加

平成23年

「ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を用いた気管挿管」を1. に追加

平成26年

「乳酸リンゲル液を用いた静脈路確保及び輸液」「ブドウ糖溶液投与」を1. に追加

「血糖測定器を用いた血糖測定」を2. に追加 その他「応急手当」の範囲を2. に追加

7

平成26年度に実施した処置範囲拡大までの経緯

平成21年

厚生労働科学研究（分担研究者：野口宏 愛知医科大学教授：平成21年12月 報告書）

「救急救命士による救急救命処置に関する研究」

三行為の有効性や安全性等に関して分析・考察

平成22年

「救急救命士の業務のあり方等に関する検討会」

（平成22年4月報告）（座長：島崎修次 杏林大学教授）

三行為については実証研究の結果をふまえてさらに検討を行うことが妥当

→実証研究へ

平成23年

厚生労働科学研究費補助金（特別研究事業）（主任研究者：野口宏：平成23年3月 報告書）

「救急救命士の処置範囲に係る実証研究のための基盤的研究」

実証研究の実施のために必要なプロトコルや研究デザイン、実証地域の選定条件の作成等を行う

平成25年

厚生労働科学研究

（主任研究者：野口宏：平成25年3月 報告書）

「救急救命士の処置範囲に係る研究」

実証研究の実施プロトコルや研究デザインの検討、実証地域との調整等を行い、実証研究の実施やデータの取りまとめを行う

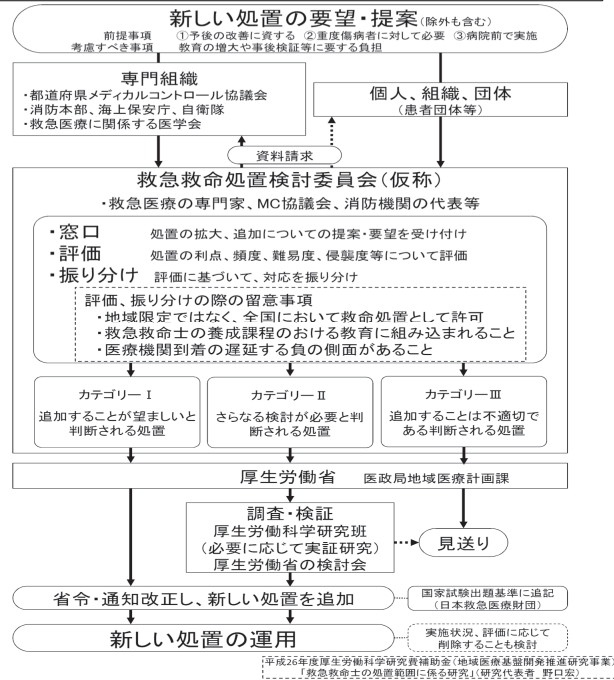
救急救命士の業務のあり方等に関する検討会報告書

（平成25年8月）（座長：島崎修次 救急医療財団理事長）

8

救急救命処置検討委員会

救急救命処置の追加、除外等の基本的な手順、流れ(案)



9



厚生労働省からの情報提供

3. 在宅医療・救急医療連携セミナーについて

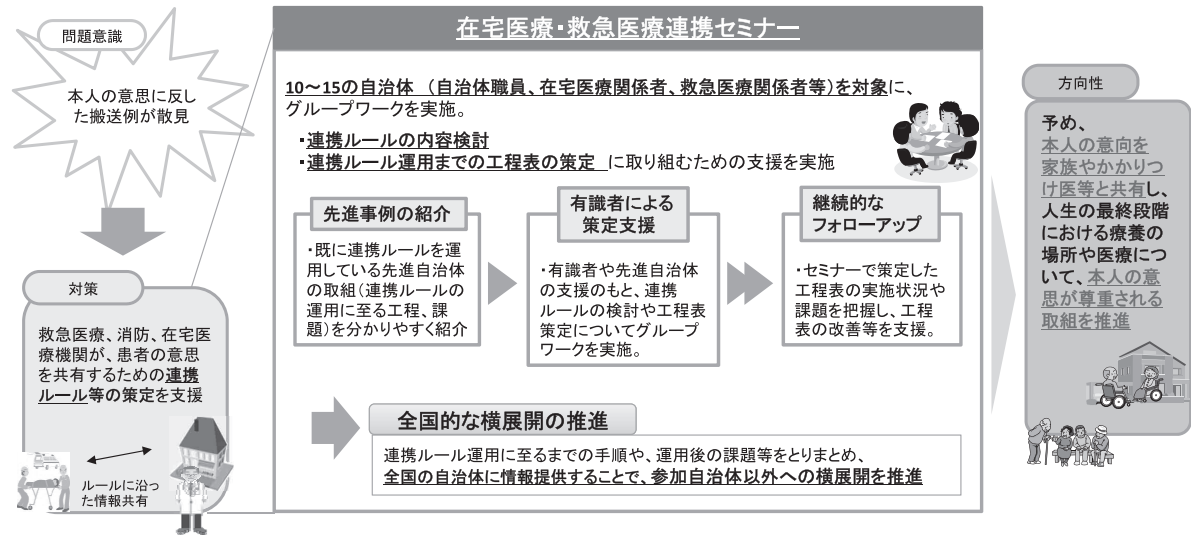
在宅医療・救急医療連携セミナー

<背景・課題> 本人の意思に反した(延命を望まない患者の)救急搬送が散見

国民の多くが人生の最期を自宅で迎えることを希望している。一方、高齢者の救急搬送件数も年々増加し、また大半は、人生の最終段階における医療等について、家族と話し合いを行っていない。このような背景を踏まえると、今後、本人の意思に反した救急搬送が増加する懸念がある。

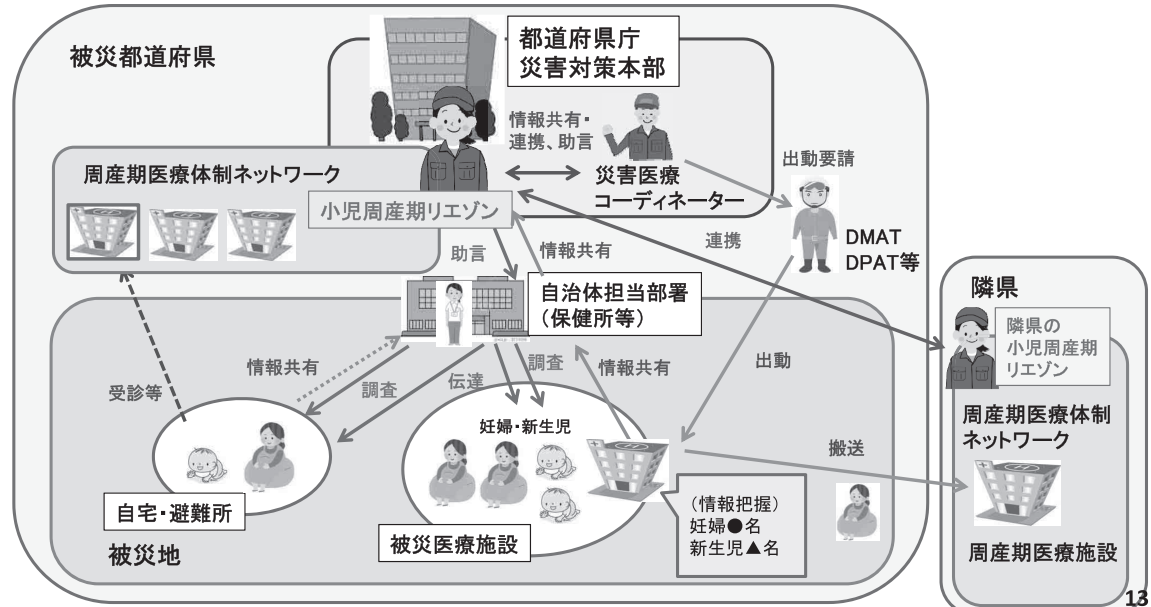
<対策> 患者の意思を関係機関間で共有するための連携ルールの策定支援

先進自治体では、在宅医療関係者と救急医療関係者の協議の場を設け、救急搬送時の情報共有ルールの設定や、住民向け普及啓発に取り組んでいる。こうした先進事例をもとに、複数の自治体を対象としたセミナーを実施し、連携ルール策定のための重点的な支援を行う。また、本取組について全国的な横展開を推進していくことで、人生の最終段階において本人の意思が尊重される環境を整備する。



災害時小児周産期リエゾンについて

- 災害時の小児周産期医療体制については、平時より各都道府県の周産期医療体制協議会等を中心に体制整備を行う。
- 小児・周産期の病態や自都道府県の周産期医療体制ネットワークを熟知した「災害時小児周産期リエゾン」が災害医療コーディネーターをサポートし、適切な情報収集や他地域との連携を行うシステムを構築する。



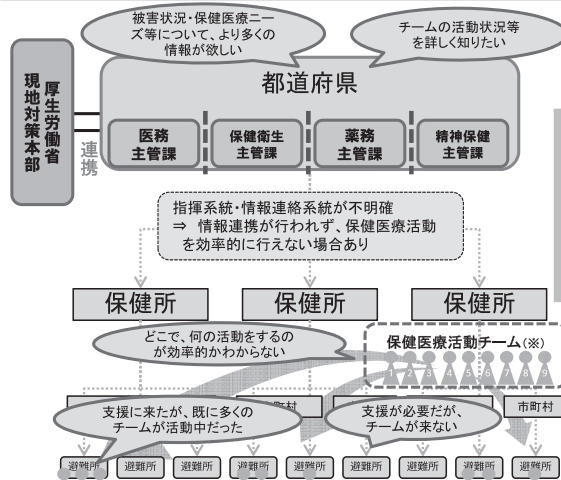
13

大規模災害時の保健医療活動に係る体制の整備について (平成29年7月5日付厚生科学課長通知)

I 熊本地震における課題と原因

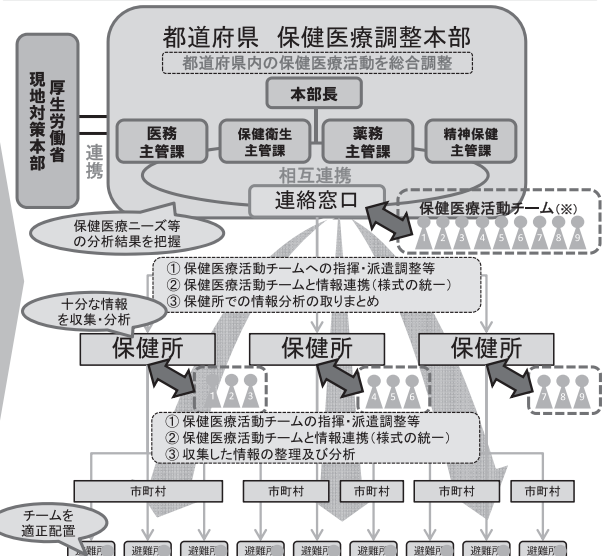
- <課題>
- 被災都道府県、保健所、保健医療活動チームの間で被害状況・保健医療ニーズ等、保健医療活動チームの活動状況等について情報連携が行われず、保健医療活動が効率的に行われない場合があった。

- <原因>
- 被災都道府県及び保健所における、保健医療活動チームの指揮・情報連絡系統が不明確で、保健医療活動の総合調整を十分に行うことができなかった。



II 今後の大規模災害時の体制のモデル

- 被災都道府県に設置された保健医療調整本部において、保健所と連携し、
 - ① 保健医療活動チームに対する指揮又は連絡及び派遣調整
 - ② 保健医療活動チームと情報連携 (様式の統一)
 - ③ 収集した保健医療活動に係る情報の整理及び分析を一元的に実施し、保健医療活動を総合調整する体制を整備する。



(※) 凡例 : 保健医療活動チーム (DMAT、JMAT、日本赤十字社の救護班、国立病院機構の医療班、歯科医師チーム、薬剤師チーム、看護師チーム、保健師チーム、管理栄養士チーム、DPAT等)

外傷外科医養成研修事業



背景

日本においてNBC（核、生物、化学物質）災害や爆発物等にテロ災害発生の可能性は近年の国際情勢を鑑みると決して低くはない。2020東京オリンピック・パラリンピックに向けた救急医療提供体制の整備は重要な課題である。これまで、NBC災害（※）にかかわる医療従事者を要請するための研修は実施しているが、爆発物や銃器、刃物などの外的要因による創傷（切創、銃創、爆創等）の治療に関わる研修は行われていない。

（※）NBC災害・テロ対策研修（平成18年度～）

NBC災害・テロ等により被災したNBC汚染患者への対応方法等について研修を行い、被災患者の受け入れに必要な要員の要請することを目的に実施する事業。（研修対象：救命救急センター及び災害拠点病院の医師、看護師、放射線技師、臨床検査技師等）

課題

日本の外科治療は手術によって疾患の治療を行うことが主であり、外的要因により生じた創傷（切創、銃創、爆創等）の治療を経験できる機会は多くない。

外的要因により生じた外傷の治療を担う外科医を育成し、災害被害者への医療提供体制の整備を図る。

【研修概要】

身体的損傷に適切に対応するために必要な手術療法に係る知識、手技を得るための研修を実施。

→座学、実技

【対象経費】

研修に要する経費（講師謝金、講師旅費、材料費等）

15

平成29年11月22日

平成29年度
全国メディカルコントロール協議会連絡会(第2回)

消防庁からの情報提供

アウトライン

1. 平成29年度 救急業務のあり方に関する検討会
2. その他



消防庁救急企画室
救急専門官 森川博司

1

平成29年度

救急業務のあり方に関する検討会

2

平成29年度 救急業務のあり方に関する検討会 検討事項

高齢化の進展を背景とする救急需要の増大に対応し救命率を向上させるため、「救急車の適正利用の推進」や「救急業務の円滑な実施と質の向上」等について検討を行う。

救急車の適正利用の推進

1 #7119（救急安心センター事業）の全国展開（WG設置）

救急安心センター事業（#7119）の全国展開を推進するため、医療サイドの費用対効果の把握方法などを検討

2 緊急度判定の実施

緊急度を的確に判断し、救急車を緊急性の高い事案に優先して投入するために、119番通報時や救急現場における緊急度判定について、先行事例を踏まえ、普及方策を検討

3 救急隊員の労務管理

救急出動件数の増加に伴い、救急隊員の肉体的・精神的負担が増加しているため、救急隊員の労務管理について、効果的な取組を検討

救急業務の円滑な実施と質の向上

4 応急手当の普及促進

救命率を向上させるため、応急手当の普及促進策や通信指令員による口頭指導の促進等を検討

5 テロ災害等の対応力向上（小会合設置）

テロ災害などの重症な外傷に対応するための新たな資器材について、消防本部で導入するための救急隊員の教育カリキュラム等を検討

その他

6 救急統計の見直し（WG設置）

- ・救急搬送の必要性が低い件数の集計方法と不搬送理由の定義を検討（前年度継続課題）
- ・国際基準を踏まえた救急蘇生統計の改定を検討

7 救急業務に関するフォローアップ

- ・実施基準に関する状況
- ・救急車の適正利用に関する啓発の状況
- ・転院搬送ガイドラインの策定状況
- ・訪日外国人への救急活動の円滑化
- ・指導救命士の認定状況
- ・困難事例への対応（頻回利用、精神科等）

等

2

1 #7119（救急安心センター事業）の全国展開

検討項目

① 医療面の定量的な効果の把握

○医療面の定量的な効果を分析するため、まずは次に掲げる事項について調査を行う。

ア 医療機関の負担軽減効果の定量的な把握

- ・#7119の実施前後における医療機関の外来患者数の増減
- ・#7119の実施前後における医療機関における救急相談件数の増減

イ 医療費適正化の効果の把握

- ・#7119での相談の結果、適正化された時間外・深夜・休日の診療報酬加算などの適正化された医療費の算定
- ・#7119での相談の結果早期の受診により症状の悪化を予防したことにより適正化された医療費の算定

ウ 医療の評価指標の変化の把握

- ・医療の評価指標（死亡数（率）、緊急入院数、在院日数等）の値の増減

② 効果的な広報

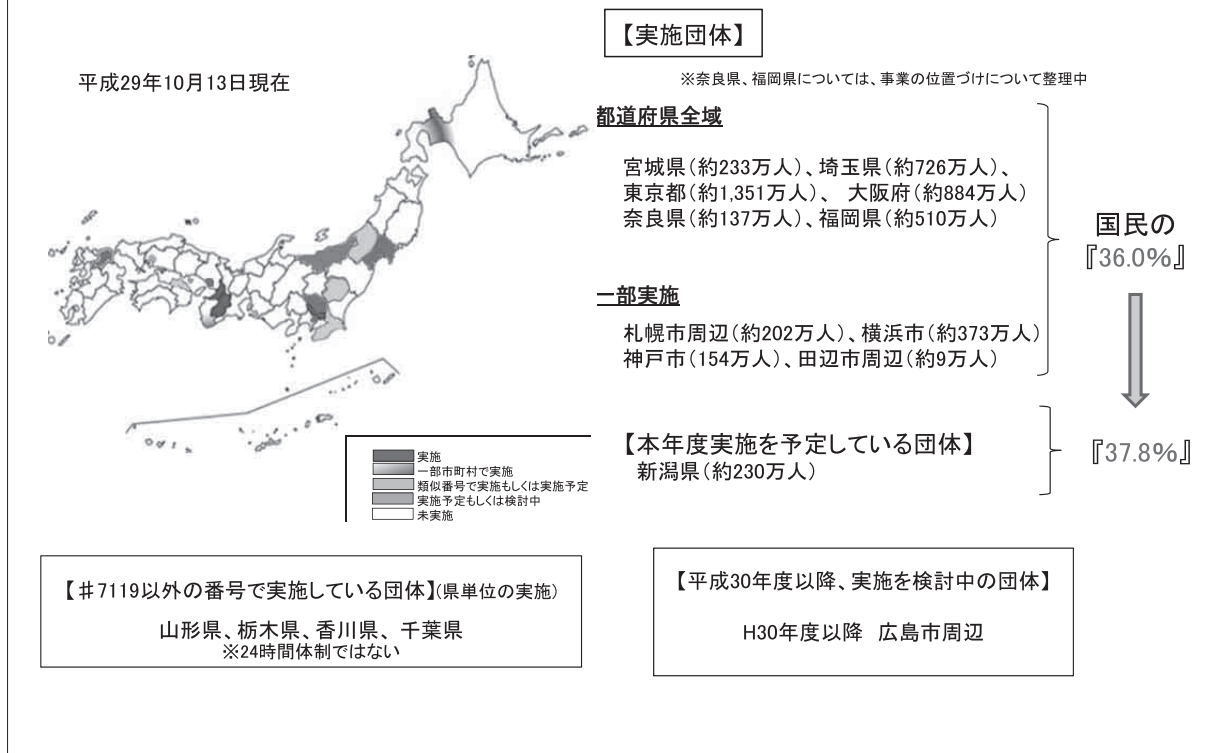
○効果的な広報手段を分析するため、まずは次に掲げる事項について調査を行う。

ア 実施団体における広報手段

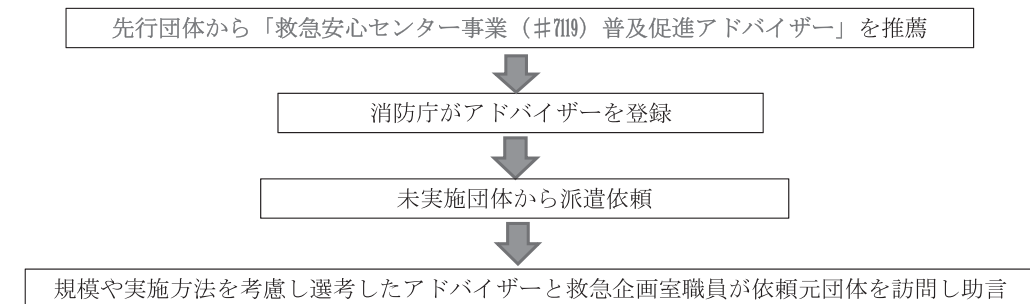
イ 年齢区分等も考慮した効果的な広報手段を提案

4

#7119の普及状況と人口カバー率



救急安心センター事業（#7119）普及促進アドバイザー



<アドバイザーの主な役割>

※アドバイザー派遣の経費は消防庁負担
※訪問以外に、電話やメール等ででの助言も積極的に実施する

アドバイザー	想定される派遣者
多様な医療関係者(医師会・看護協会・救急医療機関等)及び住民との合意形成の方法について助言	自治体職員、医師、看護師
既存事業との調整の方法について助言	自治体職員
看護師等の人材の確保について助言	看護師
相談プロトコルの確立・看護師等の研修事業への助言	医師
自治体における会議等でのオブザーバーや研修会での助言	自治体職員

2 緊急度判定の実施

検討事項、スケジュール

今年度の検討事項

○119番通報時及び救急現場における緊急度判定について、次に掲げる項目について調査を行う。

【実施している消防本部】

- ・現状と課題
- ・緊急度判定を実施する際の対応（接遇・説明、不搬送時のアフターケア、記録の残し方等）
- ・緊急度判定に係る消防職員への教育体制

【実施していない消防本部】

- ・実施できない理由

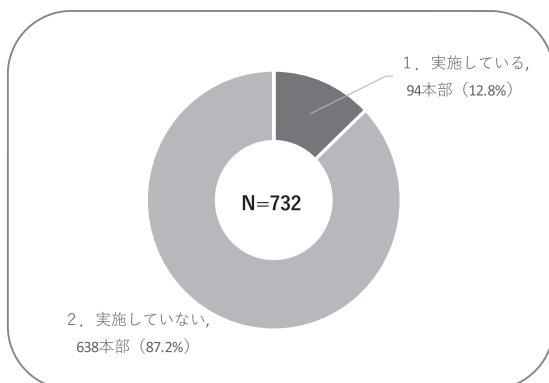
スケジュール

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
119番通報時 及び 救急現場における 緊急度判定			救急業務のあり方に関する検討会（第1回）	実態調査（全体） 実態調査（アンケート）	救急業務のあり方に関する検討会（第2回）	課題抽出 実態調査（聞き取り）	救急業務のあり方に関する検討会（第3回）	報告書まとめ	救急業務のあり方に関する検討会（第4回）		報告書発出

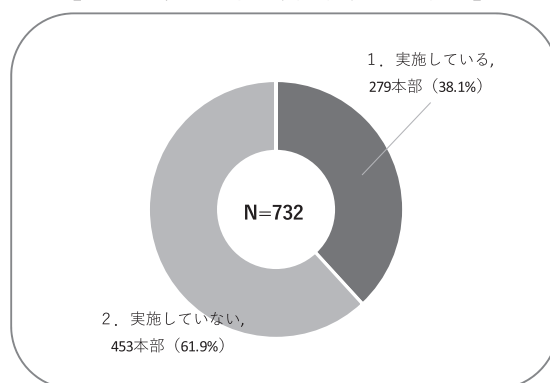
7

緊急度判定の実施の有無

【119番通報時緊急度判定実施の有無】



【救急現場での緊急度判定実施の有無】



3 救急隊員の労務管理

検討項目

- これらの状況を踏まえ、今年度は、
 - ① 労務負担軽減の取組に関するアンケート
 - ② 女性救急隊員が働きやすい職場環境づくりの取組に関するアンケート及びヒアリング
 を実施し、各消防本部における救急隊員の労務管理に関する取組状況を把握した上で、効果的な労務管理の取組について検討する。
- 主な課題と検討事項のイメージは以下のとおり。

主な課題等		検討項目
救急隊員の業務負担の軽減	・救急出動件数の増加等により、救急隊の活動が長時間に及ぶものとなっている。 ・同じ消防本部内においても、救急隊によって、出動件数や業務量にばらつきがある。 ・連続出動等により、食事が取れない場合がある。	実態調査（ハード・ソフト両面）から得られた結果を参考にしつつ、交替勤務制の工夫、救急隊1隊当たりの活動時間の平準化などの業務負担の軽減方策について検討する。 また、救急隊員の食事の時間確保や場所の確保の観点からも方策を検討していく。
女性救急隊員が活動しやすい方策	・女性消防吏員の更なる活躍に向けた取組の推進については、検討会の検討結果【参考参照】を踏まえ、通知を発出しているところ（平成27年7月29日、消防消第149号） ・女性消防吏員の採用拡大、職域の拡大などを進めていくなか、女性救急隊員が活動しやすい方策について、検討していく必要がある。 ・なお、女性救急隊員の活動しやすさについては、男性救急隊員の活動しやすさにもつながるものとする。	女性救急隊員の負担軽減などに関する実態調査やヒアリングなどを踏まえ、女性救急隊員より活動しやすくなるための方策について検討していく。

9

4 応急手当の普及促進

今年度の取組

① 応急手当

- ・各消防本部に、応急手当の普及に関する取組※についてアンケートを行い、受講者数と実施率の関係性等を検討する。※広報・講習方法・地域特有の事情等
- ・地域差を図として可視化するとともに、先進的な取組を実施している消防本部に対して聞き取りを行い、その有効性について検討した上で、全国に紹介し普及促進を図る。
- ・応急手当WEB講習（e-ラーニング）の活用、応急手当普及員養成講習の短縮や救命入門コース（45分）の導入状況等に関してフォローアップ調査を実施する。

② 通信指令員の口頭指導

- ・通信指令センターに、口頭指導の先進的な取組※についてアンケートを行い、取組状況を把握する。
※口頭指導方法・学校教育・事後検証・研修等
- ・先進的な取組を実施している通信指令センターに対して聞き取りを行い、その有効性について検討した上で、全国に紹介し促進を図る。
- ・口頭指導の有効性について、先進的に取り組まれている研究を例示し、全国へ紹介する。

53

5 テロ災害等の対応力向上について

検討事項

昨年度の検討結果を踏まえ、

- 救急隊員への**教育カリキュラム及びテキストの策定**について検討する。
- 各消防本部で導入するため試行教育を実施し、隊員育成のための方策について検討する。

- 山口芳裕委員を中心に、戦傷医学の専門家である医師、オリンピック・パラリンピック開催予定地の消防本部の職員により、小会合を設置し、検討する。

① テキスト(案)・カリキュラム(案)の策定	解剖生理、爆傷及びターニケット ^(※) の使用方法について、講習内容・時間等を検討。
② 試行教育の実施	オリンピック・パラリンピック開催予定地の3消防本部程度で試行教育を実施。
③ テキスト・カリキュラムの確定	試行教育の結果を踏まえ、テキスト・カリキュラムの確定
④ 情報提供	各消防本部、消防学校等に情報提供。

〔参考〕ターニケット

- 四肢切断などの際に迅速に止血できる救命止血帯である。

※東京消防庁では、平成29年度全車両に配備予定

〔止血帯の重要性〕

- ・「止血は秒を争う」救急処置である。
- ・止血時間が確実に管理できる。
- ・短時間で動脈圧迫ができ、出血をコントロールできる。



【検討予定の止血帯の一例】

11

6 救急統計の見直し

救急統計小会合

- 「(ア) **救急搬送の必要性が低い件数の集計方法**」及び「(イ) **不搬送理由の定義**」については、昨年度提示した素案の課題を分析し、全国集計の実施に向けた対応策について検討を行う。
- 「(ウ) **今後新たに集計するべき項目**」については、平成22年度救急業務高度化推進検討会において検討を行ったが、7年が経過し、救急現場の環境が変わってきていることから、現在の救急活動の実態を把握するため、各消防本部の取組を踏まえ検討を行う。
- 「(エ) **既存調査項目の解釈の標準化**」については、昨年度の検討により、各消防本部で解釈が異なる調査項目が存在することが明らかとなったことから、精度(信頼度)の高いデータを集計するため、実態を調査した上で、検討を行う。

- 継続的に集計されている救急統計について、エビデンスに基づいた分析を行い、必要な施策につなげる。

救急蘇生統計小会合

- 救急救命士制度導入から25年余りが経過し、心停止からの生存率が上昇しているものの、最近は上昇率が低下傾向にある。
- 救急現場の環境の変化に合わせ、「(オ) **救急蘇生統計の改定**」を行い、より精度(信頼度)の高いデータを集計することで、救急医療体制の改善につなげる。

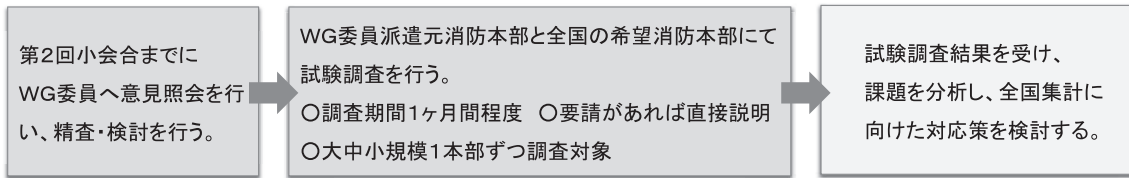
- 現場の救急活動を改善していくために、救急蘇生統計から得られた知見を現場にフィードバックする。

12

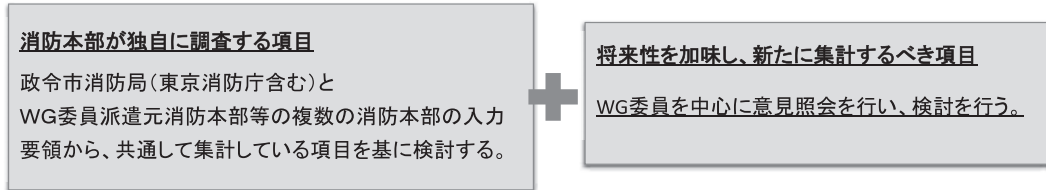
6 救急統計の見直し

救急統計小会合における検討の進め方

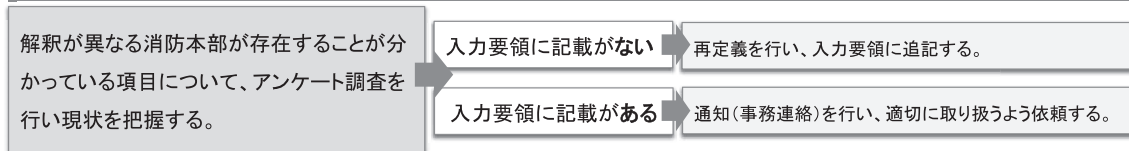
(ア) 救急搬送の必要性が低い件数の集計方法 (イ) 不搬送理由の定義



(ウ) 今後新たに集計すべき項目



(エ) 既存調査項目の解釈の標準化



13

6 救急統計の見直し

救急蘇生統計小会合における検討項目

(オ) 救急蘇生統計の改定

ウツタイン様式改定のポイント

項 目	現在の定義	現在の問題点	検討の方向性
心停止 の原因	心停止の原因が「心原性」か 「非心原性」のどちらかに分けて集計	原因不明なものが 「心原性」に分類されて いる	内因性か外因性を分けて集計 内因性の時のみ、「心原性」、「非心原 性」に分けて集計
AED の適応	バイスタンダーがAEDでショックを行っ た(適応があった)場合のみ集計	バイスタンダーがAED を取り扱った件数が分 からない	AEDパッドの装着の有無を集計 →AEDを使用した応急手当の実施件 数が明らかとなる
転帰	脳機能評価のタイミングは、 傷病者が生存している場合、退院時、 又は1か月後時点の脳機能を評価	早期退院患者もいるた め、評価時点が統一さ れていない	早期退院患者については、追跡調査を 行い、1ヶ月後時点の評価を行う
その他 (DNAR)	患者本人または家族の心肺蘇生の 希望の有無は集計していない	現場で心肺蘇生等を希 望していないことを伝え られる事例がある	将来的にDNARが定着し、心肺蘇生 の希望の有無の調査が必要となる可 能性があるため、暫定的に項目を設け ておく
追加項目として議 論が必要なもの	通信指令員が心停止を確認した時刻、救急隊現場離脱時間、体温管理療法、再灌流療法等		

14

その他

救急業務に関するフォローアップ

- 救急業務のあり方に関する検討会などを踏まえ、
 - ・ 救急需要対策等に対する方策として、救急安心センター事業（#7119）の普及
 - ・ 転院搬送を適正に行うための転院搬送ガイドラインの作成
 - ・ 感染症対策の実効性向上のために、消防機関と保健所等との搬送に関する協定の締結などを推進してきたが、その取り組みについて、地域によって差が生じている。



- ✓ 通知で事業の実施を促すのみならず、救急業務について重点課題を定め、都道府県とともに、現地に行き、フォローアップし（全国を3年に1回程度訪問）、救急業務のレベルアップを促していく。

【フォローアップ】
・ 先進的な取組の把握と周知
・ 遅れている取組の改善と助言

- ✓ 都道府県とともにフォローアップを実施することにより、都道府県と現状・課題の認識を共有し、都道府県による市町村の助言を促すことができる。

【フォローアップの実施状況】（平成29年9月30日現在）

実施済：埼玉県 愛媛県 三重県 鳥取県 茨城県、広島県

指導救命士の認定拡大

- 指導救命士の認定は、36都道府県で実施されている(平成29年8月1日現在)
- フォローアップ等を通じて、認定拡大を促していく。

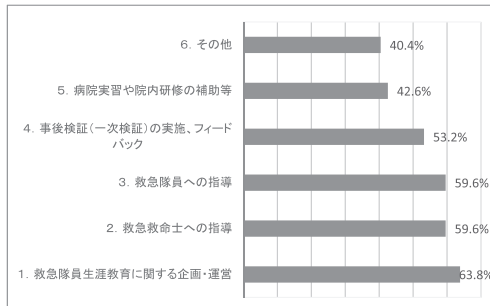
指導救命士の認定状況

【平成29年度救急救命体制の整備・充実に係る調査結果】
平成29年8月1日現在



【都道府県MC協議会回答】

指導救命士を活用した取組



【認定を開始していない都道府県MC協議会の検討状況】

- ▶ 認定を開始していないMC協議会では、全国で10MC協議会となっている。
- ▶ 認定を開始していないMC協議会においても、「活用方法について検討中」「要綱等の内容について調整中」を回答している協議会が多い。

【認定を開始していない理由に挙げられた内容】

認定に必要な特定行為の施行件数が、医療圏により異なるため基準設定が困難。

熱中症への対応

- 平成20年から調査を開始し予防を推進。高温環境も重なり、搬送者数の大幅な減少はみられない。
- 平成29年度は5月1日から調査を開始。全国に情報提供して予防を推進した。

平成27年	平成28年	平成29年
52,948人	47,624人	49,583人

(※5月～9月の調査集計)

○消防庁からの情報発信

- ・週間及び月間で救急搬送状況を公表



- ・消防庁ツイッターによる情報発信



- ・熱中症リーフレットを作成



○予防啓発コンテンツの活用

- ・啓発ビデオ(15秒、5分各バージョン)



- ・消防マスコット「消太」を使用したイラスト



- ・予防広報メッセージ

メッセージ	内容	活用	活用	活用
熱中症予防メッセージ	熱中症は、高温環境下で活動しているときに発生します。熱中症の予防には、適切な水分補給と、適切な服装の着用が重要です。	消防庁のウェブサイト	消防庁のウェブサイト	消防庁のウェブサイト
熱中症予防メッセージ	熱中症は、高温環境下で活動しているときに発生します。熱中症の予防には、適切な水分補給と、適切な服装の着用が重要です。	消防庁のウェブサイト	消防庁のウェブサイト	消防庁のウェブサイト

- ・ポスター



○予防啓発取組事例集による先進的な取組みの紹介

- 2020年(平成32年)東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて 救急車利用ガイドを多言語化
(7言語: 英、中国繁体、中国簡体、韓、仏、伊、タイ)



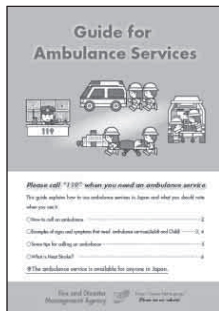
消防庁熱中症情報: https://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_2.html

外国人に対する対応

- 総務省の「情報難民ゼロプロジェクト」の一環として
 ○訪日外国人のための救急車利用ガイド(多言語版)の作成
 ○多言語音声翻訳アプリ「救急ボイストラ」の作成

訪日外国人のための救急車利用ガイド

外国人が日本で救急車の呼び方がわからず苦慮しないように



- ☆7言語対応(英、中国(繁・簡)、韓、仏、伊、タイ)
- ☆熱中症の対応も記載
- ☆日本語併記のため、日本人から外国の方への説明も可能

「救急ボイストラ」(平成29年10月1日現在)

外国人等と救急活動に係る円滑なコミュニケーション図れるように

導入希望消防本部数

226本部

使用開始消防本部数

219本部



- ☆救急隊用46の定型文が登録
- ☆15言語対応
- ☆聴覚障害者とのコミュニケーションにも活用が可能

19

Q助(全国版救急受診アプリ)の普及

- 昨年度、緊急度判定体系の普及ワーキンググループにおいて、緊急度判定支援ツールについて検討し、本年5月に「Q助(全国版救急受診アプリ)」の無料提供を開始した。
- 住民が急な病気やけがをしたときに、医療機関を受診するタイミングや手段、利用できる医療機関及び受診手段の情報を提供し、緊急度に応じた必要な対応を支援するもの。

内容



- ・症状に応じて項目を選択すると、緊急度判定の結果が表示(赤・黄・緑・白)
- ・大人43項目、小児32項目対応
- ・病院・診療所検索、タクシー検索が可能

普及・利用方法



普及用チラシ

6月5日付け首相官邸メールマガジン「お知らせ欄」で紹介

- ・アプリについては、平成29年10月1日現在ダウンロード数126,340件
- ・アプリの容量は2MB(軽い)
- ・消防庁HP「Q助」サイトで、スマホ版がダウンロード可能のほか、Web版でも閲覧が可能

メディカルコントロール協議会にお願いしたいこと

- ・ 緊急度判定体系の普及
 - 概念普及のコンテンツの活用、支援ツールの普及
- ・ 救急活動プロトコルの検討
 - 「JRC蘇生ガイドライン2015」を踏まえた地域の実情に応じたプロトコルの検討
- ・ 指導救命士の活用
 - 認定状況28道県、455人（平成28年12月現在）
 - 指導救命士を活用した教育体制の確立
- ・ 救急業務に携わる消防職員への教育
 - 口頭指導プロトコルの妥当性の確認、口頭指導の事後検証
 - 通信指令員への教育

21

メディカルコントロール体制に関する実態調査結果

■ 目 次 ■

第1章 調査概要

1. 調査の目的
2. 調査方法
 - (1) 対象
 - (2) 調査表の配布・回収
 - (3) 実施期間
 - (4) 基準日
3. 回収状況

第2章 メディカルコントロール協議会票の結果

第1節 メディカルコントロール協議会

1. メディカルコントロール協議会の構成員
2. メディカルコントロール協議会の予算負担者
3. 協議会で取り上げられた課題
4. 救急搬送体制及び救急医療体制に係る調整に関する役割
5. 法定協議会としての位置付け

第2節 救急活動

1. 救急活動プロトコル
 - (1) 救急活動プロトコルの改訂
 - (2) DANRプロトコルの策定
2. 事後検証
 - (1) 医師による事後検証の実施状況
 - (2) 医師による事後検証の基準

第3節 救急に携わる職員の教育

1. 指導救命士の認定
 - (1) 指導救命士の認定状況
 - (2) 指導救命士を活用した取組
2. 救急救命士の再教育
 - (1) 再教育に置いて実施すべき項目の策定
 - (2) 再教育を実施している救急救命士数の把握
 - (3) 救急救命士の再教育の履修状況
3. 通信指令員の救急に係る教育
 - (1) 教育の実施状況
 - (2) 「通信指令員の救急に係る教育テキスト」の活用
 - (3) 口頭指導要領の策定
 - (4) 口頭指導に係る事後検証の実施

第3章 消防本部票の結果

第1節 救急救命士

1. 救急救命士の各種認定数（平成29年8月1日現在）
2. 指導救命士
 - (1) 指導救命士の配置
 - (2) 指導救命士の制度としての位置付け

第2節 メディカルコントロール体制

1. 日常的な特定行為指示体制
2. 救急ワークステーションの運用
3. 通信途絶時のプロトコルの策定
4. DNARプロトコルの策定

第3節 転院搬送ガイドライン

1. ガイドラインの策定

MEMO

[illegible]

全国メディカルコントロール協議会関連資料

全国メディカルコントロール協議会連絡会開催要綱・世話人会構成員名簿・・・	P.75
メディカルコントロール体制に関する実態調査結果……………	P.78
メディカルコントロール協議会数及び指導救命士認定者数……………	P.97
都道府県メディカルコントロール協議会開催状況及び構成員状況……………	P.98
全国救命救急センター設置状況一覧表……………	P.100
都道府県別メディカルコントロール協議会名簿……………	P.106

全国メディカルコントロール協議会連絡会開催要綱

(目的)

第1条 救急需要の増大や救急業務の高度化に伴い、救急救命士を含む救急隊員等が行う応急処置等の質を医学的観点から保障することを目的に全国的に設置されている、消防機関と救急医療機関等で構成するメディカルコントロール(以下「MC」という。)協議会の機能について、更なる充実・強化が求められており、さらに今後、救急医療提供体制を構築する場としての活用も期待されているが、各地域におけるMC体制やMC協議会の取組は様々である。そのため、消防庁及び厚生労働省は、MC協議会に関する機関がMC体制に関する課題を整理するとともに、自己評価及び他のMC協議会から学ぶことができるよう情報共有及び提言の場として、救急医療に関する学会、団体、消防機関、医療機関等により構成される全国メディカルコントロール協議会連絡会(以下「連絡会」という。)を、開催する。

(検討・実施事項)

第2条 連絡会は、次の各号に掲げる事項に関する事務を行う。

- 一 MC体制の充実・強化に関する現況把握及び情報交換
- 二 各地域のMC体制の充実・強化に資する提言
- 三 その他連絡会が必要と認める事項

(組織)

第3条 連絡会は、全国のMC協議会関係者、MC体制の整備に関わる医師、救急救命士、救急隊員等病院前救護に従事する者、その他関係機関からの出席者をもって構成する。

- 2 連絡会に会長を置く。
- 3 連絡会の会長は、次条第6項に定める会長が務めるものとする。

(世話人会)

第4条 各関係機関が抱えるMC体制に関わる課題を整理し検討するため、連絡会に世話人会を置く。

- 2 世話人は、次の各号に掲げる関係機関の推薦する者で構成する。
 - 一 関係学会(日本救急医学会、日本臨床救急医学会、日本麻酔科学会)
 - 二 関係団体(日本医師会、日本救急医療財団、救急振興財団)
 - 三 消防関係機関(消防庁、都道府県消防防災・危機管理部局長会、全国消防長会、消防本部)
 - 四 医療関係機関(厚生労働省、全国衛生部長会、全国保健所長会)
 - 五 その他関係機関
- 3 世話人の任期は2年以内とし、再任を妨げない。
- 4 世話人が異動等により関係機関の推薦が得られなくなったときは、関係機関から新たに推薦される後任が任期を引き継ぐものとする。
- 5 世話人は、世話人会に出席することができない場合には、代理人を世話人会に出席させることができる。
- 6 世話人会に会長及び会長代行を置き、世話人の互選により定める。
- 7 世話人の推薦により、会長が指名する3名以内の相談役を置くことができる。
- 8 会長は世話人会の会務を統括する。
- 9 会長は、世話人会に必要と認める者を参考人として加えることができる。
- 10 会長代行は、会長に事故があるときにその職務を代理する。
- 11 相談役は、会長及び会長代行を補佐する。

(その他)

第5条 この要綱に定めるもののほか、連絡会の運営及び第1条に掲げる目的を達成するために必要となるその他の事項については、会長がこれを定める。

2 連絡会の庶務は、関係機関の協力を得て、消防庁救急企画室及び厚生労働省医政局地域医療計画課が行う。

附 則

この要綱は、平成19年5月18日から施行する。

附 則

この要綱は、平成26年5月2日から施行する。

附 則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

全国メディカルコントロール協議会連絡会世話人会構成員名簿

(五十音順、◎は会長、○は会長代行、☆は相談役)

☆	有 賀 徹	(独立行政法人労働者健康安全機構 理事長)
	宇 田 英 典	(鹿児島県保健福祉部医療審議監(兼)鹿児島地域振興局保健福祉環境部長(兼)伊集院保健所長)
	加 藤 正 哉	(和歌山県立医科大学救急集中治療医学講座教授)
	坂 本 哲 也	(帝京大学医学部救急医学講座主任教授)
	坂 元 昇	(川崎市健康福祉局医務監)
☆	島 崎 修 次	(国土舘大学防災・救急救助総合研究所長)
	添 谷 進	(千葉県防災危機管理部消防課長)
	多 田 恵 一	(医療法人和同会広島シーサイド病院)
	徳 本 史 郎	(厚生労働省医政局地域医療計画課救急・周産期医療等対策室長)
	中 塚 正 志	(仙台市消防局長)
	野 本 祐 二	(消防庁救急企画室長)
	松 本 吉 郎	(日本医師会 常任理事)
	森 住 敏 光	(東京消防庁救急部長)
☆	山 本 保 博	(一般財団法人 救急振興財団会長)
◎	行 岡 哲 男	(東京医科大学 常務理事)
	横 田 順一朗	(地方独立行政法人堺市立病院機構 副理事長)
○	横 田 裕 行	(日本医科大学大学院救急医学分野教授)

(オブザーバー)

谷 清 仁 (海上保安庁警備救難部救難課医療支援調整官)

メディカルコントロール 体制に関する実態調査結果

平成 29 年 11 月 22 日

消防庁

■□目 次□■

第1章 調査概要

1. 調査の目的
2. 調査方法
 - (1) 対象
 - (2) 調査表の配布・回収
 - (3) 実施期間
 - (4) 基準日
3. 回収状況

第2章 メディカルコントロール協議会票の結果

第1節 メディカルコントロール協議会

1. メディカルコントロール協議会の構成員
2. メディカルコントロール協議会の予算負担者
3. 協議会で取り上げられた課題
4. 救急搬送体制及び救急医療体制に係る調整に関する役割
5. 法定協議会としての位置付け

第2節 救急活動

1. 救急活動プロトコル
 - (1) 救急活動プロトコルの改訂
 - (2) DANR プロトコルの策定
2. 事後検証
 - (1) 医師による事後検証の実施状況
 - (2) 医師による事後検証の基準

第3節 救急に携わる職員の教育

1. 指導救命士の認定
 - (1) 指導救命士の認定状況
 - (2) 指導救命士を活用した取組
2. 救急救命士の再教育
 - (1) 再教育において実施すべき項目の策定
 - (2) 再教育を履修している救急救命士数の把握
 - (3) 救急救命士の再教育の履修状況
3. 通信指令員の救急に係る教育
 - (1) 教育の実施状況
 - (2) 「通信指令員の救急に係る教育テキスト」の活用
 - (3) 口頭指導要領の策定
 - (4) 口頭指導に係る事後検証の実施

第3章 消防本部票の結果

第1節 救急救命士

1. 救急救命士の各種認定数
2. 指導救命士
 - (1) 指導救命士の配置

(2) 指導救命士の制度としての位置付け

第2節 メディカルコントロール体制

1. 日常的な特定行為指示体制
2. 救急ワークステーションの運用
3. 通信途絶時のプロトコルの策定
4. DNAR プロトコルの策定

第3節 転院搬送ガイドライン

1. ガイドラインの策定

第1章 調査概要

1. 調査の目的

救急業務の質の維持・向上等を目的として、救急業務において重要な役割を担うメディカルコントロール（以下「MC」という。）に関し、MC協議会の体制、開催状況等をはじめとする全国の実態を調査・把握するために実施した。

2. 調査方法

（1）対象

全国の都道府県MC協議会、地域MC協議会、消防本部を対象として、それぞれに調査票を作成した。

なお、都道府県内に地域MC協議会を設置していない都道府県については、地域MC協議会の役割を都道府県MC協議会が担っていることから、都道府県MC協議会に地域MC協議会の調査票の回答も依頼した。

対象数は、以下のとおり。

- 都道府県MC協議会・・・・・・・・・・47協議会
- 地域MC協議会・・・・・・・・・・251協議会
- 消防本部・・・・・・・・・・732消防本部

（2）調査票の配布・回収

いずれの調査対象についても、各都道府県消防防災主管部（局）を通じて調査票（電子ファイル）をメールで配布し、回答結果を都道府県が取りまとめた上で、消防庁が電子メールで回収した。

（3）実施期間

平成29年8月14日 ～ 9月6日

（4）基準日

平成29年8月1日時点

3. 回収状況

すべての都道府県MC協議会、地域MC協議会、消防本部から回答が得られた。

（回収率100%）

第2章 メディカルコントロール協議会票の結果

第1節 メディカルコントロール協議会

1. メディカルコントロール協議会の構成員

○構成員については、以下のとおり。

図表1 MC協議会の構成員と人数（都道府県MC票・地域MC票）

構成員種別	都道府県MC協議会		地域MC協議会	
	MC数※	平均値	MC数※	平均値
①救命救急センターの医師	46	5.4人	170	2.4人
②救命救急センター以外の救急科専門医	29	2.8人	116	2.6人
③救急科以外の医師	42	6.4人	238	8.1人
④医師会の医師	45	2.6人	230	5.0人
④のうち救急専門医	5	1.8人	22	1.8人
⑤保健所の医師	10	2.1人	200	1.3人
⑤のうち救急専門医	0	0.0人	3	2.6人
⑥都道府県衛生主管部局の課長等	42	1.4人	115	1.3人
⑦都道府県消防防災主管部局の課長等	41	1.1人	144	1.1人
⑧消防本部の消防長、救急担当部課長等（管理監督者）	47	6.5人	238	3.5人
⑨都道府県の要綱等で定めた指導救命士	1	4.0人	65	4.9人
⑩消防本部の通信指令担当課長	0	0.0人	21	1.1人
⑪その他	29	3.1人	99	4.4人

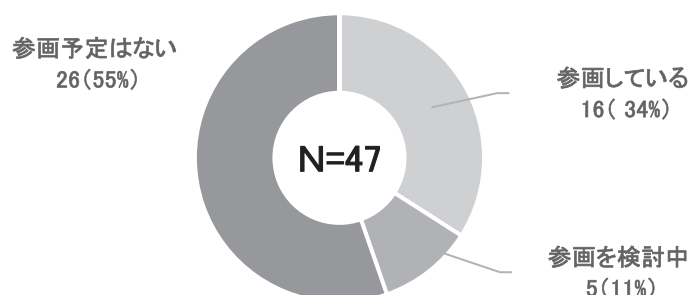
※ 表中の「MC数」とは、各構成員について「1人以上配置している」と回答したMC協議会数を計上

「その他」に挙げられた回答

○市町村保健衛生部局の課長
○消防学校長
○看護師
○弁護士 など

○都道府県MC協議会に精神科医が参画しているのは約3割。

図表2 MC協議会への精神科医の参画状況（都道府県MC票）

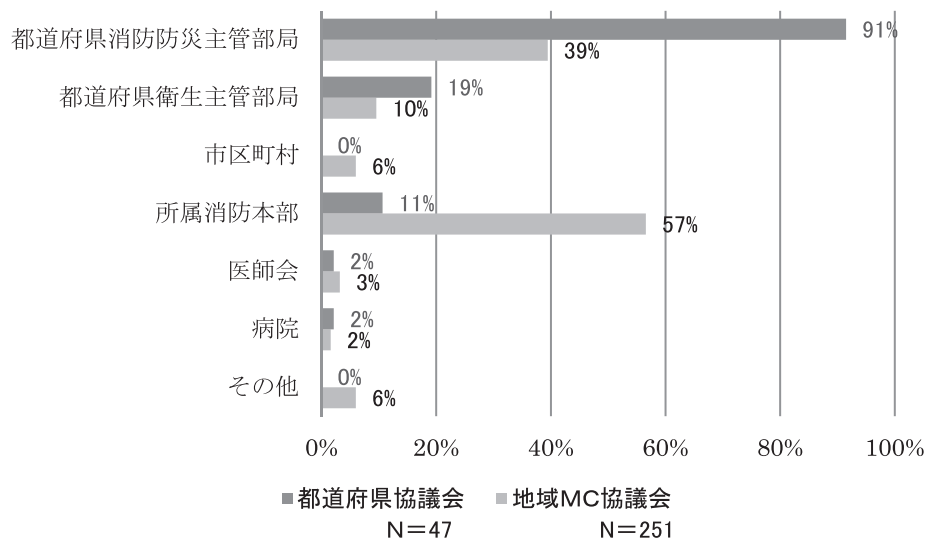


2. メディカルコントロール協議会の予算負担者

○都道府県MC協議会の予算については、都道府県消防防災主管部局の約91%が負担しており、昨年度の調査と同様の結果となっている。

○地域MC協議会の予算については、所属消防本部(57%)、都道府県消防防災主管部局(39%)の順に負担している。

図表3 平成29年度予算の負担者（複数回答）（都道府県MC票、地域MC票）



「その他」に挙げられた回答

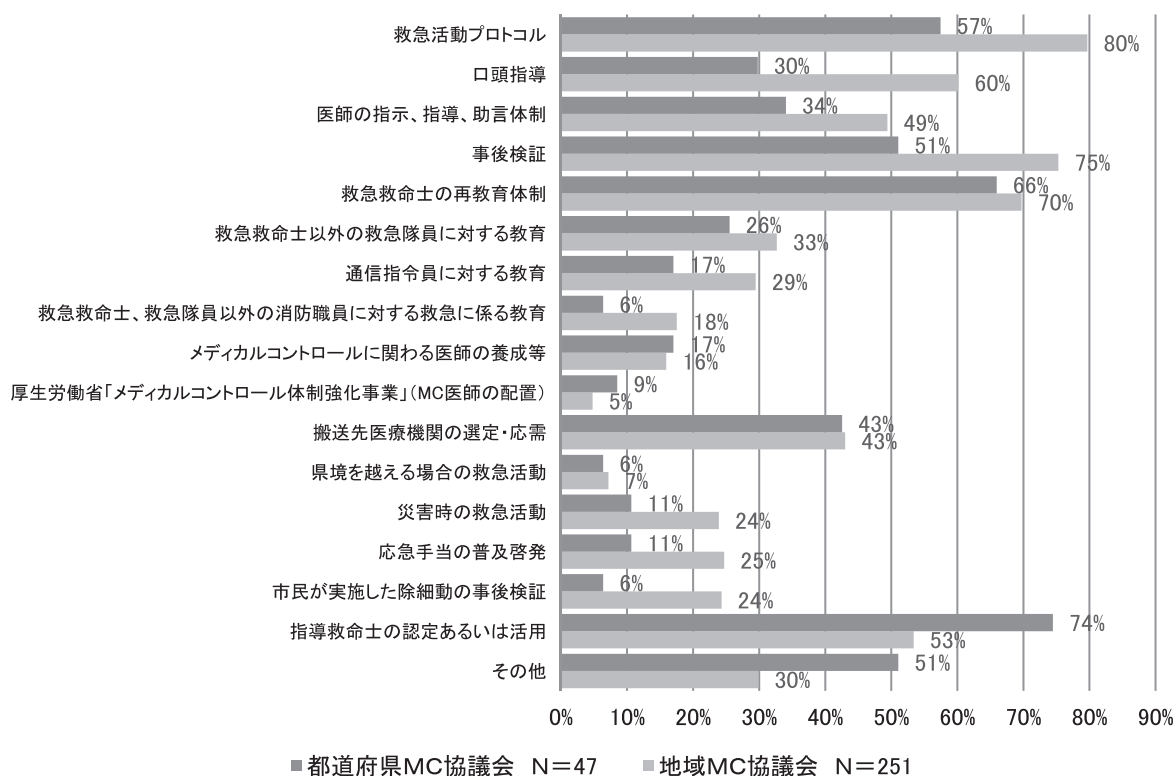
- 救急・医療に関する協議会（救急業務高度化、救急医療対策等）
- 保健所
- 消防長会
- 予算処置なし など

3. 協議会で取り上げられた課題

○都道府県MC協議会：「指導救命士の認定あるいは活用」、「救急救命士の再教育体制」、「救急活動プロトコル」の順となっている。

○地域MC協議会：「救急活動プロトコル」、「事後検証」、「救急救命士の再教育体制」の順となっている。

図表6 取り上げられた課題（複数回答）（都道府県MC票）



「その他」に挙げられた回答 (都道府県MC票)

- 指導救命士の認定
- 防災航空隊のMC体制
- 転院搬送における救急車の適正利用の推進（転院搬送ガイドラインの策定）等
- MC協議会の設置要綱、救急搬送・受入れの実施基準の改正
- 処置範囲拡大運用（追加講習、ビデオ硬性喉頭鏡の活用等）
- 蘇生を望まない救急搬送症例の取扱い（プロトコル）

(地域MC票)

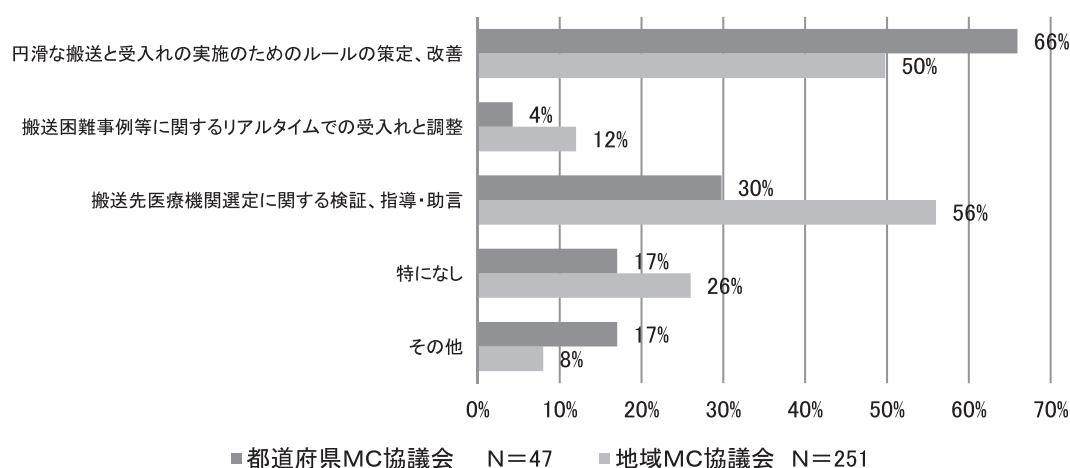
- 初診医診断の定義
- 救急救命士の再教育（病院実習等）
- 精神疾患患者の救急搬送及び受入れ
- ドクターカー、ドクターヘリの運用状況
- 消防車両等で災害出動した救急救命士に対するメディカルコントロール
- 警察と消防の連携
- 救急隊員感染防止、バイスタンダー血液曝露

4. 救急搬送体制及び救急医療体制に係る調整に関する役割

○都道府県MC協議会：「円滑な搬送と受入れの実施のためのルールの策定、改善」との回答が多い。

○地域MC協議会：「搬送先医療機関選定に関する検証、指導・助言」と「円滑な搬送と受入れの実施のためのルールの策定、改善」の回答が多い。

図表7 救急搬送体制等に係る調整に関するMC協議会の役割（都道府県MC票、地域MC票）



「その他」に挙げられた回答 (都道府県MC票)

- 観察基準等の知識フォローアップの再教育
- 搬送協議会検証結果の問題解決
- 地域MC協議会の指標となるルールの策定

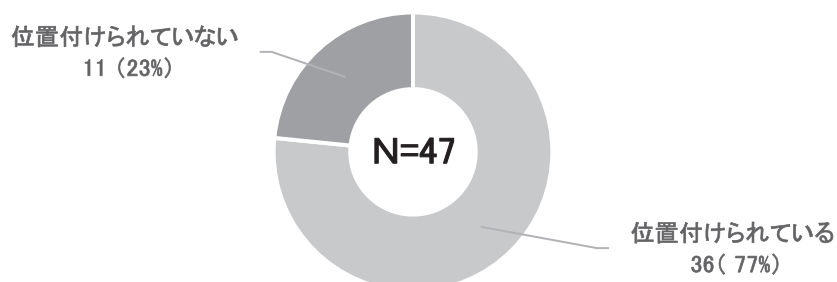
(地域MC票)

- 救急隊員の病院実習等
- プロトコル指導医の養成

5. 法定協議会としての位置付け

○都道府県MC協議会の75%が、法定協議会として位置付けられていると回答した。

図表8 法定協議会としての位置付け（都道府県MC票）



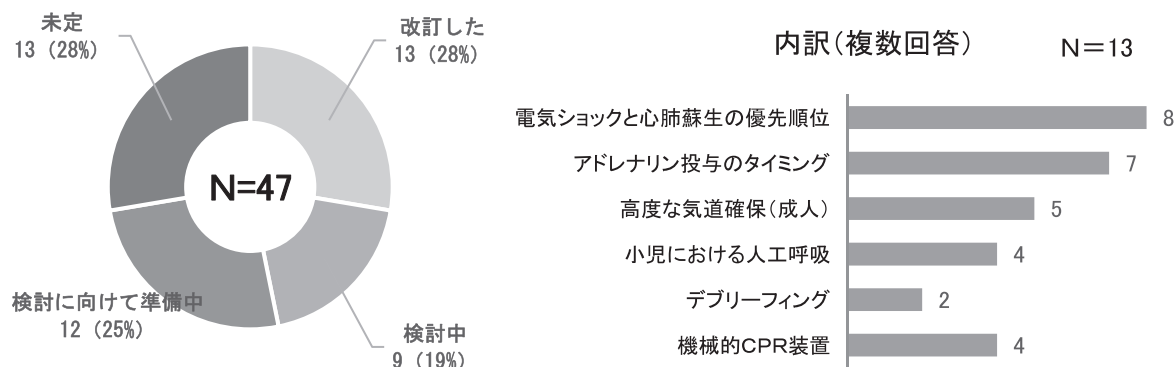
第2節 救急活動

1. 救急活動プロトコル

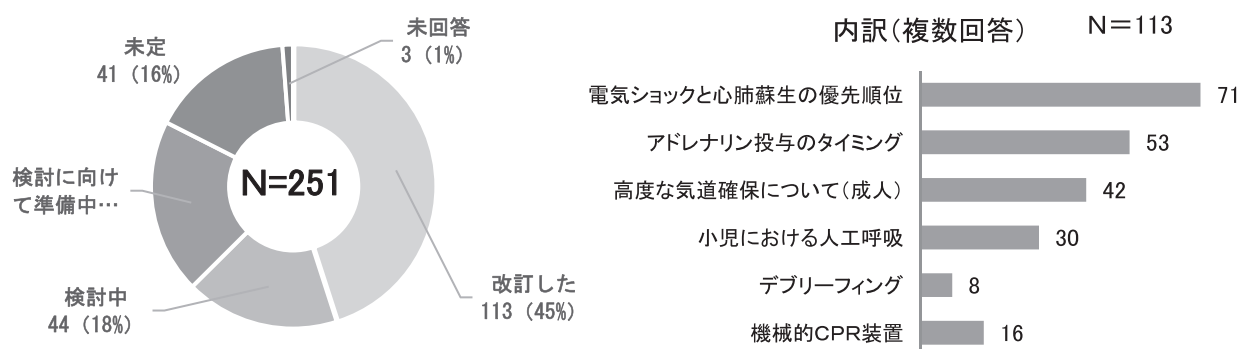
(1) 救急活動プロトコルの改訂

○都道府県MC協議会、地域MC協議会とも改訂された内容としては、「電気ショックと心肺蘇生の優先順位」、「アドレナリン投与のタイミング」であった。

図表9 救急活動プロトコルの改訂状況
(都道府県MC票)



(地域MC票)

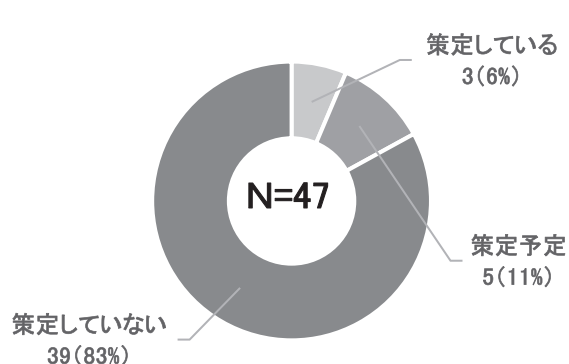


(2) DNAR プロトコルの策定

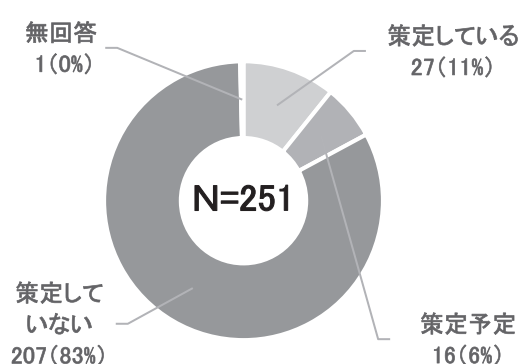
○DNAR プロトコルを策定していると回答した都道府県MC、地域MCとも少数であった。

図表10 DNARプロトコルの策定状況

(都道府県MC票)



(地域MC票)



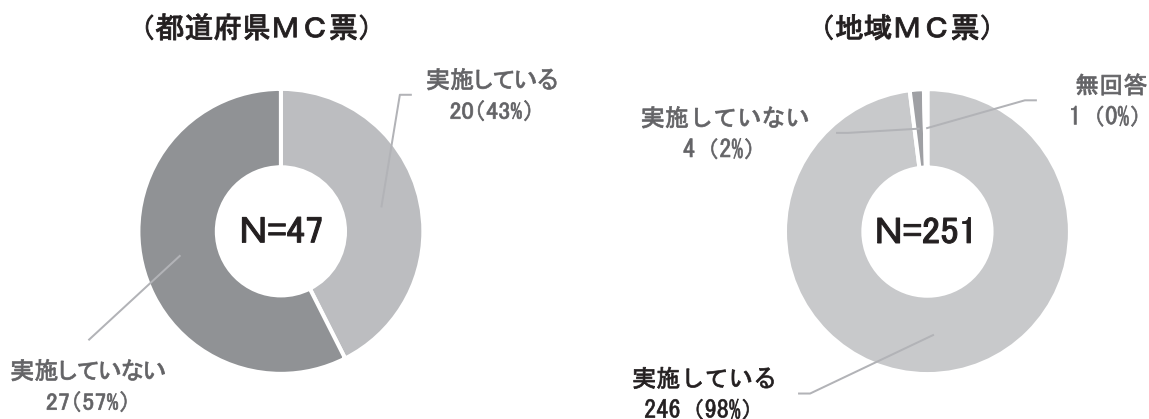
2. 事後検証

(1) 医師による事後検証の実施状況

○都道府県MC協議会：20MC協議会（43%）で実施していると回答した。

○地域MC協議会：246 地域MC協議会（98%）で実施していると回答した。

図表 11 医師による事後検証の実施



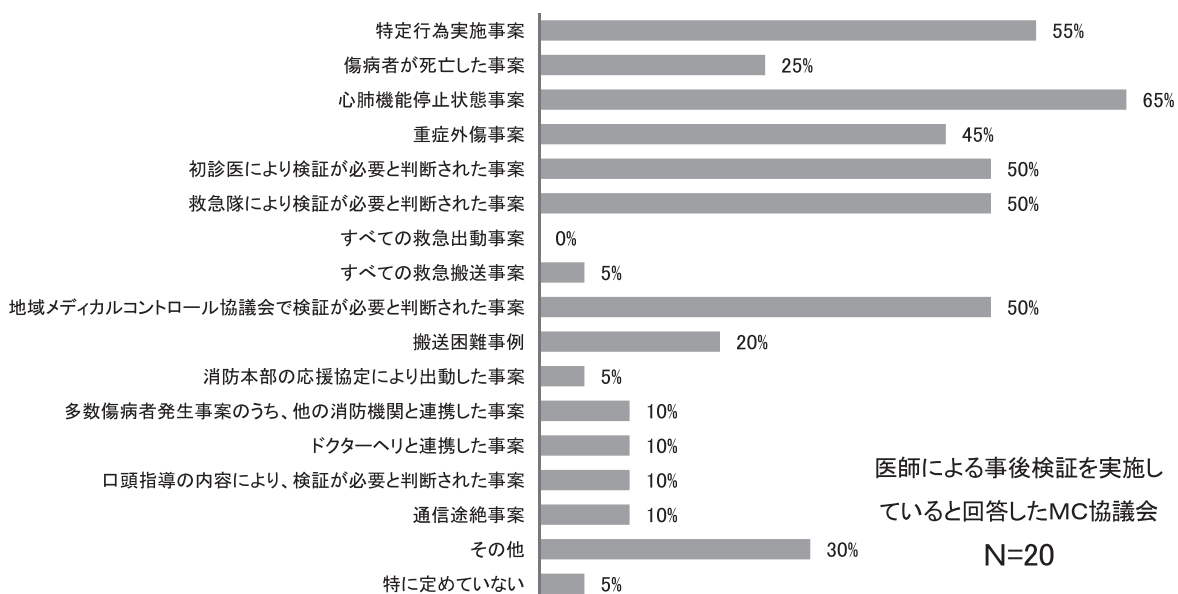
(2) 医師による事後検証の基準

○都道府県MC協議会：「心肺停止状態事案」、「特定行為事案」が多く、「通信途絶事案」を検証対象としているMC協議会もある。

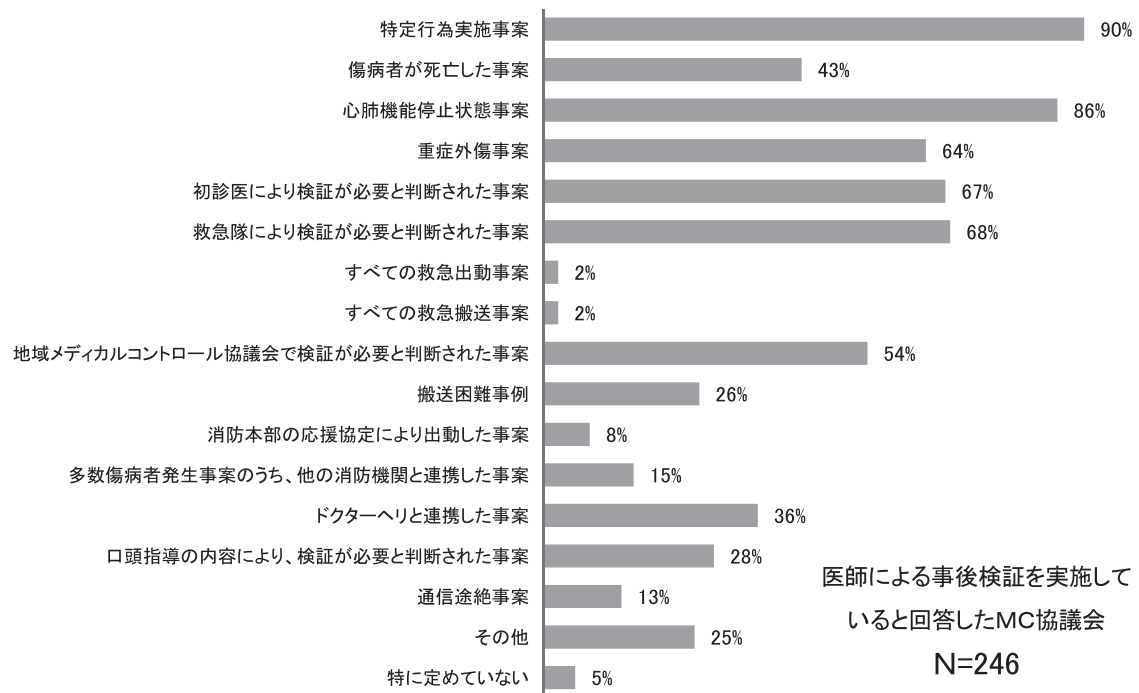
○地域MC協議会：「特定行為事案」、「心肺停止状態事案」が多く、「ドクターヘリと連携した事案」、「口頭指導の内容により、検証が必要と判断された事案」を検証対象としているMC協議会もある。

図表 12 医師による事後検証の基準

(都道府県MC票)



(地域MC票)



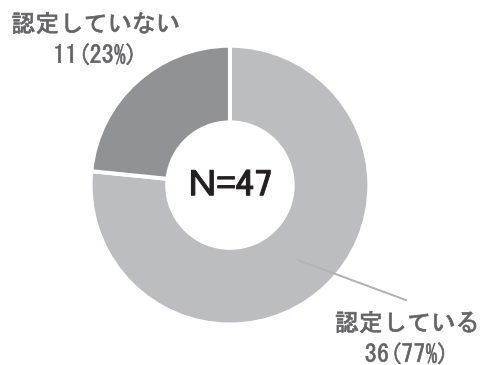
第3節 救急に携わる職員の教育

1. 指導救命士の認定

(1) 指導救命士の認定状況

○指導救命士の認定は、昨年に比べ増加している。認定を行っていない都道府県MCにおいても10MCで検討中である。(平成28年度：28府県、415人)

図表13 指導救命士の認定（都道府県MC票）



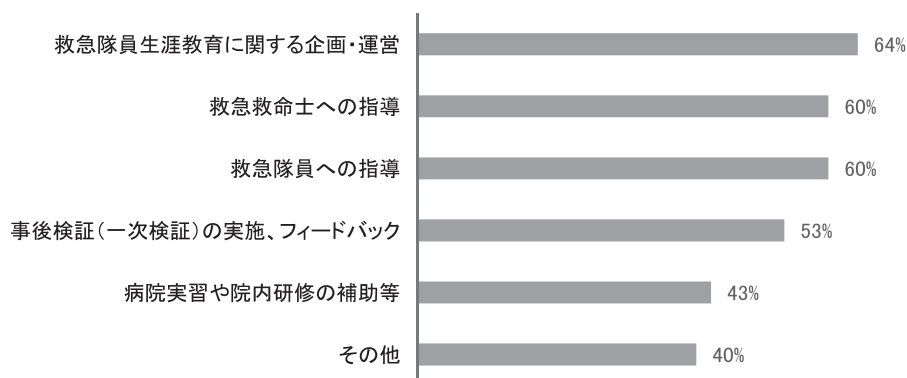
	MC数	認定者数
指導救命士の認定	36	841人(※)

※今までに認定された指導救命士数（累計）

（２）指導救命士を活用した取組

○「救急隊員の生涯教育に関する企画・運営」が最も多く、救急救命士等への指導や事後検証などについても活用されている。

図表 14 指導救命士の活用について（都道府県MC票）



「その他」の活用方法としてあげられた内容

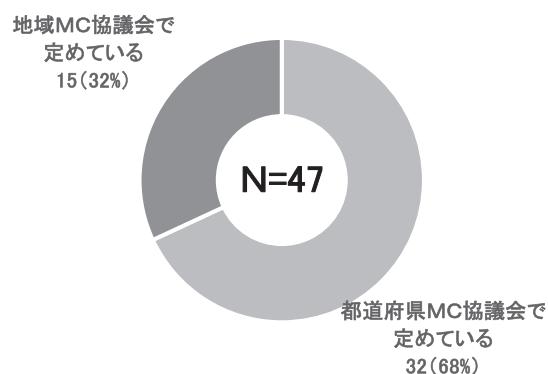
- MC協議会への参画
- MC 主催の講習における講師、専門部会への参画
- 消防学校、救急救命士養成所等での講師、指導等
- 通信指令員への指導

2. 救急救命士の再教育

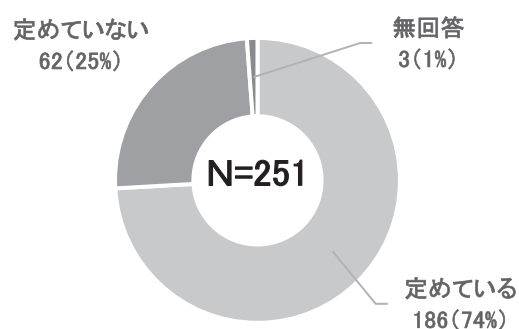
（１）再教育において実施すべき項目の策定

○救急救命士の再教育について実施すべき項目の策定については、
 都道府県MC協議会：32MC協議会（68%）が定めていると回答した。
 地域MC協議会：186MC協議会（74%）が定めていると回答し、増加している。
 （昨年度：66MC協議会、26%）

図表 15 再教育において実施すべき項目の設定状況
（都道府県MC票）



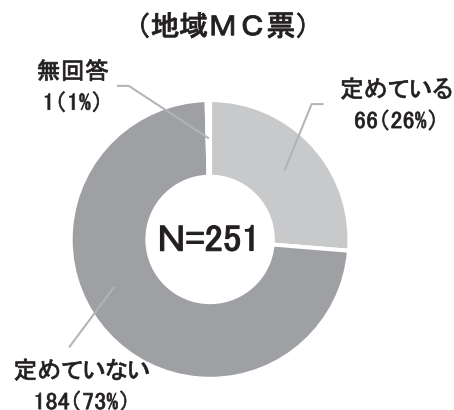
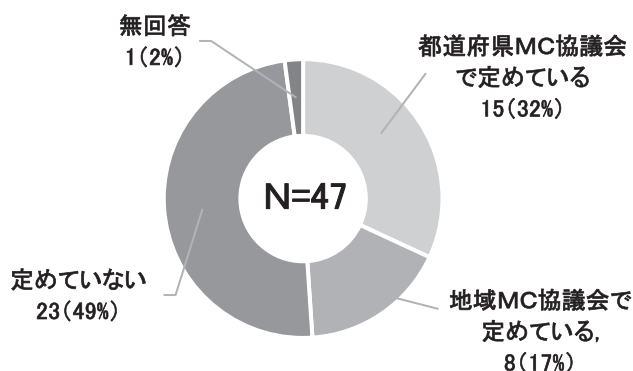
（地域MC票）



○指導救命士が行う日常的な教育を再教育時間として要綱で認めていることについては、
都道府県MC協議会：15MC協議会（32%）が定めていると回答し、増加している。
（昨年度：5MC協議会、約11%）

地域MC協議会：66MC協議会（26%）が定めていると回答し、増加している。
（昨年度：42MC協議会、約17%）

図表 16 指導救命士が行う日常的な教育を再教育時間として要綱で認めている団体
（都道府県MC票）

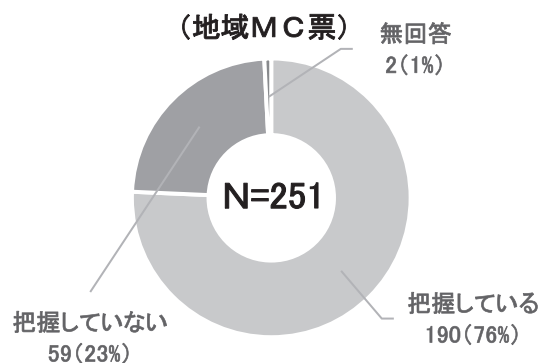
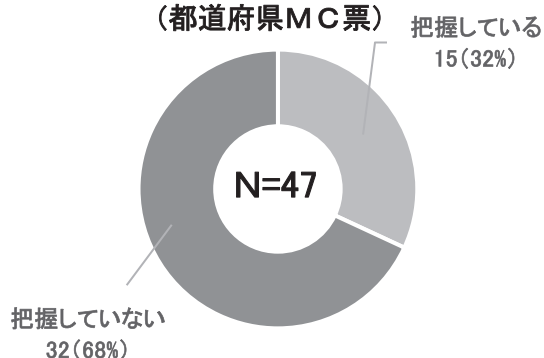


（2）再教育を履修している救急救命士数の把握

○都道府県MC協議会：15MC協議会（32%）が把握していると回答した。

○地域MC協議会：190MC協議会（76%）が把握していると回答した。

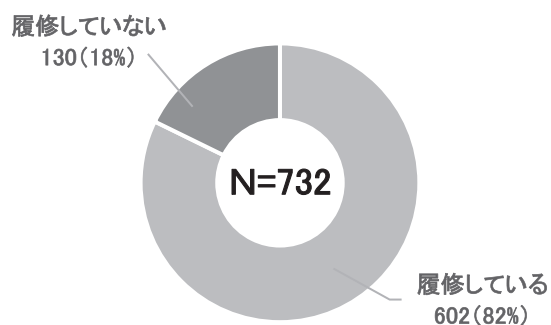
図表 17 再教育を履修している救急救命士数の把握
（都道府県MC票）



（3）救急救命士の再教育の履修状況

救急救命士の再教育については、602 消防本部（82%）で履修している。

図表 18 2年間で128時間以上の再教育を履修している消防本部（消防本部票）



【履修していない主な理由】

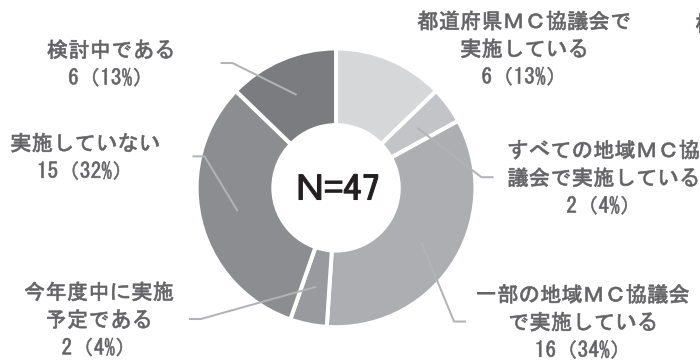
- ・ 病院実習に係る予算の確保
- ・ 勤務人員が確保できず、十分な病院実習時間が確保できない。
- ・ 実習受入医療機関の人数制限
- ・ 病院実習外の日常的な教育やその他の研修への参加

3. 通信指令員の救急に係る教育

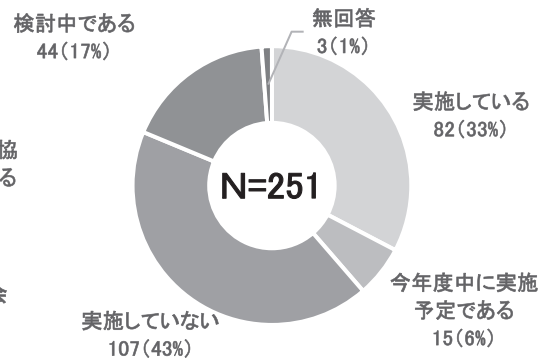
(1) 教育の実施状況の有無

通信指令員の救急に係る教育については、都道府県MC協議会、地域MC協議会とも増加傾向にある。実施していないと回答した地域MC協議会も107地域MC（43%）に減少した。（昨年度：150消防本部、約60%）

図表 19 通信指令員への救急に係る教育の実施の有無
(都道府県MC票)



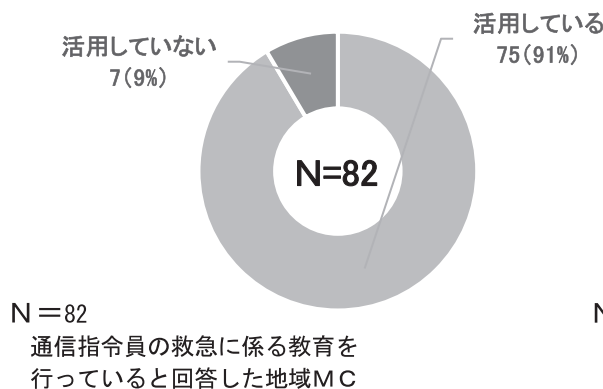
(地域MC票)



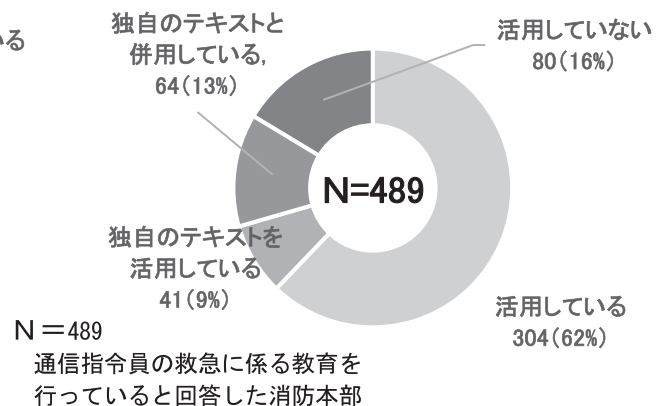
(2) 「通信指令員の救急に係る教育テキスト」の活用

○通信指令員の救急に係る教育を実施している地域MC協議会の91%が「通信指令員の救急に係る教育テキスト」を活用していると回答した。

図表 20 通信指令員への救急に係る教育の実施の有無
(地域MC票)



(消防本部票)



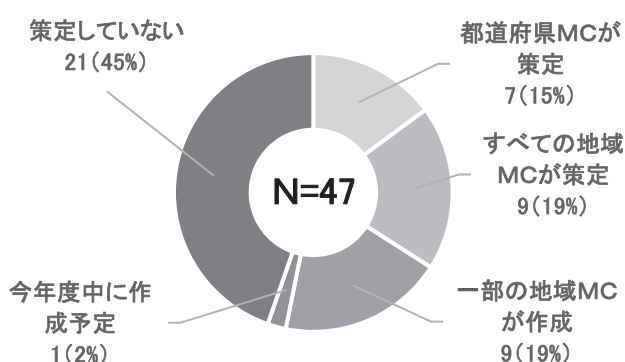
(3) 口頭指導要領の策定

○都道府県MC協議会：7MC協議会（15%）が策定していると回答した。

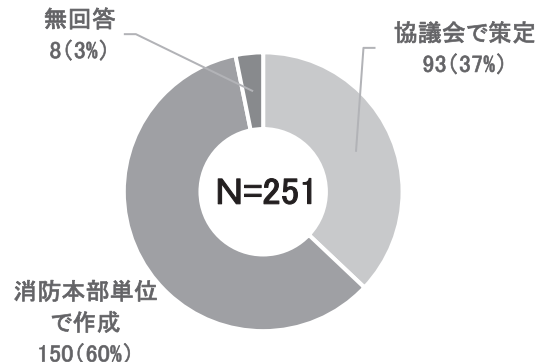
○地域MC協議会：93MC協議会（37%）が策定していると回答した。

図表 21 口頭指導要領の策定状況

(都道府県MC票)

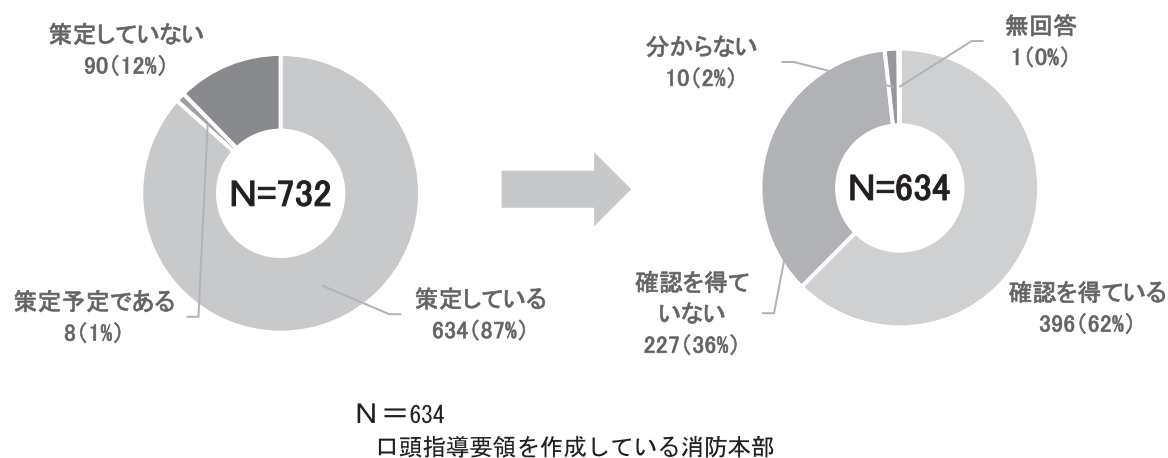


(地域MC票)



○口頭指導要領を策定し、地域MCにより確認を得ている消防本部数は 396 消防本部で、口頭指導要領を策定している消防本部の 62%であった。

図表 22 口頭指導要領を策定し、地域MCの確認を得ている消防本部（消防本部票）

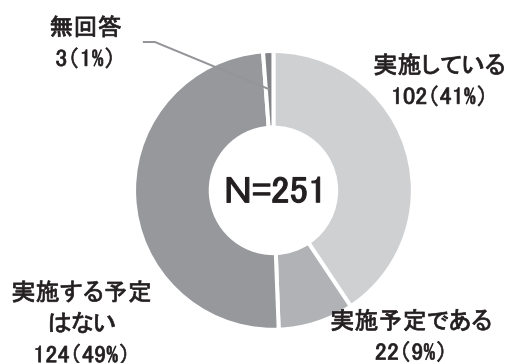


（４）口頭指導に係る事後検証の実施

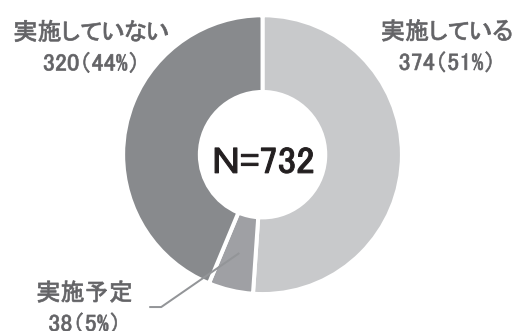
○地域MC協議会：102(約 41%)の地域MC協議会で実施していると回答し、増加している。(昨年度：90MC協議会、約 36%)

○消防本部：374(約 51%)の消防本部で実施していると回答し、増加している。(昨年度：337 消防本部、46%)

図表 23 口頭指導に係る事後検証の実施状況
(地域MC票)



(消防本部票)



第3章 消防本部の調査結果

第1節 救急救命士

1. 救急救命士の各種認定数

図表 24 救急救命士数（消防本部票・平成 29 年 8 月 1 日現在）

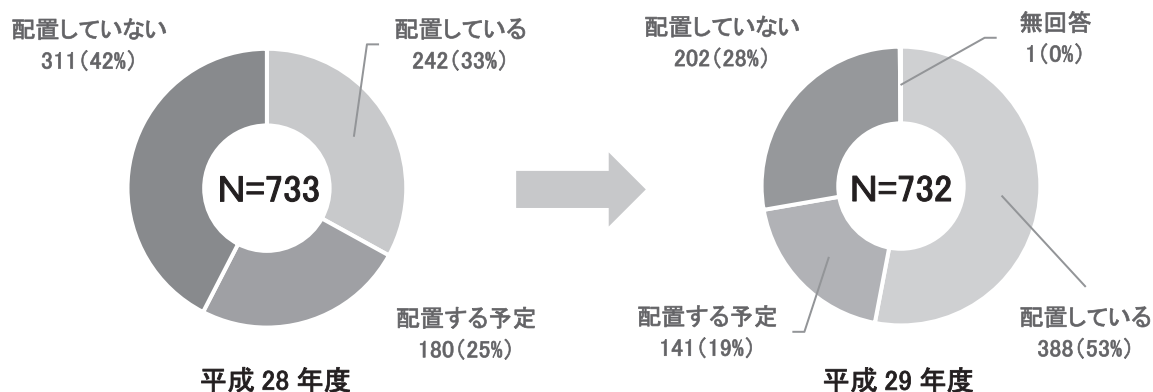
	1人以上いると回答した 消防本部数	合計人数
救急救命士資格者の総数	732	36298
うち救急隊として運用している 救急救命士数	732	27472
うち気管挿管認定救急救命士	717	14419
うちビデオ硬性挿管用喉頭鏡に よる気管挿管認定救急救命士	335	4016
うち薬剤投与認定救急救命士	730	25477
うち心停止前の静脈路確保及び 低血糖発作に対するブドウ糖溶液 の投与認定救急救命士	725	17598

2. 指導救命士

(1) 指導救命士の配置

指導救命士を配置していると回答した消防本部は、388 消防本部（53%）に増加している。

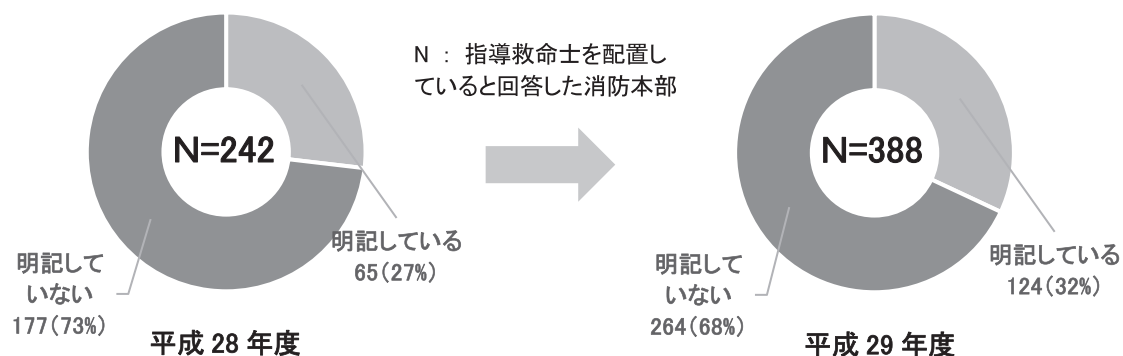
図表 25 消防本部における指導救命士の配置状況（消防本部票）



(2) 指導救命士の制度としての位置付け

指導救命士の役割を要綱に明記していると回答した消防本部は 32%に増加している。

図表 26 要綱への指導救命士の役割の明記（消防本部票）



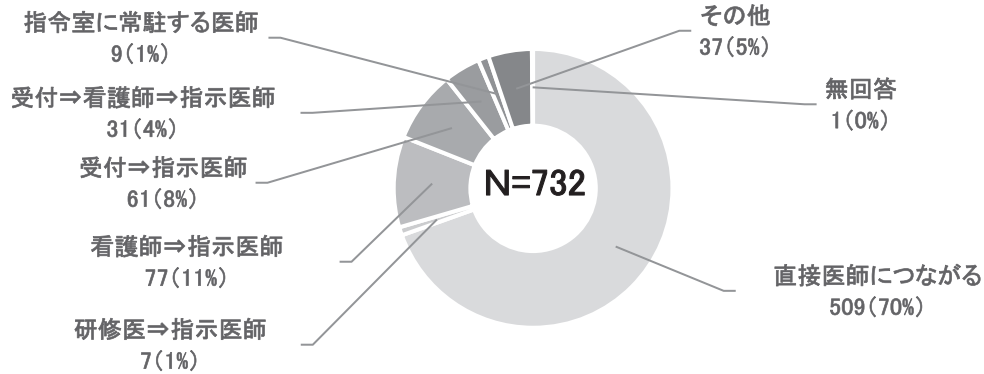
第2節 メディカルコントロール体制

1. 日常的な特定行為指示体制

○救急救命士からの特定行為要請については、約3割弱の消防本部で直接医師につながらないとの回答があった。

○その他の回答には、「時間帯によって経路が異なる」、「医療機関により経路が異なる」、「特定行為によって異なる」との回答がみられた。

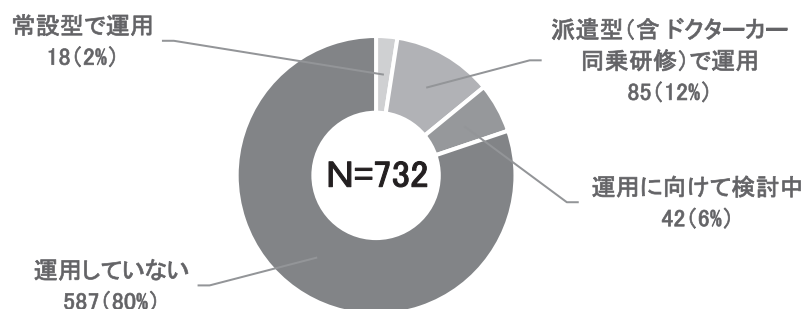
図表 27 現場の救急隊からの指示要請が指示医師につながる経路



2. 救急ワークステーションの運用

○全国消防本部の中で常設型・派遣型を合わせても14%の運用にとどまっている。

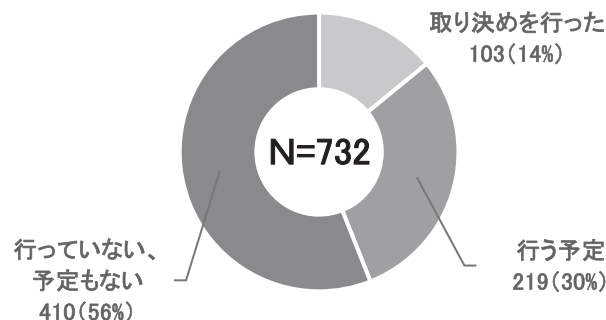
図表 28 救急ワークステーションの運用状況（消防本部票）



3. 通信途絶時のプロトコルの策定

○「大規模災害時の通信途絶時における救急救命処置の実施について」（平成29年3月30日付け消防救第48号）の発出を受けて、103消防本部（14%）が取り決めたを行ったと回答した。

図表 29 通信途絶時のプロトコルの策定状況（消防本部票）

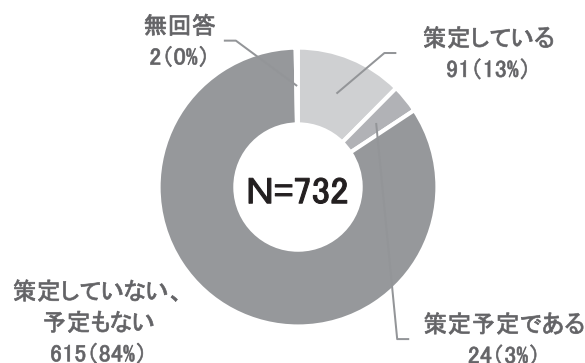


4. DNAR プロトコルの策定

○DNAR に関するプロトコルを策定していると 91 消防本部（13%）が回答。

○91 消防本部のうち、51 の消防本部で MC 協議会に認められていると回答している。

図表 30 DNAR に関するプロトコルの策定状況（消防本部票）

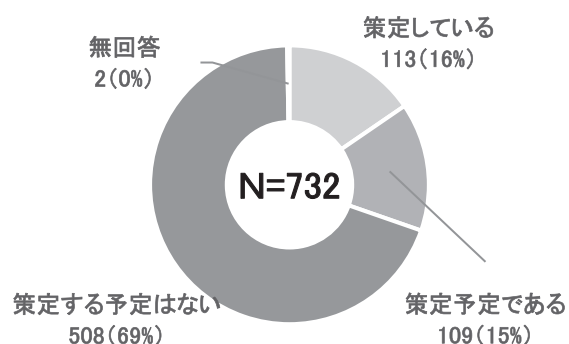


第3節 転院搬送ガイドライン

1. ガイドラインの策定

○転院搬送ガイドラインを策定していると回答したのは 113 消防本部（16%）にとどまっている。

図表 31 転院搬送ガイドラインの策定状況について



【「策定する予定はない」の主な理由】

- ・県（自治体）が中心となり、作成する必要がある。
- ・統一したガイドラインが望まれる。
- ・医療機関の同意が得られにくい。
- ・必要性を感じない。
- ・地域性（過疎地域）で、転院搬送が少ない。

MEMO

[illegible]

メディカルコントロール協議会数及び指導救命士認定者数

平成29年8月1日現在

平成29年8月1日現在

No	都道府県名	都道府県MC協議会	地域MC協議会
1	北海道	1	6
2	青森県	1	3
3	岩手県	1	11
4	宮城県	1	9
5	秋田県	1	8
6	山形県	1	5
7	福島県	1	4
8	茨城県	1	8
9	栃木県	1	5
10	群馬県	1	11
11	埼玉県	1	6
12	千葉県	1	10
13	東京都	1	1
14	神奈川県	1	5
15	新潟県	1	5
16	富山県	1	4
17	石川県	1	1
18	福井県	1	4
19	山梨県	1	1
20	長野県	1	10
21	岐阜県	1	5
22	静岡県	1	8
23	愛知県	1	7
24	三重県	1	9
25	滋賀県	1	7
26	京都府	1	6
27	大阪府	1	8
28	兵庫県	1	5
29	奈良県	1	1
30	和歌山県	1	3
31	鳥取県	1	3
32	島根県	1	4
33	岡山県	1	3
34	広島県	1	7
35	山口県	1	5
36	徳島県	1	1
37	香川県	1	1
38	愛媛県	1	3
39	高知県	1	1
40	福岡県	1	4
41	佐賀県	1	5
42	長崎県	1	7
43	熊本県	1	12
44	大分県	1	1
45	宮崎県	1	7
46	鹿児島県	1	6
47	沖縄県	1	5
合 計		47	251

指導救命士 認定者数（人）
12
12
9
0
18
12
0
0
29
30
28
0
0
30
21
0
29
13
11
16
52
18
0
61
9
0
39
29
20
32
19
15
10
0
37
1
7
34
12
40
0
22
62
14
0
14
24
36道府県 841人

※都道府県内に地域MC協議会を設置していない都道府県は、地域MC協議会の役割を都道府県MC協議会が担っているため、地域MC協議会に「1」と計上し、重複計上している。

※指導救命士認定者数については、平成29年度「救急救命体制の整備・充実に関する調査」及び「メディカルコントロール体制等の実態に関する調査」に基づく都道府県MC協議会回答票に基づく平成29年8月1日現在の報告数である。

都道府県メディカルコントロール

No	都道府県メディカルコントロール協議会名称	平成28年度中の総会等の開催状況（回数）						
		総会	専門部会等（ワーキンググループ、作業部会など）	①救命救急センターの医師	②救命救急センター以外の救急科専門医	③救急科以外の医師	④医師会の医師※	※④のうち救急専門医
1	北海道救急業務高度化推進協議会	1	1	5	1	0	5	0
2	青森県メディカルコントロール協議会	2	0	3	0	2	1	0
3	岩手県救急業務高度化推進協議会	1	1	1	5	10	2	0
4	宮城県メディカルコントロール協議会	1	2	6	0	1	1	0
5	秋田県メディカルコントロール協議会	2	2	1	0	9	1	0
6	山形県救急業務高度化推進協議会	1	7	3	2	5	2	0
7	福島県メディカルコントロール協議会	2	0	5	1	3	2	0
8	茨城県救急高度化推進協議会	1	0	1	0	13	2	0
9	栃木県救急・災害医療運営協議会病院前救護体制検討部会	2	2	5	0	0	4	4
10	群馬県救急医療体制検討協議会	1	8	3	0	10	3	0
11	埼玉県メディカルコントロール協議会	3	6	10	1	8	6	0
12	千葉県救急業務高度化推進協議会	1	0	13	2	1	0	0
13	東京都メディカルコントロール協議会	2	12	21	3	11	3	1
14	神奈川県メディカルコントロール協議会	1	6	7	0	3	3	0
15	新潟県メディカルコントロール協議会	1	3	7	0	0	0	0
16	富山県救急業務高度化推進協議会	1	0	2	6	9	2	0
17	石川県メディカルコントロール協議会	3	44	2	5	7	1	0
18	福井県メディカルコントロール協議会	2	5	1	1	4	1	0
19	山梨県メディカルコントロール協議会	2	10	1	2	7	1	0
20	長野県メディカルコントロール協議会	1	1	7	1	3	2	0
21	岐阜県メディカルコントロール協議会	2	4	7	1	3	2	0
22	静岡県メディカルコントロール協議会	1	3	10	2	0	2	0
23	愛知県救急業務高度化推進協議会	1	14	23	0	2	1	0
24	三重県救急搬送・医療連携協議会	1	3	4	4	3	1	0
25	滋賀県メディカルコントロール協議会	2	2	4	4	0	1	0
26	京都府高度救急業務推進協議会	1	0	4	2	9	3	0
27	大阪府救急業務高度化推進連絡協議会	4	3	14	7	5	1	0
28	兵庫県メディカルコントロール協議会	1	0	5	2	3	2	1
29	奈良県メディカルコントロール協議会	2	38	5	1	6	1	0
30	和歌山県救急救命協議会	1	2	7	3	14	4	0
31	鳥取県救急搬送高度化推進協議会	1	2	2	0	4	4	0
32	島根県救急業務高度化推進協議会	1	3	0	0	7	1	0
33	岡山県救急搬送体制連絡協議会	1	5	1	0	7	4	0
34	広島県メディカルコントロール協議会	1	5	2	0	4	2	0
35	山口県救急業務高度化推進協議会	1	0	10	1	10	2	1
36	徳島県メディカルコントロール協議会	1	13	2	2	14	2	0
37	香川県メディカルコントロール協議会	2	2	3	1	7	2	0
38	愛媛県メディカルコントロール協議会	1	0	3	2	3	4	0
39	高知県救急医療協議会	1	1	3	1	5	3	0
40	福岡県救急業務メディカルコントロール協議会	2	0	11	0	11	6	0
41	佐賀県メディカルコントロール協議会	0	0	6	9	1	7	0
42	長崎県メディカルコントロール協議会	1	1	2	0	5	1	0
43	熊本県メディカルコントロール協議会	1	1	3	3	12	2	2
44	大分県救急搬送協議会	1	6	2	0	5	7	0
45	宮崎県メディカルコントロール協議会	1	0	4	0	17	10	0
46	鹿児島県救急業務高度化協議会	1	4	2	0	7	2	0
47	沖縄県メディカルコントロール協議会	1	1	2	7	1	1	0
合計				245	82	271	120	9

協議会開催状況及び構成員状況

構成員								平成29年8月1日現在
⑤保健所の 医師※	⑤のうち救 急専門医	⑥都道府県 衛生主管 部局の課 長等	⑦都道府県 消防防災 主管部局 の課長等	⑧消防本部の消 防 長、救急担当課 長等(管理監督者)	⑨都道府県 の要綱等 で定めた 指導救命 士	⑩消防本部 の通信指 令担当課 長	⑪その他	その他の構成員 (自由記載内容)
0	0	2	2	8	0	0	2	市職員、消防学校
0	0	1	1	4	0	0	0	－
0	0	2	1	3	0	0	0	－
0	0	1	1	3	0	0	8	学識経験者、各地域MC協議会会長
0	0	0	0	3	0	0	1	県看護協会
4	0	1	1	5	0	0	0	－
0	0	1	1	1	0	0	7	警察本部、歯科医師会、市長会、町村会、保健所長会、 日本赤十字社、病院協会
0	0	2	1	8	0	0	0	－
0	0	1	1	5	0	0	2	市町担当課長
1	0	3	1	3	0	0	2	看護協会、災害コーディネーター
0	0	1	1	8	0	0	0	－
0	0	1	1	5	0	0	1	千葉大学 名誉教授
0	0	2	2	8	0	0	8	学識経験者
0	0	1	1	5	0	0	0	－
0	0	0	0	5	0	0	3	医師会長、消防長会長、保健所長会委員
0	0	2	4	9	0	0	0	－
0	0	1	1	11	0	0	0	－
0	0	1	1	4	0	0	0	－
1	0	1	1	10	0	0	1	消防学校長
0	0	2	2	2	0	0	2	救急救命士
0	0	1	0	7	0	0	1	看護師
0	0	0	0	3	0	0	8	地域MCごとに消防本部から1人
0	0	1	1	19	0	0	0	－
0	0	1	1	8	0	0	3	三重県市長会代表、三重県町村会代表、三重県看護協会会長
0	0	3	1	7	0	0	1	学識経験者(医大教授)
0	0	1	1	4	0	0	3	開業医
0	0	1	1	17	0	0	1	高度専門教育訓練センター専任教員
0	0	0	0	5	0	0	2	弁護士、県看護協会長
0	0	1	1	2	0	0	0	－
1	0	1	1	9	0	0	0	－
0	0	0	0	3	0	0	6	看護師協会、連合婦人会、日本てんかん協会鳥取県支部
0	0	1	2	9	0	0	2	市長会常務理事、町村会常務理事
1	0	1	1	14	0	0	2	市長会長、町村会長
0	0	1	1	2	0	0	1	県看護協会が推薦する者
2	0	4	2	9	4	0	2	消防学校校長等
4	0	2	1	13	0	0	0	－
0	0	1	1	3	0	0	5	課長補佐、副主幹、県教育委員、弁護士、大学名誉教授
0	0	2	1	6	0	0	0	－
0	0	1	1	5	0	0	1	高知県救急医療情報センター理事長
0	0	2	1	8	0	0	1	救急救命九州研修所 専任教授
0	0	1	1	5	0	0	5	県歯科医師会、県精神科病院協会、県老人福祉施設協議会、 県看護協会、女性防火クラブ
0	0	1	1	3	0	0	0	－
0	0	2	1	12	0	0	0	－
0	0	1	1	6	0	0	5	医療機関(救命救急センター)の管理者、大分県看護協会
1	0	1	1	10	0	0	0	－
1	0	1	1	6	0	0	0	－
5	0	2	1	5	0	0	6	消防職員(救急救命士)、消防学校教官
21	0	60	49	310	4	0	92	

全国 救命救急センター設置状況 一覧表

平成29年8月1日現在

都道府県	救命救急センター	施設名
北海道	①	旭川赤十字病院
	②	市立函館病院
	③	市立釧路総合病院
	④	北見赤十字病院
	⑤	市立札幌病院
	⑥	帯広厚生病院
	⑦	札幌医科大学附属病院
	⑧	手稲溪仁会病院
	⑨	独立行政法人国立病院機構 北海道医療センター
	⑩	旭川医科大学病院
	⑪	砂川市立病院
	⑫	名寄市立総合病院
青森県	①	青森県立中央病院
	②	八戸市立市民病院
	③	弘前大学医学部附属病院
岩手県	①	岩手医科大学附属病院
	②	岩手県立久慈病院
	③	岩手県立大船渡病院
宮城県	①※	独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター
	②	仙台市立病院
	③	大崎市民病院
	④※	東北大学病院
	⑤	石巻赤十字病院
	⑥	みやぎ県南中核病院
秋田県	①	秋田赤十字病院
山形県	①	山形県立中央病院
	②	公立置賜総合病院
	③	日本海総合病院
福島県	①	いわき市立総合磐城共立病院
	②	財団法人太田総合病院附属太田西ノ内病院
	③	会津中央病院
	④	福島県立医科大学附属病院
茨城県	①※	独立行政法人国立病院機構 水戸医療センター
	②	筑波メディカルセンター病院
	③	総合病院土浦協同病院
	④	茨城西南医療センター病院
	⑤※	水戸済生会総合病院
	⑥	株式会社日立製作所日立総合病院
栃木県	①	済生会宇都宮病院
	②	足利赤十字病院
	③	那須赤十字病院
	④	獨協医科大学病院
	⑤	自治医科大学附属病院
群馬県	①	独立行政法人国立病院機構 高崎総合医療センター
	②	前橋赤十字病院
	③	SUBARU 健康保険組合太田記念病院
	④	群馬大学病院医学部附属病院
埼玉県	①	さいたま赤十字病院
	②	埼玉医科大学総合医療センター

都道府県	救命救急センター	施設名
埼玉県	③	深谷赤十字病院
	④	防衛医科大学校病院
	⑤	川口市立医療センター
	⑥	獨協医科大学越谷病院
	⑦	埼玉医科大学国際医療センター
	⑧	自治医科大学附属さいたま医療センター
	⑨	県立小児医療センター
千葉県	①	千葉県救急医療センター
	②	総合病院国保旭中央病院
	③	国保直営総合病院君津中央病院
	④	亀田総合病院
	⑤	国保松戸市立病院
	⑥	成田赤十字病院
	⑦	船橋市立医療センター
	⑧	日本医科大学千葉北総病院
	⑨	順天堂大学医学部附属浦安病院
	⑩	東京慈恵会医科大学附属柏病院
	⑪	東千葉メディカルセンター
	⑫	東京女子医科大学附属八千代医療センター
東京都 (23区)	①	日本医科大学付属病院
	②	独立行政法人国立病院機構 東京医療センター
	③	東邦大学医療センター大森病院
	④	都立広尾病院
	⑤	帝京大学医学部附属病院
	⑥	都立墨東病院
	⑦	東京女子医科大学病院
	⑧	日本大学病院
	⑨	日本大学医学部附属板橋病院
	⑩	東京医科大学病院
	⑪	昭和大学病院
	⑫	東京女子医科大学東医療センター
	⑬	聖路加国際病院
	⑭	東京医科歯科大学医学部附属病院
	⑮	日本赤十字社医療センター
	⑯	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院
	⑰	東京大学医学部附属病院
	⑱	東京都済生会中央病院
東京都 (多摩地区)	①	杏林大学医学部付属病院
	②	東京医科大学八王子医療センター
	③	武蔵野赤十字病院
	④	日本医科大学多摩永山病院
	⑤	都立多摩総合医療センター
	⑥	公立昭和病院
	⑦	独立行政法人国立病院機構 災害医療センター
	⑧	青梅市立総合病院
神奈川県	①	聖マリアンナ医科大学病院
	②	横浜医療センター
	③	北里大学病院
	④	東海大学医学部付属病院
	⑤	昭和大学藤が丘病院
	⑥	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院
	⑦	横浜市立大学附属市民総合医療センター

都道府県	救命救急センター	施設名
神奈川県	⑧	横須賀共済病院
	⑨	川崎市立川崎病院
	⑩	日本医科大学武蔵小杉病院
	⑪	藤沢市民病院
	⑫	済生会横浜市東部病院
	⑬	横浜市立みなと赤十字病院
	⑭	小田原市立病院
	⑮	横浜州市立市民病院
	⑯	横浜労災病院
	⑰	横須賀市立うわまち病院
	⑱	湘南鎌倉総合病院
	⑲	横浜南共済病院
	⑳	平塚市民病院
	㉑	海老名総合病院
新潟県	❶	長岡赤十字病院
	②	新潟市民病院
	③	新潟県立中央病院
	④	新潟県立新発田病院
	❺	新潟大学医歯学総合病院
	⑥	新潟県地域医療推進機構魚沼基幹病院
富山県	❶	富山県立中央病院
	②	富山県厚生農業協同組合連合会 高岡病院
石川県	①	石川県立中央病院
	②	公立能登総合病院
福井県	①	福井県立病院
	②	杉田玄白記念公立小浜病院
山梨県	❶	地方独立行政法人山梨県立病院機構山梨県立中央病院救急救命センター
長野県	①	長野赤十字病院
	❷	長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院佐久医療センター
	③	慈泉会相澤病院
	❹	信州大学医学部附属病院
	⑤	諏訪赤十字病院
	⑥	飯田市立病院
	⑦	伊那中央病院
岐阜県	①	岐阜県総合医療センター
	②	地方独立行政法人 岐阜県立多治見病院
	③	日本赤十字社 高山赤十字病院
	④	大垣市民病院
	⑤	JA 岐阜厚生連 中濃厚生病院
	❻	岐阜大学医学部附属病院
静岡県	①	静岡済生会総合病院
	❷	順天堂大学医学部附属静岡病院
	③	浜松医療センター
	④	静岡赤十字病院
	❺	聖隷三方原病院
	⑥	沼津市立病院
	⑦	磐田市立総合病院
	⑧	聖隷浜松病院
	⑨	地方独立行政法人静岡県立病院機構 静岡県立総合病院
	⑩	中東遠総合医療センター
	⑪	藤枝市立総合病院
愛知県	①	名古屋掖済会病院

都道府県	救命救急センター	施設名
愛知県	②	藤田保健衛生大学病院
	③	独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター
	④	愛知医科大学病院
	⑤	岡崎市民病院
	⑥	豊橋市民病院
	⑦	名古屋第二赤十字病院
	⑧	小牧市民病院
	⑨	愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院
	⑩	中京病院
	⑪	名古屋第一赤十字病院
	⑫	半田市立半田病院
	⑬	愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院
	⑭	総合大雄会病院
	⑮	一宮市立市民病院
	⑯	名古屋市立大学病院
	⑰	刈谷豊田総合病院
	⑱	トヨタ記念病院
	⑲	愛知厚生連海南病院
	⑳	公立陶生病院
	㉑	愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院
	㉒	春日井市民病院
	㉓	あいち小児保健医療総合センター（小児救命救急センター）
三重県	①※	伊勢赤十字病院
	②	三重県立総合医療センター
	③	市立四日市病院
	④※	三重大学医学部附属病院
滋賀県	①	大津赤十字病院
	②	長浜赤十字病院
	③	済生会滋賀県病院
	④	近江八幡市立総合医療センター
京都府	①	京都第二赤十字病院
	②	独立行政法人国立病院機構 京都医療センター
	③	京都第一赤十字病院
	④	市立福知山市民病院
	⑤	医療法人社団洛和会音羽病院
	⑥	医療法人徳洲会宇治徳洲会病院
大阪府	①	大阪急性期・総合医療センター
	②	関西医科大学総合医療センター
	③	大阪府済生会千里病院
	④	独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター
	⑤	近畿大学医学部附属病院
	⑥	大阪府三島救命救急センター
	⑦	大阪市立総合医療センター
	⑧	地方独立行政法人りんくう総合医療センター
	⑨	大阪府立中河内救命救急センター
	⑩	大阪大学医学部附属病院
	⑪	大阪赤十字病院
	⑫	大阪警察病院
	⑬	関西医科大学附属病院
	⑭	大阪市立大学医学部附属病院
	⑮	岸和田徳洲会病院
	⑯	堺市立総合医療センター

都道府県	救命救急センター	施 設 名
兵庫県	①	神戸市立医療センター中央市民病院
	②	兵庫医科大学病院
	③	兵庫県立姫路循環器病センター
	④	公立豊岡病院
	⑤	兵庫県災害医療センター
	⑥※	兵庫県立加古川医療センター
	⑦	兵庫県立西宮病院
	⑧※	製鉄記念広畑病院
	⑨	兵庫県立淡路医療センター
	⑩	兵庫県立尼崎総合医療センター
奈良県	①	奈良県総合医療センター
	②	奈良県立医科大学附属病院
	③	近畿大学医学部奈良病院
和歌山県	①	日本赤十字社和歌山医療センター
	②	和歌山県立医科大学附属病院
	③	独立行政法人国立病院機構 南和歌山医療センター
鳥取県	①	鳥取県立中央病院
	②	鳥取大学医学部附属病院
島根県	①	島根県立中央病院
	②	松江赤十字病院
	③	独立行政法人国立病院機構 浜田医療センター
	④	島根大学医学部附属病院
岡山県	①	川崎医科大学附属病院
	②	岡山赤十字病院
	③	津山中央病院
	④	岡山大学病院
	⑤	倉敷中央病院
広島県	①	広島市立広島市民病院
	②	独立行政法人国立病院機構 呉医療センター
	③	県立広島病院
	④	広島大学病院
	⑤	福山市民病院
	⑥	広島県厚生農業協同組合連合会 広島総合病院
	⑦	広島県厚生農業協同組合連合会 尾道総合病院
山口県	①	独立行政法人国立病院機構 岩国医療センター
	②	地方独立行政法人山口県立病院機構 山口県立総合医療センター
	③	山口大学医学部附属病院
	④	独立行政法人国立病院機構 関門医療センター
	⑤	徳山中央病院
徳島県	①	徳島県立中央病院
	②	徳島赤十字病院
	③	徳島県立三好病院
香川県	①	香川県立中央病院
	②	香川大学医学部附属病院
	③	三豊総合病院
愛媛県	①※	愛媛県立中央病院
	②	愛媛県立新居浜病院
	③	市立宇和島病院
高知県	①	高知赤十字病院
	②	高知県・高知市病院企業団立高知医療センター
	③	近森病院
福岡県	①	北九州市立八幡病院

都道府県	救命救急センター	施設名
福岡県	②	済生会福岡総合病院
	③	久留米大学病院
	④	飯塚病院
	⑤	福岡大学病院
	⑥	北九州総合病院
	⑦	九州大学病院
	⑧	聖マリア病院
	⑨	独立行政法人国立病院機構福岡東医療センター
	⑩	独立行政法人国立病院機構九州医療センター
佐賀県	①※	佐賀県医療センター好生館
	②※	佐賀大学医学部附属病院
	③	唐津赤十字病院
	④	独立行政法人国立病院機構 嬉野医療センター
長崎県	①	独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター
	②	長崎大学病院
	③	佐世保市総合医療センター
熊本県	①	熊本赤十字病院
	②	独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター
	③	済生会熊本病院
大分県	①	大分市医師会立アルメイダ病院
	②	大分大学医学部附属病院
	③	大分県立病院
	④	国家公務員共済組合連合会新別府病院
宮崎県	①	県立宮崎病院
	②	県立延岡病院
	③	宮崎大学医学部附属病院
鹿児島県	①	鹿児島市立病院
	②	鹿児島大学病院
	③	県立大島病院
沖縄県	①	沖縄県立中部病院
	②	浦添総合病院
	③	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター

※救命救急センター（高度救命救急センター及び地域救命救急センター含む） 合計 289カ所

※「●」はドクターヘリ導入病院 運用施設数 合計 51カ所 なお、「※」は複数基地病院を示す。

ドクターヘリ基幹連携病院

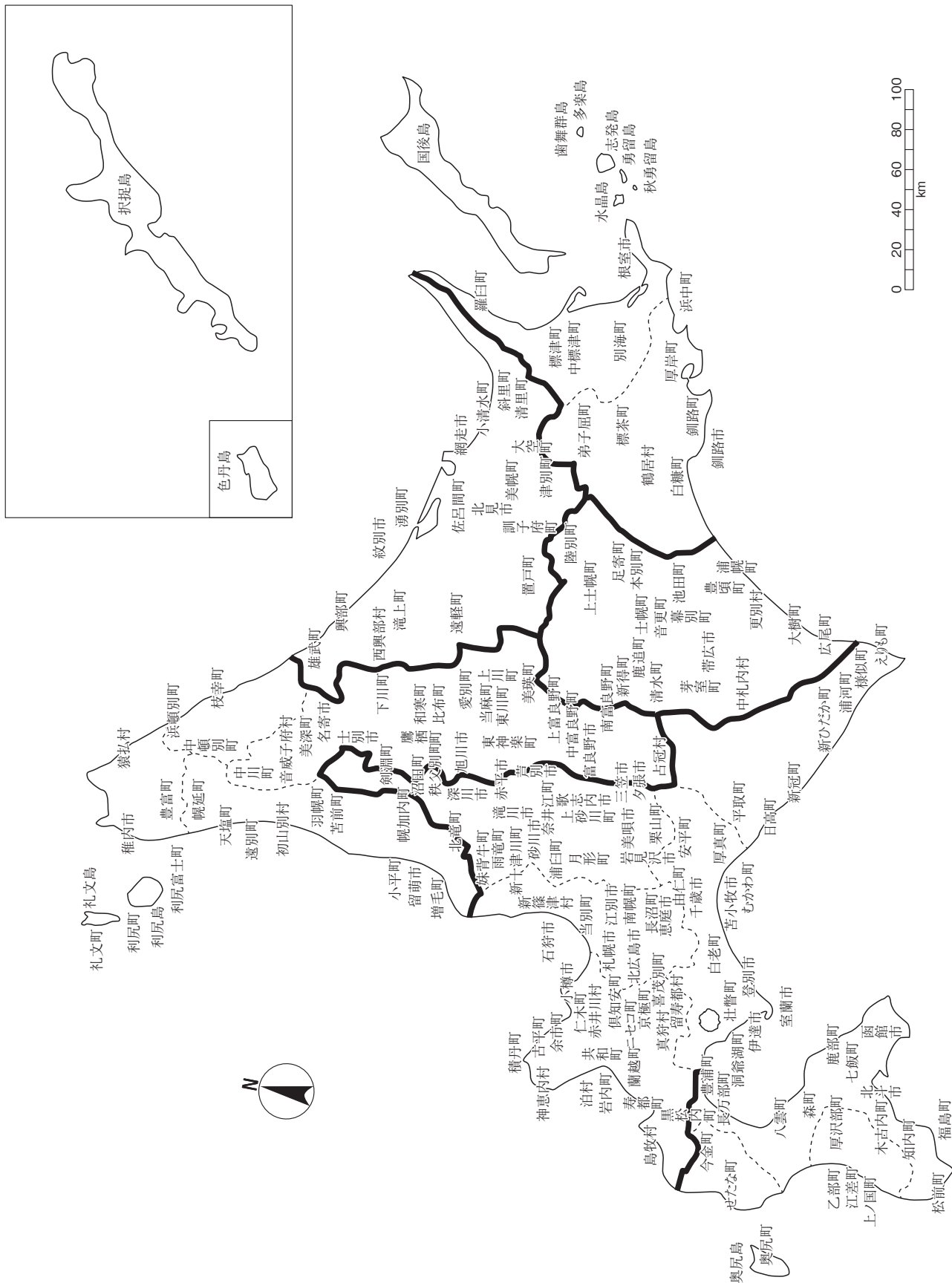
平成29年8月1日現在

都道府県	ドクターヘリ 基幹連携病院	施設名
愛媛県	④※	愛媛大学医学部附属病院

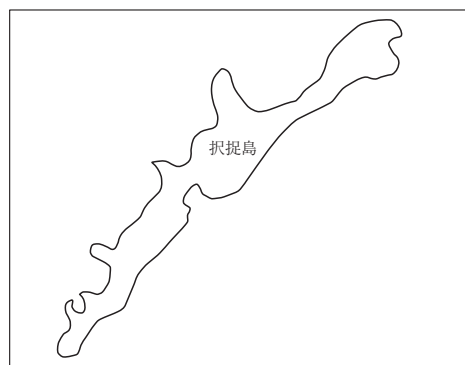
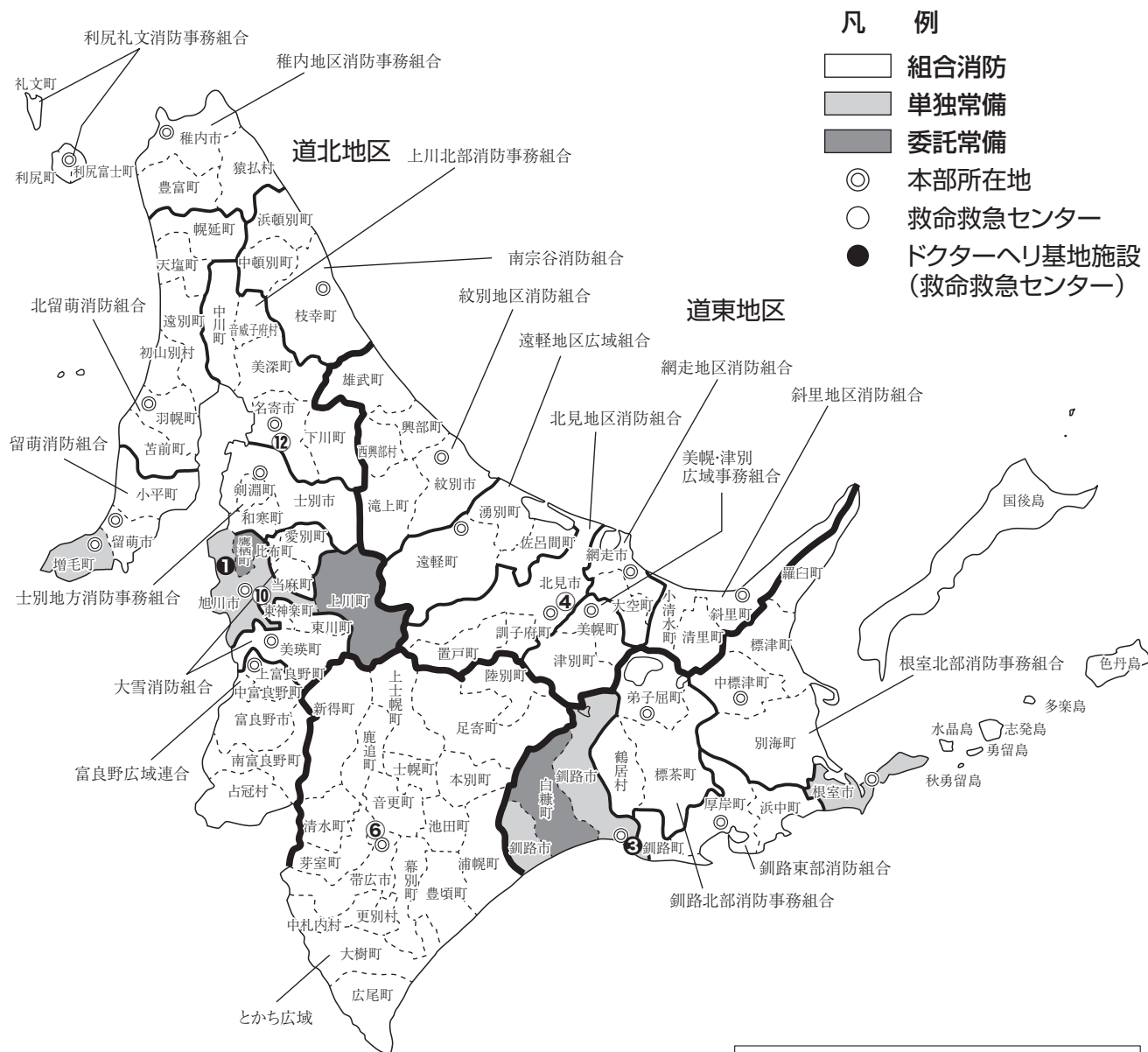
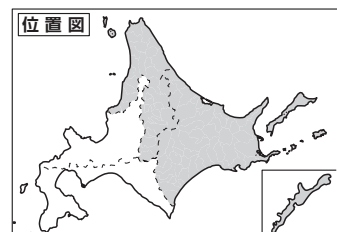
北海道【北海道救急業務高度化推進協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
北海道救急業務高度化推進協議会	森 弘樹 北海道総務部危機対策局 局長	北海道総務部危機対策局危機対策課 保健福祉部地域医療推進局地域医療課 北海道札幌市中央区北3条西6丁目 011-204-5009 011-231-4314		
道南圏メディカルコントロール協議会	神林 善彦 函館市消防本部 消防長	北海道渡島総合振興局地域政策部地域政策課 北海道函館市美原4丁目6-16 渡島合同庁舎内 0138-47-9430 0138-47-9203	函館市消防本部 長万部町消防本部 森町消防本部 八雲町消防本部 南渡島消防事務組合消防本部 渡島西部広域事務組合消防本部 檜山広域行政組合消防本部	市立函館病院
道央圏メディカルコントロール協議会	岡本 征仁 札幌市消防局 救急担当部長	北海道石狩振興局地域政策部地域政策課 北海道札幌市中央区3条西7丁目 道庁別館 011-204-5818 011-232-1070	札幌市消防局 江別市消防本部 千歳市消防本部 恵庭市消防本部 北広島市消防本部 石狩北部地区消防事務組合消防本部 夕張市消防本部 美唄市消防本部 歌志内市消防本部 三笠市消防本部 岩見沢地区消防事務組合消防本部 砂川地区広域消防組合消防本部 滝川地区広域消防事務組合消防本部 深川地区消防組合消防本部 南空知消防組合消防本部 小樽市消防本部 岩内・寿都地方消防組合消防本部 羊蹄山ろく消防組合消防本部 北後志消防組合消防本部 苫小牧市消防本部 室蘭市消防本部 登別市消防本部 白老町消防本部 西胆振行政事務組合消防本部 胆振東部消防組合消防本部 日高西部消防組合消防本部 日高中部消防組合消防本部 日高東部消防組合消防本部	市立札幌病院 札幌医科大学附属病院 北海道大学病院
道北圏メディカルコントロール協議会	平野 文彦 旭川市消防本部 消防長	北海道上川総合振興局地域政策部地域政策課 北海道旭川市永山6条19丁目 上川合同庁舎内 0166-46-5918 0166-46-5204	旭川市消防本部 上川北部消防事務組合消防本部 富良野広域連合消防本部 大雪消防組合消防本部 士別地方消防事務組合消防本部 増毛町消防本部 留萌消防組合消防本部 北留萌消防組合消防本部 稚内地区消防事務組合消防本部 南宗谷消防組合消防本部 利尻礼文消防事務組合消防本部	旭川赤十字病院
オホーツク圏メディカルコントロール協議会	佐藤 淳一 北見地区消防組合消防本部 消防長	北海道オホーツク総合振興局地域政策部地域政策課 北海道網走市北7条西3丁目 オホーツク合同庁舎内 0152-41-0625 0152-44-7261	北見地区消防組合消防本部 網走地区消防組合消防本部 紋別地区消防組合消防本部 斜里地区消防組合消防本部 美幌・津別広域事務組合消防本部 遠軽地区広域組合消防本部	北見赤十字病院
十勝圏メディカルコントロール協議会	小田原 秀幸 とかち広域消防局 消防局長	北海道十勝総合振興局地域政策部地域政策課 北海道帯広市東3条南3丁目 十勝合同庁舎内 0155-26-9023 0155-22-0185	とかち広域消防局	帯広厚生病院
釧路・根室圏メディカルコントロール協議会	工藤 和哉 釧路市消防本部 消防長	北海道釧路総合振興局地域政策部地域政策課 北海道釧路市浦見2丁目2-54 0154-43-9144 0154-42-2116	釧路市消防本部 釧路北部消防事務組合消防本部 釧路東部消防組合消防本部 根室市消防本部 根室北部消防事務組合消防本部	市立釧路総合病院

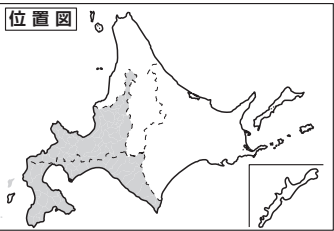
北海道



北海道 道北 道東地区



北海道 道西 道南 道央地区



凡 例

- 組合消防
- 単独常備
- 本部所在地
- 救命救急センター
- ドクターヘリ基地施設 (救命救急センター)



全国 救命救急センター設置状況 一覧表 (平成29年8月1日現在)

救命救急センター	施 設 名
①	旭川赤十字病院
②	市立函館病院
③	市立釧路総合病院
④	北見赤十字病院
⑤	市立札幌病院
⑥	帯広厚生病院
⑦	札幌医科大学附属病院
⑧	手稲溪仁会病院
⑨	独立行政法人国立病院機構 北海道医療センター
⑩	旭川医科大学病院
⑪	砂川市立病院
⑫	名寄市立総合病院



青森県 【青森県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
青森県メディカルコントロール協議会	山村 仁 弘前大学医学部附属病院 高度救命救急センター長	青森県健康福祉部医療業務課 青森市長島一丁目1番1号 017-734-9287 017-734-8089		
青森・下北地域メディカルコントロール協議会	花田 裕之 青森県立中央病院 救命救急センター長	青森県危機管理局消防保安課 青森市長島一丁目1番1号 017-734-9087 017-722-4867	青森地域広域事務組合消防本部 下北地域広域行政事務組合消防本部	青森県立中央病院【他】
八戸・上十三地域メディカルコントロール協議会	野田頭 達也 八戸市立市民病院 救命救急センター所長	八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部 八戸市大字田向字松ヶ崎7番地8 0178-44-4857 0178-44-1196	八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部 十和田地域広域事務組合消防本部 三沢市消防本部 北部上北広域事務組合消防本部 中部上北広域事業組合消防本部	八戸市立市民病院【他】
津軽・西北五地域メディカルコントロール協議会	山村 仁 弘前大学医学部附属病院 高度救命救急センター長	弘前地区消防事務組合消防本部 弘前市大字本町2番地1 0172-32-5103 0172-33-9117	弘前地区消防事務組合消防本部 五所川原地区消防事務組合消防本部 つがる市消防本部 鰺ヶ沢地区消防事務組合消防本部	国立大学法人弘前大学医学部 附属病院【他】

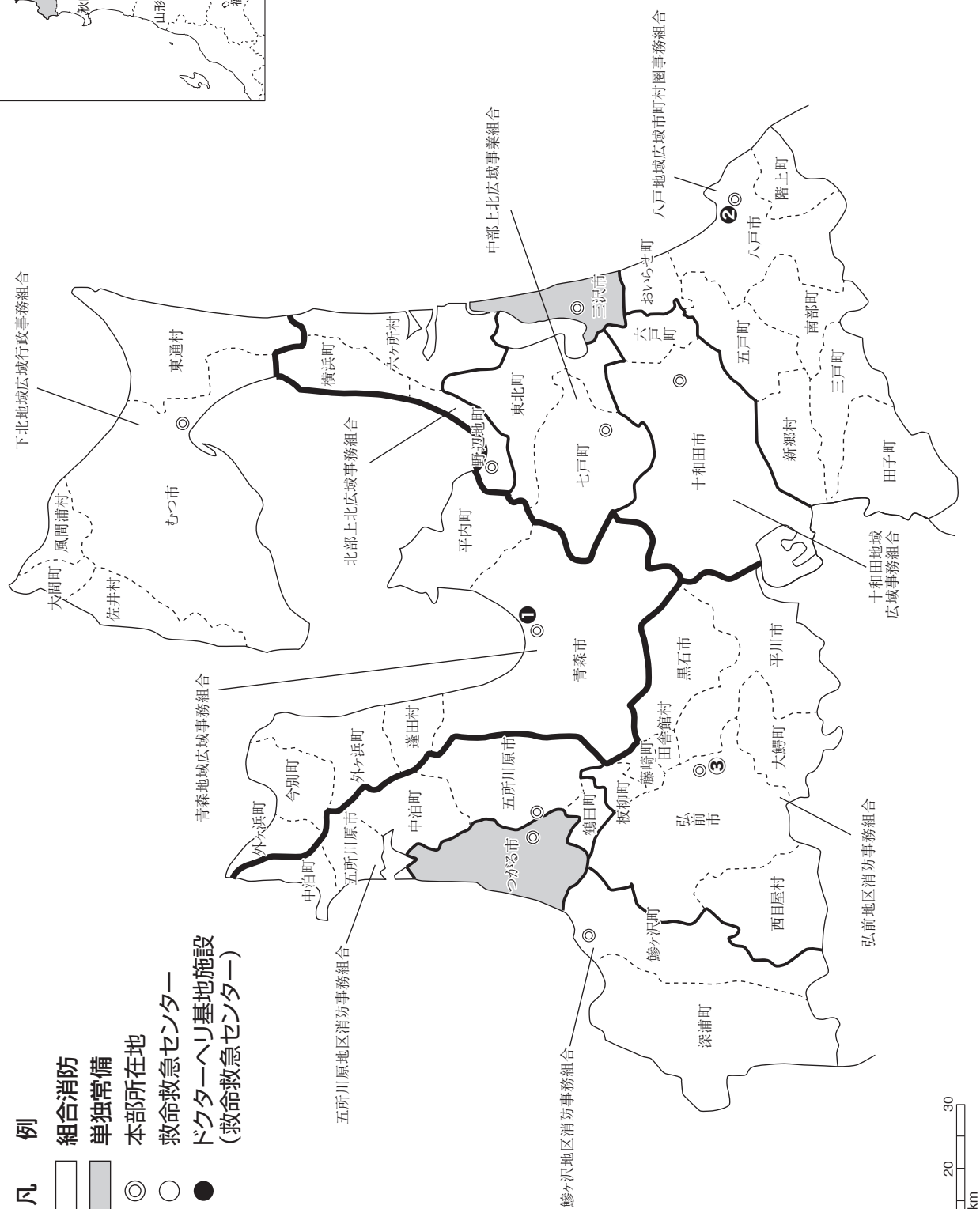
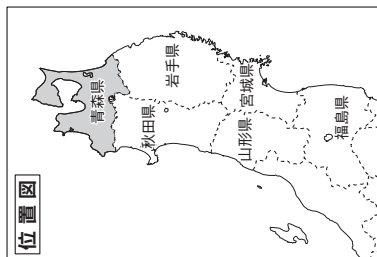
全国 救命救急センター設置状況 一覧表 (平成29年8月1日現在)

救命救急センター	施 設 名
①	青森県立中央病院
②	八戸市立市民病院
③	弘前大学医学部附属病院

地域MC協議会 3

青 森 県

- 凡 例
- 組合消防
 - 単独常備
 - 本部所在地
 - 救命救急センター
 - ドクターヘリ基地施設
(救命救急センター)



岩手県 【岩手県救急業務高度化推進協議会】

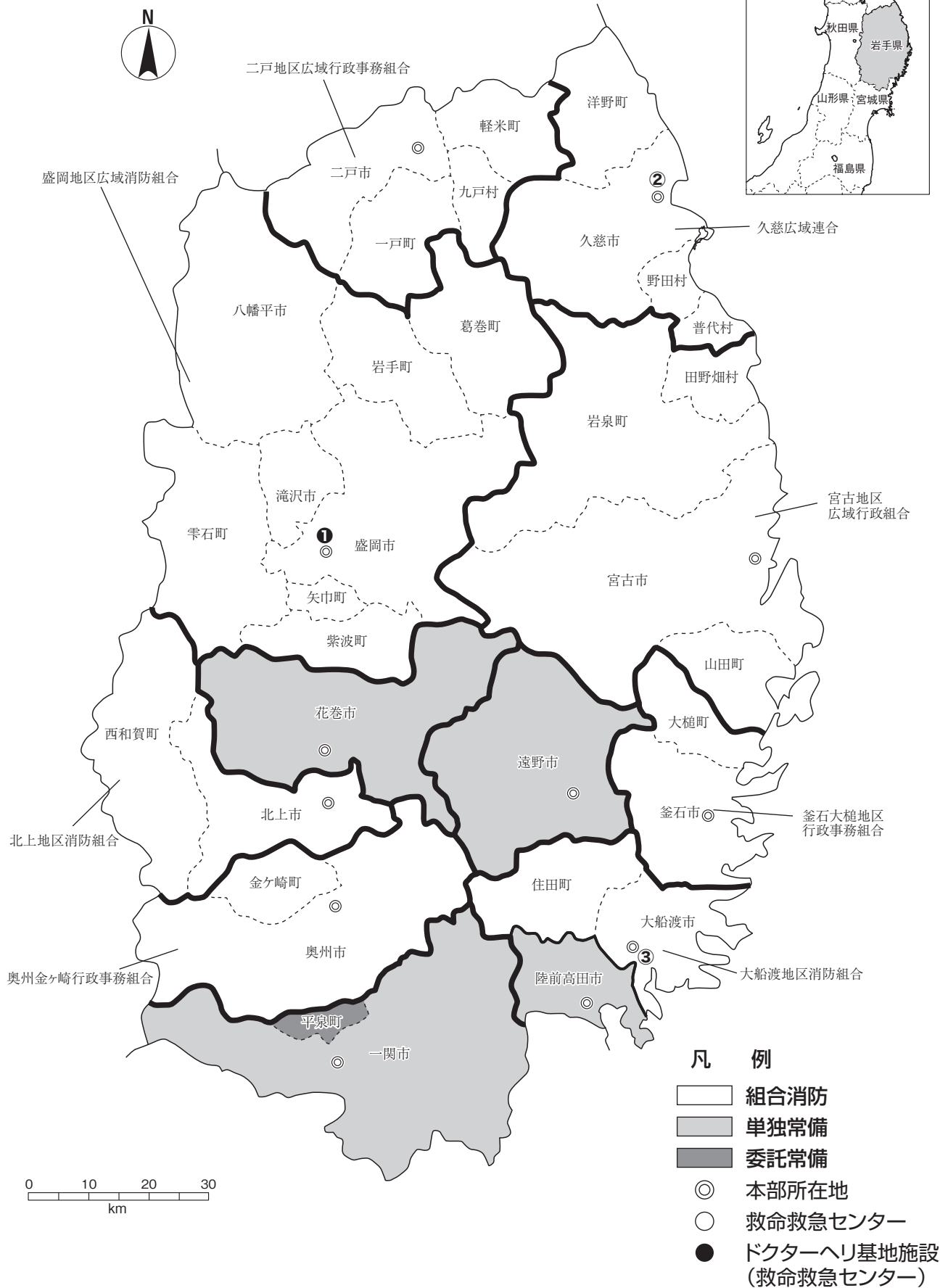
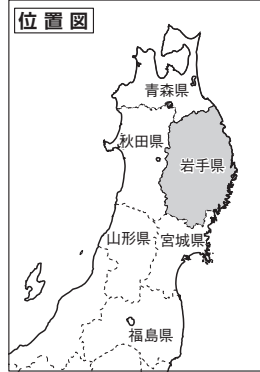
メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
岩手県救急業務高度化推進協議会	井上 義博 岩手医科大学医学部 岩手県高度救命救急センター長	岩手県総務部総合防災室 岩手県盛岡市内丸10番1号 019-629-5556 019-629-5174		
盛岡地域メディカルコントロール協議会	井上 義博 岩手医科大学医学部 岩手県高度救命救急センター長	盛岡地区広域消防組合消防本部警防課 盛岡市内丸8番5号 019-626-7402 019-651-9916	盛岡地区広域消防組合消防本部	岩手県高度救命救急センター 岩手県立中央病院 盛岡赤十字病院
宮古地域メディカルコントロール協議会	村上 晶彦 岩手県立宮古病院 院長	宮古地区広域行政組合消防本部消防課 宮古市五月町2番1号 0193-71-1159 0193-64-5006	宮古地区広域行政組合消防本部	岩手県立宮古病院 恩賜財団岩手県済生会岩泉病院
一関地域メディカルコントロール協議会	中野 淳平 一関市医師会 会長	一関市消防本部 一関市山目字中野140番地3 0191-25-5912 0191-25-5922	一関市消防本部	岩手県立磐井病院 岩手県立千厩病院 岩手県立大東病院 一関市国民健康保険 藤沢病院 独立行政法人国立病院機構 岩手病院 特定医療法人博愛会 一関病院
釜石地域メディカルコントロール協議会	小泉 嘉明 釜石医師会 会長	釜石大槌地区行政事務組合消防本部消防課 釜石市鈴子町16番19号 TEL 0193-22-1642 FAX 0193-55-6333	釜石大槌地区行政事務組合消防本部	岩手県立釜石病院 医療法人楽山会せいてつ記念病院
胆江地域メディカルコントロール協議会	川村 秀司 岩手県立江刺病院 院長	奥州金ヶ崎行政事務組合消防本部消防救急課 奥州市水沢区大鐘町二丁目16番地 0197-24-7211 0197-23-6239	奥州金ヶ崎行政事務組合消防本部	岩手県立胆沢病院 岩手県立江刺病院 奥州市総合水沢病院
久慈地域メディカルコントロール協議会	吉田 徹 岩手県立久慈病院 院長	久慈広域連合消防本部 久慈市長内町第29地割21番地1 0194-53-0119 0194-53-3115	久慈広域連合消防本部	岩手県立久慈病院救命救急センター 洋野町国民健康保険種市病院
花巻地域メディカルコントロール協議会	三浦 良雄 花巻市医師会 会長	花巻市消防本部警防課 花巻市材木町12番6号 0198-22-6124 0198-22-5549	花巻市消防本部	公益財団法人総合花巻病院 岩手医科大学附属花巻温泉病院 岩手県立東和病院 社団医療法人啓愛会宝陽病院 岩手県立中部病院
北上地域メディカルコントロール協議会	根本 薫 北上医師会 会長	北上地区消防組合消防本部 北上市柳原町二丁目3番6号 0197-65-5176 0197-65-5170	北上地区消防組合消防本部	岩手県立中部病院 社会福祉法人恩賜財団済生会北上済生会病院 町立西和賀さわうち病院
気仙地域メディカルコントロール協議会	伊藤 達郎 岩手県立大船渡病院 院長 救命救急センター長	大船渡地区消防組合消防本部消防課 大船渡市盛町字木町1-1 0192-27-2119 0192-27-7414	大船渡地区消防組合消防本部 陸前高田市消防本部	岩手県立大船渡病院【他】
遠野地域メディカルコントロール協議会	郷右近 祐司 岩手県立遠野病院 副院長	遠野市消防本部 遠野市青笹町糠前10-46 0198-62-2119 0198-62-2271	遠野市消防本部	岩手県立遠野病院
二戸地域メディカルコントロール協議会	佐藤 昌之 岩手県立二戸病院 院長	二戸地区広域行政事務組合消防本部 二戸市金田一字上田面300番地2 0195-26-8111 0195-26-8113	二戸地区広域行政事務組合消防本部	岩手県立二戸病院

全国 救命救急センター設置状況 一覧表

(平成29年8月1日現在)

救命救急センター	施 設 名
①	岩手医科大学附属病院
②	岩手県立久慈病院
③	岩手県立大船渡病院

岩手県



宮城県 【宮城県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
宮城県メディカルコントロール協議会	久志本 成樹 東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座 救急医学分野 教授	宮城県総務部消防課 宮城県仙台市青葉区本町3-8-1 022-211-2373 022-211-2398		
仙南地域メディカルコントロール協議会	本多 正久 (一社)角田市医師会 理事	宮城県大河原地方振興事務所 宮城県柴田郡大河原町字南129-1 0224-53-3133 0224-53-3076	仙南地域広域行政事務組合消防本部	みやぎ県南中核病院 公立刈田綜合病院 仙南病院
仙台・黒川地域メディカルコントロール協議会	村田 祐二 仙台市立病院 副院長兼救命救急センター長	宮城県総務部消防課 宮城県仙台市青葉区本町3-8-1 022-211-2373 022-211-2398	仙台市消防局 黒川地域行政事務組合消防本部	東北大学病院 仙台市立病院 国立病院機構仙台医療センター 仙台オープン病院
岩沼地域メディカルコントロール協議会	阿部 秀一 (一社)名取市医師会 理事	宮城県仙台地方振興事務所 宮城県仙台市青葉区堤通雨宮町4-17 022-275-9115 022-233-6624	名取市消防本部 岩沼市消防本部 亘理地区行政事務組合消防本部	総合南東北病院 仙台厚生病院 JCHO仙台南病院 東北医科薬科大学病院 国立病院機構宮城病院
塩釜地域メディカルコントロール協議会	赤石 隆 (公社)宮城県塩釜医師会 副会長	宮城県仙台地方振興事務所 宮城県仙台市青葉区堤通雨宮町4-17 022-275-9115 022-233-6624	塩釜地区消防事務組合消防本部	坂総合病院 塩竈市立病院 仙塩総合病院 松島病院 宮城利府済済会病院 赤石病院
大崎地域メディカルコントロール協議会	宮下 英士 (一社)大崎市医師会 理事	宮城県北部地方振興事務所 宮城県大崎市古川旭4-1-1 0229-91-0716 0229-91-0749	大崎地域広域行政事務組合消防本部	大崎市民病院 大崎市民病院鳴子温泉分院 大崎市民病院鹿島台分院 大崎市民病院岩出山分院
栗原地域メディカルコントロール協議会	中鉢 誠司 栗原市立栗原中央病院 院長	宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所 宮城県栗原市築館藤木5-1 0228-22-2121 0228-22-6284	栗原市消防本部	栗原市立栗原中央病院 栗原市立若柳病院 栗原市立栗駒病院 宮城県立循環器・呼吸器病センター 岩手県立磐井病院
登米地域メディカルコントロール協議会	松本 宏 登米市立登米市民病院 院長	宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所 登米市迫町佐沼字西佐沼150-5 0220-22-6128 0220-22-8096	登米市消防本部	登米市立登米市民病院 登米市立米谷病院 登米市立豊里病院 宮城県立循環器・呼吸器病センター
石巻地域メディカルコントロール協議会	高橋 邦広 (一社)石巻市医師会 理事	宮城県東部地方振興事務所 宮城県石巻市東中里1-4-32 0225-95-1410 0225-22-8386	石巻地区広域行政事務組合消防本部	石巻赤十字病院 女川町地域医療センター
気仙沼地域メディカルコントロール協議会	成田 徳雄 気仙沼市立病院 脳神経外科科長	宮城県気仙沼地方振興事務所 気仙沼市赤岩杉ノ沢47-6 0226-24-2591 0226-23-8175	気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部	気仙沼市立病院 南三陸病院

全国 救命救急センター設置状況 一覧表 (平成29年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①※	独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター
②	仙台市立病院
③	大崎市民病院
④※	東北大学病院
⑤	石巻赤十字病院
⑥	みやぎ県南中核病院

※2施設でドクターヘリ1機

宮城県



秋田県【秋田県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
秋田県メディカルコントロール協議会	中永 士師明 秋田大学大学院医学系研究科医学専攻 病態制御医学系 救急・集中治療医学講座 教授	秋田県総務部総合防災課 秋田市山王3-1-1 018-860-4565 018-824-1190		
大館鹿角地域 メディカルコン トロール協議 会	笹生 昌之 かづの厚生病院 副院長	鹿角広域行政組合消防本部 鹿角市花輪字向畑100番地2 0186-23-5601 0186-23-5605	大館市消防本部 鹿角広域行政組合消防本部	大館市立総合病院 かづの厚生病院 秋田労災病院 大館市立扇田病院
北秋田地域メ ディカルコン トロール協議会	蒔苗 隆 北秋田市民病院 副院長	北秋田市消防本部警防課 北秋田市鷹巣字北中家下85 0186-62-1119 0186-63-1119	北秋田市消防本部	北秋田市民病院
能代山本地域 メディカルコン トロール協議 会	太田原 康成 能代厚生医療センター 副院長	能代山本広域市町村圏組合消防本部救急課 能代市緑町2-22 0185-52-3311 0185-53-3958	能代山本広域市町村圏組合消防本部	能代厚生医療センター 能代山本医師会病院 秋田病院
秋田周辺地域 メディカルコン トロール協議 会	藤田 康雄 秋田赤十字病院 救命救急センター長	秋田市消防本部救急課 秋田市山王1-1-1 018-823-4019 018-823-9006	秋田市消防本部 五城目町消防本部 男鹿地区消防一部事務組合消防本部 湖東地区消防本部	秋田赤十字病院 秋田大学医学部附属病院 県立脳血管研究センター 市立秋田総合病院 秋田厚生医療センター 中通総合病院 男鹿みなと市民病院 藤原記念病院
本荘由利地域 メディカルコン トロール協議 会	平野 裕 由利組合総合病院 診療部長	由利本荘市消防本部救急課 由利本荘市美倉町27-2 0184-22-4282 0184-23-2748	由利本荘市消防本部 にかほ市消防本部	由利組合総合病院 本荘第一病院 佐藤病院
大仙仙北地域 メディカルコン トロール協議 会	大高 公成 大曲厚生医療センター 副院長	大曲仙北広域市町村圏組合消防本部救急救助課 大仙市大曲栄町13-47 0187-63-0318 0187-62-3493	大曲仙北広域市町村圏組合消防本部	大曲厚生医療センター 市立角館総合病院 大曲中通病院
横手地域メ ディカルコン トロール協議 会	齊藤 研 平鹿総合病院 院長	横手市消防本部警防課 横手市条里1-1-1 0182-32-1247 0182-33-1300	横手市消防本部	平鹿総合病院 市立横手病院 市立大森病院
湯沢雄勝地域 メディカルコン トロール協議 会	天満 和男 雄勝中央病院 院長	湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部救急救助課 湯沢市材木町2-1-3 0183-73-3186 0183-73-0734	湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部	雄勝中央病院 町立羽後病院

全国 救命救急センター設置状況 一覧表

(平成29年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	秋田赤十字病院

秋田県



山形県 【山形県救急業務高度化推進協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
山形県救急業務高度化推進協議会	川前 金幸 山形大学医学部附属病院 麻酔科学講座主任教授	山形県環境エネルギー部危機管理・くらし安心局危機管理課 山形市松波2丁目8-1 023-630-2227 023-633-4711		
村山地域メディカルコントロール協議会	森野 一真 山形県立救命救急センター 副所長	村山保健所保健企画課医薬事室 山形市十日町1丁目6-6 023-627-1182 023-627-1126	山形市消防本部 上市市消防本部 天童市消防本部 西村山広域行政事務組合消防本部 村山市消防本部 東根市消防本部 尾花沢市消防本部	山形県立中央病院 山形大学医学部附属病院 山形市立病院済生館 山形済生病院 医療法人社団みゆき会病院 天童市民病院 医療法人社団丹心会吉岡病院 医療法人天童温泉篠田病院 寒河江市立病院 山形県立河北病院 朝日町立病院 西川町立病院 北村山公立病院
最上地域保健医療対策協議会メディカルコントロール専門部会	八戸 茂美 山形県立新庄病院 院長	最上保健所保健企画課 新庄市金沢字大道上2034 0233-29-1256 0233-22-2025	最上広域市町村圏事務組合消防本部	山形県立新庄病院 町立真室川病院 最上町立最上病院
置賜地区救急医療対策協議会メディカルコントロール部会	小林 正義 米沢市医師会 会長	置賜保健所保健企画課 米沢市金池3丁目1-26 0238-22-3872 0238-22-3003	置賜広域行政事務組合消防本部 西置賜行政組合消防本部	米沢市立病院 財団法人三友堂病院 医療法人舟山病院 公立高島病院 公立置賜総合病院 小国町立病院 白鷹町立病院
鶴岡地区メディカルコントロール協議会	小野 俊孝 鶴岡地区医師会 副会長	庄内保健所保健企画課 三川町大字横山字袖東19-1 0235-66-5478 0235-66-4935	鶴岡市消防本部	鶴岡市立荘内病院 鶴岡協立病院
酒田地区メディカルコントロール協議会	酒井 朋久 酒田地区医師会 理事	庄内保健所保健企画課 三川町大字横山字袖東19-1 0235-66-5478 0235-66-4935	酒田地区広域行政組合消防本部	日本海総合病院 医療法人社団庄内余目病院 医療法人健好会本間病院 酒田市立八幡病院

全国 救命救急センター設置状況 一覧表 (平成29年8月1日現在)

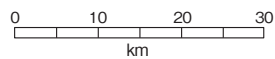
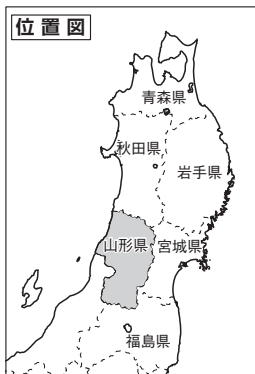
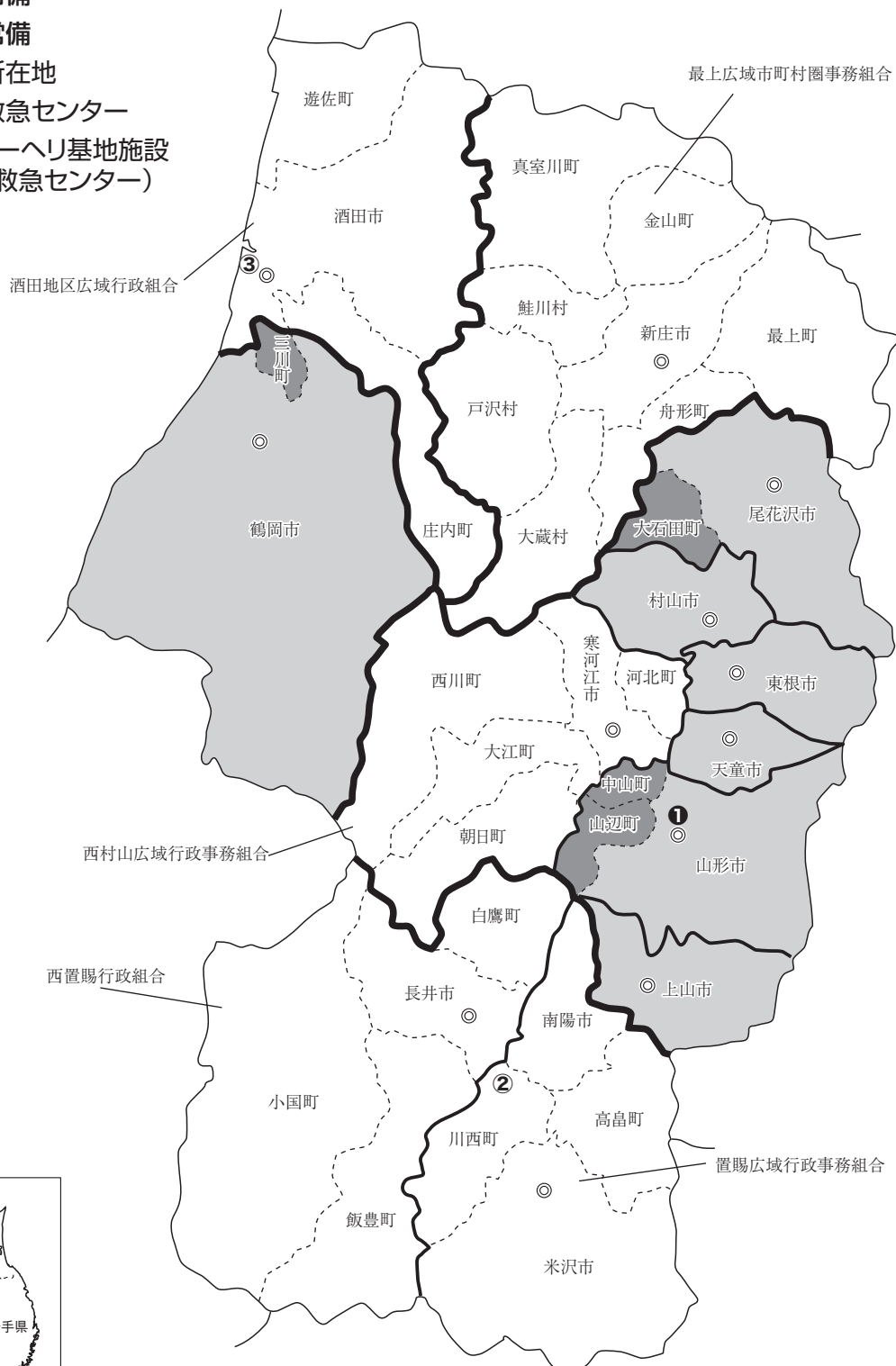
救命救急センター	施 設 名
①	山形県立中央病院
②	公立置賜総合病院
③	日本海総合病院

地域MC協議会 5

凡 例

- 組合消防
- 単独常備
- 委託常備
- 本部所在地
- 救命救急センター
- ドクターヘリ基地施設
(救命救急センター)

山 形 県



福島県【福島県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
福島県メディカルコントロール協議会	田勢 長一郎 公立大学法人 福島県立医科大学附属病院 特命教授	福島県危機管理部消防保安課 福島県保健福祉部地域医療課 福島県福島市杉妻町2番16号 024-521-7189 024-521-7221 024-521-9829 024-521-2191		
県北・相馬地域メディカルコントロール協議会	加藤 清司 福島県県北保健福祉事務所 所長	県北保健福祉事務所医療薬事課 福島県福島市御山町8番30号 024-534-4103 024-534-4162	福島市消防本部 伊達地方消防組合消防本部 安達地方広域行政組合消防本部 相馬地方広域消防本部	公立大学法人福島県立医科大学附属病院
県中・県南地域メディカルコントロール協議会	笹原 賢司 福島県県中保健福祉事務所 所長	県中保健福祉事務所医療薬事課 福島県須賀川市旭町153番1 0248-75-7817 0248-75-7825	郡山地方広域消防組合消防本部 須賀川地方広域消防本部 白河地方広域市町村圏消防本部	一般財団法人太田綜合病院附属太田西ノ内病院
会津地域メディカルコントロール協議会	小谷 尚克 福島県会津保健福祉事務所 所長	会津保健福祉事務所医療薬事課 福島県会津若松市追手町7番40号 0242-29-5512 0242-29-5513	会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部 喜多方地方広域市町村圏組合消防本部 南会津地方広域市町村圏組合消防本部	一般財団法人温知会会津中央病院
双葉・いわき地域メディカルコントロール協議会	新家 利一 いわき市保健所 所長	相双保健福祉事務所医療薬事課 福島県南相馬市原町区錦町一丁目30番地 0244-26-1330 0244-26-1332	いわき市消防本部 双葉地方広域市町村圏組合消防本部	いわき市立総合磐城共立病院

全国 救命救急センター設置状況 一覧表 (平成29年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	いわき市立総合磐城共立病院
②	財団法人太田綜合病院附属太田西ノ内病院
③	会津中央病院
④	福島県立医科大学附属病院

福島県

凡 例

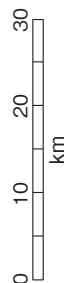
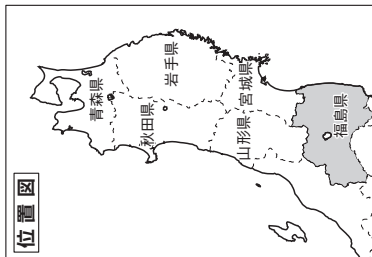
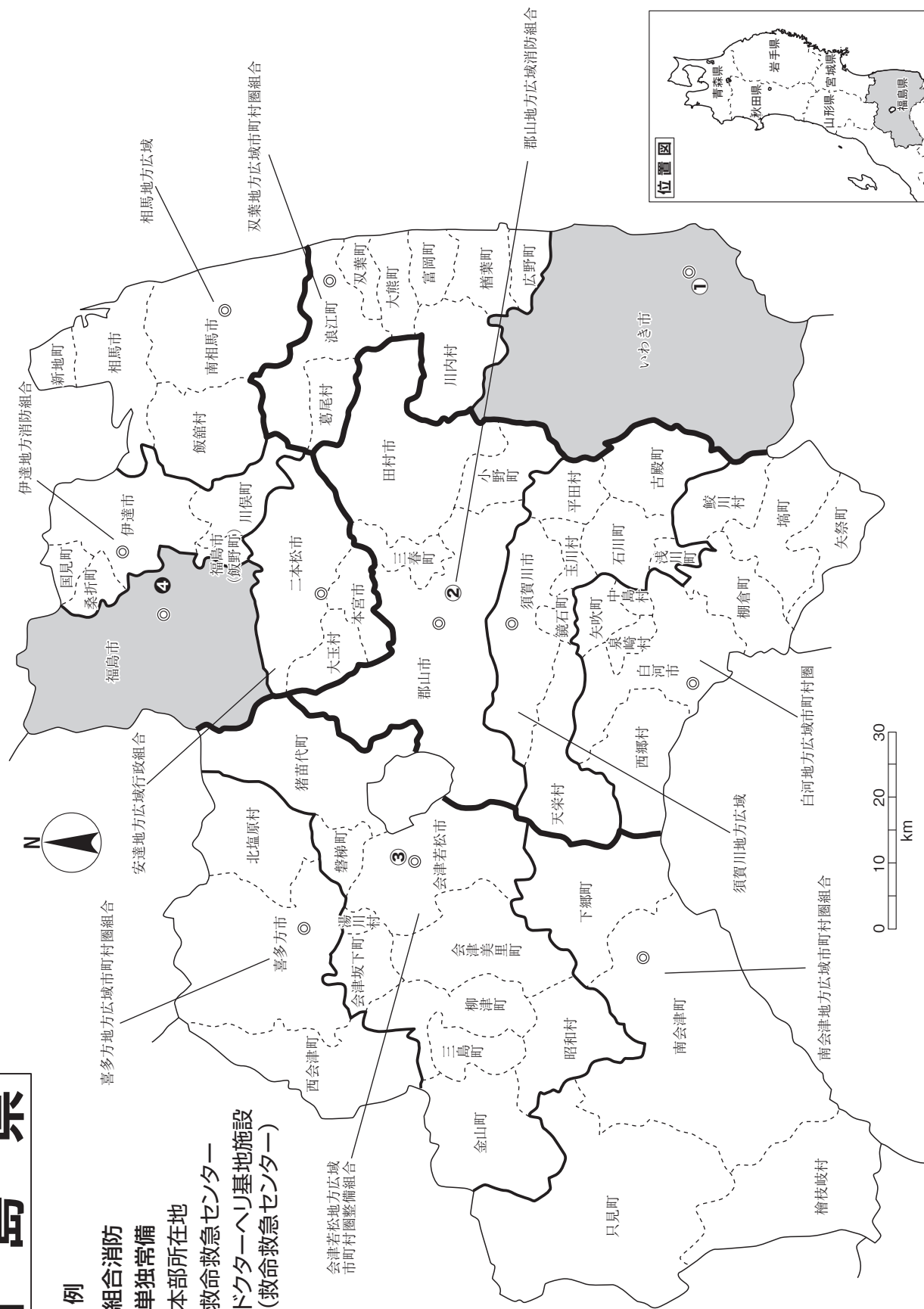
組合消防

単独常備

◎ 本部所在地

○ 救命救急センター

● ドクターヘリ基地施設
(救命救急センター)



茨城県【茨城県救急業務高度化推進協議会】

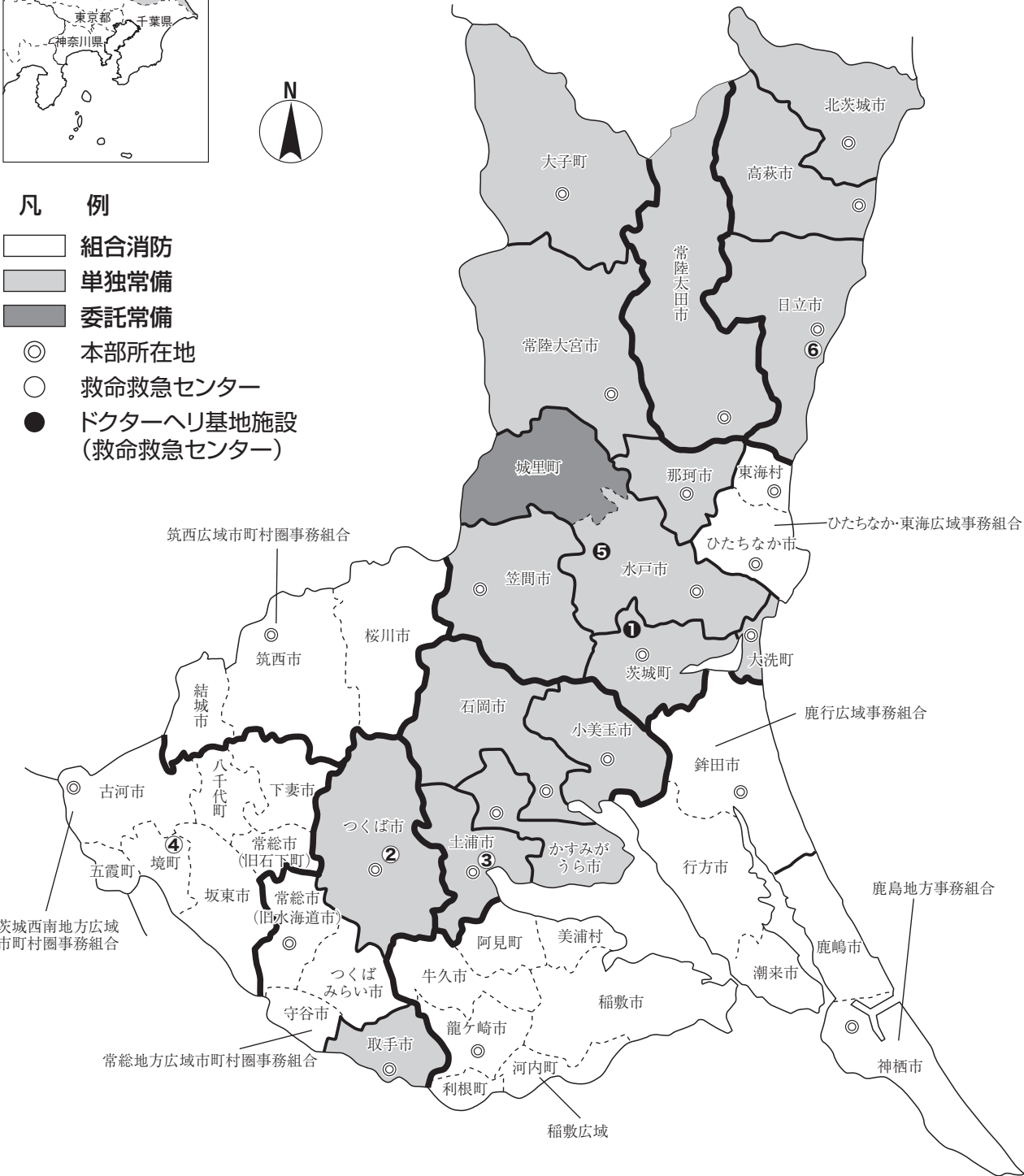
メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
茨城県救急業務高度化推進協議会	諸岡 信裕 茨城県医師会 会長	茨城県生活環境部防災・危機管理局消防安全課 茨城県水戸市笠原町978-6 029-301-2896 029-301-2887		
水戸地区救急医療協議会	村田 実 水戸済生会総合病院 病院長	水戸市消防本部 水戸市城南2-6-7 029-221-0126 029-224-1139	水戸市消防本部 笠間市消防本部 常陸大宮市消防本部 那珂市消防本部 茨城町消防本部 大洗町消防本部 大子町消防本部 常陸太田市消防本部 ひたちなか・東海広域事務組合消防本部	水戸済生会総合病院 水戸協同病院 水戸医療センター 茨城県立中央病院 水戸赤十字病院 榊日立製作所 ひたちなか総合病院
茨城県北部地区メディカルコントロール協議会	奥村 稔 榊日立製作所 日立総合病院 院長	日立市消防本部警防課 日立市神峰町2-4-1 0294-24-0119 0294-22-0102	日立市消防本部 北茨城市消防本部 高萩市消防本部 常陸太田市消防本部	榊日立製作所 日立総合病院 北茨城市民病院 県北医療センター 高萩協同病院 川崎病院 ひたち医療センター 大山病院
鹿行地区メディカルコントロール協議会	門井 毅夫 鹿行広域事務組合消防本部 消防長	鹿行広域事務組合消防本部 茨城県銚田市安房1418-15 0291-34-8119 0291-33-4119	鹿島地方事務組合消防本部 鹿行広域事務組合消防本部	鹿島労災病院 神栖済生会病院 白十字総合病院 小山記念病院 土浦協同病院なめがた地域医療センター 銚田病院 高須病院
土浦地区メディカルコントロール協議会	家坂 義人 総合病院土浦協同病院 院長	土浦市消防本部警防救急課 土浦市田中町2083番番地1 029-821-0119 029-825-3166	土浦市消防本部 石岡市消防本部 小美玉市消防本部 かすみがうら市消防本部	総合病院土浦協同病院 石岡第一病院 山王台病院 石岡市医師会病院 石岡循環器科脳神経外科病院 小美玉市医療センター 霞ヶ浦医療センター 県南病院 神立病院
稲敷地区メディカルコントロール協議会	小林 正貴 東京医科大学茨城医療センター 病院長	稲敷広域消防本部救急課 茨城県龍ヶ崎市3571番地の1 0297-64-3846 0297-64-1241	稲敷広域消防本部	東京医科大学茨城医療センター 牛久愛和総合病院 龍ヶ崎済生会病院 つくばセントラル病院 美浦中央病院
つくば・常総地区メディカルコントロール協議会	河野 元嗣 筑波メディカルセンター病院 副院長	常総地方広域市町村圏事務組合消防本部警防課 常総市水海道山田町808 0297-23-0119 0297-22-3574	取手市消防本部 つくば市消防本部 常総地方広域市町村圏事務組合消防本部	JAとりで総合医療センター 取手北相馬保健医療センター医師会病院 筑波大学附属病院 筑波メディカルセンター病院 総合守谷第一病院 きぬ医師会病院
筑西広域管内救急高度化推進委員会	本多 めぐみ 筑西保健所 保健所所長	筑西広域市町村圏事務組合消防本部警防課 茨城県筑西市直井1076番地 0296-24-4104 0296-24-5444	筑西広域市町村圏事務組合消防本部	筑西市民病院 協和中央病院 県西総合病院 結城病院 城西病院 自治医科大学附属病院 大圃病院 山王病院 宮田医院
BANDOメディカルコントロール協議会	田中 幸太郎 茨城西南医療センター病院 救命救急センター長	茨城西南地方広域市町村圏事務組合消防本部 茨城県古河市中田1683番地9 0280-47-0126 0280-47-0084	茨城西南地方広域市町村圏事務組合消防本部 埼玉東部消防組合 春日部市消防本部 野田市消防本部 館林地区消防組合消防本部	茨城西南医療センター病院 古河赤十字病院 友愛記念病院 平間病院 木根淵外科胃腸科病院 古河病院 ホスピタル坂東 埼玉済生会栗橋病院 小張病院 新久喜総合病院

※常陸太田市消防本部は、水戸地区救急医療協議会と茨城県北部地区メディカルコントロール協議会を重複している。



茨城県

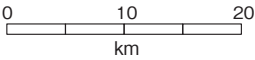
- 凡 例
- 組合消防
 - 単独常備
 - 委託常備
 - ◎ 本部所在地
 - 救命救急センター
 - ドクターヘリ基地施設 (救命救急センター)



全国 救命救急センター設置状況 一覧表 (平成29年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①※	独立行政法人国立病院機構 水戸医療センター
②	筑波メディカルセンター病院
③	総合病院土浦協同病院
④	茨城西南医療センター病院
⑤※	水戸済生会総合病院
⑥	株式会社日立製作所日立総合病院

※2施設でドクターヘリ1機



栃木県【栃木県救急・災害医療運営協議会 病院前救護体制検討部会】

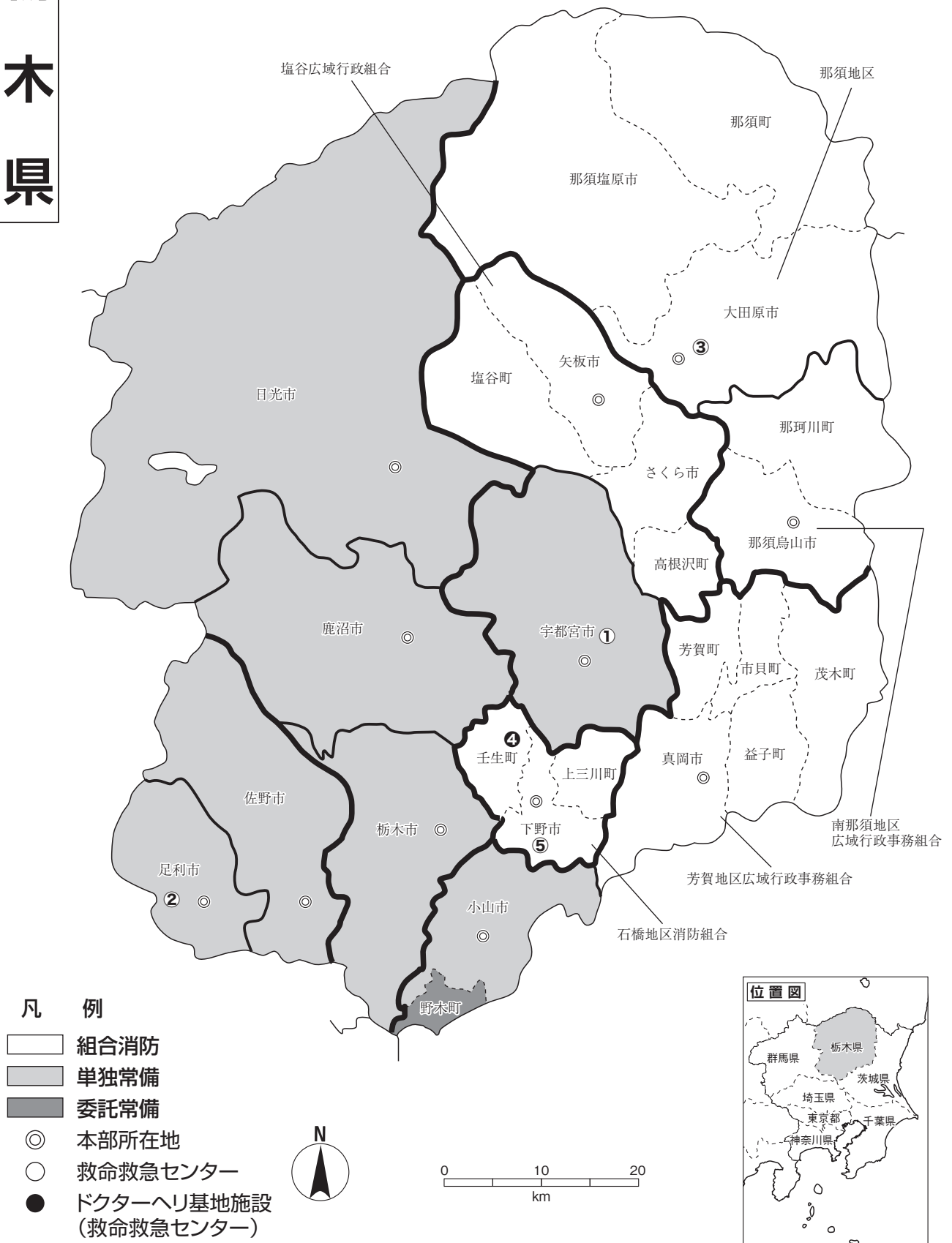
メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
栃木県救急・災害医療運営協議会 病院前救護体制検討部会	福田 健 栃木県医師会 栃木県医師会副会長	県民生活部消防防災課 保健福祉部医療政策課 宇都宮市埴田1-1-20 028-623-2132 028-623-3157 028-623-2146 028-623-3056		
栃木県救急・災害医療運営協議会病院前救護体制検討部会宇都宮・塩谷地域分科会	宮武 諭 済生会宇都宮病院 救命救急センター所長	塩谷広域行政組合消防本部 矢板市富田94-1 0287-40-1119 0287-44-2525	宇都宮市消防局 塩谷広域行政組合消防本部	済生会宇都宮病院
栃木県救急・災害医療運営協議会病院前救護体制検討部会足利・佐野地域分科会	吉田 直人 足利赤十字病院 救命救急センター長	足利市消防本部 足利市大正町863 0284-41-3557 0284-42-9920	足利市消防本部 佐野市消防本部	足利赤十字病院
栃木県救急・災害医療運営協議会病院前救護体制検討部会那須・南那須地域分科会	長谷川 伸之 那須赤十字病院 救命救急センター長	那須地区消防本部 大田原市中原田868-12 0287-28-5102 0287-28-5109	那須地区消防本部 南那須地区広域行政事務組合消防本部	那須赤十字病院
栃木県救急・災害医療運営協議会病院前救護体制検討部会下都賀・上都賀地域分科会	小野 一之 獨協医科大学病院 救命救急センター長	日光市消防本部 日光市豊田442-1 0288-21-0023 0288-21-2235	栃木市消防本部 鹿沼市消防本部 日光市消防本部 石橋地区消防組合消防本部	獨協医科大学病院
栃木県救急・災害医療運営協議会病院前救護体制検討部会小山・芳賀地域分科会	間藤 卓 自治医科大学附属病院 救命救急センター長	小山市消防本部 小山市大字神鳥谷1700-2 0285-39-6666 0285-31-0183	小山市消防本部 石橋地区消防組合消防本部 芳賀地区広域行政事務組合消防本部	自治医科大学附属病院

※石橋地区消防組合消防本部は、栃木県救急・災害医療運営協議会病院前救護体制検討部会下都賀・上都賀地域分科会と栃木県救急・災害医療運営協議会病院前救護体制検討部会小山・芳賀地域分科会を重複している。

全国 救命救急センター設置状況 一覧表 (平成29年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	済生会宇都宮病院
②	足利赤十字病院
③	那須赤十字病院
④	獨協医科大学病院
⑤	自治医科大学附属病院

栃 木 県



群馬県

【群馬県救急医療体制検討協議会】

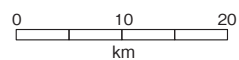
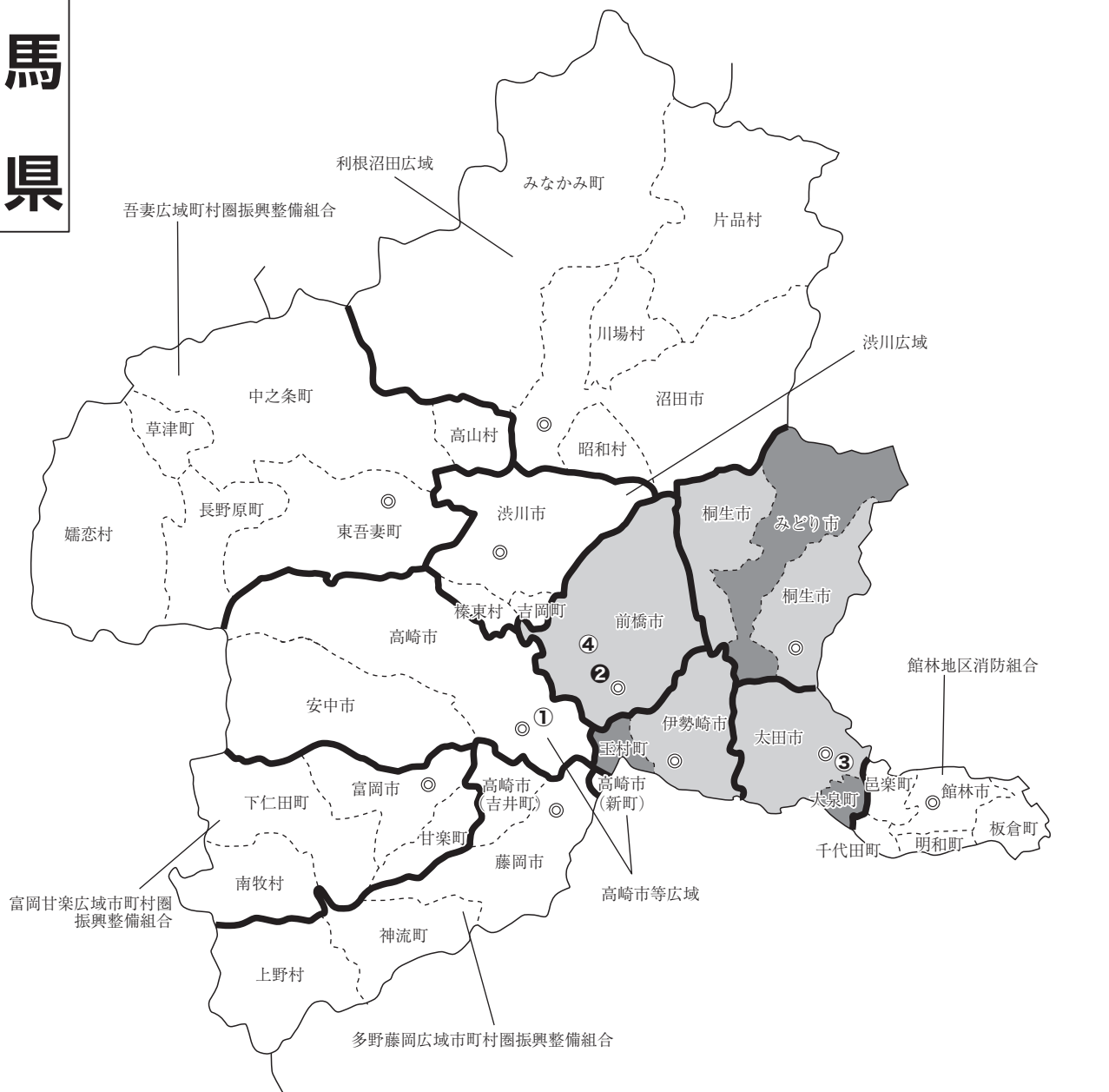
メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
群馬県救急医療体制検討協議会	西松 輝高 群馬県医師会 副会長	群馬県医務課 群馬県前橋市大手町1-1-1 027-226-2534 027-223-0531		
前橋市メディカルコントロール協議会	岸川 一郎 前橋市医師会 副会長	前橋市保健所 前橋市朝日町3丁目36-17 027-220-5781 027-223-8835	前橋市消防局	前橋赤十字病院 群馬大学医学部附属病院
高崎・安中地域メディカルコントロール協議会	有賀 長規 高崎市医師会 医師会長	安中保健福祉事務所 安中市高別当336-8 027-381-0345 027-382-6366	高崎市等広域消防局	独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センター
渋川地域メディカルコントロール協議会	川島 理 渋川地区医師会 医師会長	渋川保健福祉事務所 渋川市金井394 0279-22-4166 0279-24-3542	渋川広域消防本部	北関東循環器院 独立行政法人国立病院機構渋川医療センター 北毛病院
藤岡地域メディカルコントロール協議会	山崎 恒彦 藤岡多野医師会 医師会長	藤岡保健福祉事務所 藤岡市下戸塚2-5 0274-22-1420 0274-22-3149	多野藤岡広域市町村圏振興整備組合消防本部	公立藤岡総合病院
富岡甘楽地域メディカルコントロール協議会	大竹 雄二 富岡市甘楽郡医師会 医師会長	富岡保健福祉事務所 富岡市田島343-1 0274-62-1541 0274-64-2397	富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合消防本部	公立富岡総合病院 下仁田厚生病院
吾妻地域メディカルコントロール協議会	櫻井 慶一 吾妻郡医師会 医師会長	吾妻保健福祉事務所 吾妻郡中之条町大字西中之条183-1 0279-75-3303 0279-75-6091	吾妻広域町村圏振興整備組合消防本部	原町赤十字病院
沼田地域メディカルコントロール協議会	藤塚 勲 沼田利根医師会 医師会長	利根沼田保健福祉事務所 沼田市薄根町4412 0278-23-2185 0278-22-4479	利根沼田広域消防本部	利根中央病院
伊勢崎地域メディカルコントロール協議会	小林 幹男 伊勢崎市民病院 病院長	伊勢崎保健福祉事務所 伊勢崎市下植木町499 0270-25-5570 0270-24-8842	伊勢崎市消防本部	伊勢崎市民病院
桐生地域メディカルコントロール協議会	藤江 篤 桐生市医師会 医師会長	桐生保健福祉事務所 桐生市相生町2-351 0277-53-4131 0277-52-1572	桐生市消防本部	桐生厚生総合病院
太田地域メディカルコントロール協議会	李 雅弘 太田市医師会 医師会長	太田保健福祉事務所 群馬県太田市西本町41-34 0276-31-8241 0276-31-8349	太田市消防本部	SUBARU健康保険組合太田記念病院
館林地域メディカルコントロール協議会	新井 昌史 館林厚生病院 病院長	館林保健福祉事務所 館林市大街道1丁目2-25 0276-72-3230 0276-72-4628	館林地区消防組合消防本部	館林厚生病院

全国 救命救急センター設置状況 一覧表

(平成29年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	独立行政法人国立病院機構 高崎総合医療センター
②	前橋赤十字病院
③	SUBARU 健康保険組合太田記念病院
④	群馬大学病院医学部附属病院

群馬県



- 凡 例
-  組合消防
-  単独常備
-  委託常備
-  本部所在地
-  救命救急センター
-  ドクターヘリ基地施設
(救命救急センター)

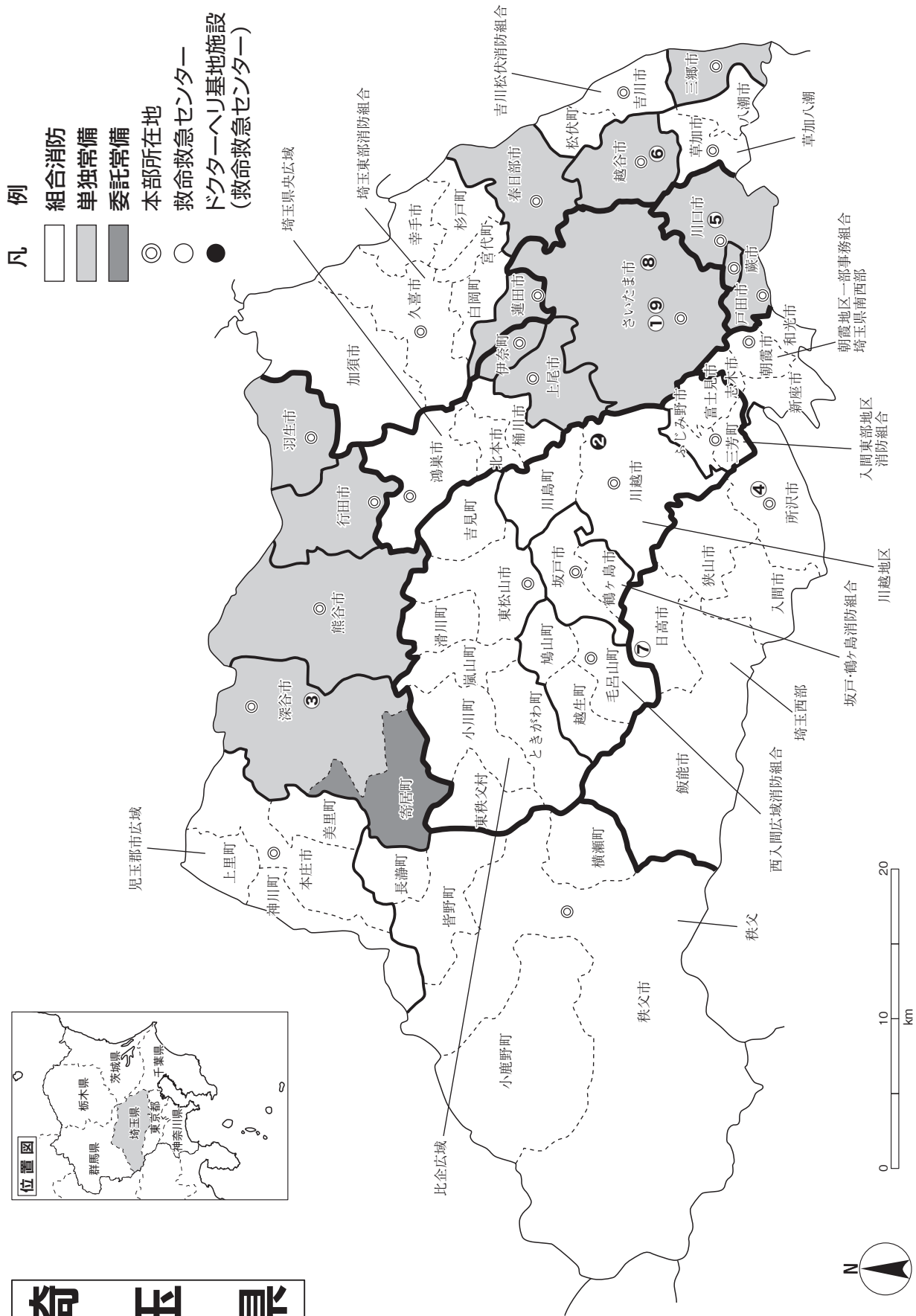
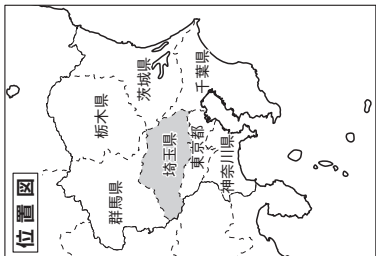
埼玉県【埼玉県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
埼玉県メディカルコントロール協議会	湯澤 俊 埼玉県医師会 副会長	埼玉県危機管理防災部消防防災課 さいたま市浦和区高砂3-15-1 048-830-8151 048-830-8159		
中央地域メディカルコントロール協議会	林 承弘 岩槻医師会 医師会長	さいたま市消防局警防部救急課 さいたま市浦和区常盤6-1-28 048-833-7167 048-833-7201	さいたま市消防局 上尾市消防本部 伊奈町消防本部 埼玉県中央広域消防本部	さいたま赤十字病院 自治医科大学附属さいたま医療センター【他】 県立小児医療センター【他】
東部地域メディカルコントロール協議会	松本 眞彦 草加八潮医師会 副会長	越谷市消防本部救急課 越谷市大沢2-10-15 048-974-0107 048-974-0137	越谷市消防本部 春日部市消防本部 三郷市消防本部 蓮田市消防本部 吉川松伏消防組合消防本部 埼玉東部消防組合消防局 草加八潮消防局	獨協医科大学越谷病院【他】
西部第一地域メディカルコントロール協議会	京谷 圭子 所沢市医師会 医師会長	埼玉西部消防局警防部救急課 所沢市けやき台1-13-11 04-2929-9123 04-2929-9128	埼玉西部消防局 朝霞地区一部事務組合埼玉県南西部消防本部	防衛医科大学校病院 埼玉医科大学国際医療センター【他】
西部第二地域メディカルコントロール協議会	関本 幹雄 川越市医師会 医師会長	川越地区消防局救急課 川越市神明町48-4 049-222-0160 049-224-2211	川越地区消防局 入間東部地区消防組合消防本部 坂戸・鶴ヶ島消防組合消防本部 比企広域消防本部 西入間広域消防組合消防本部	埼玉医科大学総合医療センター 埼玉医科大学国際医療センター【他】
南部地域メディカルコントロール協議会	鹿嶋 広久 川口市医師会 医師会長	川口市消防局救急課 川口市芝下2-1-1 048-261-8972 048-262-4850	川口市消防局 蕨市消防本部 戸田市消防本部	川口市立医療センター【他】
北部地域メディカルコントロール協議会	緒方 伸男 一般社団法人深谷寄居医師会 医師会長	深谷市消防本部警防課 深谷市上敷免858 048-571-0914 048-571-0959	深谷市消防本部 行田市消防本部 羽生市消防本部 秩父消防本部 児玉郡市広域消防本部 熊谷市消防本部	深谷赤十字病院【他】

全国 救命救急センター設置状況 一覧表 (平成29年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	さいたま赤十字病院
②	埼玉医科大学総合医療センター
③	深谷赤十字病院
④	防衛医科大学校病院
⑤	川口市立医療センター
⑥	獨協医科大学越谷病院
⑦	埼玉医科大学国際医療センター
⑧	自治医科大学附属さいたま医療センター
⑨	県立小児医療センター

埼玉県



千葉県【千葉県救急業務高度化推進協議会】

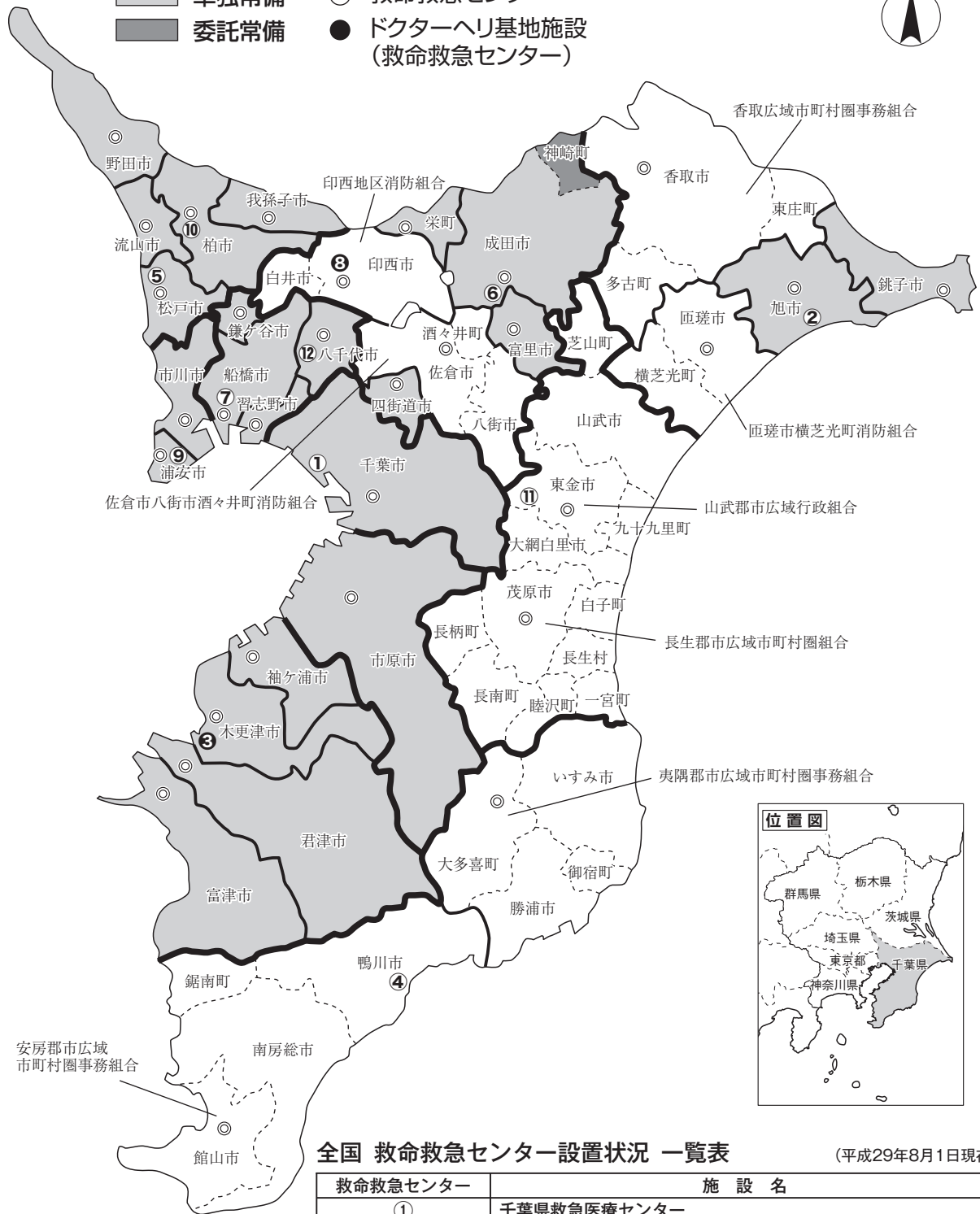
メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX メールアドレス	構成消防本部	構成中核的医療機関
千葉県救急業務高度化推進協議会	平澤 博之 千葉大学 千葉大学名誉教授	千葉県防災危機管理部消防課 千葉県健康福祉部医療整備課 千葉県千葉市中央区市場町1-1 043-223-2179 043-224-5481 bousai1@mz.pref.chiba.lg.jp		
千葉市救急業務検討委員会	織田 成人 千葉大学 千葉大学大学院医学研究院 救急集中治療医学教授	千葉市消防局警防部救急課 千葉県千葉市中央区長洲1-2-1 043-202-1657 043-202-1659 kyukyu.FPD@city.chiba.lg.jp	千葉市消防局	千葉大学医学部附属病院 千葉県救急医療センター
市原地域救急業務メディカルコントロール協議会	森脇 龍太郎 帝京大学ちば総合医療センター 救急・集中治療センター教授	市原市消防局警防救急課 千葉県市原市国分寺台中央1-1-1 0436-22-8117 0436-21-6874 keibou@city.ichihara.chiba.jp	市原市消防局	帝京大学ちば総合医療センター
印旛地域救急業務メディカルコントロール協議会	松本 尚 日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター長	栄町消防本部 消防防災課 千葉県印旛郡栄町生板鍋子新田乙20番地の7 0476-95-8980 0476-95-7630 shoubou@town.sakae.chiba.jp	佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部 印西地区消防組合消防本部 成田市消防本部 四街道市消防本部 富里市消防本部 栄町消防本部	日本医科大学千葉北総病院 成田赤十字病院
君津地域救急業務メディカルコントロール協議会	北村 伸哉 国保直営総合病院君津中央病院 救命救急センター長	袖ヶ浦市消防本部 総務課警防班 千葉県袖ヶ浦市福王台4丁目10-7 0438-63-6169 0438-62-9729 sfdsoumu@cup.ocn.ne.jp	木更津市消防本部 君津市消防本部 富津市消防本部 袖ヶ浦市消防本部	国保直営総合病院君津中央病院
千葉県東部地域救急業務メディカルコントロール協議会	高橋 功 地方独立行政法人総合病院 国保旭中央病院 救命救急センター長	銚子市消防本部 消防総務課警防班 千葉県銚子市新生町1-9-12 0479-22-3296 0479-20-5085 cfd-keiboul@city.choshi.lg.jp	旭市消防本部 匝瑳市横芝光町消防組合消防本部 銚子市消防本部 香取広域市町村圏事務組合消防本部	地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院 千葉県立佐原病院 国保小見川総合病院 国保東庄病院 国保多古中央病院 国保匝瑳市民病院 東陽病院
東葛飾南部地域救急業務メディカルコントロール協議会	境田 康二 船橋市立医療センター 救命救急センター長	船橋市消防局救急課 千葉県船橋市湊町2-6-10 047-435-1191 047-435-8637 sho-kyukyu@city.funabashi.lg.jp	船橋市消防局 習志野市消防本部 八千代市消防本部 鎌ヶ谷市消防本部	船橋市立医療センター 習志野第一病院 千葉県済生会習志野病院 谷津保健病院 津田沼中央総合病院 東京女子医科大学附属八千代医療センター
東葛飾北部地域救急業務メディカルコントロール協議会	卯津羅 雅彦 東京慈恵会医科大学附属柏病院 救命救急センター長	柏市消防局救急課 千葉県柏市松葉町7-16-7 04-7133-0118 04-7133-0167 kyukyu@city.kashiwa.lg.jp	松戸市消防局 柏市消防局 流山市消防本部 我孫子市消防本部 野田市消防本部	国保松戸市立病院 新東京病院 千葉西総合病院 新松戸中央総合病院 東京慈恵会医科大学附属柏病院 名戸ヶ谷病院 おおたかの森病院 柏市立柏病院 柏厚生総合病院 小張総合病院 キッコーマン総合病院 東葛病院 千葉愛友会記念病院 流山中央病院 平和台病院 我孫子東邦病院 名戸ヶ谷あびこ病院
南房総メディカルコントロール協議会	不動寺 純明 医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 救命救急センター長	夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部 警防課警防係 千葉県夷隅郡大多喜町船子73-2 0470-80-0133 0470-82-5000 keibou@isumi-fd.jp	安房郡市広域市町村圏事務組合消防本部 夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部	亀田総合病院 安房地域医療センター 塩田病院
山武長生地域メディカルコントロール協議会	渡邊 栄三 東千葉メディカルセンター 救命救急センター長	長生郡市広域市町村圏事務組合消防本部 警防課救急救助係 千葉県茂原市茂原598 0475-20-0119 0475-24-1725 fd.keibou@choseikouiki.jp	山武郡市広域行政組合消防本部 長生郡市広域市町村圏組合消防本部	東千葉メディカルセンター 公立長生病院
東葛飾湾岸地域メディカルコントロール協議会	岡本 健 順天堂大学医学部附属浦安病院 救急診療科 教授	市川市消防局 救急課 千葉県市川市八幡1丁目8-1 047-333-2167 047-333-8181 kyukyu@city.ichikawa.chiba.jp	市川市消防局 浦安市消防本部	順天堂大学医学部附属浦安病院 東京歯科大学市川総合病院 東京ベイ浦安市川医療センター

千葉県

凡 例

- 組合消防
単独常備
委託常備

- ◎ 本部所在地
○ 救命救急センター
● ドクターヘリ基地施設
(救命救急センター)



全国 救命救急センター設置状況 一覧表

(平成29年8月1日現在)

救命救急センター	施 設 名
①	千葉県救急医療センター
②	総合病院国保旭中央病院
③	国保直営総合病院君津中央病院
④	亀田総合病院
⑤	国保松戸市立病院
⑥	成田赤十字病院
⑦	船橋市立医療センター
⑧	日本医科大学千葉北総病院
⑨	順天堂大学医学部附属浦安病院
⑩	東京慈恵会医科大学附属柏病院
⑪	東千葉メディカルセンター
⑫	東京女子医科大学附属八千代医療センター

東京都

【東京都メディカルコントロール協議会】

(平成29年8月1日現在)

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
東京都メディカル コントロール協議 会	島崎 修次 国土館大学 防災・救急救助総合研究所 所長	東京都総務局総合防災部防災管理課 東京都新宿区西新宿2-8-1 03-5388-2457 03-5388-1270 東京都福祉保健局医療政策部救急災害医療課 東京都新宿区西新宿2-8-1 03-5388-4427 03-5388-1441 東京消防庁救急部救急管理課 東京都千代田区大手町1-3-5 03-3212-2111 03-3218-0119	東京消防庁 稲城市消防本部 大島町消防本部 三宅村消防本部 八丈町消防本部	慶應義塾大学病院 順天堂大学医学部附属順天堂医院 日本大学病院 帝京大学医学部附属病院 東京医科大学病院 東京女子医科大学病院 東邦大学医療センター大森病院 日本医科大学付属病院 東京警察病院 東京都立広尾病院 東京都立墨東病院 東京大学医学部附属病院 日本大学医学部附属板橋病院 国立病院機構東京医療センター 昭和大学病院 東京医科歯科大学医学部附属病院 東京慈恵会医科大学附属病院 東京女子医科大学東医療センター 聖路加国際病院 東京都医師会 東邦大学医療センター大橋病院 東京医科大学八王子医療センター 杏林大学医学部付属病院 公立昭和病院 武蔵野赤十字病院 公立阿伎留医療センター 国立病院機構災害医療センター 日本医科大学多摩永山病院 東京都立多摩総合医療センター 青梅市立総合病院 東京慈恵会医科大学附属第三病院 日本赤十字社医療センター 大島医療センター 三宅村国民健康保険直営中央診療所 八丈町立八丈病院

范例

備註

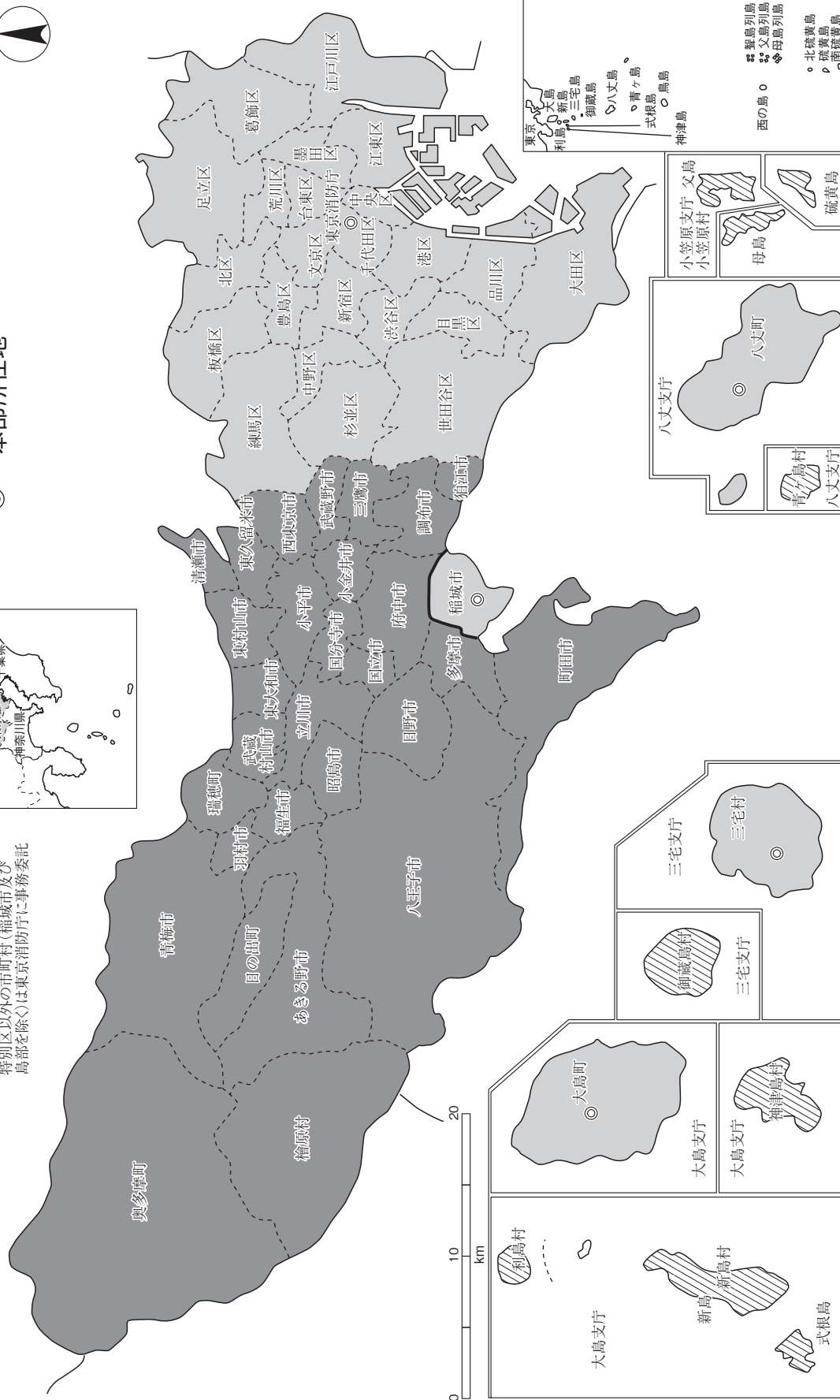
本部所在地



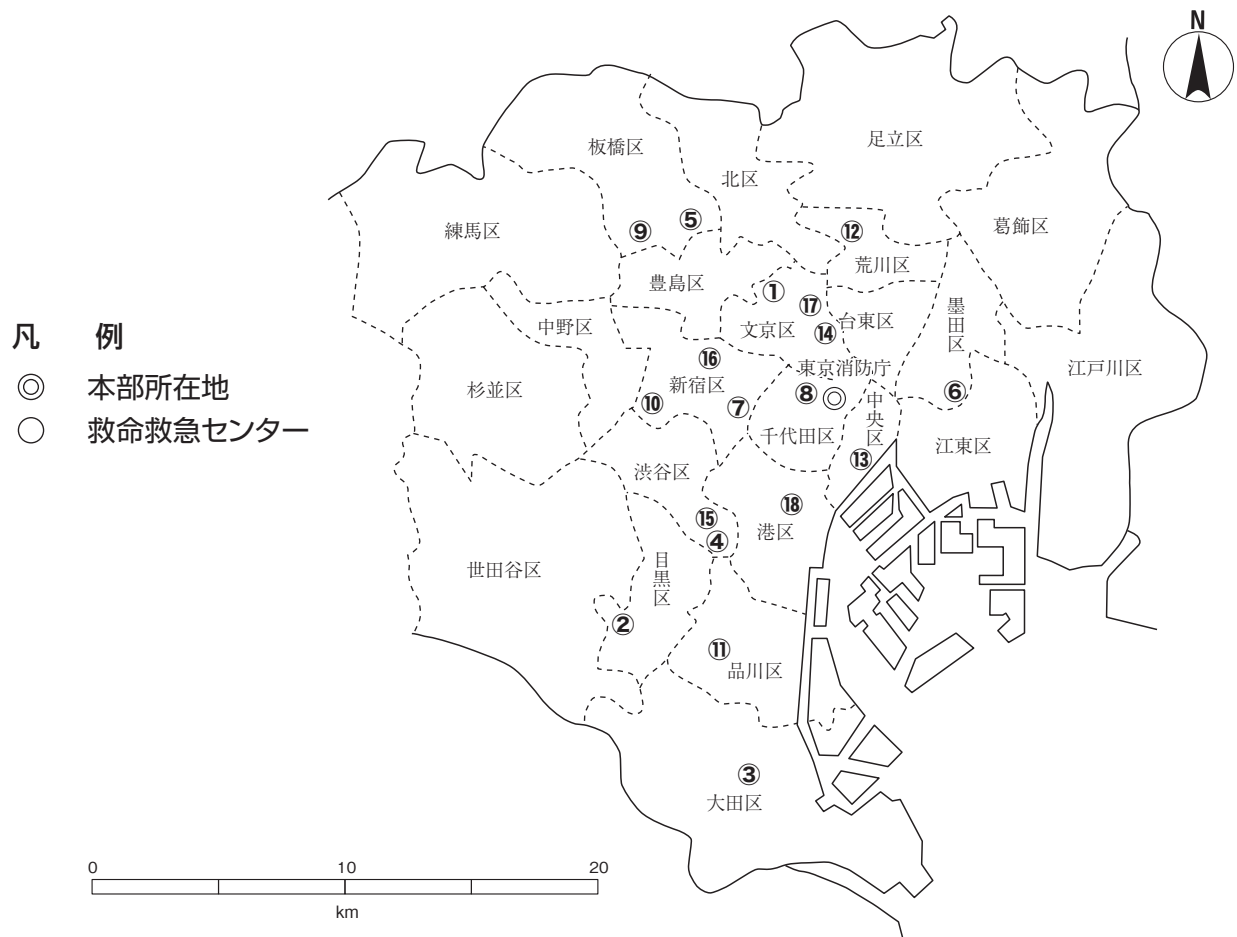
※救命救急センター位置図は次頁



特別区以外の市町村(稲城市及び島部を除く)は東京消防庁に事務委託



東京都(23区) 救命救急センター位置図



全国 救命救急センター設置状況 一覧表

(平成29年8月1日現在)

救命救急センター	施 設 名
①	日本医科大学付属病院
②	独立行政法人国立病院機構 東京医療センター
③	東邦大学医療センター大森病院
④	都立広尾病院
⑤	帝京大学医学部附属病院
⑥	都立墨東病院
⑦	東京女子医科大学病院
⑧	日本大学病院
⑨	日本大学医学部附属板橋病院
⑩	東京医科大学病院
⑪	昭和大学病院
⑫	東京女子医科大学東医療センター
⑬	聖路加国際病院
⑭	東京医科歯科大学医学部附属病院
⑮	日本赤十字社医療センター
⑯	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院
⑰	東京大学医学部附属病院
⑱	東京都済生会中央病院

東京都(多摩地区) 救命救急センター位置図



全国 救命救急センター設置状況 一覧表

(平成29年8月1日現在)

救命救急センター	施 設 名
①	杏林大学医学部付属病院
②	東京医科大学八王子医療センター
③	武蔵野赤十字病院
④	日本医科大学多摩永山病院
⑤	都立多摩総合医療センター
⑥	公立昭和病院
⑦	独立行政法人国立病院機構 災害医療センター
⑧	青梅市立総合病院

神奈川県

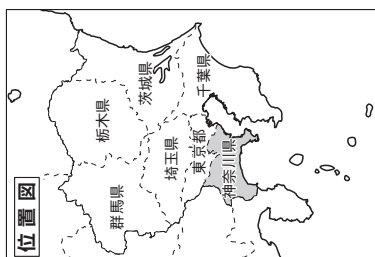
【神奈川県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所屬機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
神奈川県メディカルコントロール協議会	猪口 貞樹 東海大学医学部付属病院 高度救命救急センター所長	神奈川県安全防災局安全防災部消防課 神奈川県横浜市中区日本大通1 045-210-3436 045-210-8829		
横浜市メディカルコントロール協議会	竹内 一郎 横浜市立大学附属市民総合医療センター 高度救命救急センター部長	横浜市消防局警防部救急課 横浜市保土ヶ谷区川辺町2-9 045-334-6769 045-334-6785	横浜市消防局	横浜医療センター 済生会横浜市東部病院 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 昭和大学藤が丘病院 横浜市立市民病院 横浜市立大学附属市民総合医療センター 横浜市立みなと赤十字病院 横浜労災病院 国際親善総合病院 済生会横浜市南部病院 昭和大学北部病院 横浜栄共済病院 横浜南共済病院
川崎市メディカルコントロール協議会	松田 潔 日本医科大学武蔵小杉病院 救命救急センター長	川崎市消防局警防部救急課 川崎市川崎区南町20-7 044-223-2626 044-223-2619	川崎市消防局	聖マリアンナ医科大学病院 日本医科大学武蔵小杉病院 川崎市立川崎病院
三浦半島地区メディカルコントロール協議会	遠藤 千洋 (一社)横須賀市医師会 会長	横須賀市消防局消防・救急課 横須賀市小川町11 046-821-6474 046-823-7106	横須賀市消防局 鎌倉市消防本部 逗子市消防本部 葉山町消防本部	横須賀共済病院 横須賀市立うわまち病院 湘南鎌倉総合病院 三浦市立病院 大船中央病院 横須賀市立市民病院
湘南地区メディカルコントロール協議会	飯塚 健児 (公社)藤沢市医師会 副会長	藤沢市消防局警防室救急救命課 藤沢市朝日町1-1 0466-50-3579 0466-28-6417	藤沢市消防局 平塚市消防本部 小田原市消防本部 茅ヶ崎市消防本部 秦野市消防本部 厚木市消防本部 伊勢原市消防本部 海老名市消防本部 寒川町消防本部 大磯町消防本部 二宮町消防本部 箱根町消防本部 湯河原町消防本部 愛川町消防本部	東海大学医学部付属病院 藤沢市民病院 小田原市立病院
県北・県央地区メディカルコントロール協議会	浅利 靖 北里大学病院 救命救急・災害医療センター長	相模原市消防局救急課 相模原市中央区中央2-2-15 042-751-9142 042-786-2472	相模原市消防局 大和市消防本部 座間市消防本部 綾瀬市消防本部	北里大学病院

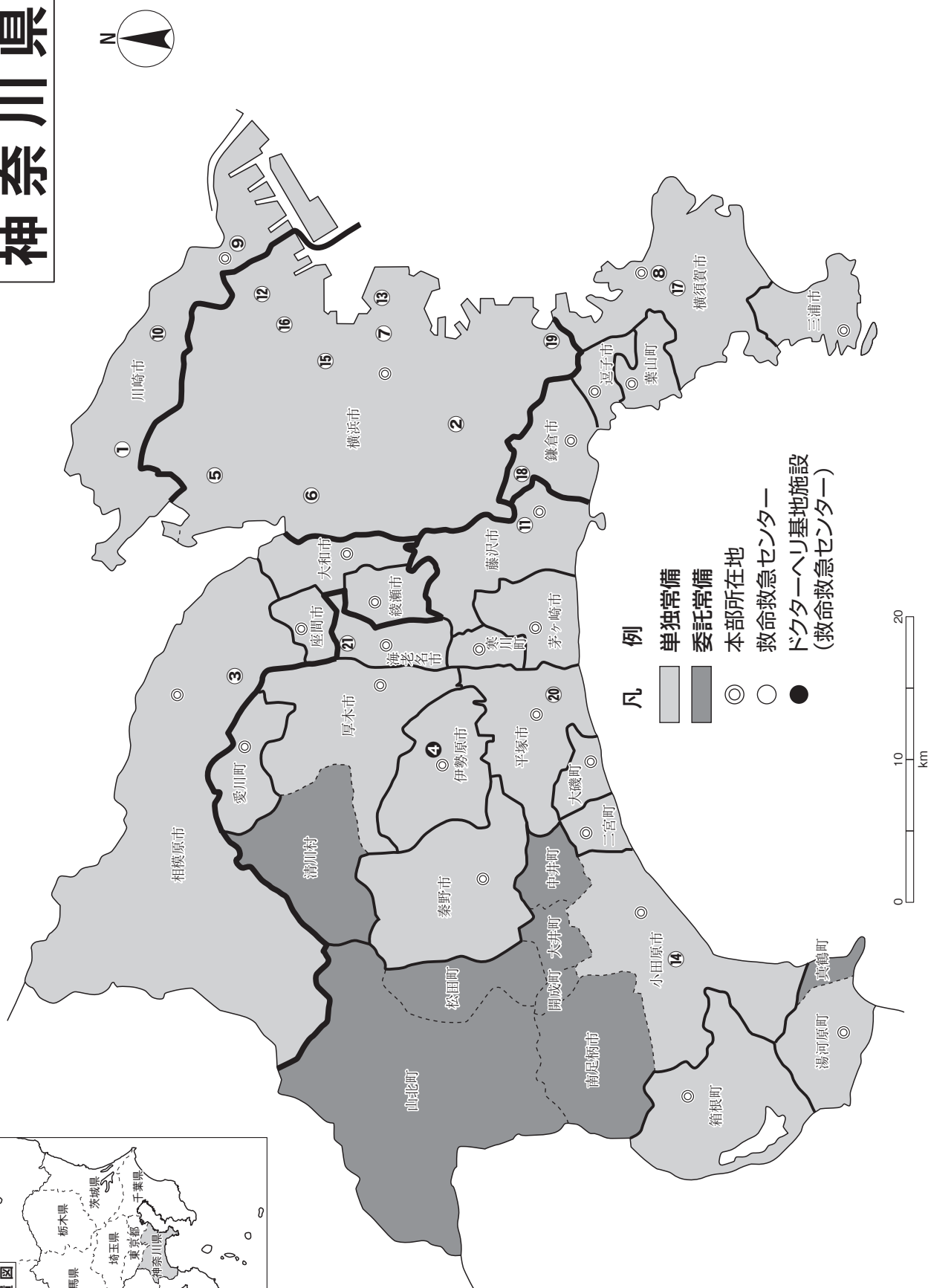
全国 救命救急センター設置状況 一覧表

(平成29年8月1日現在)

救命救急センター	施 設 名
①	聖マリアンナ医科大学病院
②	横浜医療センター
③	北里大学病院
④	東海大学医学部付属病院
⑤	昭和大学藤が丘病院
⑥	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院
⑦	横浜市立大学附属市民総合医療センター
⑧	横須賀共済病院
⑨	川崎市立川崎病院
⑩	日本医科大学武蔵小杉病院
⑪	藤沢市民病院
⑫	済生会横浜市東部病院
⑬	横浜市立みなと赤十字病院
⑭	小田原市立病院
⑮	横浜市立市民病院
⑯	横浜労災病院
⑰	横須賀市立うわまち病院
⑱	湘南鎌倉総合病院
⑲	横浜南共済病院
⑳	平塚市民病院
㉑	海老名総合病院



神奈川県



新潟県【新潟県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
新潟県メディカルコントロール協議会	遠藤 裕 新潟大学医学部 教授	新潟県福祉保健部医務薬事課 新潟県防災局消防課 新潟市中央区新光町4番地1 025-280-5183 025-282-1664 025-280-5641 025-282-1667		
新潟地域メディカルコントロール協議会	片柳 憲雄 新潟市民病院 院長	新潟県福祉保健部医務薬事課 新潟県防災局消防課 新潟市中央区新光町4番地1 025-280-5183 025-282-1664 025-280-5641 025-282-1667	新潟市消防局 佐渡市消防本部 燕・弥彦総合事務組合消防本部 五泉市消防本部 加茂地域消防本部 阿賀町消防本部	新潟大学医歯学総合病院 新潟市民病院
下越地域メディカルコントロール協議会	阿部 俊幸 新潟県新発田地域振興局健康福祉環境部長	新潟県新発田地域振興局健康福祉環境部(新発田保健所) 新発田地域広域事務組合消防本部 新発田市豊町3-3-2 新発田市新栄町1-8-31 0254-26-9651 0254-22-9073 0254-26-6800 0254-26-6690	新発田地域広域事務組合消防本部 村上市消防本部 阿賀野市消防本部	新潟県立新発田病院
中越地域メディカルコントロール協議会	片桐 幹雄 新潟県長岡地域振興局健康福祉環境部長 (保健所長)	新潟県長岡地域振興局健康福祉環境部(長岡保健所) 長岡市沖田3-2711-1 0258-33-4932 0258-33-4933	長岡市消防本部 柏崎市消防本部 三条市消防本部 小千谷市消防本部 見附市消防本部	長岡赤十字病院
魚沼地域メディカルコントロール協議会	山口 征吾 新潟県地域医療推進機構魚沼基幹病院 地域救命救急センター長	新潟県南魚沼地域振興局健康福祉環境部(南魚沼保健所) 南魚沼市六日町620-2 025-772-8142 025-772-2190	南魚沼市消防本部 十日町地域消防本部 魚沼市消防本部	新潟県地域医療推進機構魚沼基幹病院
上越地域メディカルコントロール協議会	長谷川 正樹 新潟県立中央病院 院長	新潟県上越地域振興局健康福祉環境部(上越保健所) 新潟県糸魚川地域振興局健康福祉部(糸魚川保健所) 上越市春日山町3-8-34 糸魚川市南押上1-15-1 025-524-6134 025-553-1933 025-524-6998 025-552-8800	上越地域消防事務組合消防本部 糸魚川市消防本部	新潟県立中央病院

全国 救命救急センター設置状況 一覧表 (平成29年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	長岡赤十字病院
②	新潟市民病院
③	新潟県立中央病院
④	新潟県立新発田病院
⑤	新潟大学医歯学総合病院
⑥	新潟県地域医療推進機構魚沼基幹病院

新潟県

凡 例

- 組合消防
- 単独常備
- 委託常備
- ◎ 本部所在地
- 救命救急センター
- ドクターヘリ基地施設 (救命救急センター)



富山県 【富山県救急業務高度化推進協議会】

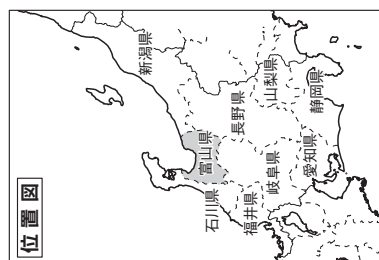
メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
富山県救急業務 高度化推進協議 会	野田 八嗣 富山県済生会高岡病院 院長	富山県総合政策局消防課 富山県富山市新総曲輪1-7 076-441-4074 076-432-0657		
富山医療圏メ ディカルコント ロール協議会	清水 一夫 富山赤十字病院 副院長・救急部長	富山市消防局警防課 富山市今泉191-1 076-493-4872 076-493-5665	富山市消防局 富山県東部消防組合消防本部 立山町消防本部	富山県立中央病院 富山市立富山市民病院 富山赤十字病院 富山県済生会富山病院 富山大学附属病院 厚生連滑川病院 かみいち総合病院 八尾総合病院
高岡医療圏メ ディカルコント ロール協議会	遠山 一喜 高岡市民病院 院長	高岡市消防本部警防課 高岡市広小路5-10 0766-22-3133 0766-22-1994	高岡市消防本部 射水市消防本部 氷見市消防本部	厚生連高岡病院 高岡市民病院 富山県済生会高岡病院 JCHO高岡ふしき病院 射水市民病院 金沢医科大学氷見市民病院
新川地区メ ディカルコント ロール協議会	竹田 慎一 黒部市民病院 院長	富山県東部消防組合消防本部消防課 魚津市本江3197-1 0765-24-7979 0765-23-9178	富山県東部消防組合消防本部 新川地域消防本部	富山労災病院 黒部市民病院 あさひ総合病院
砺波地域メ ディカルコント ロール部会	家接 健一 市立砺波総合病院 外科部長兼救急部長	砺波地域消防組合消防本部警防課 砺波市大辻501 0763-32-4957 0763-32-2230	砺波地域消防組合消防本部	市立砺波総合病院 南砺市民病院 公立南砺中央病院 公立学校共済組合北陸中央病院

※富山県東部消防組合消防本部は、富山医療圏メディカルコントロール協議会と新川地区メディカルコントロール協議会を重複している。

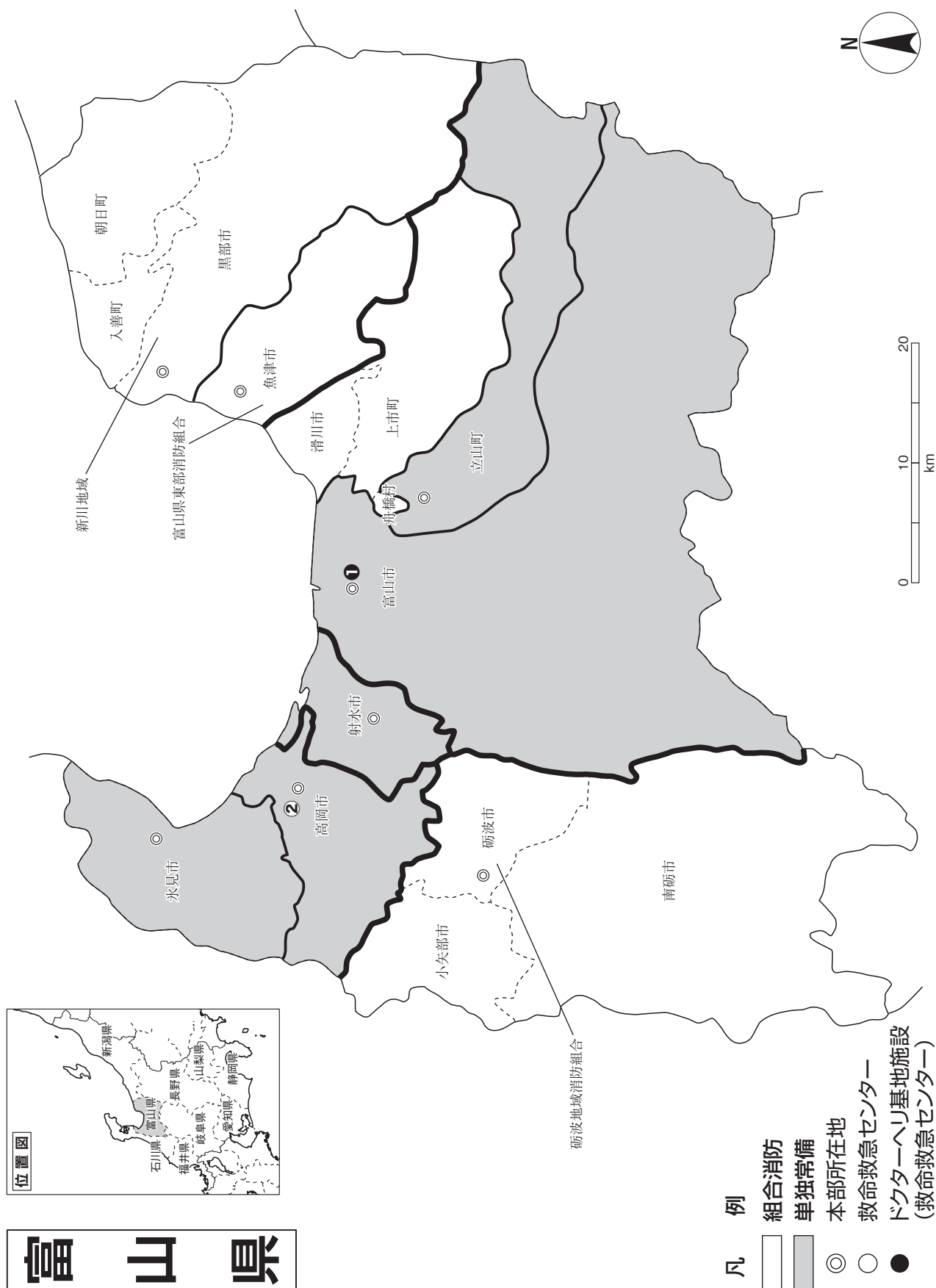
※射水市消防本部は、富山医療圏メディカルコントロール協議会と高岡医療圏メディカルコントロール協議会を重複している。

全国 救命救急センター設置状況 一覧表 (平成29年8月1日現在)

救命救急センター	施 設 名
①	富山県立中央病院
②	富山県厚生農業協同組合連合会 高岡病院



富山県



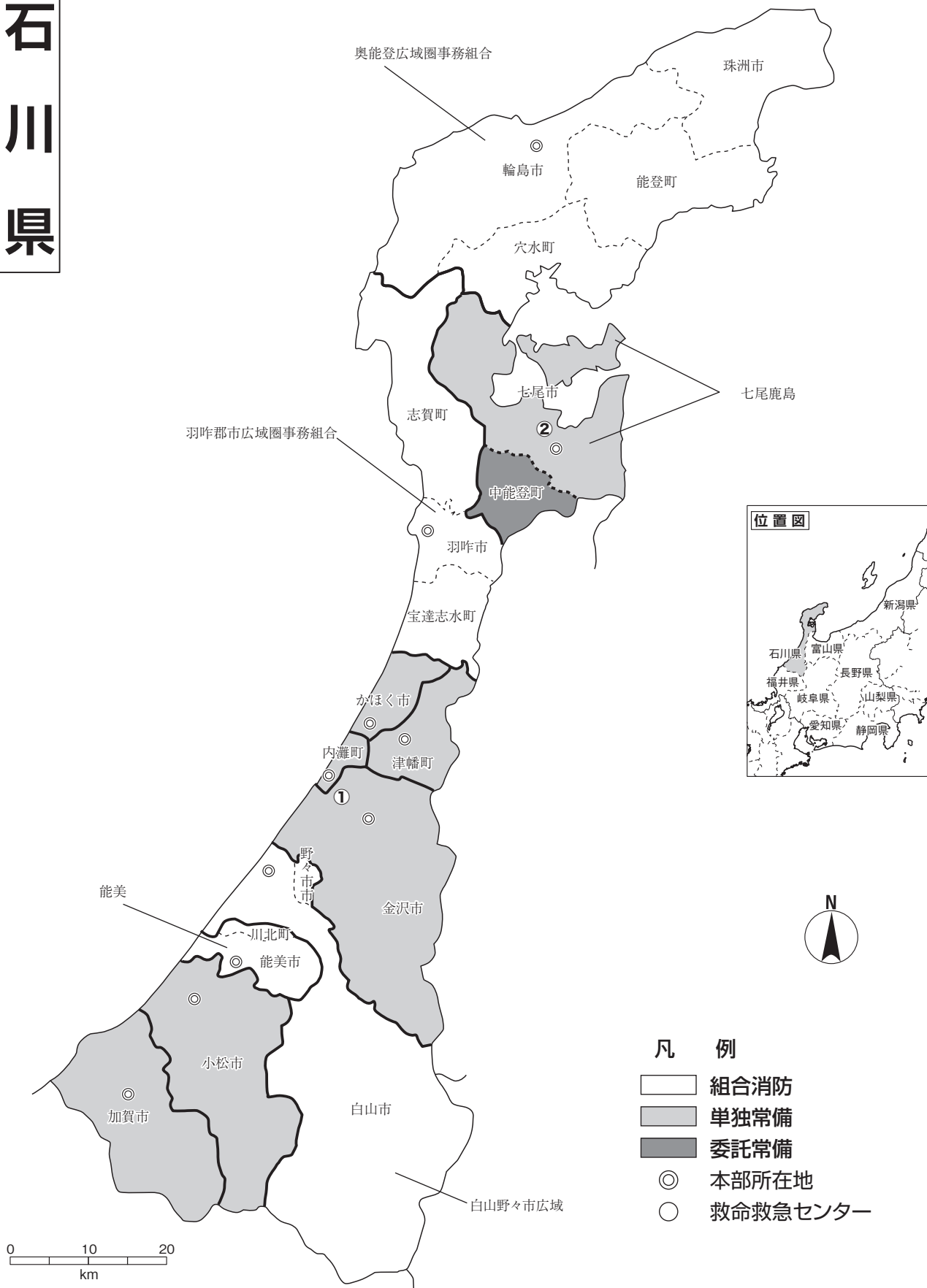
石川県【石川県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
石川県メディカル コントロール協議 会	稲葉 英夫 金沢大学医薬保健研究域医学系 血液情報発信学(救急医学)教授	石川県危機管理監室消防保安課 ／石川県健康福祉部地域医療推進室 金沢市鞍月1丁目1番地 TEL 076-225-1481 / 076-225-1449 FAX 076-225-1486 / 076-225-1434	金沢市消防局 小松市消防本部 加賀市消防本部 かほく市消防本部 津幡町消防本部 内灘町消防本部 能美消防本部 七尾鹿島広域圏事務組合消防本部 羽咋郡市広域圏事務組合消防本部 白山野々市広域消防本部 奥能登広域圏事務組合消防本部	金沢大学附属病院 金沢医科大学病院 石川県立中央病院 公立能登総合病院 加賀市民病院 小松市民病院 公立松任石川中央病院 金沢医療センター 金沢市立病院 恵寿総合病院 市立輪島病院 珠洲市総合病院

全国 救命救急センター設置状況 一覧表 (平成29年8月1日現在)

救命救急センター	施 設 名
①	石川県立中央病院
②	公立能登総合病院

石川県



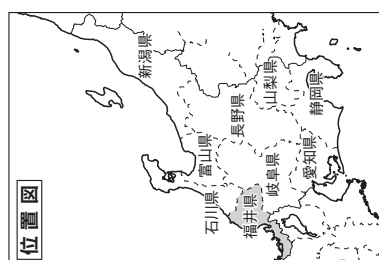
福井県【福井県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
福井県メディカルコントロール協議会	林 寛之 福井大学医学部附属病院 総合診療部 教授	福井県安全環境部危機対策・防災課 福井県健康福祉部地域医療課 福井市大手3丁目17番1号 0776-20-0309 0776-20-0345 0776-22-7617 0776-20-0642		
福井・坂井地域メディカルコントロール協議会	上田 隆夫 福井県立病院 救命救急センター長	福井県安全環境部危機対策・防災課 福井県健康福祉部地域医療課 福井市大手3丁目17番1号 0776-20-0309 0776-20-0345 0776-22-7617 0776-20-0642	嶺北消防組合消防本部 福井市消防局 永平寺町消防本部	福井県立病院 福井大学医学部附属病院
奥越地域メディカルコントロール協議会	田口 誠一 福井勝山総合病院 外科部長	福井県安全環境部危機対策・防災課 福井県健康福祉部地域医療課 福井市大手3丁目17番1号 0776-20-0309 0776-20-0345 0776-22-7617 0776-20-0642	大野市消防本部 勝山市消防本部	福井勝山総合病院
丹南地域メディカルコントロール協議会	島田 耕文 公立丹南病院 医師	福井県安全環境部危機対策・防災課 福井県健康福祉部地域医療課 福井市大手3丁目17番1号 0776-20-0309 0776-20-0345 0776-22-7617 0776-20-0642	南越消防組合消防本部 鯖江・丹生消防組合消防本部	公立丹南病院
嶺南地域メディカルコントロール協議会	廣瀬 敏士 杉田玄白記念公立小浜病院 救命救急センター長兼統括診療部長	福井県安全環境部危機対策・防災課 福井県健康福祉部地域医療課 福井市大手3丁目17番1号 0776-20-0309 0776-20-0345 0776-22-7617 0776-20-0642	敦賀美方消防組合消防本部 若狭消防組合消防本部	市立敦賀病院 杉田玄白記念公立小浜病院

全国 救命救急センター設置状況 一覧表 (平成29年8月1日現在)

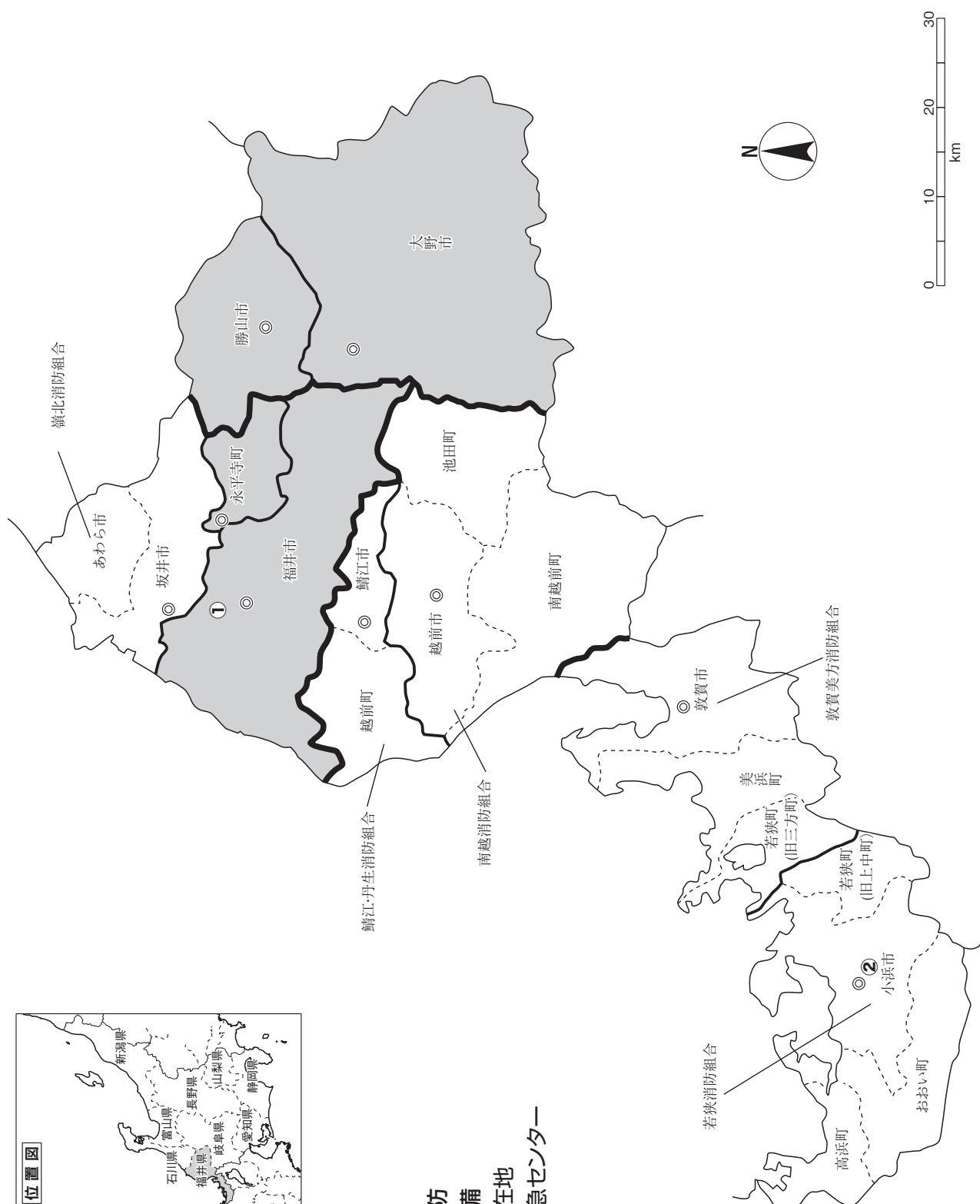
救命救急センター	施設名
①	福井県立病院
②	杉田玄白記念公立小浜病院

地域MC協議会 4



福 井 県

- 凡 例
- 組合消防
 - 単独常備
 - 本部所在地
 - 救命救急センター



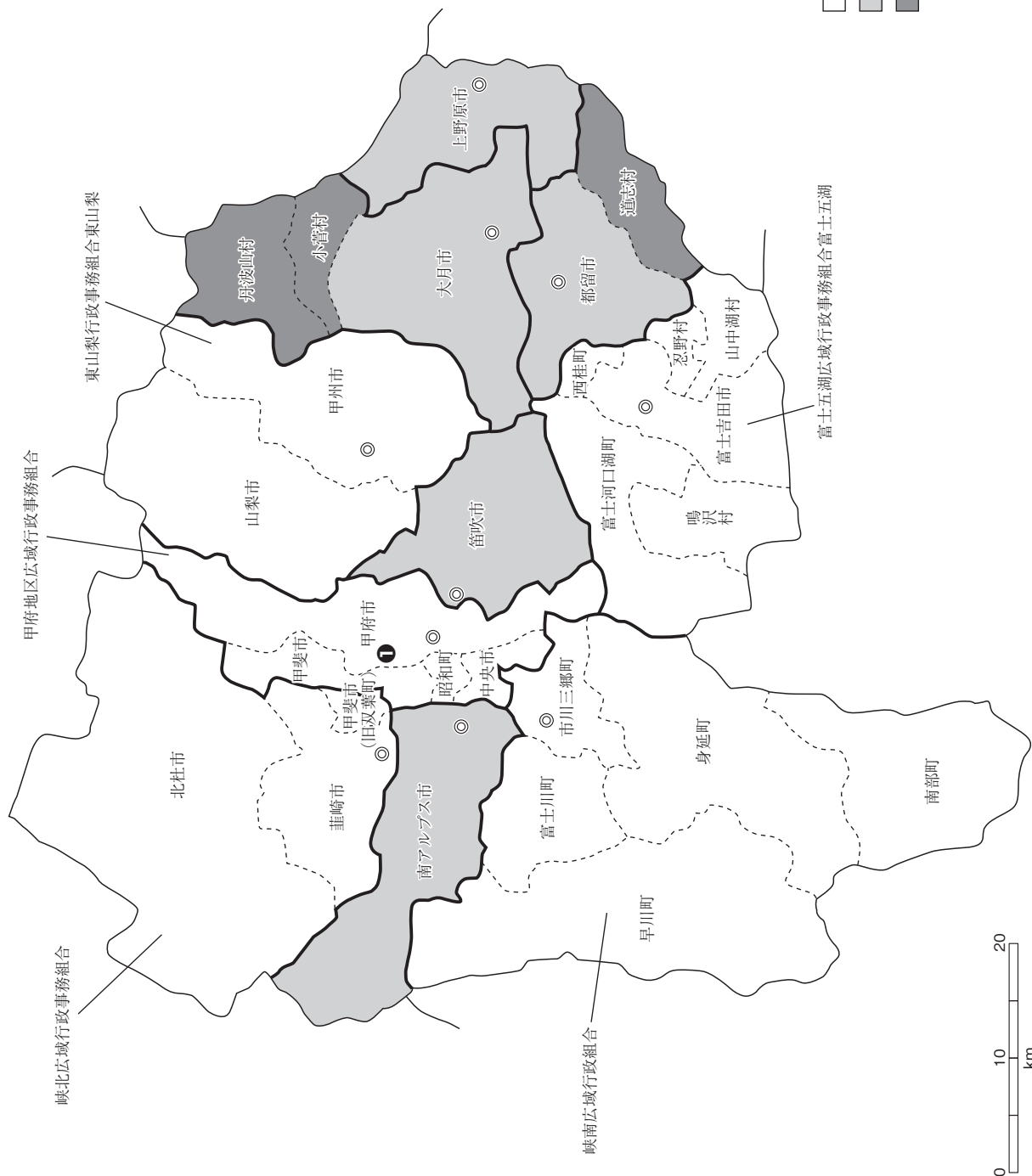
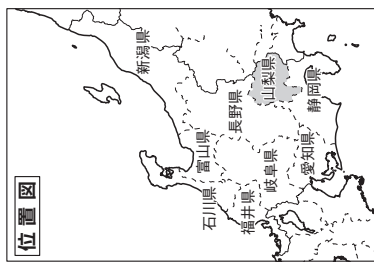
山梨県 【山梨県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
山梨県メディカル コントロール協議 会	中澤 良英 社団法人山梨県医師会 理事	山梨県防災局消防保安課 山梨県甲府市丸の内一丁目6番1号 055-223-1430 055-223-1429	甲府地区広域行政事務組合消防本部 都留市消防本部 富士五湖広域行政事務組合富士五湖消防本部 大月市消防本部 峡北広域行政事務組合消防本部 笛吹市消防本部 峡南広域行政組合消防本部 東山梨行政事務組合東山梨消防本部 上野原市消防本部 南アルプス市消防本部	地方独立行政法人山梨県立病院機構 山梨県立中央病院救命救急センター 山梨大学医学部附属病院救急部

全国 救命救急センター設置状況 一覧表 (平成29年8月1日現在)

救命救急センター	施 設 名
①	地方独立行政法人山梨県立病院機構山梨県立中央病院救急救命センター

山梨県



- 凡 例
- 組合消防
 - 単独常備
 - 委託常備
 - 本部所在地
 - ドクターヘリ基地施設 (救命救急センター)

長野県【長野県メディカルコントロール協議会】

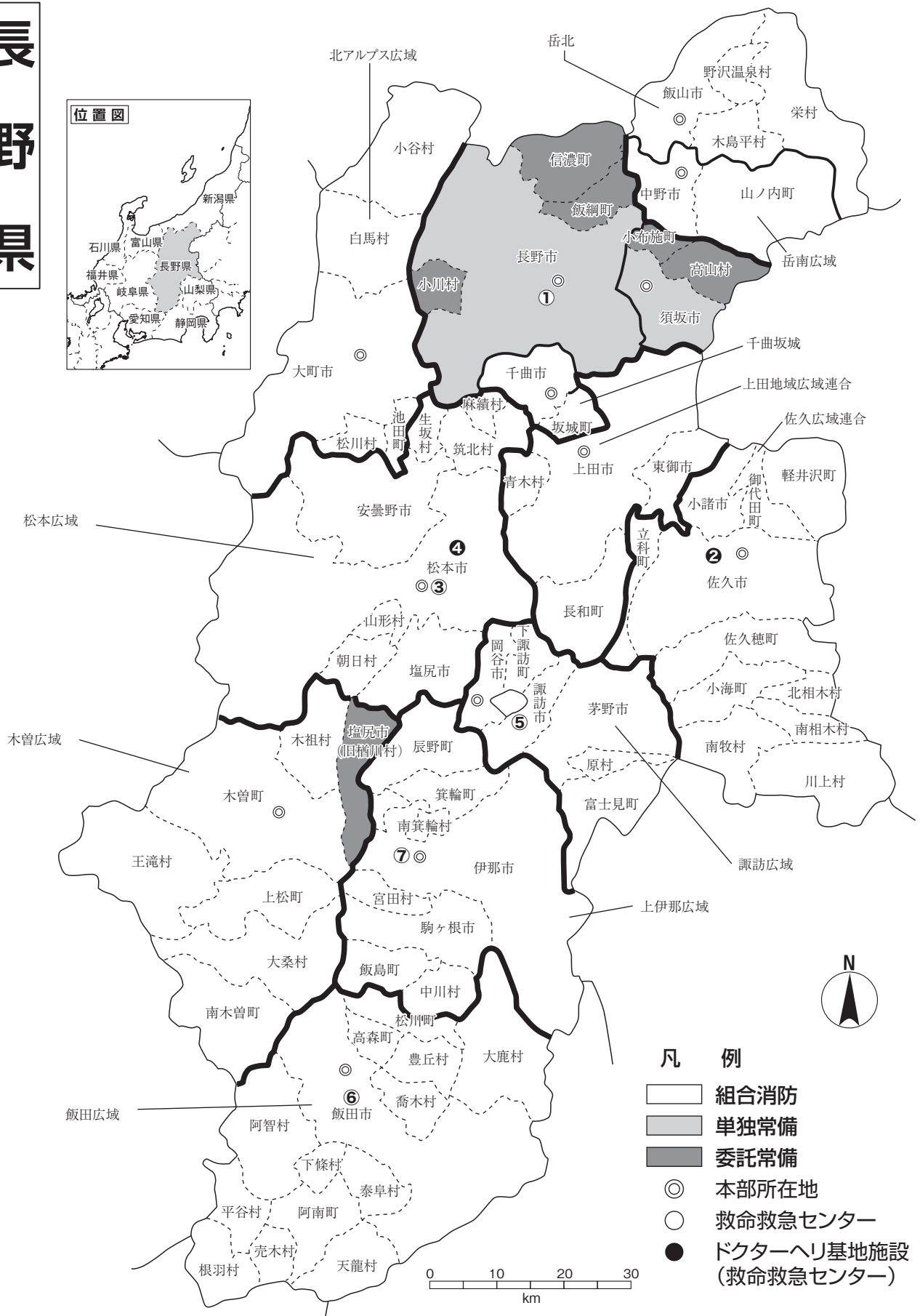
メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
長野県メディカルコントロール協議会	今村 浩 信州大学医学部 救急集中治療医学講座教授	長野県健康福祉部医療推進課 長野市大字南長野字幅下692-2 026-235-7131 026-223-7106		
佐久地域メディカルコントロール分科会	小松 正彦 佐久医師会 医師会長	佐久広域連合消防本部警防課 佐久市中込2947 0267-64-0119 0267-62-7745	佐久広域連合消防本部	JA長野厚生連佐久総合病院 佐久医療センター 佐久市立国保浅間総合病院 JA長野厚生連小諸厚生総合病院 軽井沢病院
上田地域広域連合メディカルコントロール分科会	森 寛夫 上田市医師会 顧問	上田地域広域連合消防本部警防課 上田市大手二丁目7番16号 0268-26-0119 0268-23-6901	上田地域広域連合消防本部	信州大学医学部附属病院高度救命救急センター 独立行政法人国立病院機構信州上田医療センター 丸子中央病院 東御市民病院 依田窪病院
諏訪地域メディカルコントロール協議会	鈴木 正 諏訪郡医師会 会長	諏訪広域消防本部総務課 岡谷市加茂町一丁目2番6号 0266-21-1190 0266-21-2119	諏訪広域消防本部	諏訪赤十字病院 岡谷市民病院 諏訪湖畔病院 諏訪共立病院 諏訪中央病院 富士見高原病院
上伊那地域メディカルコントロール協議会	北原 敏久 上伊那医師会 上伊那医師会長	上伊那広域消防本部 伊那市荒井4606番地1 0265-72-0119 0265-72-0712	上伊那広域消防本部	伊那中央病院 辰野総合病院 昭和伊南総合病院
飯伊地区メディカルコントロール分科会	神頭 定彦 飯田市立病院 飯田市立病院救命救急センター長 飯伊地区包括医療協議会緊急救急医療対策委員長	飯伊地区包括医療協議会 飯田市中央通り5-96 0265-23-3636 0265-23-7112	飯田広域消防本部	飯田市立病院 県立阿南病院 飯田病院 健和会病院 輝山会記念病院 下伊那厚生病院 下伊那赤十字病院 瀬口脳神経外科病院
木曽地域メディカルコントロール協議会	飯島 章博 長野県立木曽病院 副院長・救急部長	木曽広域消防本部 木曽郡木曽町福島3737番地 0264-24-3119 0264-24-2929	木曽広域消防本部	長野県立木曽病院
松本広域圏救急・災害医療協議会メディカルコントロール委員会	今村 浩 信州大学医学部 救急集中治療医学講座教授	松本広域消防局 松本市渚1丁目7番12号 0263-25-1699 0263-25-3987	松本広域消防局	信州大学医学部附属病院高度救命救急センター 社会医療法人財団慈恵会相澤病院
大北地域メディカルコントロール分科会	青木 俊樹 大町総合病院 副院長	北アルプス広域消防本部警防課 大町市大町4724-1 0261-22-0735 0261-21-3310	北アルプス広域消防本部	安曇総合病院 大町総合病院
長野地域メディカルコントロール協議会	宮澤 政彦 長野市医師会長(宮沢医院) 宮沢医院院長	長野市消防局警防課 長野市鶴賀1730-2 026-227-8002 026-226-8461	長野市消防局 須坂市消防本部 千曲坂城消防本部	長野赤十字病院 長野市民病院 長野中央病院 篠ノ井総合病院 長野松代総合病院 飯綱病院 新町病院 信越病院 県立信州医療センター 千曲中央病院
中高・飯水地区救急医療体制確立及びメディカルコントロール協議会	鈴木 章彦 中高医師会 中高医師会長	岳南広域消防本部警防係 長野県中野市大字江部1324-2 0269-23-0119 0269-22-5991	岳南広域消防本部 岳北消防本部	JA長野厚生連北信総合病院 飯山赤十字病院

全国 救命救急センター設置状況 一覧表

(平成29年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	長野赤十字病院
②	長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院佐久医療センター
③	慈恵会相澤病院
④	信州大学医学部附属病院
⑤	諏訪赤十字病院
⑥	飯田市立病院
⑦	伊那中央病院

長野県



岐阜県 【岐阜県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
岐阜県メディカルコントロール協議会	富田 栄一 一般社団法人岐阜県病院協会 会長	岐阜県危機管理部消防課 岐阜市数田南2-1-1 058-272-1122 058-278-2549		
岐阜地域メディカルコントロール協議会	滝谷 博志 岐阜県総合医療センター 院長	岐阜県危機管理部消防課 岐阜市数田南2-1-1 058-272-1122 058-278-2549	岐阜市消防本部 羽島市消防本部 各務原市消防本部 山県市消防本部 羽島郡広域連合消防本部 本巣消防事務組合消防本部	岐阜大学医学部附属病院 岐阜県総合医療センター 岐阜市民病院 岐阜赤十字病院 村上記念病院 羽島市民病院 東海中央病院 岐北厚生病院 松波総合病院 長良医療センター 岐阜中央病院
西濃地域メディカルコントロール協議会	横山 幸房 大垣市民病院 胸部外科部長	岐阜県危機管理部消防課 岐阜市数田南2-1-1 058-272-1122 058-278-2549	大垣消防組合消防本部 海津市消防本部 養老町消防本部 不破消防組合消防本部 揖斐郡消防組合消防本部	大垣市民病院 大垣徳洲会病院 海津市医師会病院 西美濃厚生病院 博愛会病院 揖斐厚生病院
中濃地域メディカルコントロール協議会	山田 実貴人 木沢記念病院 救急部門長	岐阜県危機管理部消防課 岐阜市数田南2-1-1 058-272-1122 058-278-2549	可茂消防事務組合消防本部 中濃消防組合消防本部 郡上市消防本部	可児とうのう病院 木沢記念病院 中濃厚生病院 美濃病院 郡上市民病院 鷺見病院 白川病院 太田メディカルクリニック 東可児病院 国保白鳥病院 関中央病院
東濃地域メディカルコントロール協議会	伊藤 淳樹 岐阜県立多治見病院 副院長	岐阜県危機管理部消防課 岐阜市数田南2-1-1 058-272-1122 058-278-2549	多治見市消防本部 瑞浪市消防本部 土岐市消防本部 中津川市消防本部 恵那市消防本部	岐阜県立多治見病院 東濃厚生病院 土岐市立総合病院 中津川市民病院 市立恵那病院 多治見市民病院
飛騨地域メディカルコントロール協議会	山本 昌幸 久美愛厚生病院 副院長	岐阜県危機管理部消防課 岐阜市数田南2-1-1 058-272-1122 058-278-2549	高山市消防本部 飛騨市消防本部 下呂市消防本部	高山赤十字病院 久美愛厚生病院 国保白川診療所 飛騨市民病院 下呂温泉病院 下呂市立金山病院 高山市国民健康保険高根診療所

全国 救命救急センター設置状況 一覧表 (平成29年8月1日現在)

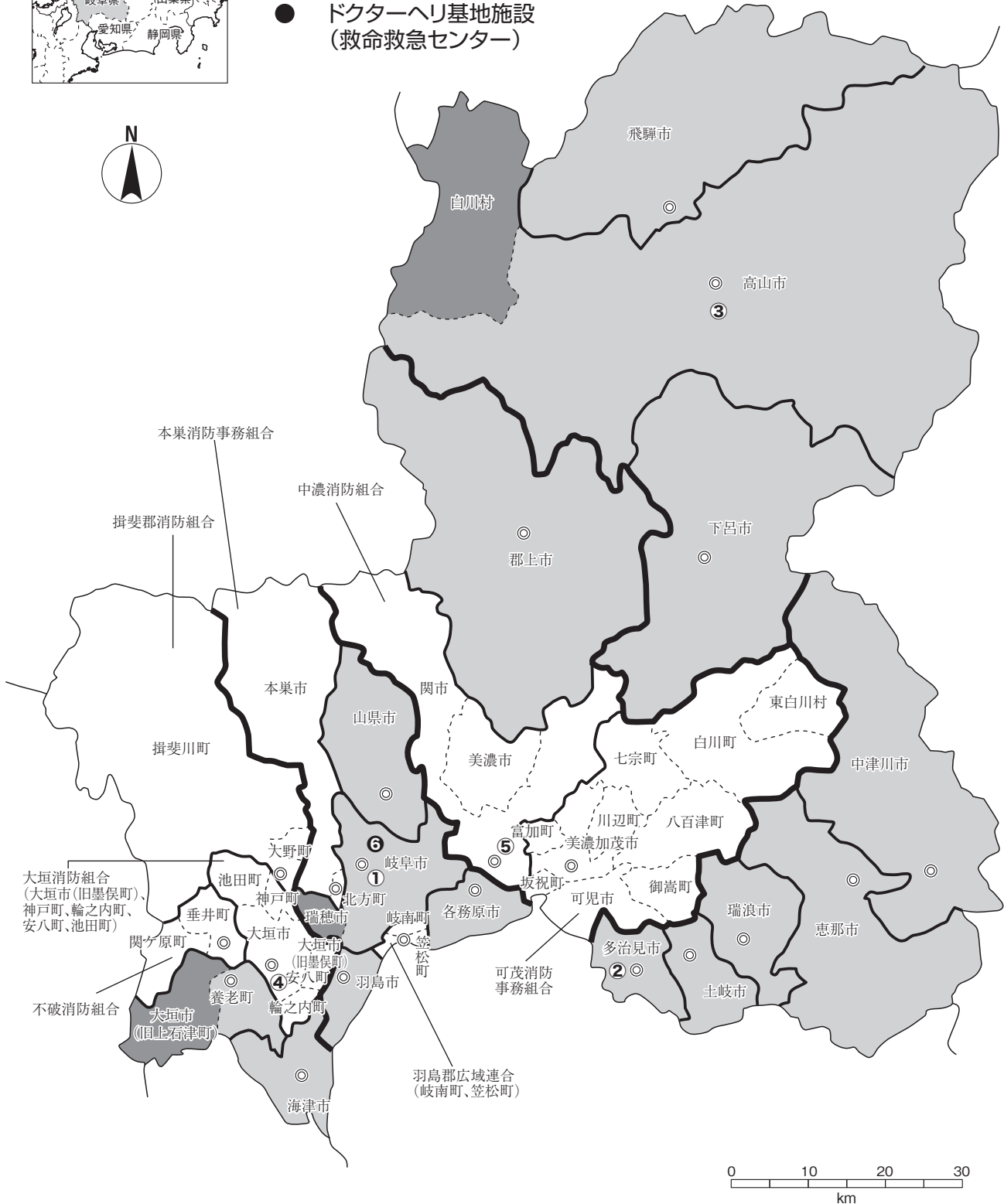
救命救急センター	施設名
①	岐阜県総合医療センター
②	地方独立行政法人 岐阜県立多治見病院
③	日本赤十字社 高山赤十字病院
④	大垣市民病院
⑤	JA 岐阜厚生連 中濃厚生病院
⑥	岐阜大学医学部附属病院



凡 例

-  組合消防
 単独常備
 委託常備
 本部所在地
 救命救急センター
 ドクターヘリ基地施設
 (救命救急センター)

岐 阜 県

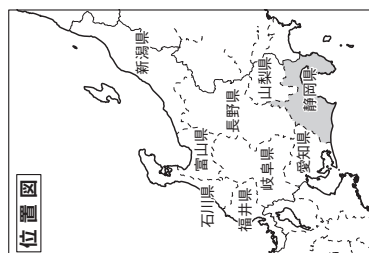


静岡県【静岡県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
静岡県メディカルコントロール協議会	赤堀 彰夫 静岡県医師会 理事	静岡県健康福祉部地域医療課 静岡県危機管理部消防保安課 静岡市葵区追手町9番6号 054-221-2348 054-221-2073 054-221-3291 054-221-3327		
賀茂地域メディカルコントロール協議会	池田 正見 賀茂医師会 会長	静岡県賀茂保健所地域医療課 下田市中531の1 0558-24-2052 0558-24-2169	下田消防本部 駿東伊豆消防本部	下田メディカルセンター 医療法人社団健育会西伊豆健育会病院 公益社団法人地域医療振興協会伊豆今井浜病院 医療法人社団康心会伊豆東部総合病院 順天堂大学医学部附属静岡病院【他】
熱海・伊東地域メディカルコントロール協議会	鈴木 卓 南あたま第一病院 院長	静岡県熱海保健所総務課 熱海市水口町13-15 0557-82-9106 0557-82-9131	熱海市消防本部 駿東伊豆消防本部	国際医療福祉大学熱海病院 医療法人社団陽光会南あたま第一病院 医療法人社団伊豆七海会熱海所記念病院 伊東市民病院 順天堂大学医学部附属静岡病院【他】
駿東田方地域メディカルコントロール協議会	勝呂 衛 沼津医師会 会長	駿東伊豆消防本部警防救急課 沼津市寿町2-10 055-920-9102 055-923-9911	駿東伊豆消防本部 富士山南東消防本部 御殿場市・小山町広域行政組合消防本部	沼津市立病院 順天堂大学医学部附属静岡病院 一般財団法人美蓉協会聖隷沼津病院 独立行政法人地域医療機能推進機構三島総合病院 医療法人社団志仁会三島中央病院 独立行政法人国立病院機構静岡医療センター 医療法人社団青虎会フジ虎ノ門整形外科病院 公益財団法人伊豆保健医療センター 裾野赤十字病院 医療法人社団親和会西島病院 医療法人社団宏和会岡村記念病院 伊豆赤十字病院 公益社団法人有隣厚生会富士病院 医療法人社団駿栄会御殿場石川病院 公益社団法人有隣厚生会東部病院 公益社団法人有隣厚生会富士小山病院【他】
富士地域メディカルコントロール協議会	磯部 俊一 富士市医師会 会長	富士市消防本部警防課救急管理室 富士市永田町1丁目100 0545-55-2856 0545-53-4633	富士宮市消防本部 富士市消防本部	富士宮市立病院 一般財団法人富士脳障害研究所附属病院 富士市立中央病院 共立蒲原総合病院 医療法人社団秀峰会川村病院 一般財団法人恵愛会聖隷富士病院【他】
静岡地域メディカルコントロール協議会	袴田 光治 静岡市静岡医師会 会長	静岡市消防局警防部救急課 静岡市駿河区南八幡町10-30 054-280-0199 054-280-0189	静岡市消防局	静岡済生会総合病院 静岡赤十字病院 静岡県立総合病院 JA静岡厚生連静岡厚生病院 静岡市立静岡病院 静岡県立こども病院 静岡市立清水病院 JA静岡厚生連清水厚生病院 独立行政法人地域医療機能推進機構裾野ヶ丘病院【他】
志太榛原地域メディカルコントロール協議会	堀尾 恵三 焼津市医師会 会長	静岡県中部保健所地域医療課 藤枝市瀬戸新屋362-1 054-644-9273 054-644-4471	静岡市消防局 志太広域事務組合志太消防本部	市立島田市民病院 焼津市立総合病院 藤枝市立総合病院 榛原総合病院【他】
中東遠地域メディカルコントロール協議会	本田 仁 磐田市医師会 会長	静岡県西部保健所地域医療課 磐田市見付3599-4 0538-37-2793 0538-37-2224	磐田市消防本部 掛川市消防本部 菊川市消防本部 御前崎市消防本部 袋井市森町広域行政組合袋井消防本部	磐田市立総合病院 掛川市・袋井市病院企業団立中東遠総合医療センター 菊川市立総合病院 市立御前崎総合病院 公立森町病院【他】
西部地域メディカルコントロール協議会	滝浪 實 浜松市医師会 会長	浜松市消防局警防課救急管理グループ 浜松市中区下池川町19-1 053-475-7531 053-475-7539	浜松市消防局 湖西市消防本部	浜松医療センター 社会福祉法人聖隷福祉事業団総合病院聖隷三方原病院 社会福祉法人聖隷福祉事業団総合病院聖隷浜松病院 浜松医科大学医学部附属病院 独立行政法人労働者健康安全機構浜松労災病院 浜松赤十字病院 JA静岡厚生連遠州病院 独立行政法人国立病院機構天竜病院 浜松市国民健康保険佐久間病院【他】

※駿東伊豆消防本部は、賀茂地域メディカルコントロール協議会、熱海・伊東地域メディカルコントロール協議会及び駿東田方地域メディカルコントロール協議会を重複している。
 ※静岡市消防局は、静岡地域メディカルコントロール協議会と志太榛原地域メディカルコントロール協議会を重複している。

静岡県



凡 例

- 組合消防
- 単独常備
- 委託常備

◎ 本部所在地

○ 救命救急センター

● ドクターヘリ基地施設
(救命救急センター)

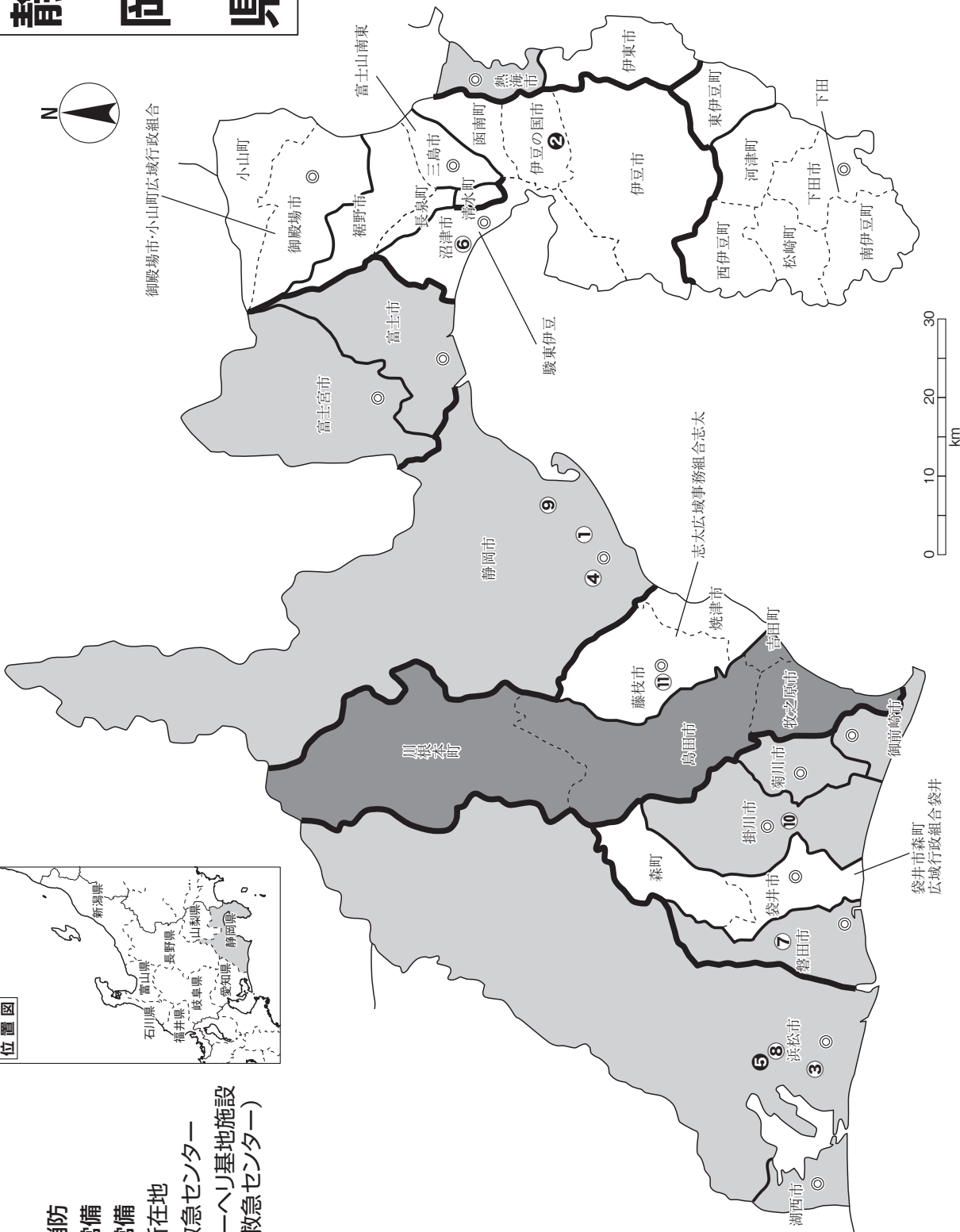


御殿場市・小山町広域行政組合

全国 救命救急センター設置状況 一覧表

(平成29年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	静岡済生会総合病院
②	順天堂大学医学部附属静岡病院
③	浜松医療センター
④	静岡赤十字病院
⑤	聖隷三方原病院
⑥	沼津市立病院
⑦	磐田市立総合病院
⑧	聖隷浜松病院
⑨	地方独立行政法人静岡県立病院機構 静岡県立総合病院
⑩	中東遠総合医療センター
⑪	藤枝市立総合病院



愛知県 【愛知県救急業務高度化推進協議会】

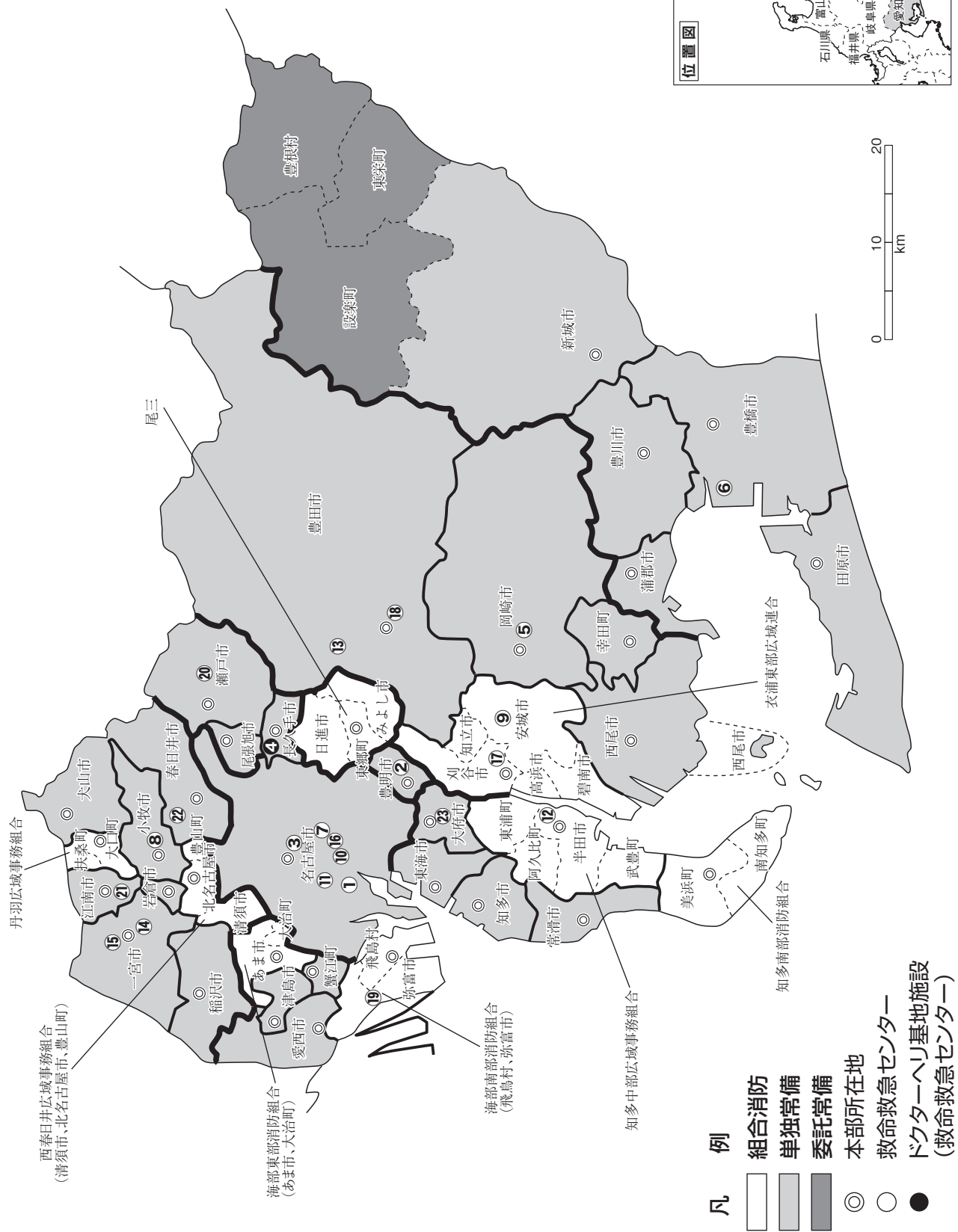
メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
愛知県救急業務高度化推進協議会	北川 喜己 名古屋掖済会病院 副院長兼救命救急センター長	愛知県防災局消防保安課 愛知県健康福祉部保健医療局医務課 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号 052-954-6141 052-954-6913		
名古屋市メディカルコントロール協議会	高橋 立夫 (独)国立病院機構名古屋医療センター 救急部顧問	名古屋市消防局 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号 052-972-3583 052-972-3582	名古屋市消防局	名古屋第一赤十字病院 (独)国立病院機構名古屋医療センター 名古屋第二赤十字病院 名古屋市立大学病院 名古屋掖済会病院 (独)地域医療機能推進機構 中京病院 名古屋大学医学部附属病院
海部地区メディカルコントロール協議会	谷内 仁 厚生連 海南病院 救命救急センター長兼救急科代表部長	海部南部消防組合消防本部 海部郡飛島村大宝5丁目182 0567-52-3111 0567-52-3114	津島市消防本部 愛西市消防本部 蟹江町消防本部 海部東部消防組合消防本部 海部南部消防組合消防本部	厚生連 海南病院 名古屋第一赤十字病院 名古屋掖済会病院
知多地区メディカルコントロール協議会	田中 孝也 半田市立半田病院 救命救急センター長	知多中部広域事務組合消防本部 半田市東洋町1丁目6番地 0569-21-1492 0569-22-7420	常滑市消防本部 東海市消防本部 大府市消防本部 知多市消防本部 知多中部広域事務組合消防本部 知多南部消防組合消防本部	半田市立半田病院 あいち小児保健医療総合センター (独)地域医療機能推進機構 中京病院 藤田保健衛生大学病院 刈谷豊田総合病院
尾張東部地区メディカルコントロール協議会	武山 直志 愛知医科大学病院 高度救命救急センター部長	尾三消防本部 愛知郡東郷町大字諸輪18番地 0561-38-7215 0561-38-6962	瀬戸市消防本部 尾張旭市消防本部 豊明市消防本部 長久手市消防本部 尾三消防本部	公立陶生病院 藤田保健衛生大学病院 愛知医科大学病院
尾張北部地区メディカルコントロール協議会	井上 卓也 小牧市民病院 救命救急センター部長兼救急科代表部長	小牧市消防本部 小牧市安田町119番地 0568-76-0276 0568-76-0224	一宮市消防本部 春日井市消防本部 犬山市消防本部 江南市消防本部 小牧市消防本部 稲沢市消防本部 岩倉市消防本部 丹羽広域事務組合消防本部 西春日井広域事務組合消防本部	一宮市立市民病院 総合大雄会病院 春日井市民病院 小牧市民病院 厚生連 江南厚生病院
西三河地区メディカルコントロール協議会	小林 修一 厚生連 豊田厚生病院 救命救急センター長兼救急科代表部長	豊田市消防本部 豊田市長興時5丁目17番地の1 0565-35-9701 0565-35-9709	岡崎市消防本部 豊田市消防本部 西尾市消防本部 幸田町消防本部 尾三消防本部 衣浦東部広域連合消防局	厚生連 豊田厚生病院 トヨタ記念病院 岡崎市民病院 刈谷豊田総合病院 厚生連 安城更正病院
東三河地区メディカルコントロール協議会	鈴木 伸行 豊橋市民病院 副院長兼救命救急センター長	豊橋市消防本部 豊橋市東松山町23番地 0532-51-3101 0532-56-1411	豊橋市消防本部 豊川市消防本部 蒲郡市消防本部 新城市消防本部 原田市消防本部	豊橋市民病院

※尾三消防本部は、尾張東部地区メディカルコントロール協議会と西三河地区メディカルコントロール協議会を重複している。

全国 救命救急センター設置状況 一覧表 (平成29年8月1日現在)

救命救急センター	施 設 名
①	名古屋掖済会病院
②	藤田保健衛生大学病院
③	独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター
④	愛知医科大学病院
⑤	岡崎市民病院
⑥	豊橋市民病院
⑦	名古屋第二赤十字病院
⑧	小牧市民病院
⑨	愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院
⑩	中京病院
⑪	名古屋第一赤十字病院
⑫	半田市立半田病院
⑬	愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院
⑭	総合大雄会病院
⑮	一宮市立市民病院
⑯	名古屋市立大学病院
⑰	刈谷豊田総合病院
⑱	トヨタ記念病院
⑲	愛知厚生連海南病院
⑳	公立陶生病院
㉑	愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院
㉒	春日井市民病院
㉓	あいち小児保健医療総合センター (小児救命救急センター)

愛知県



三重県 【三重県救急搬送・医療連携協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
三重県救急搬送・医療連携協議会	【会長】 伊藤正明 三重大学医学部附属病院 三重大学医学部附属病院院長	三重県健康福祉部医療対策局地域医療推進課 三重県津市広明町13 TEL 059-224-3370 FAX 059-224-2340 三重県防災対策部消防・保安課 三重県津市広明町13 TEL 059-224-2108 FAX 059-224-3350		
桑名地域メディカルコントロール協議会	青木 大五 桑名医師会 桑名医師会会長	桑名保健所 桑名市中央町5-17 TEL 0594-24-3621 FAX 0594-24-3692	桑名市消防本部	桑名東医療センター 桑名西医療センター いなべ総合病院
四日市地域メディカルコントロール協議会	山中 賢治 四日市医師会 四日市医師会理事	四日市市保健所 四日市市諏訪町2-2 TEL 059-352-0590 FAX 059-351-3304	四日市市消防本部 菰野町消防本部	県立総合医療センター 市立四日市病院 四日市羽津医療センター 三重北医療センター菰野厚生病院
鈴鹿・亀山地域メディカルコントロール協議会	太田 寛史 鈴鹿中央総合病院 鈴鹿中央総合病院循環器内科医長	鈴鹿市消防本部 鈴鹿市飯野寺家町217-1 TEL 059-382-9155 FAX 059-383-1447	鈴鹿市消防本部 亀山市消防本部	鈴鹿中央総合病院 鈴鹿回生病院 亀山市立医療センター
津・久居地域メディカルコントロール協議会	今井 寛 三重大学医学部附属病院 救命救急センター長・教授	津保健所 津市桜橋3-446-34 TEL 059-223-5290 FAX 059-223-5119	津市消防本部	三重大学医学部附属病院 三重中央医療センター 橿原温泉病院 永井病院
松阪地区メディカルコントロール協議会	野呂 純一 松阪地区医師会 松阪地区医師会会長	松阪地区広域消防組合消防本部 松阪市川井町1001-1 TEL 0598-25-1413 FAX 0598-21-3080	松阪地区広域消防組合消防本部 紀勢地区広域消防組合消防本部	松阪中央総合病院 済生会松阪総合病院 松阪市民病院 大台厚生病院 南島メディカルセンター
三地域メディカルコントロール協議会	畠中 節夫 伊勢地区医師会 伊勢地区医師会監事	伊勢保健所 伊勢市勢田町628-2 TEL 0596-27-5134 FAX 0596-27-5253	伊勢市消防本部 鳥羽市消防本部 志摩広域消防組合消防本部	伊勢赤十字病院 市立伊勢総合病院 三重県立志摩病院
伊賀地域メディカルコントロール部会（協議会）	家村 順三 社会医療法人畿内会 岡波総合病院 副院長	伊賀保健所 伊賀市四十九町2802 TEL 0595-24-8070 FAX 0595-24-8085	伊賀市消防本部 名張市消防本部	伊賀市立上野総合市民病院 社会医療法人畿内会 岡波総合病院 名張市立病院
東紀州地域尾鷲地区メディカルコントロール協議会	世古口 茂幸 紀北医師会 紀北医師会理事	尾鷲保健所 尾鷲市坂場西町1-1 TEL 0597-23-3446 FAX 0597-23-3449 三重紀北消防組合消防本部 尾鷲市中川28-43 TEL 0597-22-8679 FAX 0597-22-6392	三重紀北消防組合消防本部	尾鷲総合病院
紀南地域メディカルコントロール協議会	寺本 泰 紀南医師会 紀南医師会理事	熊野保健所 熊野市井戸町383 TEL 0597-85-2158 FAX 0597-85-3914 熊野市消防本部 熊野市有馬町1365-1 TEL 0597-89-0995 FAX 0597-89-4424	熊野市消防本部	紀南病院

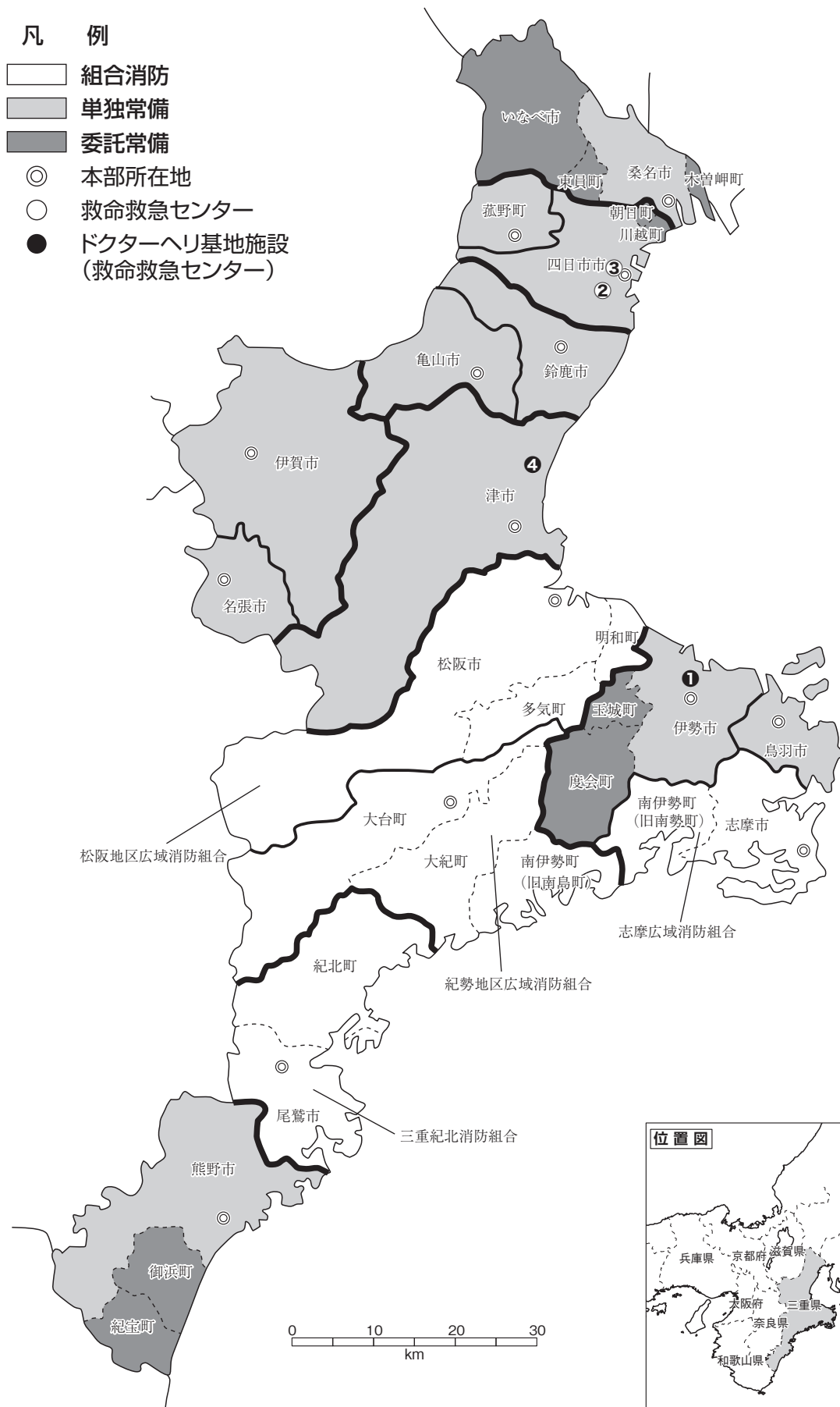
全国 救命救急センター設置状況 一覧表

(平成29年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①※	伊勢赤十字病院
②	三重県立総合医療センター
③	市立四日市病院
④※	三重大学医学部附属病院

※2施設でドクターヘリ1機

三重県



滋賀県

【滋賀県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
滋賀県メディカルコントロール協議会	石川 浩三 大津赤十字病院 院長	滋賀県総合政策部防災危機管理局 滋賀県健康医療福祉部医療政策課 大津市京町四丁目1番1号 077-528-3431 077-528-3625 077-528-6037 077-528-4859		
大津市メディカルコントロール協議会	松原 峰生 大津赤十字病院 救急部長	大津市消防局警防課救急高度化推進室 大津市御陵町3番1号 077-525-9903 077-525-9904	大津市消防局	大津赤十字病院 大津市民病院 滋賀医科大学医学部附属病院
湖南救急医療連絡協議会	平野正満 社会医療法人誠光会 草津総合病院 院長	湖南広域消防局救命救急課 栗東市小柿三丁目1番1号 077-552-9922 077-552-0988	湖南広域消防局	済生会滋賀県病院 草津総合病院 野洲病院 守山市民病院 滋賀医科大学医学部附属病院 滋賀県立成人病センター 近江草津徳洲会病院
甲賀地域メディカルコントロール協議会	木村 一博 (一社)甲賀湖南医師会 会長	甲賀広域行政組合消防本部警防課 甲賀市水口町水口6218番地 0748-63-7934 0748-62-3666	甲賀広域行政組合消防本部	公立甲賀病院 甲賀市立信楽中央病院 生田病院 甲南病院
東近江救急高度化推進協議会	山本 克與 (一社)近江八幡蒲生郡医師会 会長	東近江行政組合消防本部警防課 東近江市東今崎町5番33号 0748-22-7604 0748-22-7613	東近江行政組合消防本部	近江八幡市立総合医療センター 国立病院機構東近江総合医療センター 東近江敬愛病院 東近江市立能登川病院 日野記念病院 湖東記念病院
湖東地域救急高度化推進協議会	堤 正昭 (一社)彦根医師会 会長	彦根市消防本部警防課 彦根市西今町415番地 0749-22-0337 0749-22-9427	彦根市消防本部	彦根市立病院 彦根中央病院 友仁山崎病院 豊郷病院
湖北地域救急医療高度化推進協議会	手操 忠善 (一社)湖北医師会 会長	湖北地域消防本部警防課 長浜市平方町1135番地 0749-62-6194 0749-65-4450	湖北地域消防本部	長浜赤十字病院 市立長浜病院 市立湖北病院
湖西地域メディカルコントロール協議会	岡田 青春 (一社)高島市医師会 会長	高島市消防本部警防課 高島市今津町日置前5150番地 0740-22-5402 0740-22-5199	高島市消防本部	高島市民病院

全国 救命救急センター設置状況 一覧表

(平成29年8月1日現在)

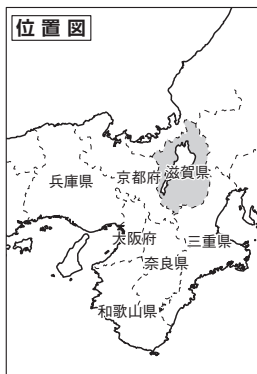
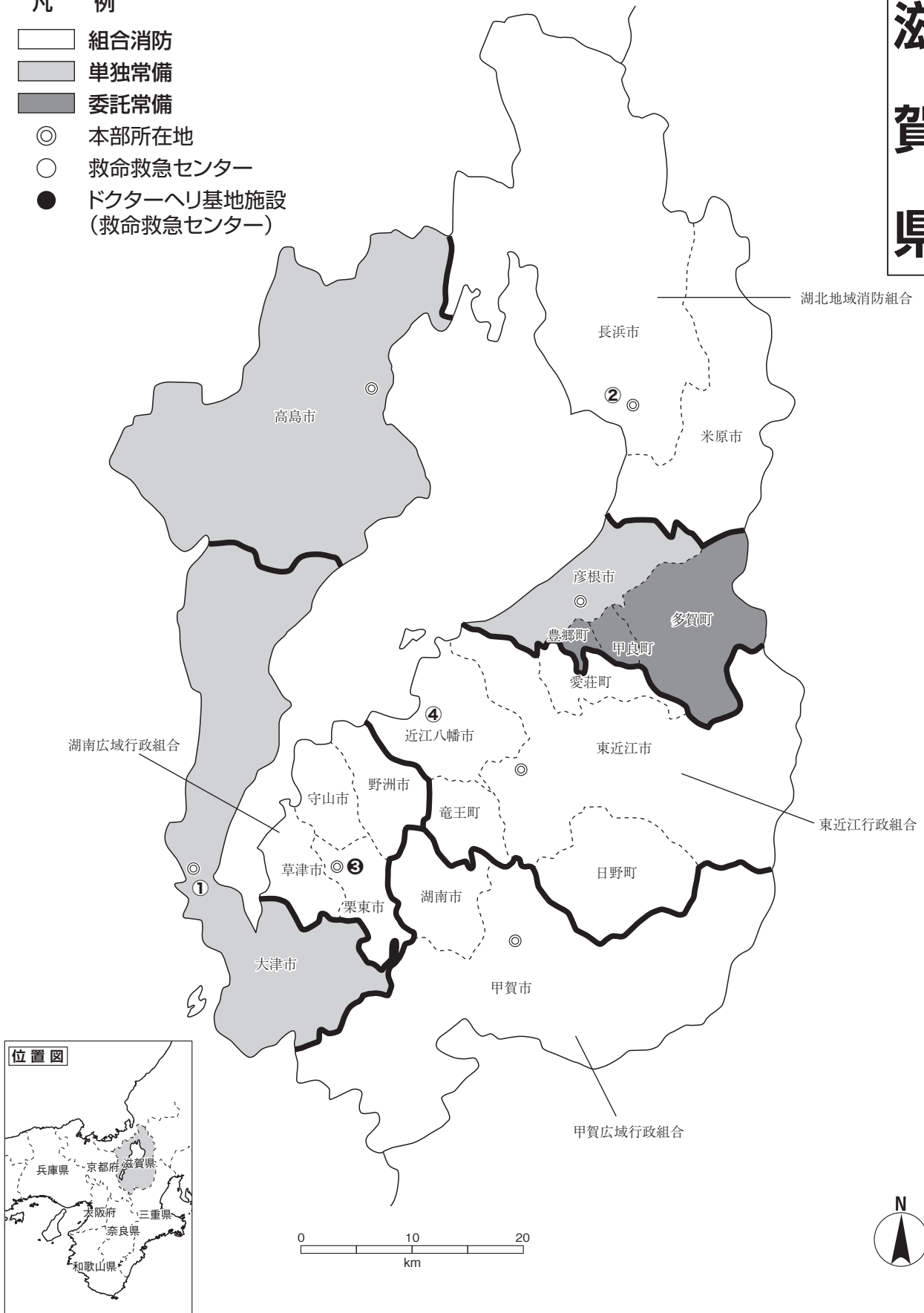
救命救急センター	施 設 名
①	大津赤十字病院
②	長浜赤十字病院
③	済生会滋賀県病院
④	近江八幡市立総合医療センター

地域MC協議会 7

滋賀県

凡 例

- 組合消防
- 単独常備
- 委託常備
- ◎ 本部所在地
- 救命救急センター
- ドクターヘリ基地施設
(救命救急センター)



京都府【京都府高度救急業務推進協議会】

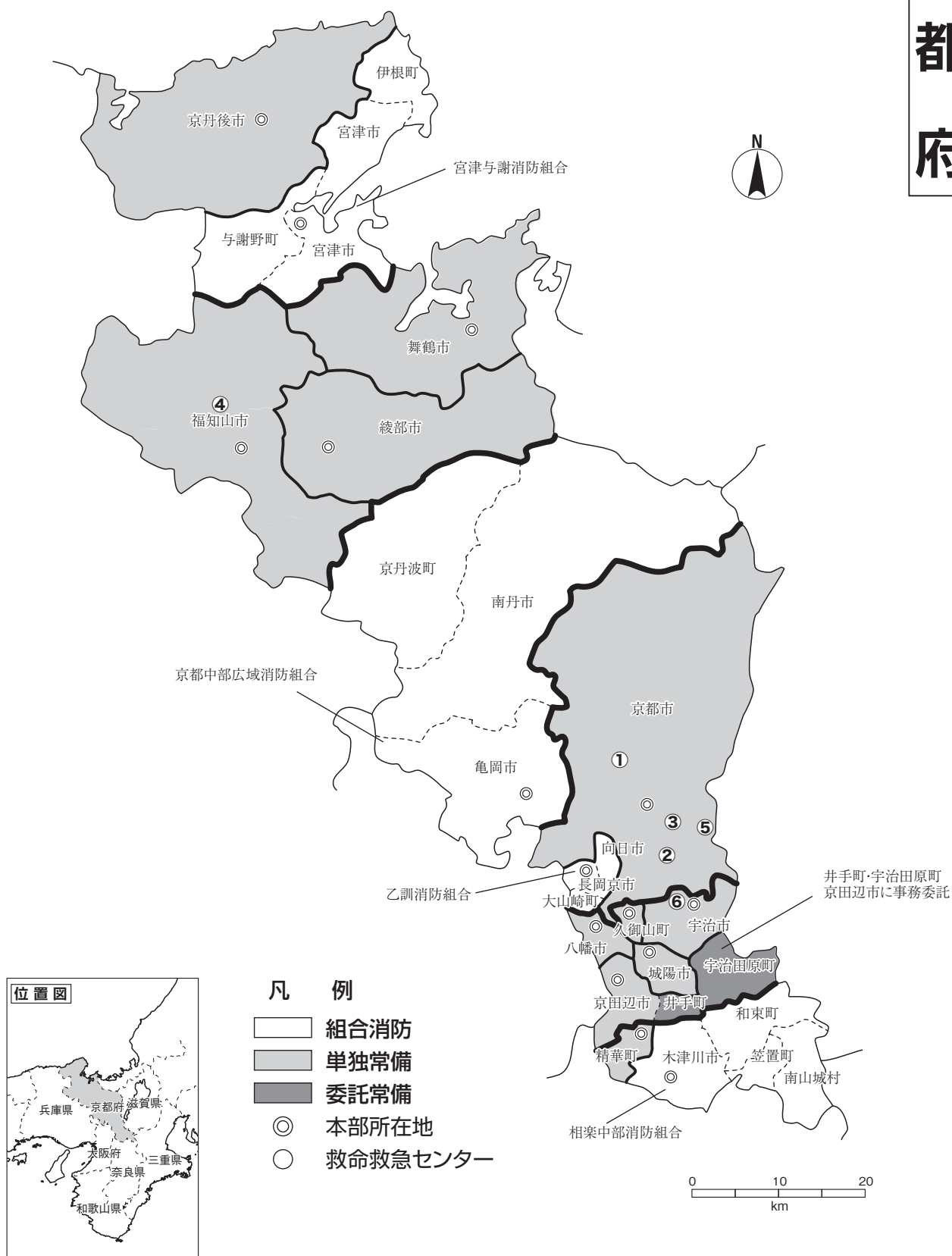
メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
京都府高度救急業務推進協議会	北川 靖 京都府医師会（北川内科医院） 副会長（院長）	京都府府民生活部消防安全課 京都市上京区下立売新町西入数ノ内町 075-414-4470 075-414-4477		
丹後メディカルコントロール協議会	中川 正法 与謝医師会 (京都府立医科大学附属北部医療センター) 副会長（病院長）	宮津与謝消防組合消防本部警防課 宮津市字須津413番地の26 0772-46-6126 0772-46-6120	京丹後市消防本部 宮津与謝消防組合消防本部	京都府立医科大学附属北部医療センター 丹後中央病院 京丹後市立弥栄病院 京丹後市立久美浜病院
中丹メディカルコントロール協議会	井土 昇 福知山医師会 (いづち医院) 会長（院長）	福知山市消防本部警防課 福知山市東羽合町46番地の1 0773-24-0119 0773-22-5458	福知山市消防本部 舞鶴市消防本部 綾部市消防本部	舞鶴共済病院 舞鶴医療センター 舞鶴赤十字病院 京都ルネス病院 福知山市立福知山市民病院 綾部市立病院
南丹メディカルコントロール協議会	計良 夏哉 京都中部総合医療センター 副院長兼循環器内科部長 兼救急部長	京都中部広域消防組合消防本部消防課 亀岡市荒塚町1丁目9番1号 0771-22-9581 0772-23-4535	京都中部広域消防組合消防本部	京都中部総合医療センター 亀岡市立病院 亀岡シミズ病院
京都市・乙訓メディカルコントロール協議会	高階 謙一郎 京都第一赤十字病院 医療社会事業部長	京都市消防局安全救急部救急課 京都市中京区押小路通河原町西入榎町450番地の2 075-212-6706 075-252-6356	京都市消防局 乙訓消防組合消防本部	京都第一赤十字病院 京都第二赤十字病院 京都医療センター 洛和会音羽病院 京都大学医学部附属病院 京都府立医科大学附属病院 京都市立病院 武田病院 シミズ病院 京都九条病院 京都下鴨病院 済生会京都府病院 新河端病院 北川内科医院 ふくやまクリニック 濱島医院 愛生会山科病院
山城北メディカルコントロール協議会	伊勢村 卓司 宇治久世医師会 (伊勢村医院) 会長（院長）	宇治市消防本部警防救急課 宇治市宇治下居13番地の2 0774-39-9403 0774-39-9406	宇治市消防本部 城陽市消防本部 八幡市消防本部 京田辺市消防本部 久御山町消防本部	宇治徳洲会病院 京都岡本記念病院 京都きづ川病院 田辺中央病院 八幡中央病院
山城南メディカルコントロール協議会	藤村 聡 相楽医師会 (藤村医院) 会長（病院長）	相楽中部消防組合消防本部警防課 木津川市木津白口10番地2 0774-75-1382 0774-73-8119	相楽中部消防組合消防本部 精華町消防本部	京都山城総合医療センター 学研都市病院 精華町国民健康保険病院

全国 救命救急センター設置状況 一覧表

(平成29年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	京都第二赤十字病院
②	独立行政法人国立病院機構 京都医療センター
③	京都第一赤十字病院
④	市立福知山市民病院
⑤	医療法人社団洛和会音羽病院
⑥	医療法人徳洲会宇治徳洲会病院

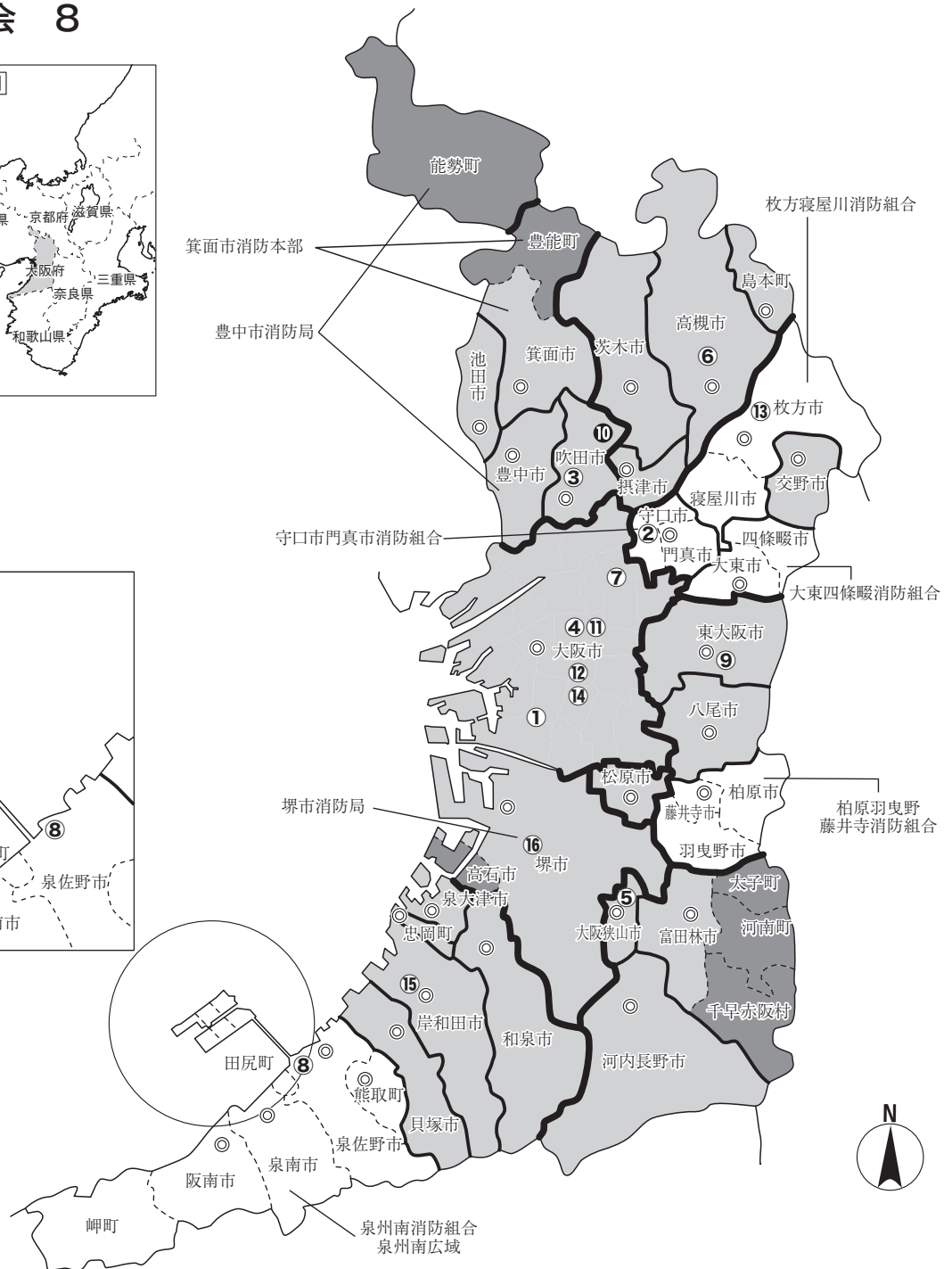
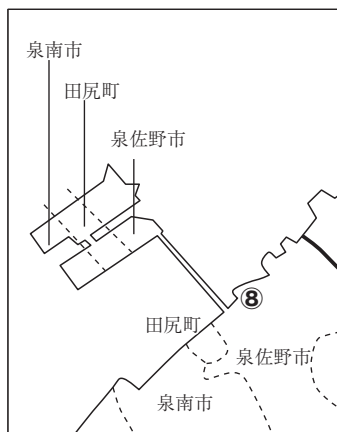
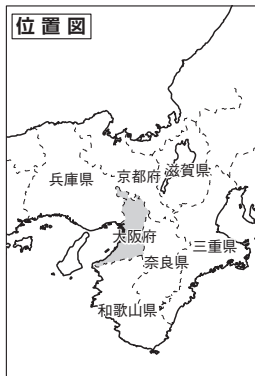
京 都 府



大阪府【大阪府救急業務高度化推進連絡協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
大阪府救急業務高度化推進連絡協議会	大阪府医師会 副会長 加納 康至	大阪府危機管理室消防保安課 大阪市中央区大手前2丁目 06-6944-6458 06-6944-6654		
大阪市域メディカルコントロール協議会	吉岡 敏治 地方独立行政法人 大阪府立病院機構大阪府立急性期・総合医療センター 院長	大阪府危機管理室消防保安課 大阪市中央区大手前2丁目 06-6944-6458 06-6944-6654	大阪市消防局	大阪市立総合医療センター 大阪市立大学医学部附属病院 地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター 独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 大阪大学医学部附属病院 大阪赤十字病院 大阪警察病院【他】
大阪府豊能地域メディカルコントロール協議会	嶋津 岳士 大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター長	大阪府危機管理室（池田土木事務所地域支援・企画課） 池田市城南町1丁目1-1 豊能府民センタービル内 072-752-4111 072-753-5509	豊中市消防本部 池田市消防本部 吹田市消防本部 箕面市消防本部	大阪府済生会千里病院 大阪大学医学部附属病院 国立循環器病研究センター 市立豊中病院【他】
大阪府三島地域メディカルコントロール協議会	小畑 仁司 大阪府三島救命救急センター 所長	大阪府危機管理室（茨木土木事務所地域支援・企画課） 茨木市中穂積1丁目3-43 三島府民センタービル内 072-627-1121 072-622-3311	茨木市消防本部 高槻市消防本部 摂津市消防本部 島本町消防本部	大阪府三島救命救急センター 大阪医科大学附属病院【他】
大阪府北河内地域メディカルコントロール協議会	鍬方 安行 関西医科大学救急医学講座 教授	大阪府危機管理室（枚方土木事務所地域支援・企画課） 枚方市大垣内町2丁目15-1 北河内府民センタービル内 072-844-1331 072-843-4623	守口市門真市消防組合消防本部 枚方寝屋川消防組合消防本部 交野市消防本部 大東四條畷消防組合大東四條畷消防本部	関西医科大学附属病院 関西医科大学総合医療センター【他】
大阪府中河内地域メディカルコントロール協議会	塩野 茂 大阪府立中河内救命救急センター 所長	大阪府危機管理室（八尾土木事務所地域支援・企画課） 八尾市荘内町2丁目1-36 中河内府民センタービル内 072-994-1515 072-924-2466	東大阪市消防局 八尾市消防本部 柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部	大阪府立中河内救命救急センター 地方独立行政法人 市立東大阪医療センター
大阪府南河内地域メディカルコントロール協議会	北澤 康秀 近畿大学医学部附属病院 救命救急センター長	大阪府危機管理室（富田林土木事務所地域支援・企画課） 富田林市寿町2丁目6-1 南河内府民センタービル内 0721-25-1175 0721-25-6109	富田林市消防本部 河内長野市消防本部 松原市消防本部 大阪狭山市消防本部	近畿大学医学部附属病院 独立行政法人国立病院機構 大阪南医療センター 城山病院【他】
大阪府堺地域メディカルコントロール協議会	横田 順一朗 地方独立行政法人堺市立病院機構 副理事長	大阪府危機管理室（泉北土木事務所地域支援・企画課） 堺市西区鳳東町4丁目390-1 泉北府民センタービル内 072-273-0123 072-271-8494	堺市消防局	地方独立行政法人 堺市立病院機構 ペルランド総合病院【他】
大阪府泉州地域メディカルコントロール協議会	松岡 哲也 地方独立行政法人りんくう総合医療センター 大阪府泉州救命救急センター 副病院長兼救急診療部長	大阪府危機管理室（岸和田土木事務所地域支援・企画課） 岸和田市野田町3丁目13-2 泉南府民センタービル内 072-439-1350 072-436-3749	岸和田市消防本部 泉大津市消防本部 貝塚市消防本部 泉州南消防組合泉州南広域消防本部 和泉市消防本部 忠岡町消防本部	地方独立行政法人りんくう総合医療センター 大阪府泉州救命救急センター 市立岸和田市民病院 岸和田徳洲会病院【他】

大阪府



全国 救命救急センター設置状況 一覧表

(平成29年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	大阪急性期・総合医療センター
②	関西医科大学総合医療センター
③	大阪府済生会千里病院
④	独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター
⑤	近畿大学医学部附属病院
⑥	大阪府三島救命救急センター
⑦	大阪市立総合医療センター
⑧	地方独立行政法人りんくう総合医療センター
⑨	大阪府立中河内救命救急センター
⑩	大阪大学医学部附属病院
⑪	大阪赤十字病院
⑫	大阪警察病院
⑬	関西医科大学附属病院
⑭	大阪市立大学医学部附属病院
⑮	岸和田徳洲会病院
⑯	堺市立総合医療センター

凡 例

- 組合消防
- 単独常備
- 委託常備
- ◎ 本部所在地
- 救命救急センター
- ドクターヘリ基地施設 (救命救急センター)

兵庫県【兵庫県メディカルコントロール協議会】

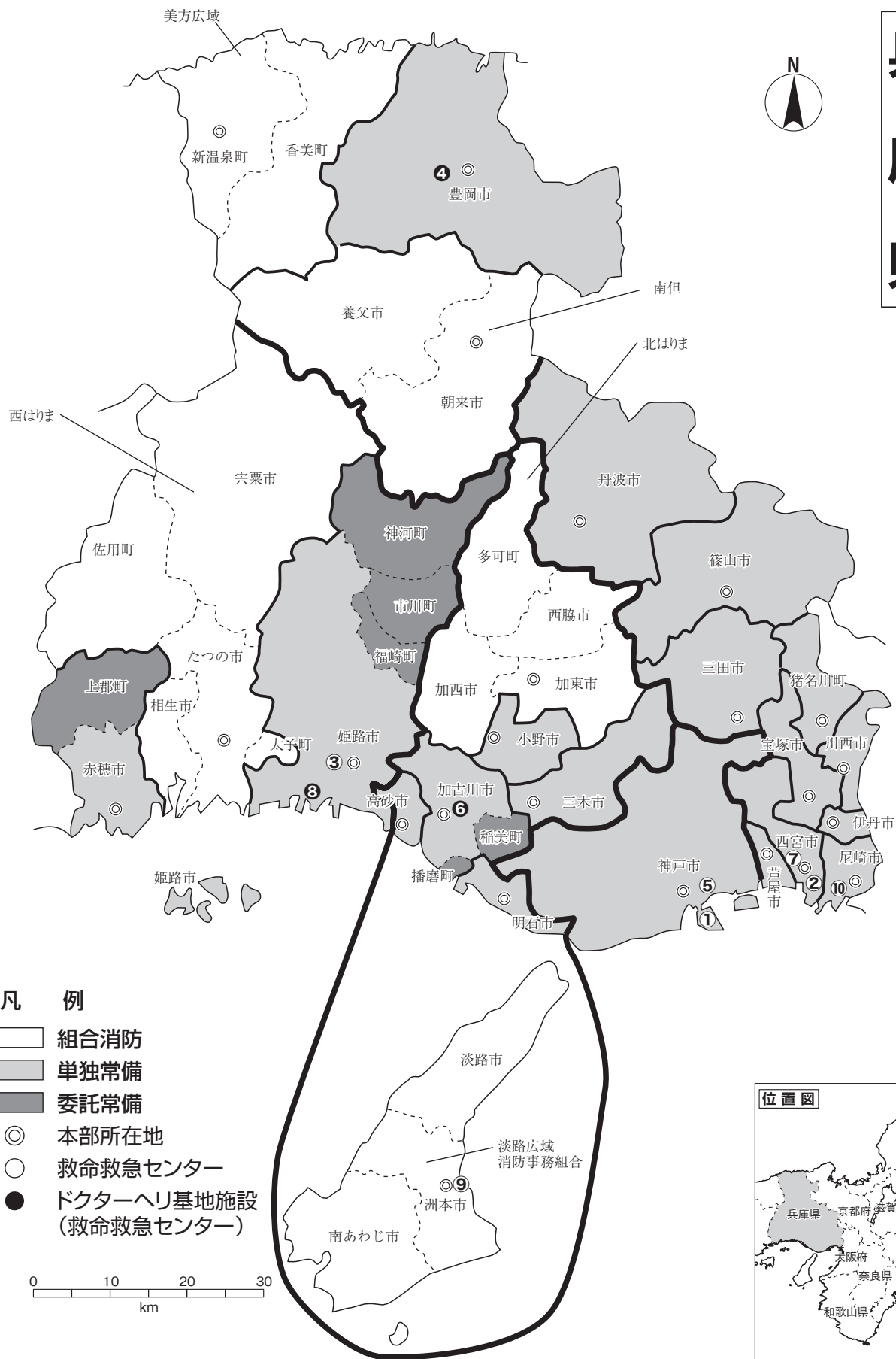
メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
兵庫県メディカルコントロール協議会	佐藤 慎一 日本医師会理事	兵庫県企画県民部災害対策局消防課 神戸市中央区下山手通5-10-1 078-362-9819 078-362-9915		
神戸市保健医療審議会 医療専門分科会 メディカルコントロール検討委員会	中山 伸一 兵庫県災害医療センター センター長	神戸市消防局警防部救急課 神戸市中央区加納町6-5-1 078-333-0119 078-333-3314	神戸市消防局	神戸市立医療センター中央市民病院 兵庫県災害医療センター 神戸大学医学部附属病院
阪神・丹波地域メディカルコントロール協議会	小谷 穰治 兵庫医科大学 救急・災害医学講座 特別招聘教授 救命救急センター長	西宮市消防局救急課 西宮市池田町13-3 0798-26-0119 0798-36-2460	西宮市消防局 尼崎市消防局 芦屋市消防本部 伊丹市消防局 宝塚市消防本部 川西市消防本部 三田市消防本部 猪名川町消防本部 篠山市消防本部 丹波市消防本部	兵庫医科大学病院 兵庫県立西宮病院 兵庫県立柏原病院 兵庫県立尼崎総合医療センター
東播磨・北播磨・淡路地域メディカルコントロール協議会	当麻 美樹 兵庫県立加古川医療センター 副院長兼救命救急センター長	明石市消防本部警防課 明石市藤江1丁目924-8 078-921-0119 078-918-5983	明石市消防本部 加古川市消防本部 高砂市消防本部 三木市消防本部 小野市消防本部 淡路広域消防事務組合消防本部 北はりま消防本部	兵庫県立加古川医療センター 兵庫県立淡路医療センター
中播磨・西播磨地域メディカルコントロール協議会	中村 雅彦 社会医療法人製鉄記念広畑病院 姫路救命救急センター長	姫路市消防局消防課 姫路市三左衛門堀西の町3 079-223-0003 079-222-8222	姫路市消防局 赤穂市消防本部 西はりま消防本部	兵庫県立姫路循環器病センター 社会医療法人製鉄記念広畑病院
但馬地域メディカルコントロール協議会	小林 誠人 公立豊岡病院 但馬救命救急センター長	豊岡市消防本部警防課 豊岡市昭和町4-33 0796-24-1119 0796-24-1176	豊岡市消防本部 美方広域消防本部 南但消防本部	公立豊岡病院(但馬救命救急センター)

全国 救命救急センター設置状況 一覧表 (平成29年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	神戸市立医療センター中央市民病院
②	兵庫医科大学病院
③	兵庫県立姫路循環器病センター
④	公立豊岡病院
⑤	兵庫県災害医療センター
⑥※	兵庫県立加古川医療センター
⑦	兵庫県立西宮病院
⑧※	製鉄記念広畑病院
⑨	兵庫県立淡路医療センター
⑩	兵庫県立尼崎総合医療センター

※2施設でドクターヘリ1機

兵庫県



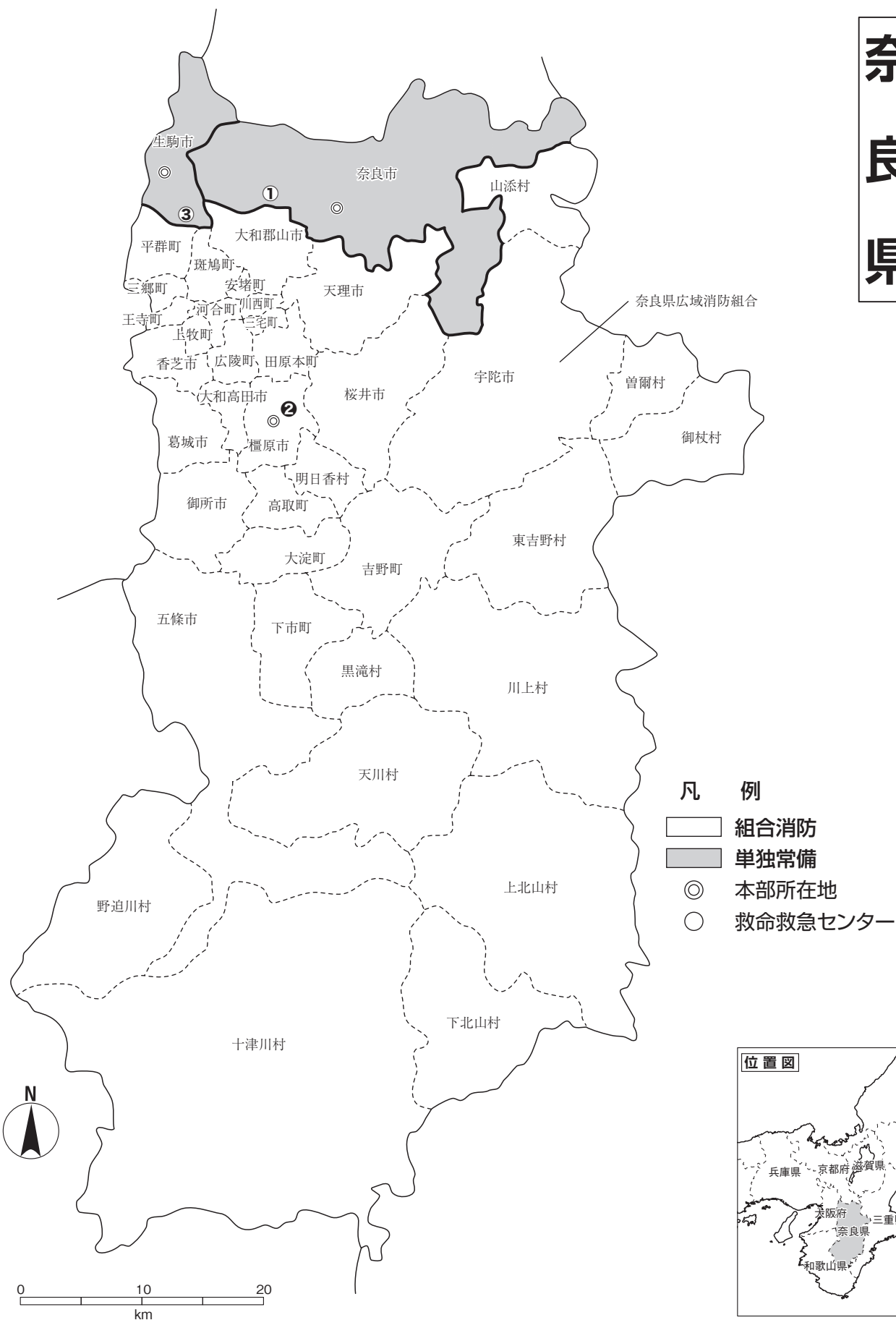
奈良県 【奈良県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
奈良県メディカルコントロール協議会	奥地 一夫 奈良県立医科大学附属病院 高度救命救急センター長(救急医学教授)	奈良県総務部知事公室消防救急課 奈良市登大路町30 0742-27-8423 0742-27-0090	奈良市消防局 生駒市消防本部 奈良県広域消防組合消防本部	奈良県総合医療センター 近畿大学医学部奈良病院 奈良県立医科大学附属病院

全国 救命救急センター設置状況 一覧表 (平成29年8月1日現在)

救命救急センター	施 設 名
①	奈良県総合医療センター
②	奈良県立医科大学附属病院
③	近畿大学医学部奈良病院

奈良県



和歌山県

【和歌山県救急救命協議会】

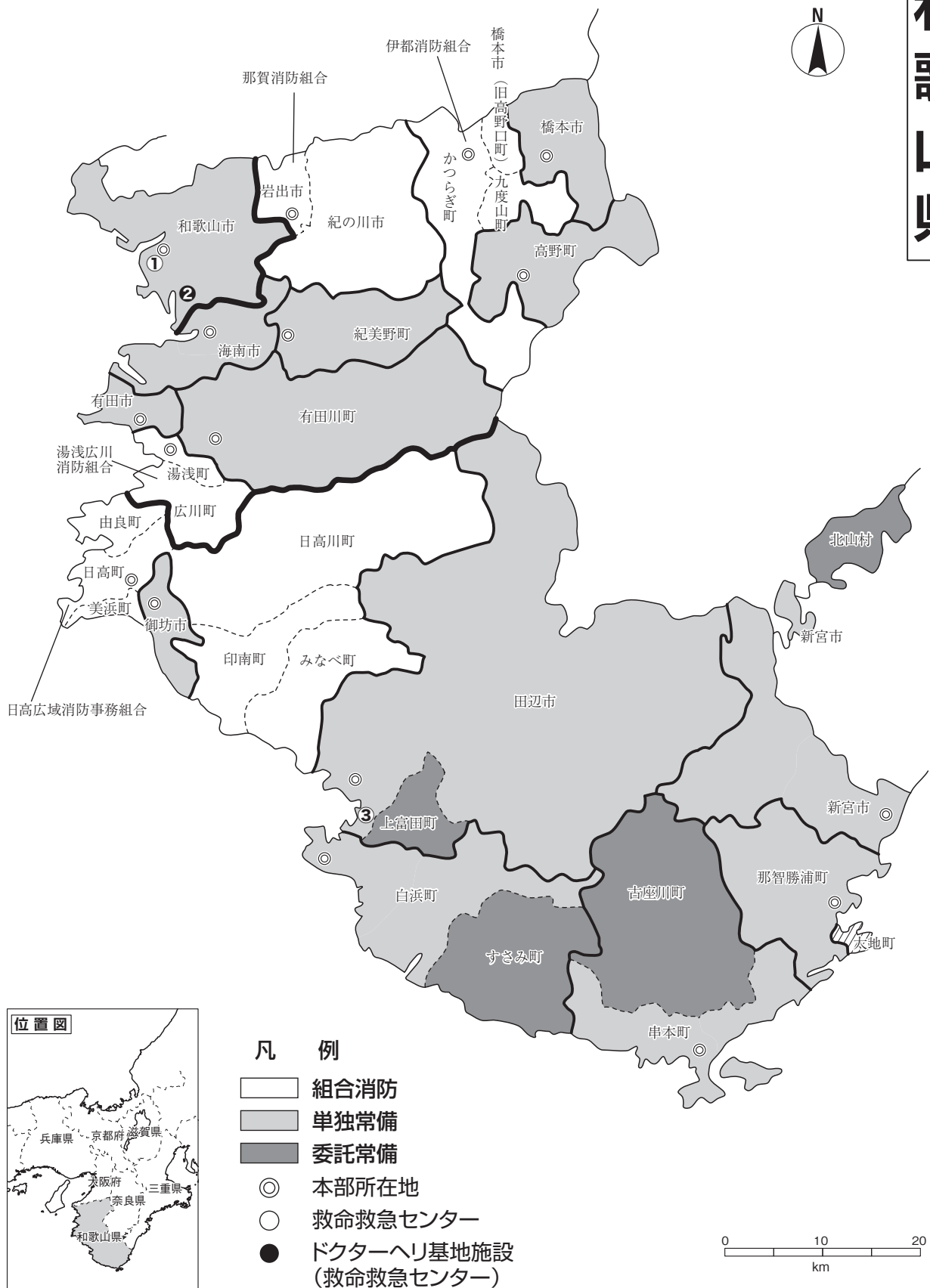
メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
和歌山県救急救命協議会	加藤 正哉 和歌山県立医科大学 救急集中医学講座教授	和歌山県総務部危機管理局危機管理・消防課 和歌山市小松原通1-1 073-423-2274 073-423-7652		
和歌山市地域 メディカルコン トロール協議 会	岩崎 安博 日本赤十字社和歌山医療センター 外傷救急(第四救急科)部長、 高度救命救急センター副センター長	和歌山市消防局警防課 和歌山市八番丁12番地 073-428-0119 073-428-0119	和歌山市消防局	日本赤十字社和歌山医療センター 和歌山県立医科大学附属病院 独立行政法人国立病院機構南和歌山医療センター
紀北地域メ ディカルコン トロール協議会	加藤 正哉 和歌山県立医科大学 救急集中医学講座教授	海南市消防本部警防課 海南市日方1294番地13 073-482-0119 073-482-0088	海南市消防本部 橋本市消防本部 有田市消防本部 紀美野町消防本部 高野町消防本部 有田川町消防本部 那賀消防組合消防本部 伊都消防組合消防本部 湯浅広川消防組合消防本部	日本赤十字社和歌山医療センター 和歌山県立医科大学附属病院 独立行政法人国立病院機構南和歌山医療センター
紀南地域メ ディカルコン トロール協議会	川崎 貞男 独立行政法人国立病院機構 南和歌山医療センター 救急救命科医長	田辺市消防本部警防課 田辺市新屋敷町1番地 0739-22-0119 0739-22-3402	御坊市消防本部 田辺市消防本部 新宮市消防本部 日高広域消防事務組合消防本部 白浜町消防本部 那智勝浦町消防本部 串本町消防本部	日本赤十字社和歌山医療センター 和歌山県立医科大学附属病院 独立行政法人国立病院機構南和歌山医療センター

全国 救命救急センター設置状況 一覧表

(平成29年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	日本赤十字社和歌山医療センター
②	和歌山県立医科大学附属病院
③	独立行政法人国立病院機構 南和歌山医療センター

和歌山県



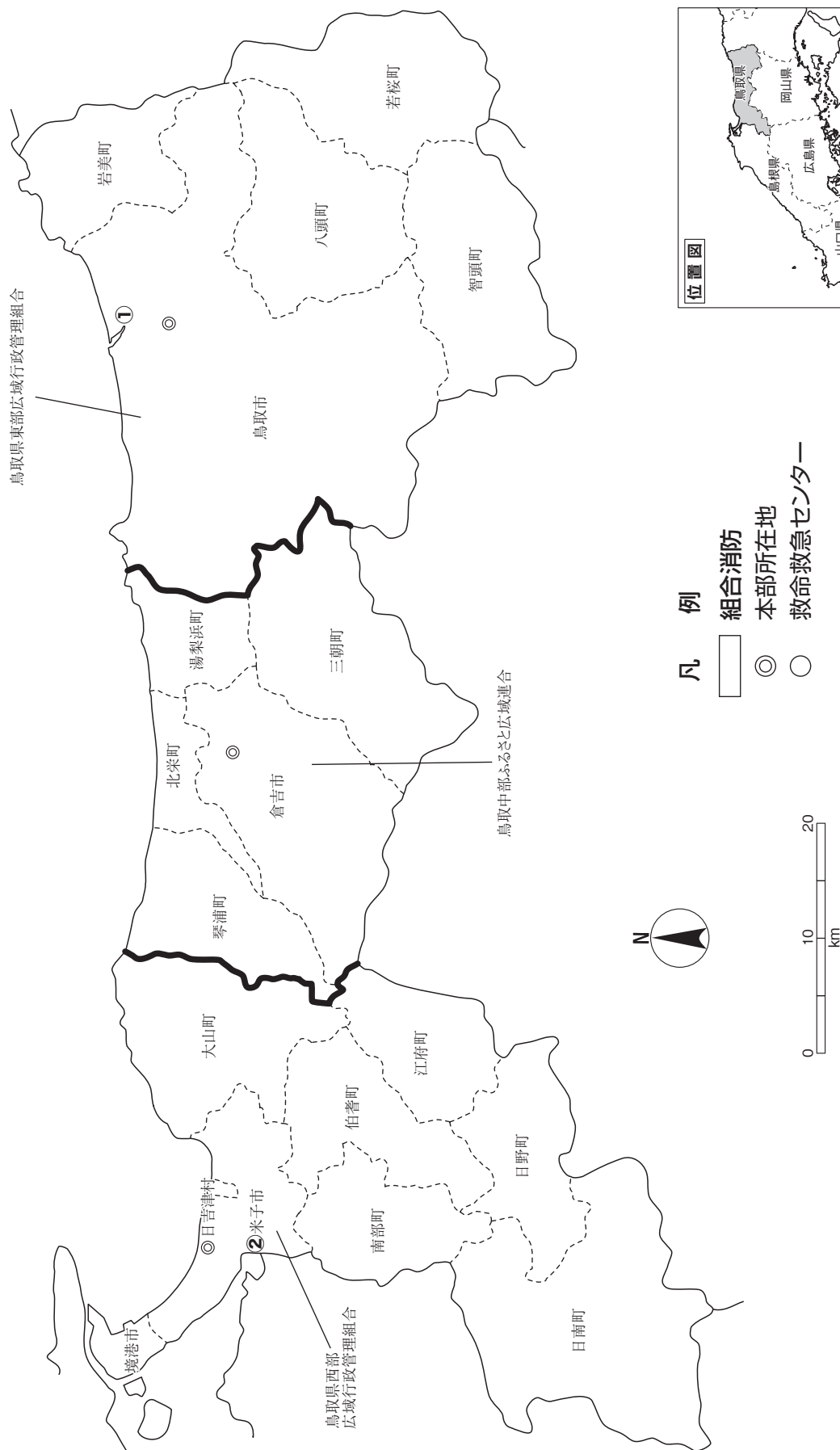
鳥取県 【鳥取県救急搬送高度化推進協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
鳥取県救急搬送高度化推進協議会	岡田 稔 鳥取県立中央病院 救命救急センター長	鳥取県危機管理局消防防災課 鳥取市東町一丁目271 0857-26-7065 0857-26-8139		
鳥取県東部 地区メディカル コントロール 協議会	吉田 泰之 鳥取県立中央病院 副院長	鳥取県東部広域行政管理組合消防局 鳥取市吉成640-1 0857-23-2303 0857-54-1221	鳥取県東部広域行政管理組合消防局	鳥取県立中央病院 鳥取市立病院 鳥取赤十字病院 鳥取生協病院
鳥取県中部 地区メディカル コントロール 協議会	山本 敏雄 野島病院 院長	鳥取中部ふるさと広域連合消防局 倉吉市福守町415-2 0858-29-5122 0858-29-7750	鳥取中部ふるさと広域連合消防局	鳥取県立厚生病院 野島病院
鳥取県西部 地区メディカル コントロール 協議会	本間 正人 鳥取大学医学部附属病院 救命救急センター長	鳥取県西部広域行政管理組合消防局 米子市両三柳5452 0859-35-1958 0859-35-1961	鳥取県西部広域行政管理組合消防局	鳥取大学医学部附属病院 山陰労災病院 博愛病院

全国 救命救急センター設置状況 一覧表 (平成29年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	鳥取県立中央病院
②	鳥取大学医学部附属病院

鳥 取 県



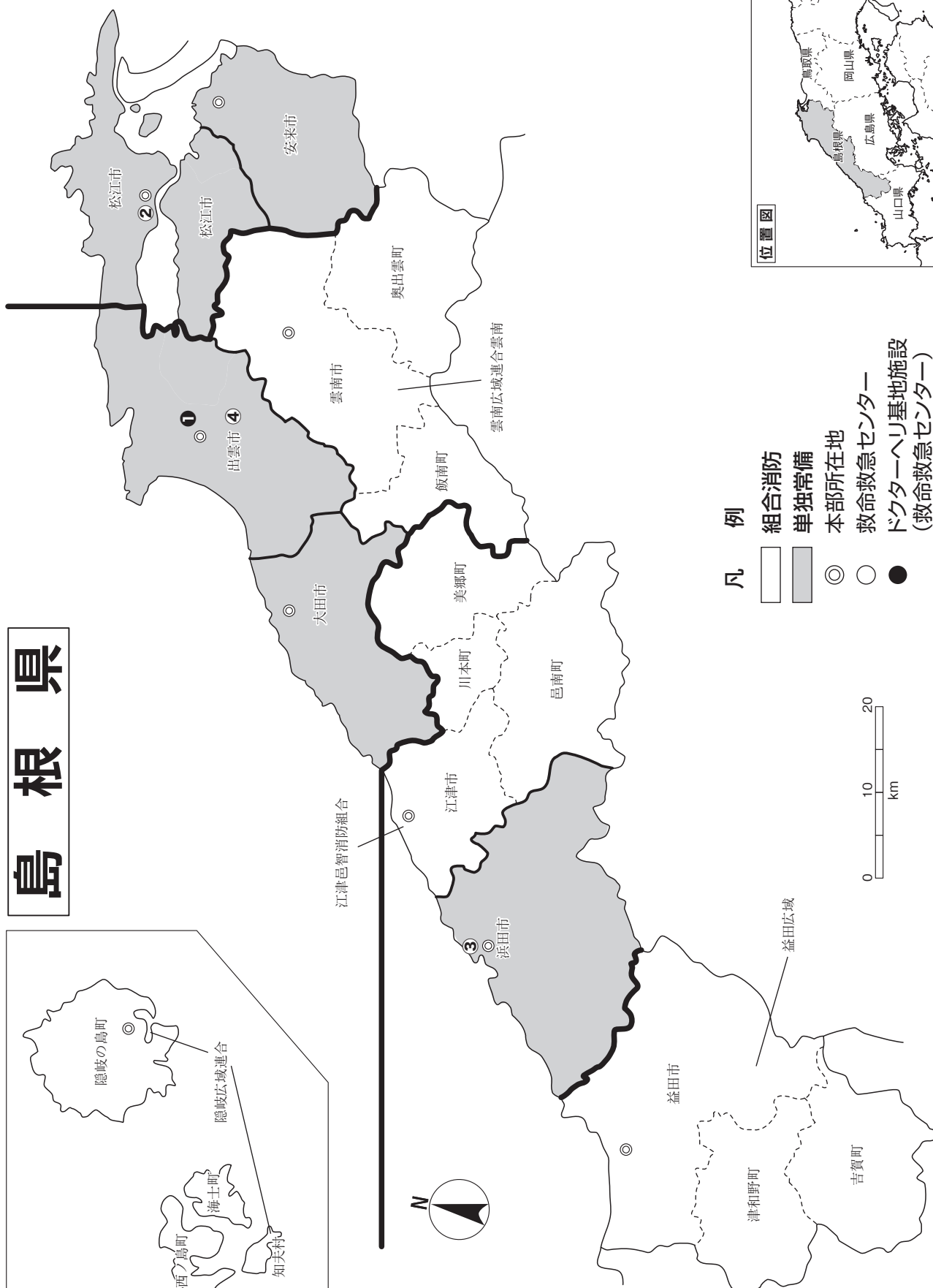
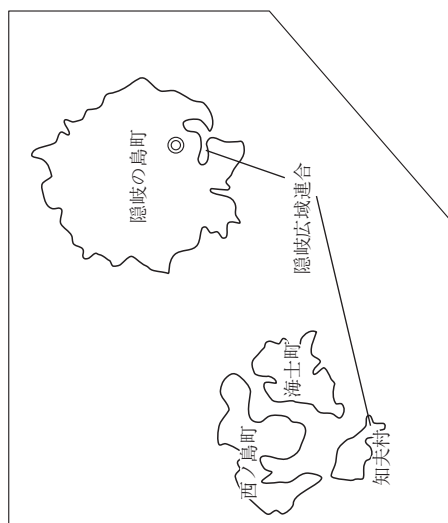
島根県 【島根県救急業務高度化推進協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
島根県救急業務高度化推進協議会	岸川 慎一 島根県 防災部長	防災部消防総務課 島根県松江市殿町1番地 0852-22-5884 0852-22-5930		
松江・安来地区メディカルコントロール協議会	菅井 公治 松江市消防本部 消防長	松江市消防本部警防課 島根県松江市学園南一丁目17番3号 0852-32-9132 0852-22-9876	松江市消防本部 安来市消防本部	松江赤十字病院 松江市立病院 松江生協病院 安来市立病院
出雲地区救急業務連絡協議会	松原 康博 島根県立中央病院 医療局次長	出雲市消防本部警防課 島根県出雲市渡橋町253-1 0853-21-6999 0853-21-8241	出雲市消防本部 大田市消防本部 雲南消防本部 隠岐広域連合消防本部	島根大学医学部附属病院 島根県立中央病院 出雲市立総合医療センター 出雲徳洲会病院 大田市立病院 奥出雲町立奥出雲病院 雲南市立病院 平成記念病院 飯南町立飯南病院 隠岐広域連立隠岐病院 隠岐広域連立隠岐島前病院
浜田・江津地区救急業務連絡協議会	佐々木 和文 浜田市消防本部 消防長	浜田市消防本部警防課 島根県浜田市原井町908-11 0855-25-5167 0855-23-1228	浜田市消防本部 江津邑智消防組合消防本部	国立病院機構浜田医療センター 済生会江津総合病院 公立邑智病院 西川病院
益田地区救急業務連絡協議会	村上 雅春 益田広域消防本部 消防長	益田広域消防本部警防課 島根県益田市あけぼの東町8番地6 0856-31-0240 0856-24-2217	益田広域消防本部	益田赤十字病院 益田地域医療センター医師会病院 六日市病院 津和野共存病院

全国 救命救急センター設置状況 一覧表 (平成29年8月1日現在)

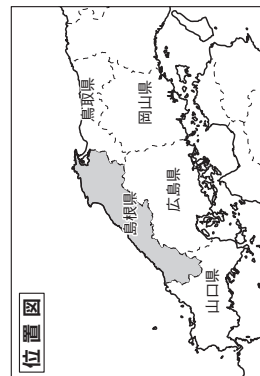
救命救急センター	施設名
①	島根県立中央病院
②	松江赤十字病院
③	独立行政法人国立病院機構 浜田医療センター
④	島根大学医学部附属病院

島根県



- 凡 例
- 組合消防
 - 単独常備
 - 本部所在地
 - 救命救急センター
 - ドクターヘリ基地施設 (救命救急センター)

0 10 20 km



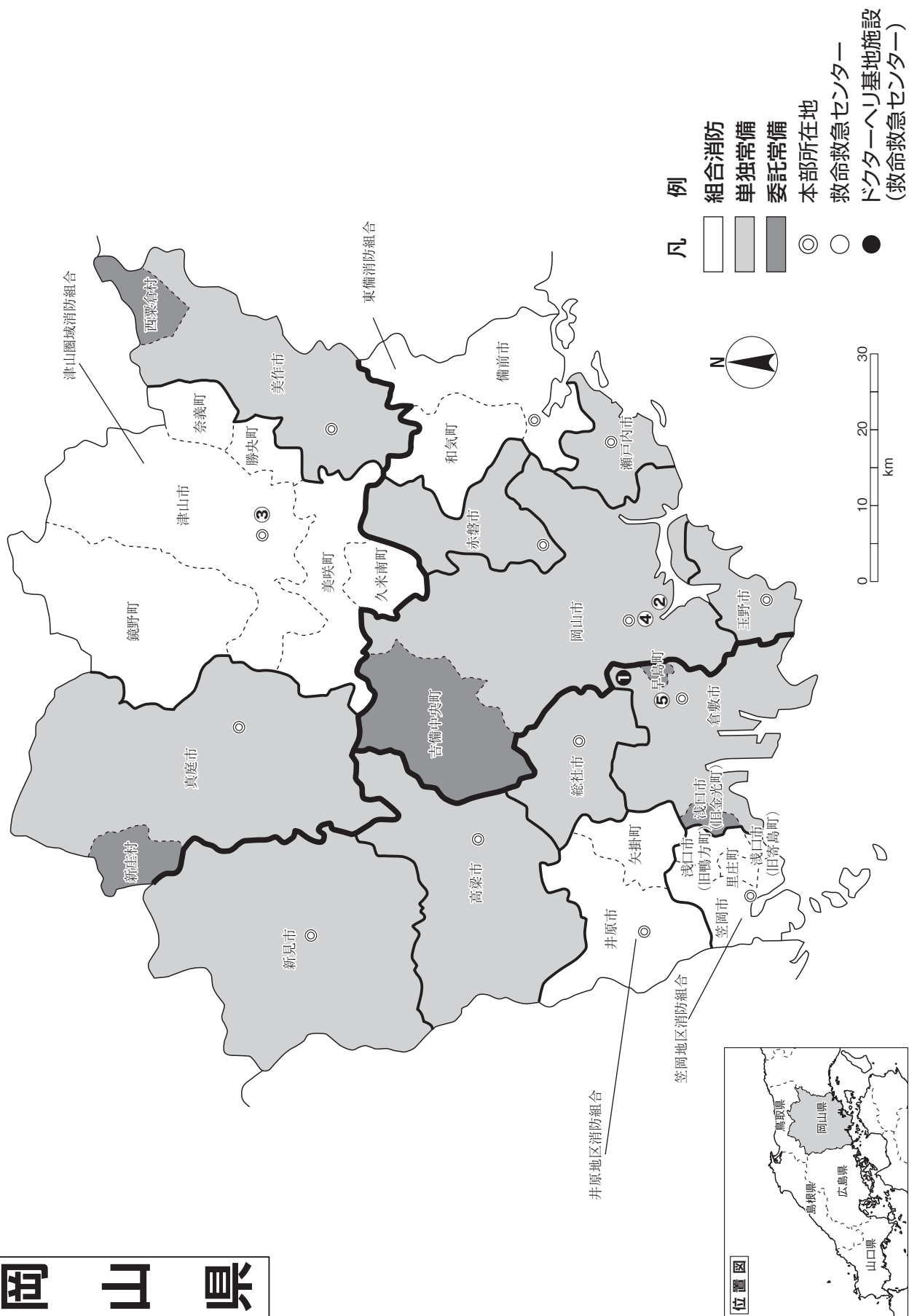
岡山県 【岡山県救急搬送体制連絡協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
岡山県救急搬送体制連絡協議会	松山 正春 岡山県医師会 副会長	岡山県消防保安課 岡山市北区内山下2-4-6 086-226-7295 086-225-4659		
岡山県南東部 メディカルコントロール協議会	實金 健 岡山赤十字病院 救命救急センター長	岡山市消防局 岡山市北区大供1-1-1 086-234-9977 086-234-1059	岡山市消防局 玉野市消防本部 東備消防組合消防本部 赤磐市消防本部 瀬戸内市消防本部	岡山赤十字病院 岡山大学病院
備中地区メ ディカルコントロール協議会	荻野 隆光 川崎医科大学附属病院 救急科高度救命救急センター部長	倉敷市消防局 倉敷市白楽町162-5 086-426-1192 086-421-1244	倉敷市消防局 笠岡地区消防組合消防本部 井原地区消防組合消防本部 総社市消防本部 高梁市消防本部 新見市消防本部	川崎医科大学附属病院 倉敷中央病院
美作地域メ ディカルコントロール協議会	薄元 亮二 津山市医師会 医師会長	津山圏域消防組合消防本部 津山市林田95 0868-31-1265 0868-25-2818	津山圏域消防組合消防本部 真庭市消防本部 美作市消防本部	津山中央病院

全国 救命救急センター設置状況 一覧表 (平成29年8月1日現在)

救命救急センター	施 設 名
①	川崎医科大学附属病院
②	岡山赤十字病院
③	津山中央病院
④	岡山大学病院
⑤	倉敷中央病院

岡山県



広島県 【広島県メディカルコントロール協議会】

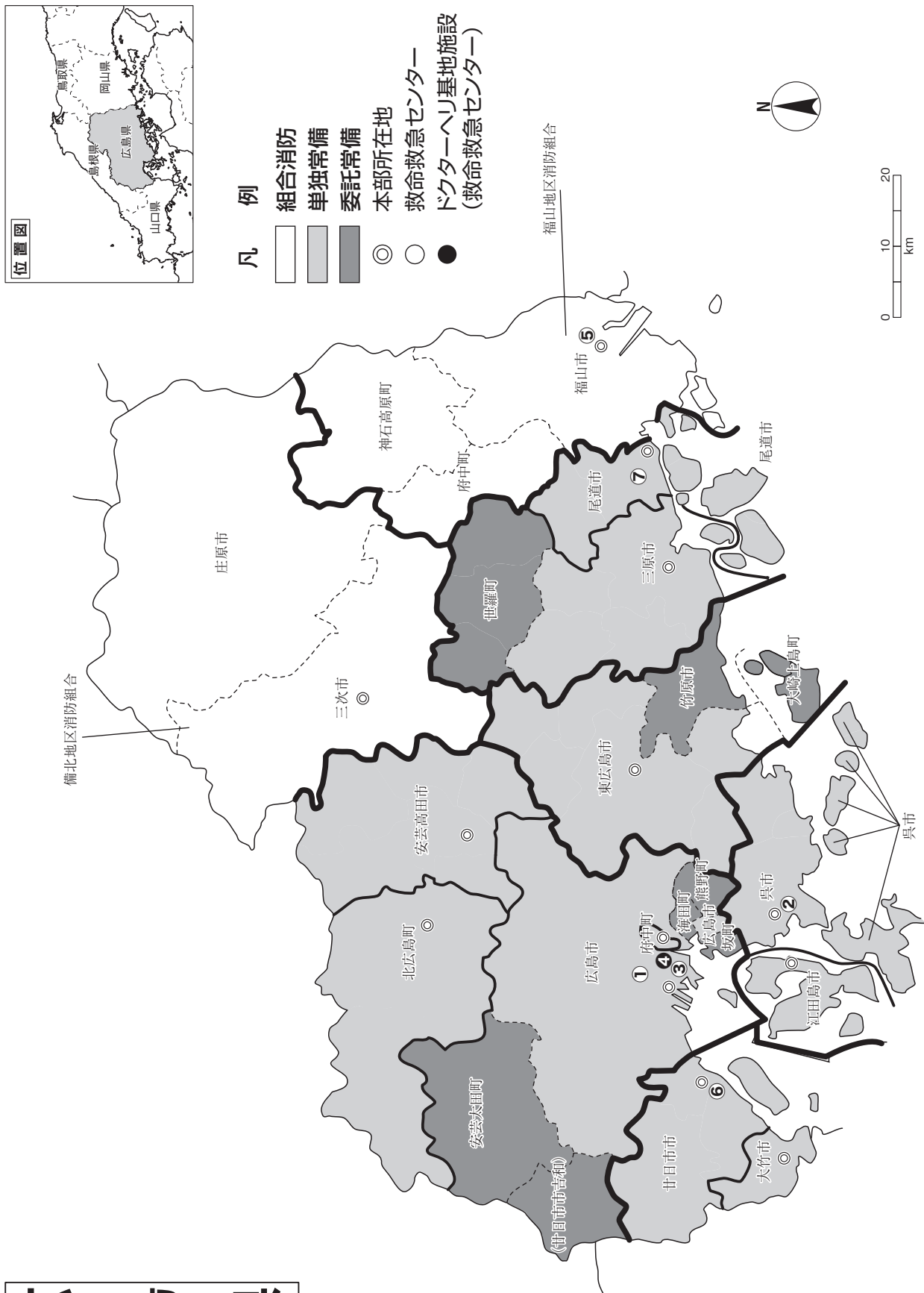
メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
広島県メディカルコントロール協議会	山野上 敬夫 県立広島病院 救命救急センター長(兼)救急科主任部長	広島県危機管理監消防保安課 広島県健康福祉局医療介護計画課 広島市中区基町10-52 082-513-2778 082-227-2122		
広島西圏域メディカルコントロール協議会	山根 基 佐伯地区医師会 会長	廿日市市消防本部警防課 廿日市市串戸1-9-33 0829-30-9233 0829-32-4119	廿日市市消防本部 大竹市消防本部	厚生連広島総合病院 国立病院機構広島西医療センター
広島圏域メディカルコントロール協議会	内藤 博司 広島市立広島市民病院 救急科主任部長(兼)麻酔科部長	広島市消防局警防部救急課 広島市中区大手町5-20-12 082-546-3461 082-249-1160	広島市消防局 安芸高田市消防本部 府中町消防本部 北広島町消防本部	広島市立広島市民病院 県立広島病院 広島大学病院 広島赤十字・原爆病院 広島市立安佐市民病院 厚生連吉田総合病院 安芸太田病院 マツダ病院 JR広島病院
呉圏域メディカルコントロール協議会	原 豊 呉市医師会 会長	呉市消防局警防課 呉市中央3-1-34 0823-26-0313 0823-26-0309	呉市消防局 江田島市消防本部	国立病院機構呉医療センター 呉共済病院 中国労災病院
広島中央圏域メディカルコントロール協議会	高梨 敦 医療法人社団 樹翠会 本永病院 院長	東広島市消防局警防課 東広島市西条町助美1173番地1 082-422-5648 082-422-7248	東広島市消防局	国立病院機構東広島医療センター 県立安芸津病院
尾三圏域メディカルコントロール協議会	瀬尾 泰樹 世羅郡医師会 会長	三原市消防本部警防課 三原市宮浦一丁目22-2 0848-64-5924 0848-62-5119	三原市消防本部 尾道市消防局	尾道市立市民病院 厚生連尾道総合病院 興生総合病院 総合病院三原赤十字病院
福山・府中圏域メディカルコントロール協議会	高橋 一則 深安地区医師会 救急担当理事	福山地区消防組合消防局警防部救急救助課 福山市沖野上町5-13-8 084-928-1196 084-928-1220	福山地区消防組合消防局	福山市民病院 日本鋼管福山病院 国立病院機構福山医療センター 中国中央病院 大田記念病院 福山循環器病院 寺岡記念病院 府中市民病院 府中市市民病院
備北圏域メディカルコントロール協議会	鳴戸謙嗣 三次地区医師会 会長	備北地区消防組合消防本部警防課 三次市十日市中3-1-21 0824-63-1191 0824-63-3129	備北地区消防組合消防本部	市立三次中央病院 総合病院庄原赤十字病院

全国 救命救急センター設置状況 一覧表

(平成29年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	広島市立広島市民病院
②	独立行政法人国立病院機構 呉医療センター
③	県立広島病院
④	広島大学病院
⑤	福山市民病院
⑥	広島県厚生農業協同組合連合会 広島総合病院
⑦	広島県厚生農業協同組合連合会 尾道総合病院

玄 皇 尊



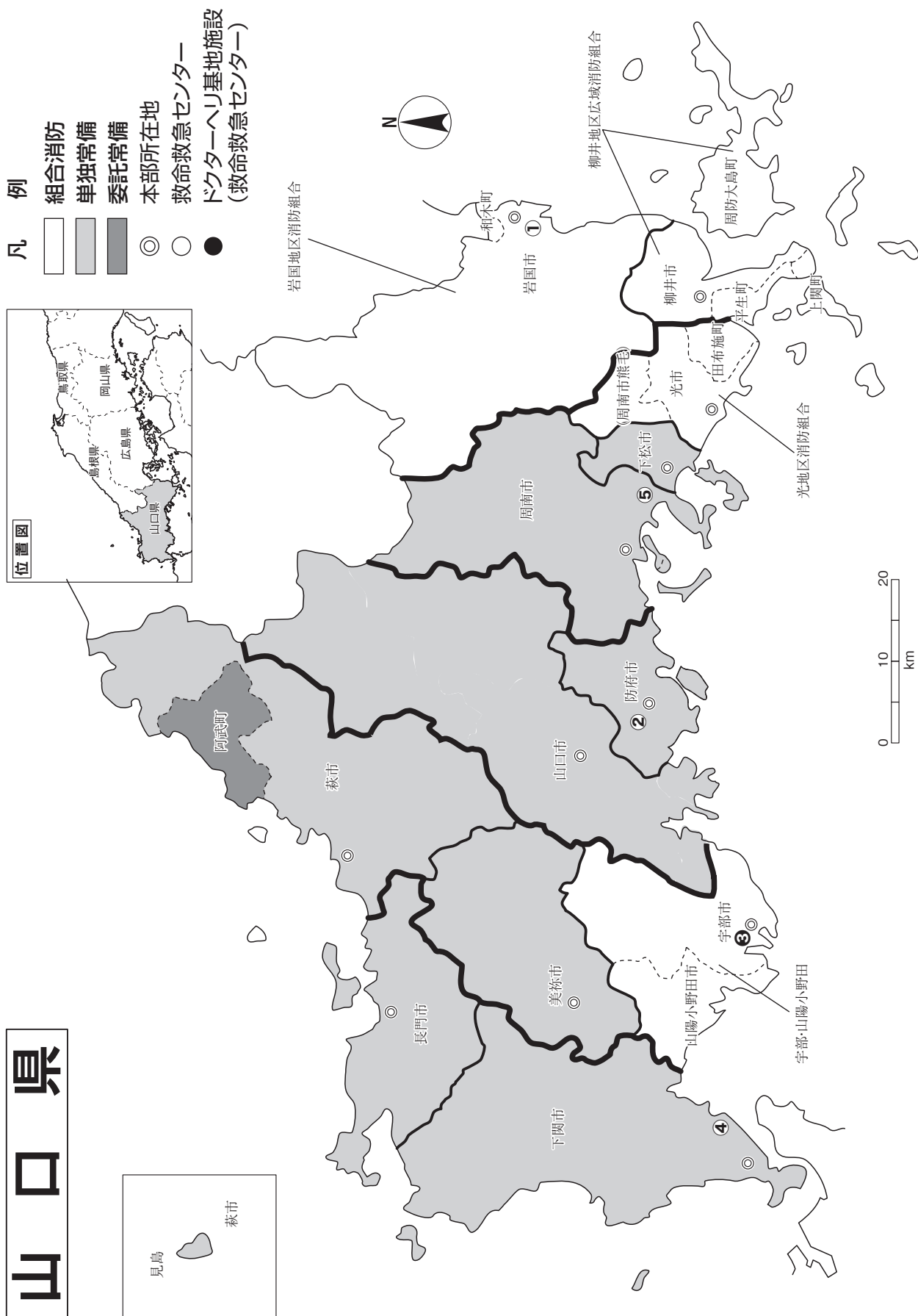
山口県 【山口県救急業務高度化推進協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
山口県救急業務高度化推進協議会	前川 剛志 山口県立総合医療センター 院長	山口県総務部消防保安課 山口市滝町1-1 083-933-2399 083-933-2408		
東部地域メディカルコントロール協議会	青 雅一 国立病院機構岩国医療センター 副院長	岩国地区消防組合消防本部警防課 岩国市愛宕町1-4-1 0827-31-0199 0827-32-2119	岩国地区消防組合消防本部 柳井地区広域消防本部	国立病院機構岩国医療センター
周南地域メディカルコントロール協議会	山下 進 地域医療機能推進機構徳山中央病院 救命救急センター長	周南市消防本部警防課 周南市新宿通5-1-3 0834-22-8762 0834-31-8533	周南市消防本部 下松市消防本部 光地区消防組合消防本部	地域医療機能推進機構徳山中央病院
山口・防府地域メディカルコントロール協議会	井上 健 山口県立総合医療センター 救命救急センター長	防府市消防本部警防課 防府市佐波2-11-25 0835-23-9918 0835-23-2002	防府市消防本部 山口市消防本部	山口県立総合医療センター
宇部・山陽小野田・美祢・萩地域メディカルコントロール協議会	小田 泰崇 山口大学医学部附属病院 准教授	宇部・山陽小野田消防局警防課 宇部市港町2-3-30 0836-21-6113 0836-31-0119	宇部・山陽小野田消防局 美祢市消防本部 萩市消防本部	山口大学医学部附属病院
下関・長門地域メディカルコントロール協議会	佐藤 穰 国立病院機構関門医療センター 副院長	下関市消防局警防課 下関市岬之町17-1 083-233-9112 083-224-0119	下関市消防局 長門市消防本部	国立病院機構関門医療センター

全国 救命救急センター設置状況 一覧表 (平成29年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	独立行政法人国立病院機構 岩国医療センター
②	地方独立行政法人山口県立病院機構 山口県立総合医療センター
③	山口大学医学部附属病院
④	独立行政法人国立病院機構 関門医療センター
⑤	徳山中央病院

山口県



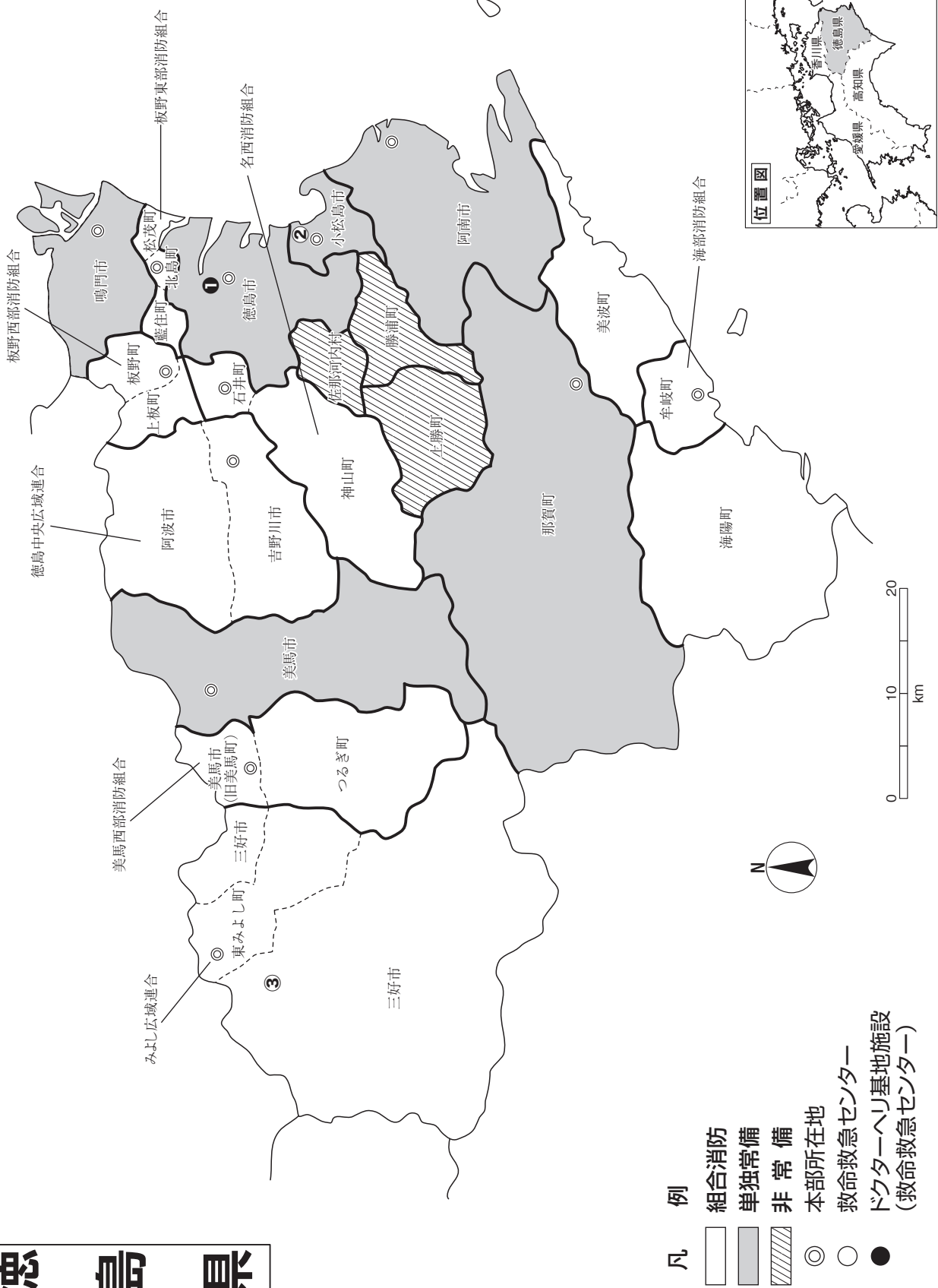
徳島県 【徳島県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
徳島県メディカルコントロール協議会	神山 有史 亀井病院 院長	徳島県危機管理部消防保安課 徳島市万代町1丁目1番地 088-621-2286 088-621-2849	徳島市消防局 鳴門市消防本部 小松島市消防本部 阿南市消防本部 美馬市消防本部 那賀町消防本部 名西消防組合消防本部 海部消防組合消防本部 板野東部消防組合消防本部 板野西部消防組合消防本部 徳島中央広域連合消防本部 美馬西部消防組合消防本部 みよし広域連合消防本部	徳島赤十字病院 徳島県立中央病院 徳島大学病院

全国 救命救急センター設置状況 一覧表 (平成29年8月1日現在)

救命救急センター	施 設 名
①	徳島県立中央病院
②	徳島赤十字病院
③	徳島県立三好病院

德 島 県



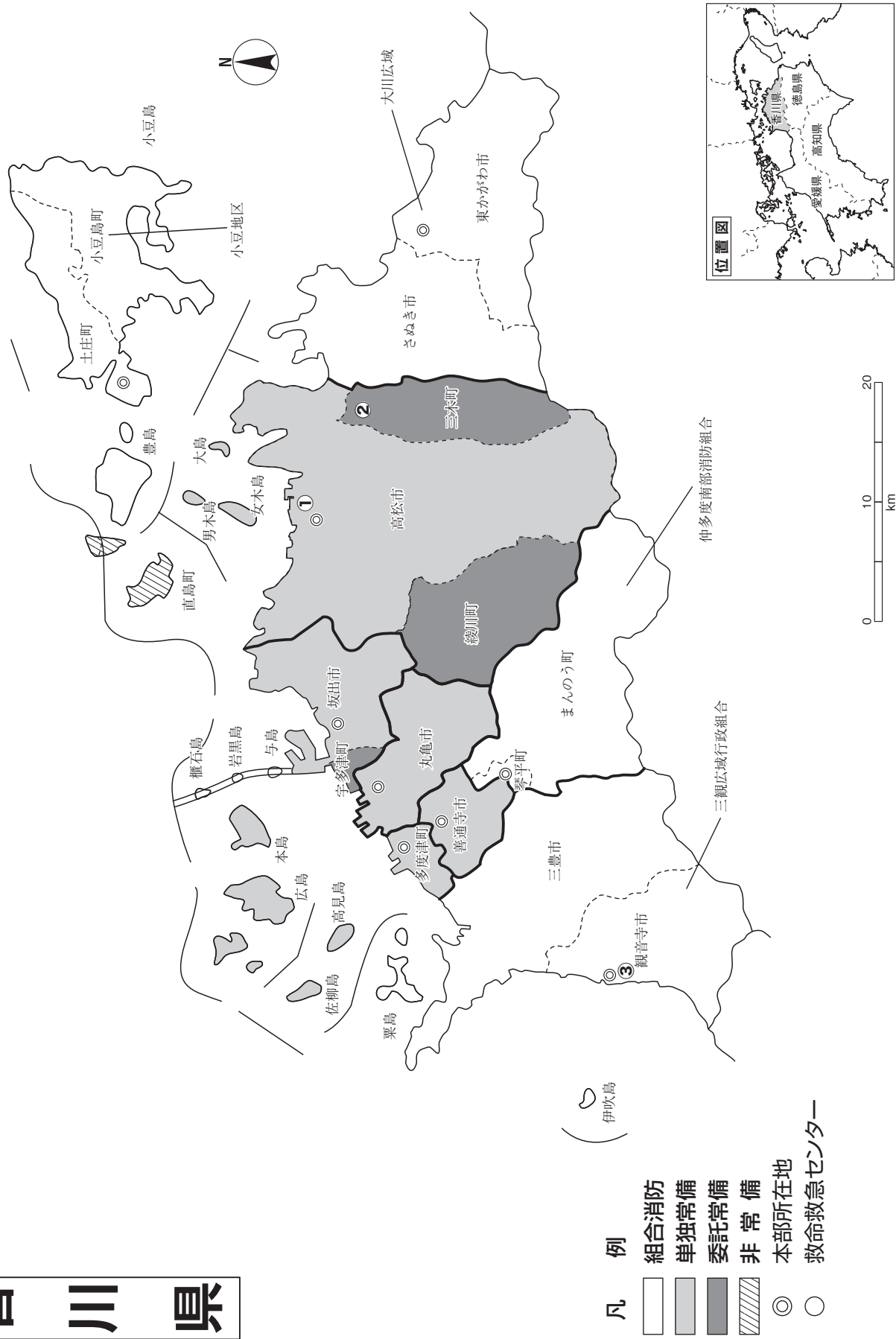
香川県【香川県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
香川県メディカルコントロール協議会	林 正作 香川県医師会副会長	危機管理総局危機管理課 健康福祉部医務国保課 香川県高松市番町四丁目1番10号 087-832-3200 087-832-3256 087-831-8811 087-831-0121	高松市消防局 丸亀市消防本部 坂出市消防本部 善通寺市消防本部 多度津町消防本部 三観広域行政組合消防本部 大川広域消防本部 小豆地区消防本部 仲多度南部消防組合消防本部	香川大学医学部附属病院 香川県立中央病院 高松市民病院 高松赤十字病院 香川県済生会病院 地域医療機能推進機構りつりん病院 屋島総合病院 KKR高松病院 高松平和病院 滝宮総合病院 香川労災病院 坂出市立病院 総合病院回生病院 四国こどもととなの医療センター 三豊総合病院 三豊市立永康病院 香川県立白鳥病院 さぬき市民病院 小豆島中央病院

全国 救命救急センター設置状況 一覧表 (平成29年8月1日現在)

救命救急センター	施 設 名
①	香川県立中央病院
②	香川大学医学部附属病院
③	三豊総合病院

香川県



愛媛県 【愛媛県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
愛媛県メディカルコントロール協議会	相引 眞幸 愛媛大学大学院医学系研究科 教授	愛媛県消防防災安全課 愛媛県松山市一番町4丁目4番地2 089-912-2316 089-941-0119		
東予地域メ ディカルコント ロール協議会	武田 哲二 東予救命救急センター センター長	四国中央市消防本部安全・危機管理課 愛媛県四国中央市中曽根町500番地 0896-28-6933 0896-23-6614	今治市消防本部 上島町消防本部 西条市消防本部 新居浜市消防本部 四国中央市消防本部	四国中央病院 長谷川病院 HITO病院 愛媛労災病院 愛媛県立新居浜病院 十全総合病院 住友別子病院 済生会西条病院 村上記念病院 西条中央病院 市立周桑病院 済生会今治病院 白石病院 木原病院 今治第一病院 愛媛県立今治病院
中予地域メ ディカルコント ロール協議会	濱見 原 愛媛県立中央病院高度救命救急センター センター長	松山市消防局警防課 松山市本町6丁目6-1 089-926-9227 089-926-9188	松山市消防局 東温市消防本部 久万高原町消防本部 伊予消防等事務組合消防本部	愛媛大学医学部付属病院 国立病院機構愛媛医療センター 松山城東病院 渡辺病院 愛媛県立中央病院 済生会松山病院 松山笠置記念心臓血管病院 松山市民病院 野本記念病院 平成脳神経外科病院 浦屋病院 松山赤十字病院 奥島病院 愛媛生協病院 南松山病院 梶浦病院
南予地域メ ディカルコント ロール協議会	根津 賢司 南予救命救急センター センター長	宇和島地区広域事務組合消防本部警防課 宇和島市丸之内5丁目1番18号 0895-20-0119 0895-24-7662	大洲地区広域消防事務組合消防本部 八幡浜地区施設事務組合消防本部 西予市消防本部 宇和島地区広域事務組合消防本部 愛南町消防本部	市立大洲病院 加戸病院 神南診療所 大洲中央病院 市立八幡浜総合病院 西予市立西予市民病院 西予市立野村病院 市立宇和島病院 愛媛県立南宇和病院 JCHO宇和島病院 宇和島徳洲会病院 市立津島病院 市立吉田病院 大洲記念病院 喜多医師会病院

全国 救命救急センター設置状況 一覧表 (平成29年8月1日現在)

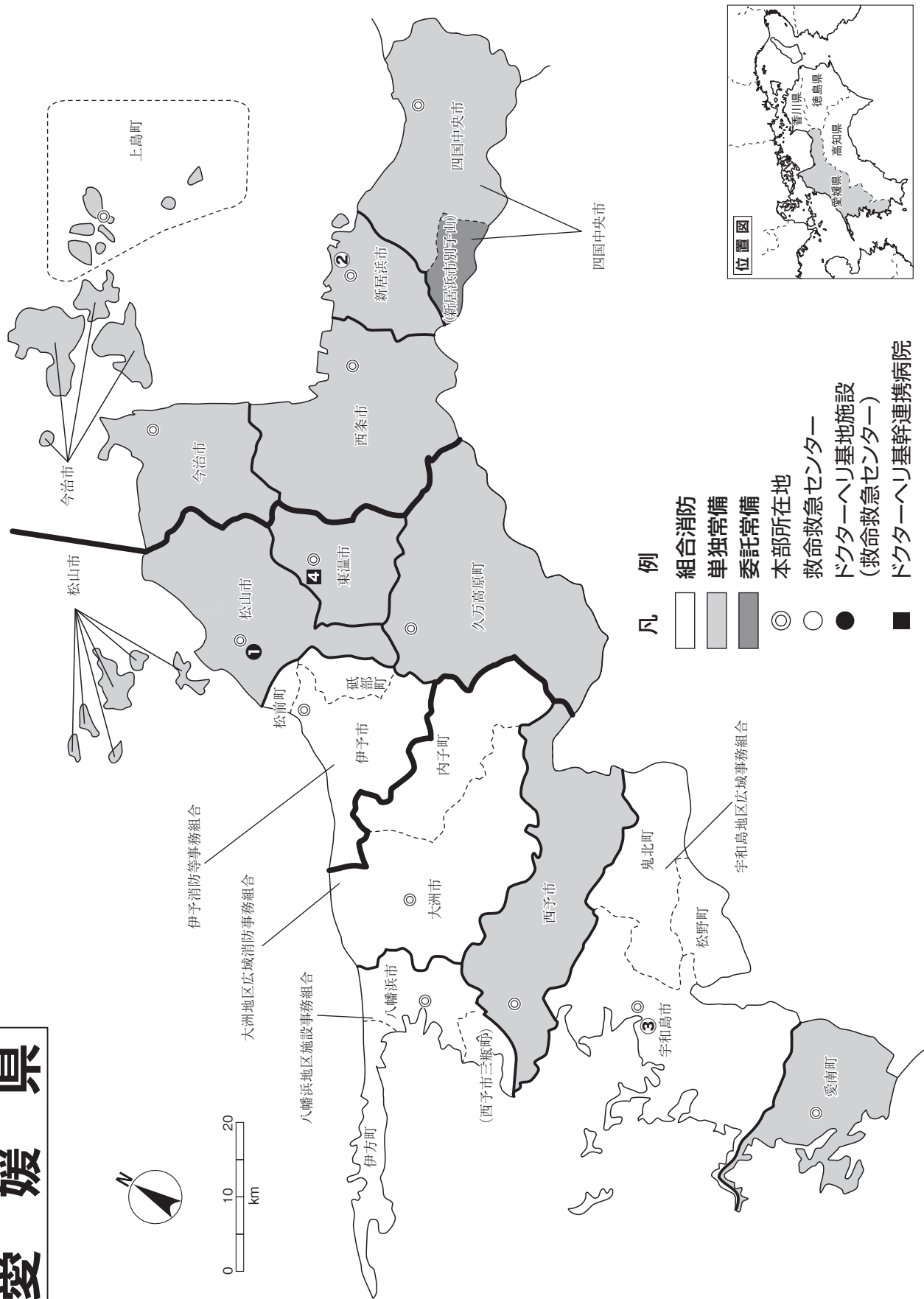
救命救急センター	施 設 名
①※	愛媛県立中央病院
②	愛媛県立新居浜病院
③	市立宇和島病院

ドクターヘリ基幹連携病院 (平成29年8月1日現在)

ドクターヘリ 基幹連携病院	施 設 名
④※	愛媛大学医学部附属病院

※2施設でドクターヘリ1機

鳳媛殿



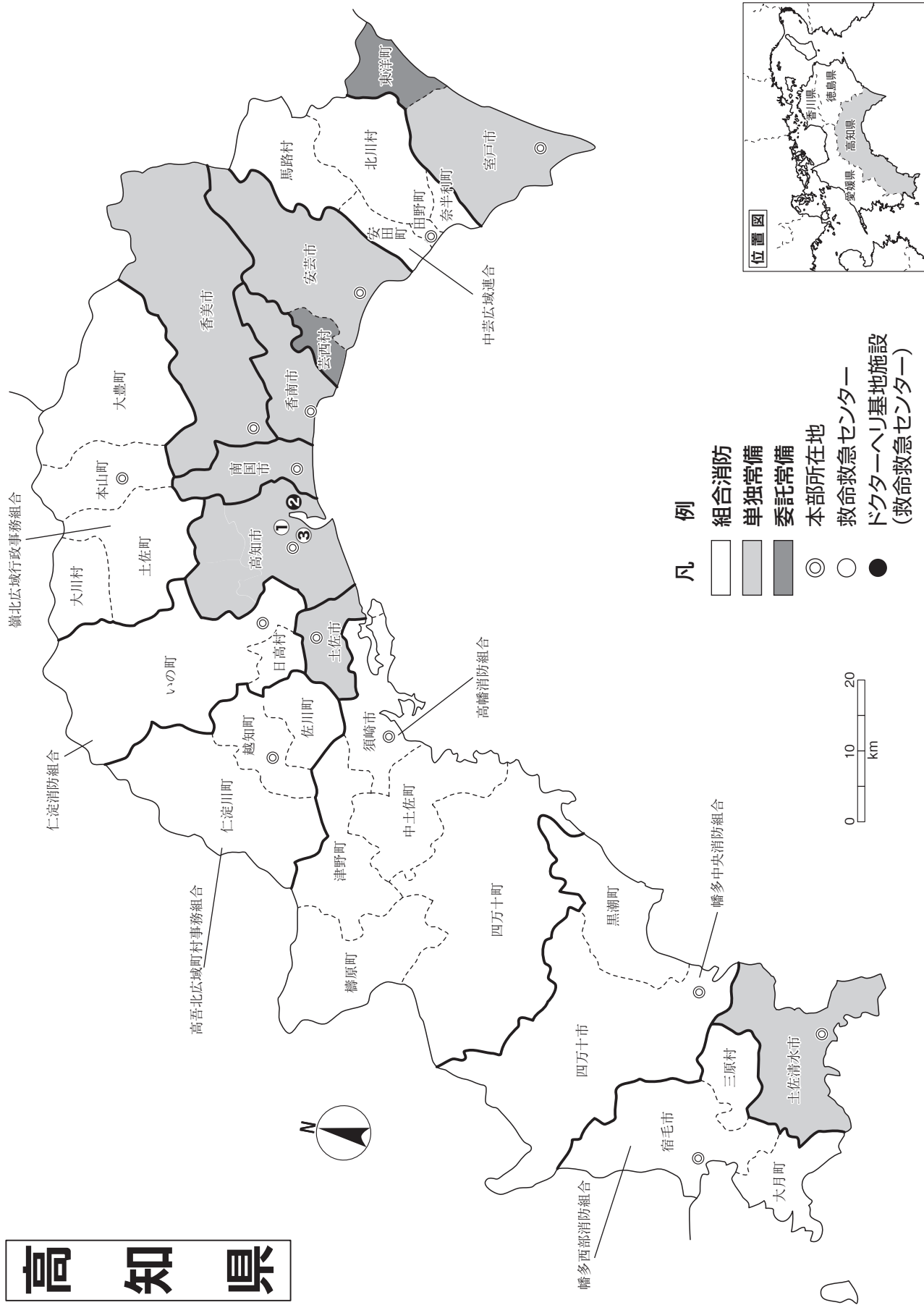
高知県 【高知県救急医療協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核の医療機関
高知県救急医療協議会	岡林弘毅 高知県医師会 会長	高知県医療政策課 高知県消防政策課 高知市丸ノ内1丁目2-20 088-823-9667 088-823-9318 088-823-9137 088-823-9253	高知市消防局 室戸市消防本部 安芸市消防本部 香南市消防本部 香美市消防本部 南国市消防本部 土佐市消防本部 土佐清水市消防本部 高幡消防組合消防本部 中芸広域連合消防本部 高吾北広域町村事務組合消防本部 仁淀消防組合消防本部 嶺北広域行政事務組合消防本部 幡多西部消防組合消防本部 幡多中央消防組合消防本部	高知医療センター 高知赤十字病院 近森病院

全国 救命救急センター設置状況 一覧表 (平成29年8月1日現在)

救命救急センター	施 設 名
①	高知赤十字病院
②	高知県・高知市病院企業団立高知医療センター
③	近森病院

高知県



福岡県 【福岡県救急業務メディカルコントロール協議会】

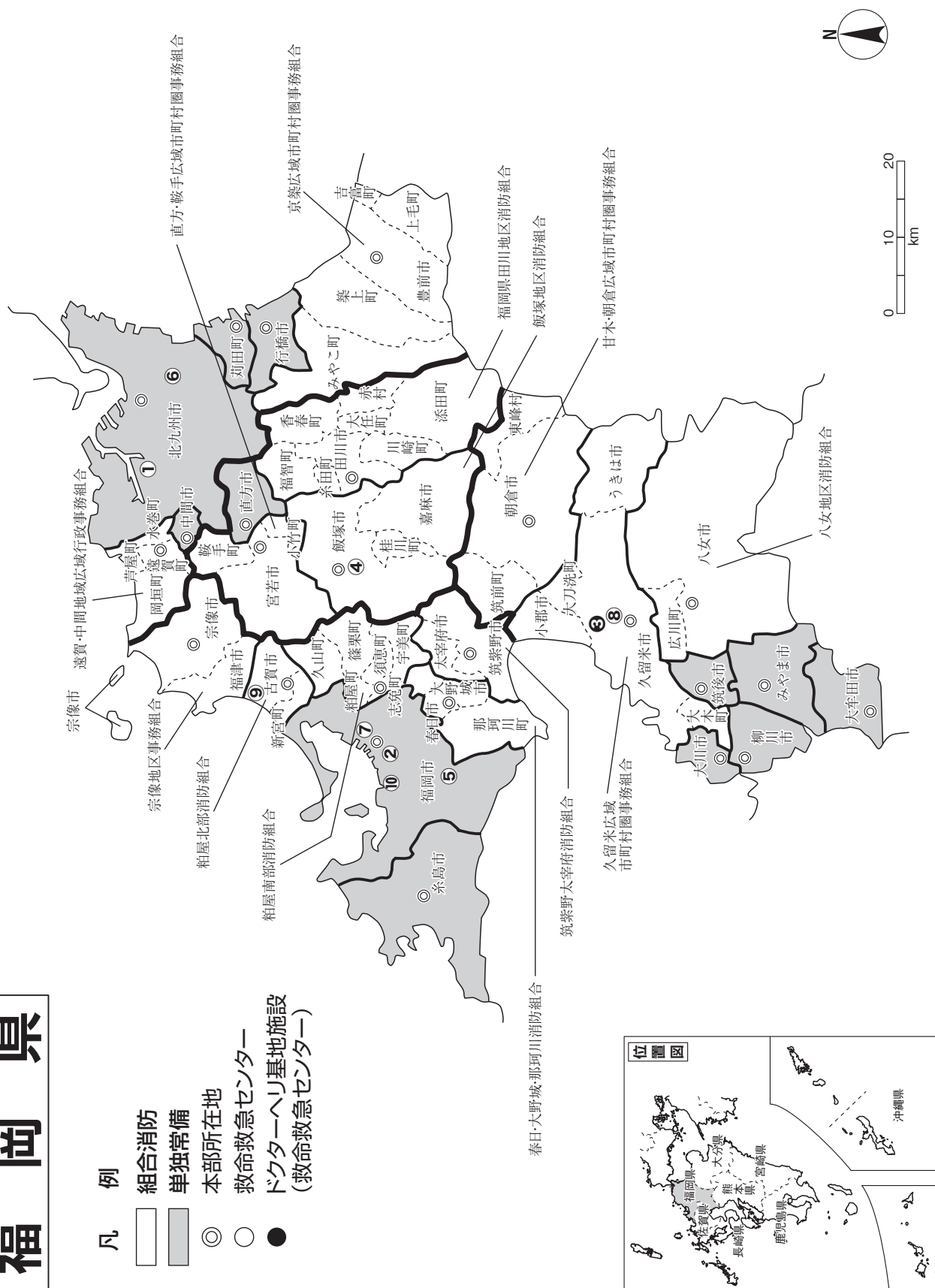
メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
福岡県救急業務 メディカルコントロール 協議会	上野 道雄 福岡県医師会 副会長	福岡県総務部防災危機管理局消防防災指導課 福岡県福岡市博多区東公園7番7号 092-643-3111 092-643-3117		
北九州地域救急業務メディカルコントロール協議会	伊藤 重彦 北九州市立八幡病院 副院長兼救命救急センター長	福岡県総務部防災危機管理局消防防災指導課 福岡県福岡市博多区東公園7番7号 092-643-3111 092-643-3117	北九州市消防局 行橋市消防本部 中間市消防本部 苅田町消防本部 京築広域圏消防本部 遠賀郡消防本部	北九州市立八幡病院救命救急センター 北九州総合病院救命救急センター【他】
福岡地域救急業務メディカルコントロール協議会	寺坂 禮治 福岡市医師会 副会長	福岡県総務部防災危機管理局消防防災指導課 福岡県福岡市博多区東公園7番7号 092-643-3111 092-643-3117	福岡市消防局 糸島市消防本部 筑紫野太宰府消防組合消防本部 春日・大野城・那珂川消防組合消防本部 粕屋南部消防本部 粕屋北部消防本部 宗像地区消防本部	済生会福岡総合病院救命救急センター 福岡大学病院救命救急センター 九州大学病院救命救急センター 福岡東医療センター救命救急センター 九州医療センター広域・救命救急センター 【他】
筑豊地域救急業務メディカルコントロール協議会	山近 仁 直方・鞍手医師会 会長	福岡県総務部防災危機管理局消防防災指導課 福岡県福岡市博多区東公園7番7号 092-643-3111 092-643-3117	直方市消防本部 飯塚地区消防本部 田川地区消防本部 直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部	飯塚病院救命救急センター【他】
筑後地域救急業務メディカルコントロール協議会	坂本 照夫 久留米大学病院 名誉教授	福岡県総務部防災危機管理局消防防災指導課 福岡県福岡市博多区東公園7番7号 092-643-3111 092-643-3117	大牟田市消防本部 久留米広域消防本部 柳川市消防本部 筑後市消防本部 大川市消防本部 みやま市消防本部 八女消防本部 甘木・朝倉消防本部	久留米大学病院高度救命救急センター 聖マリア病院救命救急センター【他】

全国 救命救急センター設置状況 一覧表

(平成29年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	北九州市立八幡病院
②	済生会福岡総合病院
③	久留米大学病院
④	飯塚病院
⑤	福岡大学病院
⑥	北九州総合病院
⑦	九州大学病院
⑧	聖マリア病院
⑨	独立行政法人国立病院機構福岡東医療センター
⑩	独立行政法人国立病院機構九州医療センター

縣國裡



佐賀県 【佐賀県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
佐賀県メディカルコントロール協議会	枝国源一郎 佐賀県医師会 常任理事	佐賀県政策部危機管理・報道局消防防災課 佐賀市城内一丁目1-59 0952-25-7026 0952-25-7262		
佐賀県中部地区メディカルコントロール協議会	上村 春甫 佐賀市医師会 会長	佐賀広域消防局消防課 佐賀市兵庫北三丁目5-1 0952-30-0111 0952-31-2119	佐賀広域消防局	佐賀大学医学部附属病院 佐賀県医療センター好生館
佐賀県東部地区メディカルコントロール協議会	平井 賢治 鳥栖三養基医師会 会長	鳥栖・三養基地区消防事務組合消防本部警防課 鳥栖市本町三丁目1488-1 0942-83-7995 0942-84-2397	鳥栖・三養基地区消防事務組合消防本部	今村病院 やよいがおか鹿毛病院 東佐賀病院
佐賀県北部地区メディカルコントロール協議会	森永 幸二 唐津東松浦医師会 会長	唐津市消防本部警防課 唐津市二タ子三丁目2-46 0955-72-4146 0955-74-0119	唐津市消防本部	唐津赤十字病院 済生会唐津病院
佐賀県西部地区メディカルコントロール協議会	小嶋 秀夫 伊万里・有田地区医師会 会長	伊万里・有田消防本部救急課 伊万里市立花町1355-3 0955-23-1199 0955-22-7598	伊万里・有田消防本部	伊万里・有田共立病院 山元記念病院 西田病院
佐賀県南部地区メディカルコントロール協議会	古賀 義行 武雄杵島地区医師会 会長	杵藤地区広域市町村圏組合消防本部警防課 武雄市武雄町大字昭和846 0954-23-0119 0954-23-0139	杵藤地区広域市町村圏組合消防本部	嬉野医療センター 織田病院 白石共立病院 新武雄病院

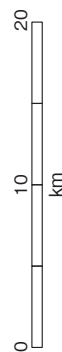
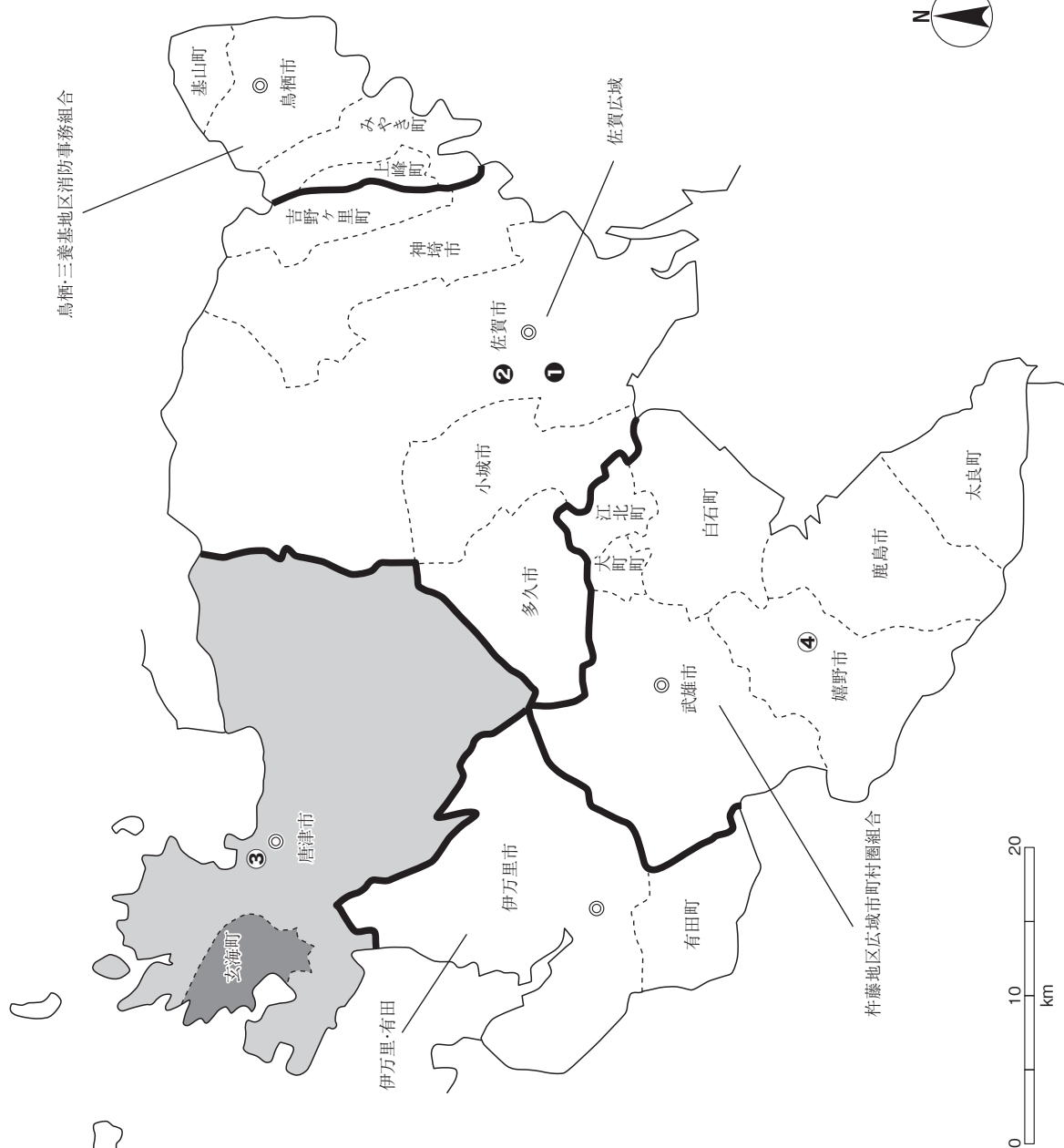
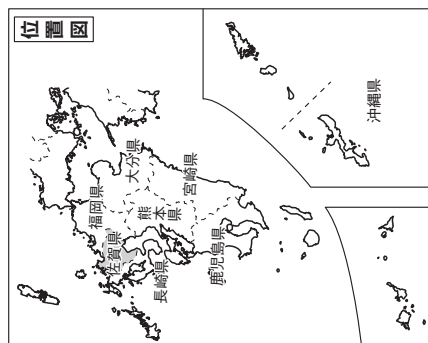
全国 救命救急センター設置状況 一覧表

(平成29年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①※	佐賀県医療センター好生館
②※	佐賀大学医学部附属病院
③	唐津赤十字病院
④	独立行政法人国立病院機構 嬉野医療センター

※2施設でドクターヘリ1機

佐賀県



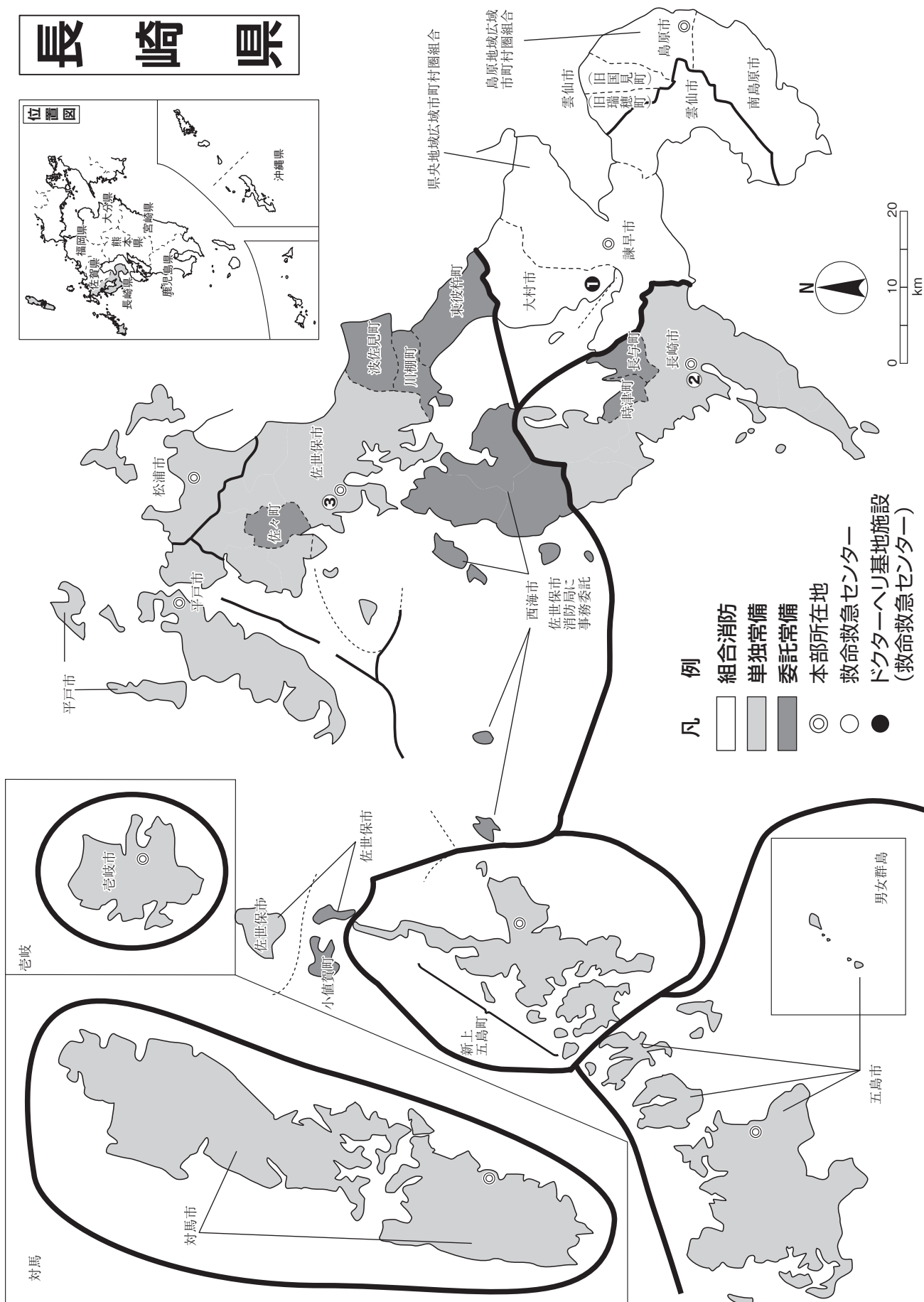
- | 凡 | 例 |
|---|--------------------------|
| | 組合消防 |
| | 単独常備 |
| | 委託常備 |
| | 本部所在地 |
| | 救命救急センター |
| | ドクターヘリ基地施設
(救命救急センター) |

長崎県 【長崎県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
長崎県メディカルコントロール協議会	蒔本 恭 長崎県医師会 医師会長	長崎県消防保安室消防班 長崎市江戸町2-13 095-895-2146 095-821-9202		
長崎地域メディカルコントロール協議会	宮村 庸剛 長崎市医師会 救急医療担当理事	長崎市消防局警防課 長崎市興善町3-1 095-822-0448 095-829-1067	長崎市消防局	長崎大学病院 救命救急センター
県北地域メディカルコントロール協議会	清水 輝久 佐世保市医師会 救急医療担当理事	佐世保市消防局警防課 佐世保市平瀬町9-2 0956-23-2598 0956-23-8011	佐世保市消防局 平戸市消防本部 松浦市消防本部	独立行政法人国立病院機構長崎医療センター救命救急センター 佐世保市総合医療センター
県央・県南地域メディカルコントロール協議会	中道 親昭 独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター 救命救急センター長	県央消防本部警防救急課 諫早市鷺崎町221番地1 0957-23-0119 0957-22-8119	県央地域広域市町村圏組合消防本部 島原地域広域市町村圏組合消防本部	独立行政法人国立病院機構長崎医療センター救命救急センター
下五島地域メディカルコントロール協議会	浦 繁郎 五島医師会 医師会長	五島市消防本部消防課 五島市吉久木町628番地5 0959-72-3131 0959-72-1512	五島市消防本部	独立行政法人国立病院機構長崎医療センター救命救急センター
上五島地域メディカルコントロール協議会	八坂 貴宏 長崎県上五島病院 病院長	新上五島町消防本部警防課 南松浦郡新上五島町七目郷902-1 0959-42-3240 0959-42-0448	新上五島町消防本部	独立行政法人国立病院機構長崎医療センター救命救急センター
壱岐地域メディカルコントロール協議会	品川 敦彦 医療法人協生会品川病院 院長	壱岐市消防本部警防課 壱岐市芦辺町中野郷西触411番地2 0920-45-3037 0920-45-0992	壱岐市消防本部	独立行政法人国立病院機構長崎医療センター救命救急センター
対馬地域メディカルコントロール協議会	川上 真寿弘 対馬市医師会 救急・防災理事	対馬市消防本部警防課 対馬市厳原町棧原52-2 0920-52-0119 0920-52-1194	対馬市消防本部	独立行政法人国立病院機構長崎医療センター救命救急センター

全国 救命救急センター設置状況 一覧表 (平成29年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター
②	長崎大学病院
③	佐世保市総合医療センター



熊本県

【熊本県メディカルコントロール協議会】

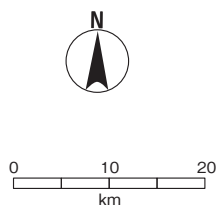
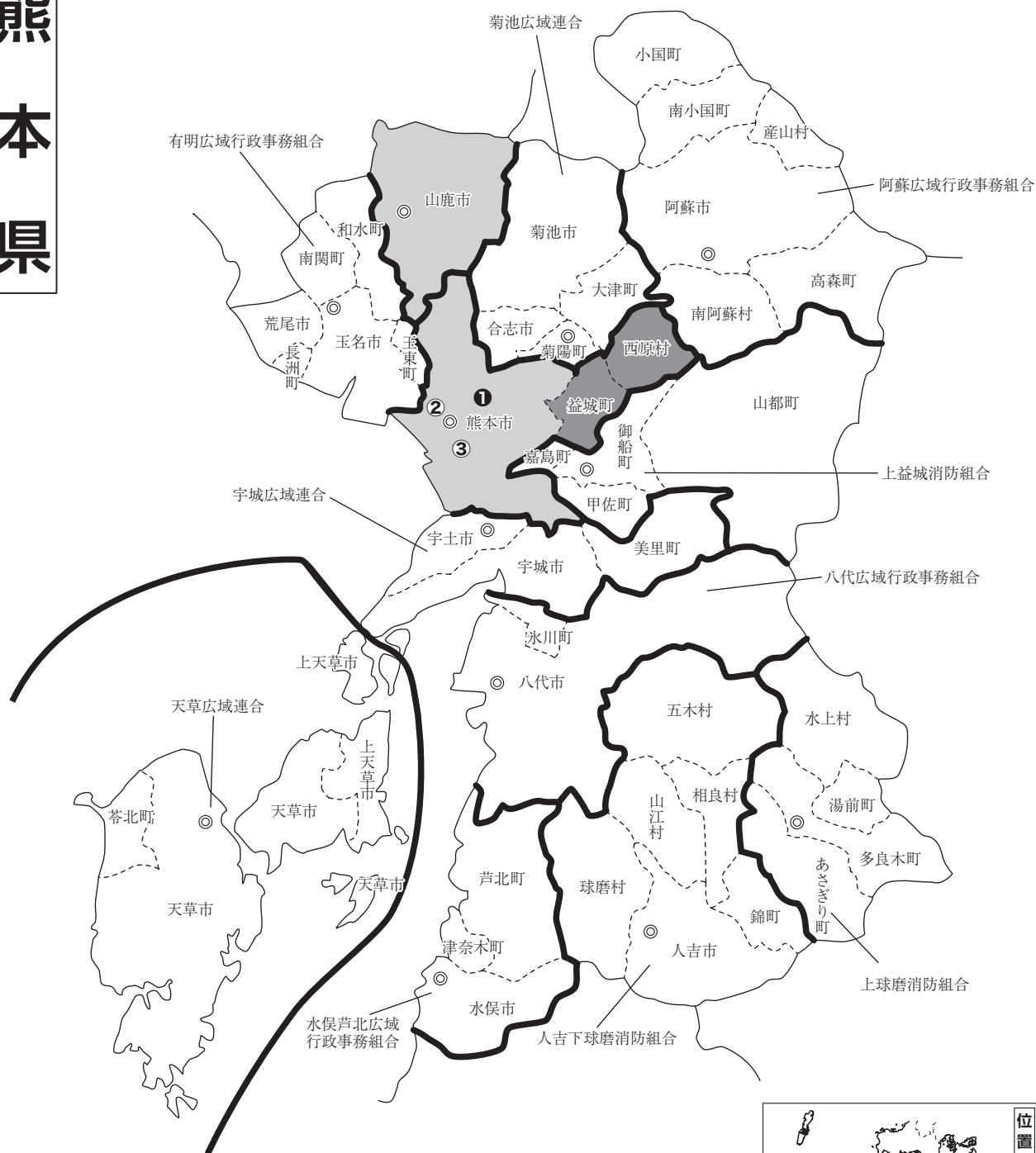
メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
熊本県メディカルコントロール協議会	笠岡 俊志 熊本大学医学部附属病院 教授	総務部市町村・税務局消防保安課 熊本市中央区水前寺6-18-1 096-333-2116 096-383-1503		
熊本市メディカルコントロール協議会	桑原 謙 熊本赤十字病院 第2救急科部長	熊本市消防局 熊本市中央区大江3-1-3 096-363-0119 096-366-6679	熊本市消防局 (事務受託: 益城町、西原村)	熊本赤十字病院 国立病院機構熊本医療センター 済生会熊本病院 熊本市民病院 熊本大学医学部附属病院 熊本地域医療センター
山鹿鹿本地域メディカルコントロール協議会	幸村 克典 鹿本医師会 会長	山鹿市消防本部 山鹿市南島1270-1 0968-43-1289 0968-43-8872	山鹿市消防本部	山鹿市民医療センター 保利病院 熊本市立植木病院
人吉下球磨地域メディカルコントロール協議会	木村 正美 人吉医療センター 院長	人吉下球磨消防組合消防本部 人吉市下林町1 0966-22-5241 0966-22-5240	人吉下球磨消防組合消防本部	人吉医療センター
上益城地域メディカルコントロール協議会	永田 壮一 東熊本病院 院長	上益城郡医師会 上益城郡御船町御船986 096-282-0461 096-282-3217	上益城消防組合消防本部	熊本赤十字病院 済生会熊本病院
上球磨メディカルコントロール協議会	松本 典生 上球磨消防本部 消防長	上球磨消防組合消防本部 球磨郡多良木町大字多良木3146-1 0966-42-3181 0966-42-2547	上球磨消防組合消防本部	公立多良木病院
八代地域メディカルコントロール協議会	金子 泰史 熊本労災病院 副院長	八代広域行政事務組合消防本部 八代市大村町970 0965-32-6181 0965-32-9251	八代広域行政事務組合消防本部	熊本労災病院 熊本総合病院
阿蘇地域メディカルコントロール協議会	上村 晋一 院長 阿蘇立野病院 阿蘇郡市医師会救急担当理事	阿蘇広域行政事務組合消防本部 阿蘇市黒川1423-1 0967-34-0048 0967-34-0213	阿蘇広域行政事務組合消防本部	阿蘇医療センター 小国公立病院 阿蘇立野病院 阿蘇温泉病院 大阿蘇病院
有明地域メディカルコントロール協議会	吉田 耕之 有明広域行政事務組合消防本部 消防長	有明広域行政事務組合消防本部 玉名市築地468 0968-73-5271 0968-74-0030	有明広域行政事務組合消防本部	荒尾市民病院 公立玉名中央病院 和水町立病院
水俣芦北地域メディカルコントロール協議会	坂本 不出夫 水俣市立総合医療センター 水俣市病院事業管理者 会	水俣芦北広域行政事務組合消防本部 水俣市ひばりヶ丘3番12号 0966-63-1191 0966-63-7090	水俣芦北広域行政事務組合消防本部	水俣市立総合医療センター
宇城地域メディカルコントロール協議会	岩本 和也 宇城広域連合消防本部 消防長	宇城広域連合消防本部 宇土市新松原町159-1 0964-22-0554 0964-22-0270	宇城広域連合消防本部	済生会熊本病院
菊池地域メディカルコントロール協議会	米村 憲輔 熊本再春荘病院 院長	菊池広域連合消防本部 菊池郡菊陽町原水7-1 096-232-9331 096-232-9333	菊池広域連合消防本部	熊本再春荘病院
天草地域メディカルコントロール協議会	酒井 一守 天草郡市医師会 会長	天草広域連合消防本部 天草市本渡町広瀬1687-2 0969-22-0119 0969-22-3221	天草広域連合消防本部	天草地域医療センター 天草中央総合病院 上天草総合病院 河浦病院

全国 救命救急センター設置状況 一覧表

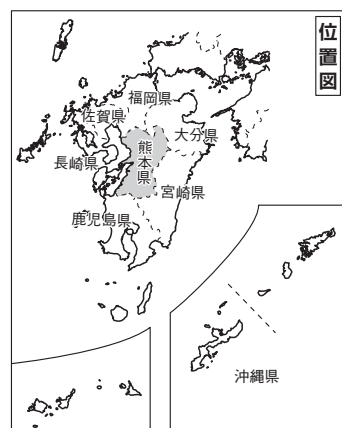
(平成29年8月1日現在)

救命救急センター	施 設 名
①	熊本赤十字病院
②	独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター
③	済生会熊本病院

熊本県



- 凡 例
- 組合消防
 - 単独常備
 - 委託常備
 - ◎ 本部所在地
 - 救命救急センター
 - ドクターヘリ基地施設 (救命救急センター)



大分県 【大分県救急搬送協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
大分県救急搬送協議会	河野 幸治 大分県医師会 副会長	大分県生活環境部消防保安室 大分県大分市大手町3丁目1-1 097-506-3158 097-533-0930	大分市消防局 別府市消防本部 中津市消防本部 佐伯市消防本部 臼杵市消防本部 津久見市消防本部 竹田市消防本部 豊後高田市消防本部 宇佐市消防本部 豊後大野市消防本部 由布市消防本部 国東市消防本部 日田玖珠広域消防組合消防本部 杵築速見消防組合消防本部	アルメイダ病院 大分大学医学部附属病院 大分県立病院 新別府病院
大分県メディカルコントロール協議会	山本明彦 大分救急医学会 副会長			

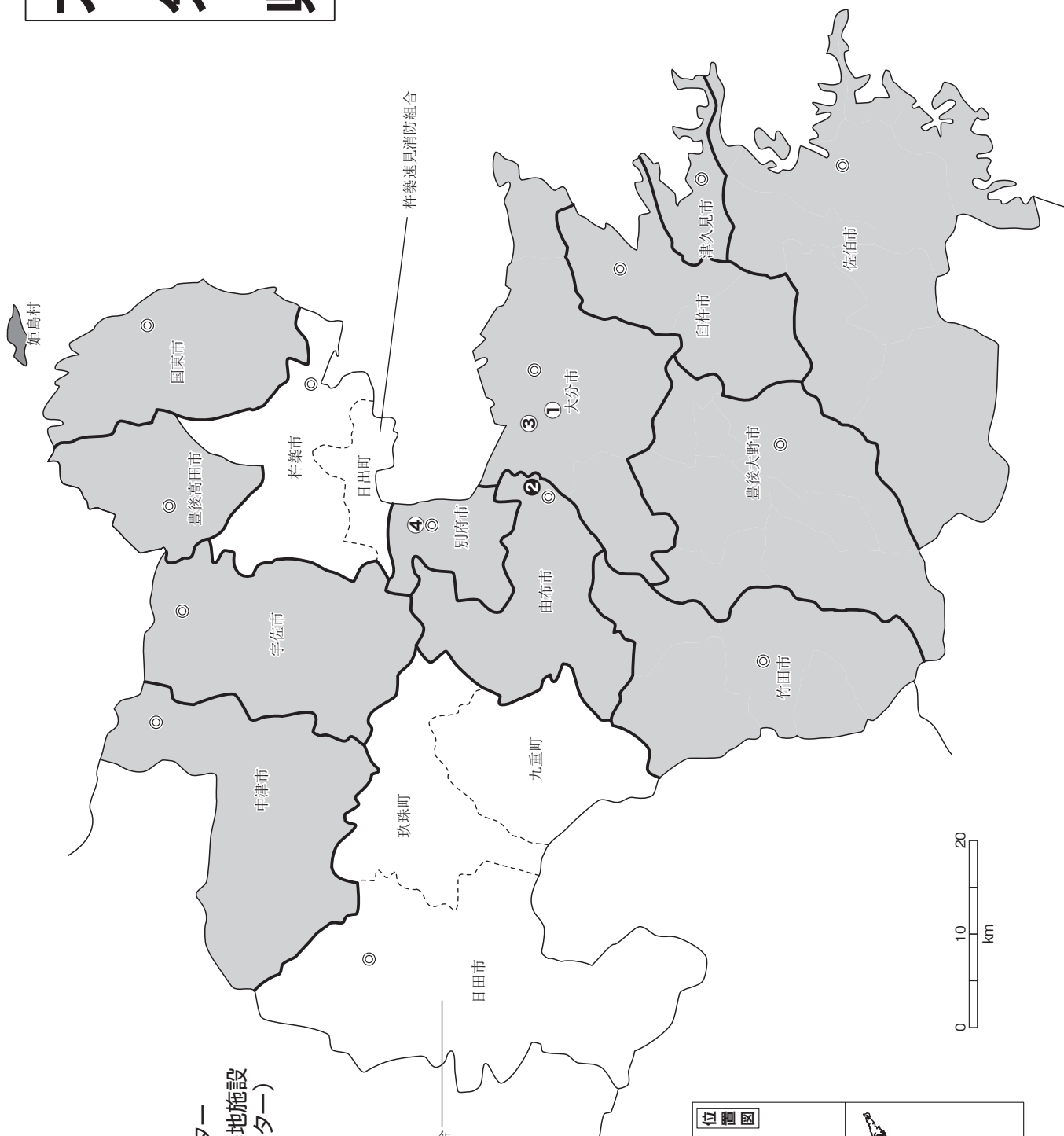
全国 救命救急センター設置状況 一覧表 (平成29年8月1日現在)

救命救急センター	施 設 名
①	大分市医師会立アルメイダ病院
②	大分大学医学部附属病院
③	大分県立病院
④	国家公務員共済組合連合会新別府病院

地域MC協議会 1

凡 例

- 組合消防
- 単独常備
- 委託常備
- ◎ 本部所在地
- 救命救急センター
- ドクターヘリ基地施設
(救命救急センター)



大 分 県

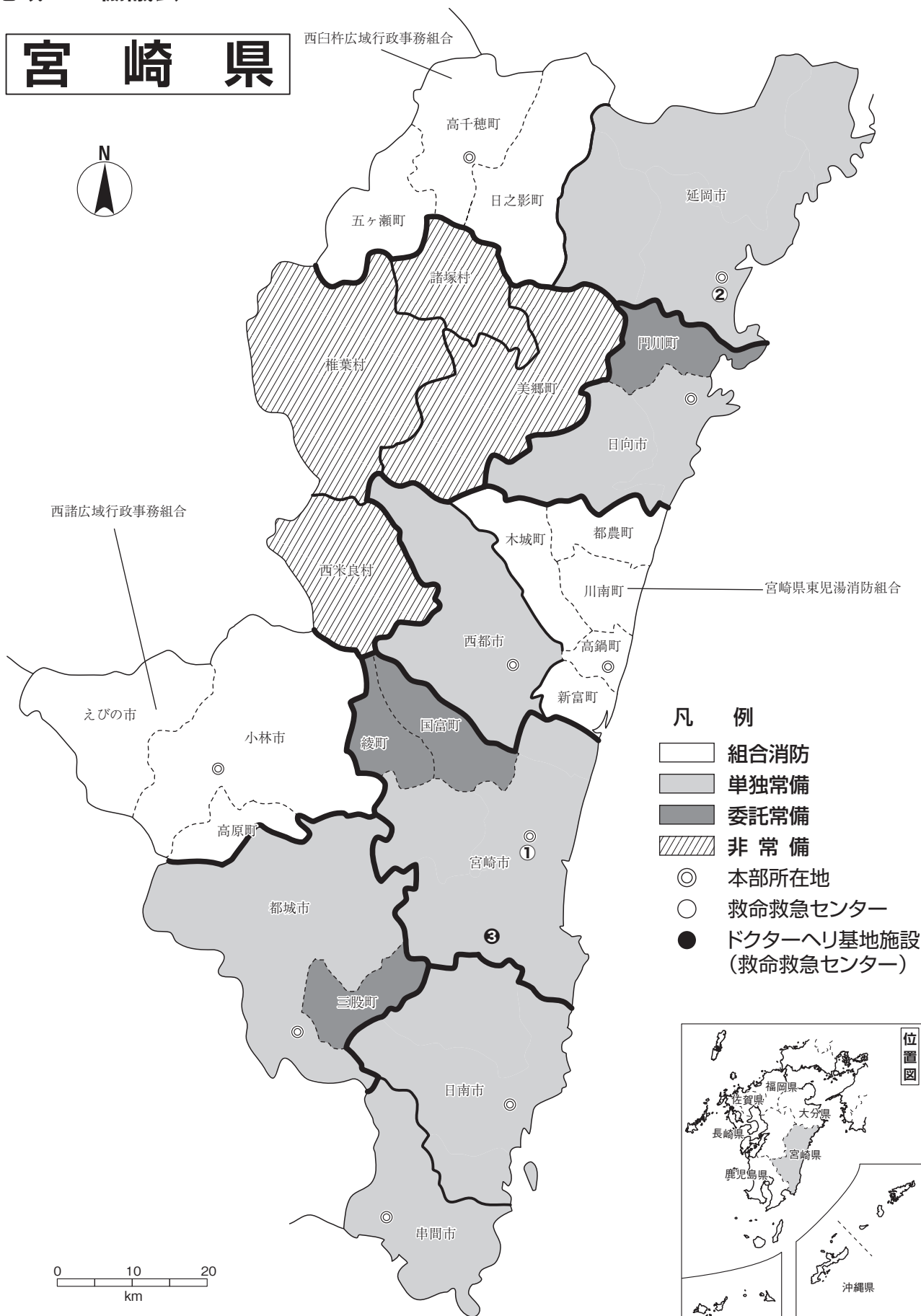
宮崎県 【宮崎県メディカルコントロール協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
宮崎県メディカルコントロール協議会	富田 雄二 宮崎県医師会 副会長(救急医療担当)	宮崎県危機管理局消防保安課 宮崎市橋通東2丁目10番1号 宮崎県庁総務部危機管理局内 0985-26-7627 0985-26-7304		
宮崎地区メ ディカルコント ロール協議会	川名 隆司 宮崎市郡医師会 会長	宮崎市消防局警防課 宮崎市和知川原1丁目64番地2 宮崎市消防局内 0985-32-4903 0985-27-8675	宮崎市消防局	県立宮崎病院 宮崎大学医学部附属病院
都城地区メ ディカルコント ロール協議会	飯田 正幸 都城市北諸縣市郡医師会 会長	都城市消防局警防救急課 都城市葦蒲原町19号7番地 都城市消防局内 0986-22-8883 0986-24-7345	都城市消防局	都城市郡医師会病院
延岡地区メ ディカルコント ロール協議会	吉田 建世 延岡市医師会 会長	延岡市消防本部警防課 延岡市野地町5丁目2761番地 延岡市消防本部内 0982-22-7105 0982-31-0303	延岡市消防本部 西臼杵広域行政事務組合消防本部	県立延岡病院
日向地区メ ディカルコント ロール協議会	渡邊 康久 日向市東臼杵郡医師会 会長	日向市消防本部警防課 日向市亀崎2丁目23番地 日向市消防本部内 0982-53-5948 0982-52-3119	日向市消防本部	県立延岡病院
南那珂地区メ ディカルコント ロール協議会	島田 雅弘 南那珂医師会 会長	日南市消防本部警防課 日南市大字殿所2026番地9 日南市消防本部内 0987-23-7584 0987-23-7653	日南市消防本部 串間市消防本部	県立日南病院 串間市民病院
西都・児湯地 区メディカルコ ントロール協 議会	立野 進 都農町国民健康保険病院 院長	宮崎県東児湯消防組合消防本部 児湯郡高鍋町大字上江4526番地 宮崎県東児湯消防組合消防本部内 0983-22-1360 0983-22-1370	西都市消防本部 宮崎県東児湯消防組合消防本部	県立宮崎病院
西諸地区メ ディカルコント ロール協議会	内村 大介 西諸医師会 会長	西諸広域行政事務組合消防本部 小林市真方493番地 西諸広域行政事務組合消防本部内 0984-23-0234 0984-23-6560	西諸広域行政事務組合消防本部	市立小林病院 市立えびの病院

全国 救命救急センター設置状況 一覧表 (平成29年8月1日現在)

救命救急センター	施 設 名
①	県立宮崎病院
②	県立延岡病院
③	宮崎大学医学部附属病院

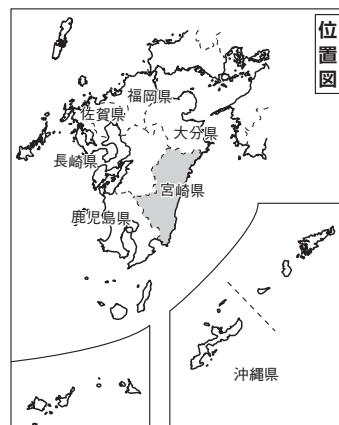
宮 崎 県



凡 例

- 組合消防
- 単独常備
- 委託常備
- 非常備

- 本部所在地
- 救命救急センター
- ドクターヘリ基地施設 (救命救急センター)



鹿児島県

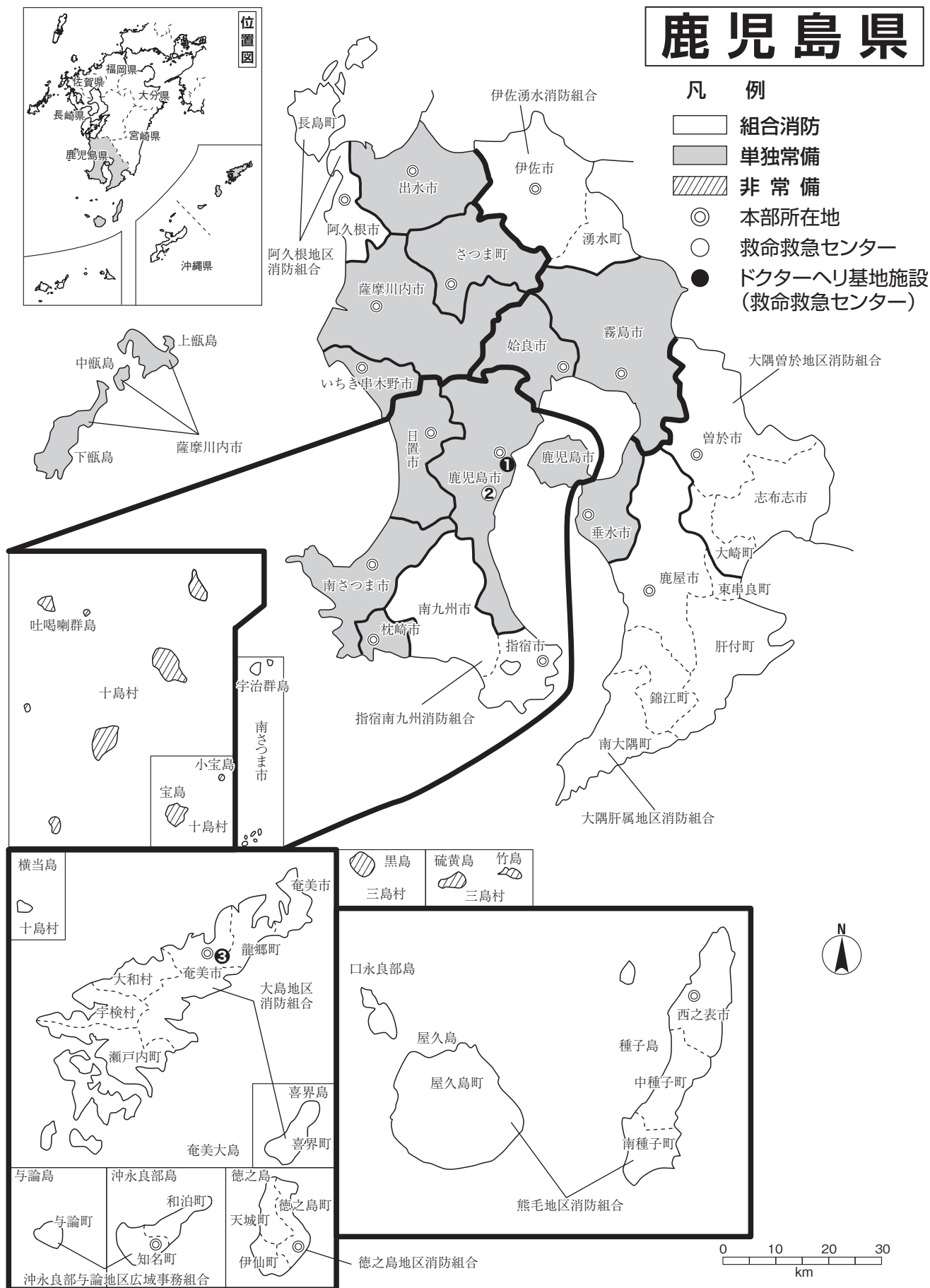
【鹿児島県救急業務高度化協議会】

メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
鹿児島県救急業務高度化協議会	上津原 甲一 鹿児島県医師会 常任理事	鹿児島県危機管理局消防保安課 鹿児島市鴨池新町10番1号 099-286-2259 099-286-5521		
薩摩地域救急業務高度化協議会	米盛 公治 米盛病院 病院長	鹿児島市消防局警防課 鹿児島市山下町15-1 099-222-0960 099-225-8119	鹿児島市消防局 日置市消防本部 指宿南九州消防組合消防本部 枕崎市消防本部 南さつま市消防本部	鹿児島市立病院救急救命センター 外科馬場病院 国立病院機構指宿医療センター 県立薩南病院【他】
北薩地域救急業務高度化協議会	石部 良平 川内市医師会立市民病院 院長	薩摩川内市消防局警防課 薩摩川内市原田町22-10 0996-22-0125 0996-20-3430	薩摩川内市消防局 出水市消防本部 いちき串木野市消防本部 さつま町消防本部 阿久根地区消防組合消防本部	川内市医師会立市民病院 出水市総合医療センター いちき串木野市医師会立脳神経外科センター 薩摩郡医師会病院 出水郡医師会広域医療センター【他】
始良伊佐地域救急業務高度化協議会	吉見 謙一 国分生協病院 鹿児島医療生協理事	霧島市消防局警防課 鹿児島市鴨池新町10番1号 0995-64-0432 0995-64-0845	霧島市消防局 始良市消防本部 伊佐湧水消防組合消防本部	霧島市立医師会医療センター 青雲会病院 県立北薩病院【他】
大隅地域救急業務高度化協議会	小倉 雅 おぐら病院 理事長	大隅肝属地区消防組合警防課 鹿屋市新川町800 0994-52-1193 0994-40-0201	大隅肝属地区消防組合消防本部 垂水市消防本部 大隅曾於地区消防組合消防本部	大隅鹿屋病院 垂水市立医療センター垂水中央病院 曾於医師会立病院【他】
熊毛地域救急業務高度化協議会	田上 容祥 熊毛地区医師会 会長	熊毛地区消防組合警防課 西之表市鴨女町248 0997-23-0119 0997-23-4198	熊毛地区消防組合消防本部	田上病院【他】
大島地域救急業務高度化協議会	野崎 義弘 奄美市住用国民健康保険診療所 所長	大島地区消防組合警防課 奄美市名瀬小浜町27-5 0997-52-0100 0997-52-5107	大島地区消防組合消防本部 沖永良部与論地区広域事務組合消防本部 徳之島地区消防組合消防本部	県立大島病院 沖永良部徳洲会病院 徳之島徳洲会病院【他】

全国 救命救急センター設置状況 一覧表

(平成29年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	鹿児島市立病院
②	鹿児島大学病院
③	県立大島病院



沖縄県 【沖縄県メディカルコントロール協議会】

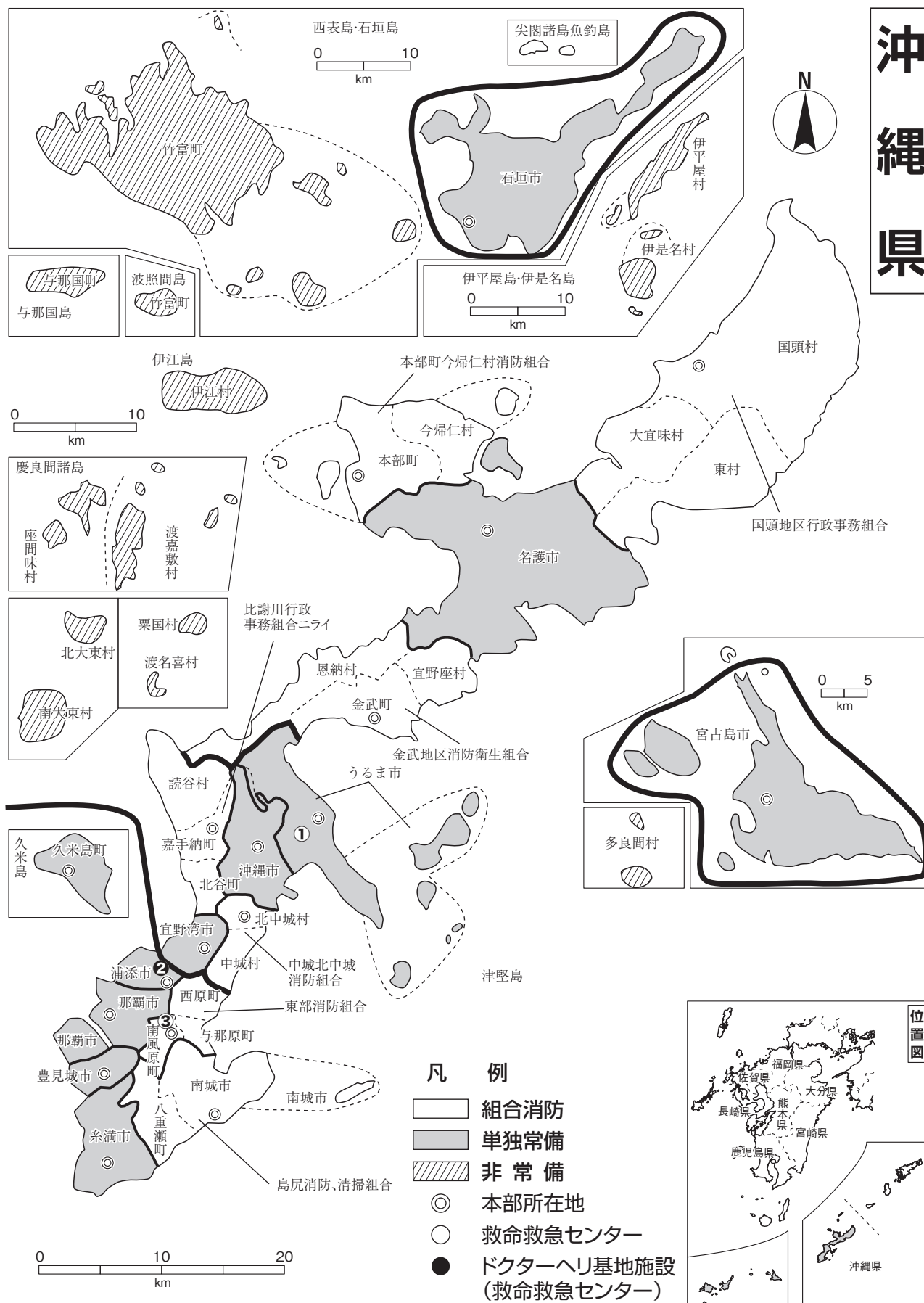
メディカルコントロール名	会長名 会長所属機関 会長役職名	事務局運営機関 住所 電話 FAX	構成消防本部	構成中核的医療機関
沖縄県メディカルコントロール協議会	久木田 一朗 琉球大学医学部附属病院 救急部長	沖縄県知事公室防災危機管理課 沖縄県那覇市泉崎1丁目2番2号 098-866-2143 098-866-3204		
北部地区メディカルコントロール協議会	島袋 盛之 沖縄県立北部病院 救急救命科副部長	国頭地区行政事務組合消防本部 沖縄県国頭地区国頭村字辺戸名1727 0980-41-5100 0980-41-2915	名護市消防本部 本部町今帰仁村消防組合消防本部 国頭地区行政事務組合消防本部 金武地区消防衛生組合消防本部	沖縄県立北部病院 北部地区医師会病院
中部地区メディカルコントロール協議会	久場 良也 かりゆし会ハートライフ病院 副院長	宜野湾市消防本部 沖縄県宜野湾市字野嵩677 098-892-2299 098-892-5300	うるま市消防本部 沖縄市消防本部 中城北中城消防組合消防本部 比謝川行政事務組合ニライ消防本部 金武地区消防衛生組合消防本部 宜野湾市消防本部	沖縄県立中部病院
南部地区メディカルコントロール協議会	寺田 泰蔵 那覇市立病院 救急科部長	那覇市消防局 沖縄県那覇市銘苅2丁目3番8号 098-867-1199 098-869-1190	浦添市消防本部 豊見城市消防本部 糸満市消防本部 島尻消防、清掃組合消防本部 久米島町消防本部 那覇市消防局 東部消防組合消防本部	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 琉球大学医学部付属病院 浦添総合病院
宮古地区メディカルコントロール協議会	山本 一太 県立宮古病院 救急科医師	宮古島市消防本部 沖縄県宮古島市平良字下里1792-6 0980-72-4358 0980-73-1682	宮古島市消防本部	沖縄県立宮古病院
八重山地区メディカルコントロール協議会	上原 秀政 上原内科 院長	石垣市消防本部 沖縄県石垣市字真栄里668番地 0980-82-0119 0980-83-6698	石垣市消防本部	沖縄県立八重山病院

※金武地区消防衛生組合消防本部は、北部地区メディカルコントロール協議会と中部地区メディカルコントロール協議会を重複している。

全国 救命救急センター設置状況 一覧表 (平成29年8月1日現在)

救命救急センター	施設名
①	沖縄県立中部病院
②	浦添総合病院
③	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター

沖縄県



MEMO

[illegible]